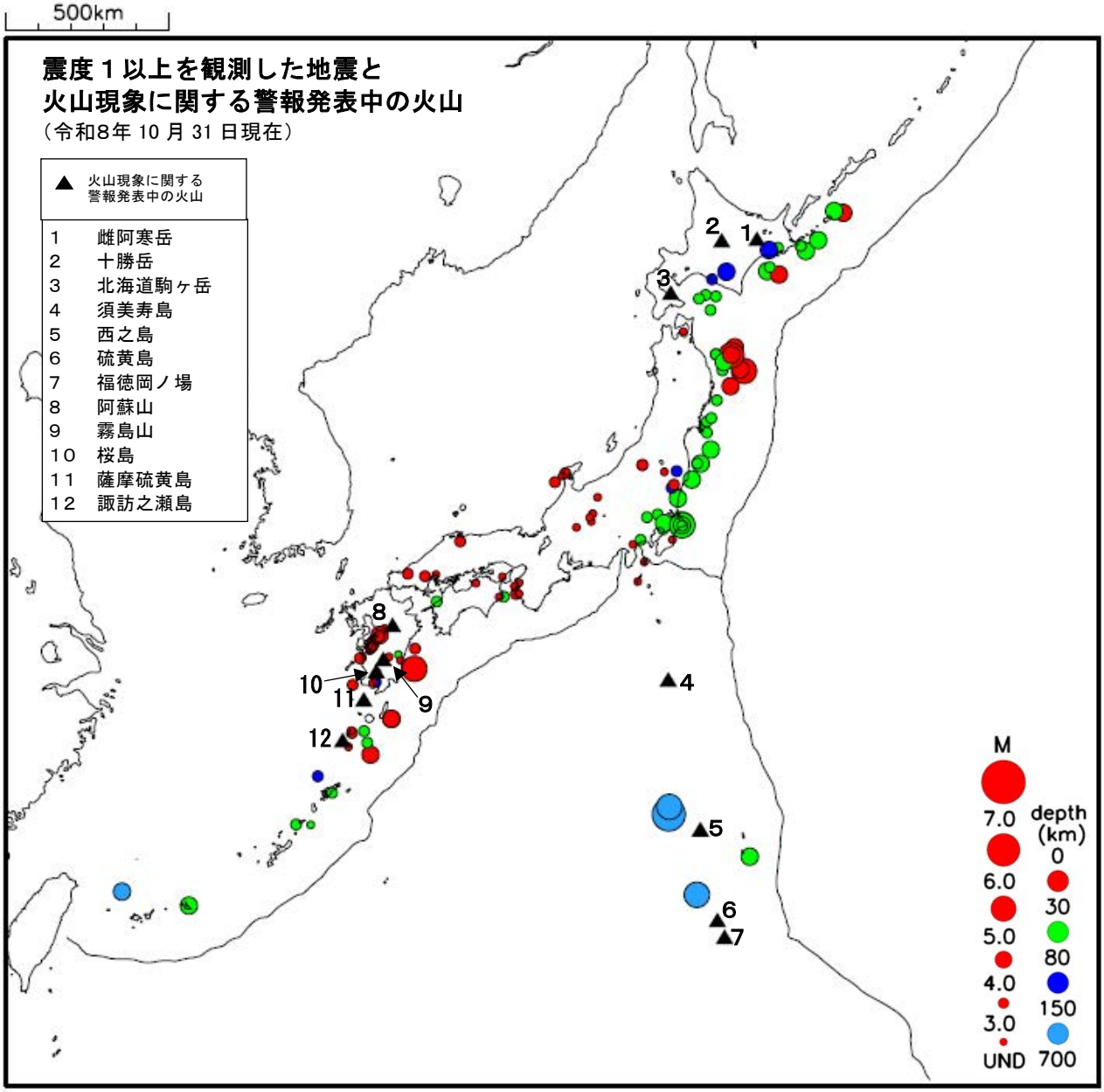
令和8年 10 月　地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

October　2026



気　象　庁

Japan Meteorological Agency

令和８年10月　地震・火山月報（防災編）

※ 本資料中のデータについて

気象庁では、平成９年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成９年10月１日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

注* 令和８年11月10日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の47都道府県、７政令指定都市。

注** 令和８年 11 月 10 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、2025 年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（平島、小宝島）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※ 本資料中の図について

本資料中の地図は、『**数値地図 25000（行政界・海岸線）**』（国土地理院）を加工して作成した。

また、一部の図版作成には GMT(Generic Mapping Tool[Wessel,P., and W.H.F.Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol.79 (47), pp.579, 1998]) を使用した。

※ 本資料利用上の注意

・資料中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N= xx,yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx,yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

発震機構解の図は下半球投影である。また、特にことわりがない限り、Ｐ波初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。なお、CMT 解はベストダブルカップル解を示す。

・発震機構解の図中の語句について

Ｐ：Ｐ軸（圧力軸）　　Ｔ：Ｔ軸（張力軸）　　Ｎ：Ｎ軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・Ｍ－Ｔ図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（Ｔ）を表示した図で、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本資料での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものを用いるが、震央を精査した結果により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報(防災編)」１月号の付録「地震・火山月報(防災編)で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016 年４月１日以降の震源では、M の小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

2020 年９月以降に発生した地震を含む図については、2020 年８月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、日本海溝海底地震津波観測網（S-net）や紀伊水道沖の地震・津波観測監視システム（DONET2）による海域観測網の観測データの活用、震源計算処理における海域速度構造の導入及び標高を考慮した震源決定等それまでのデータ処理方法との違いにより、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがある。

2026 年４月以降に発生した地震を含む図については、2026 年３月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、南海トラフ海底地震津波観測網（N-net）による海域観測網の観測データの活用により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化が見られることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイドの深さを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html]に掲載する。

なお、本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/vois/data/filing/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

令和８年10月　地震・火山月報（防災編）

目 次

● 日本及びその周辺での主な地震活動 1
北海道地方の地震活動 5
東北地方の地震活動 6
最近の日本海溝・千島海溝周辺の地震活動 10
関東・中部地方の地震活動 11
近畿・中国・四国地方の地震活動 14
九州地方の地震活動 15
沖縄地方の地震活動 20
その他の地域の地震活動 21
● 南海トラフ周辺の地殻活動 24
● 日本の主な火山活動 27
北海道地方の火山活動 39
東北地方の火山活動 42
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動 44
近畿・中国・四国地方の火山活動 48
九州地方の火山活動 49
沖縄地方の火山活動 53
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴 54
● 世界の主な地震 58
● 世界の主な火山活動 60
● 付録
１．震度１以上を観測した地震の表 61
２．過去１年間に震度１以上を観測した地震の最大震度別の月別回数 86
３．日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数 87
４．長周期地震動階級１以上を観測した地震 88
５．緊急地震速報の提供状況 90

●　日本及びその周辺での主な地震活動

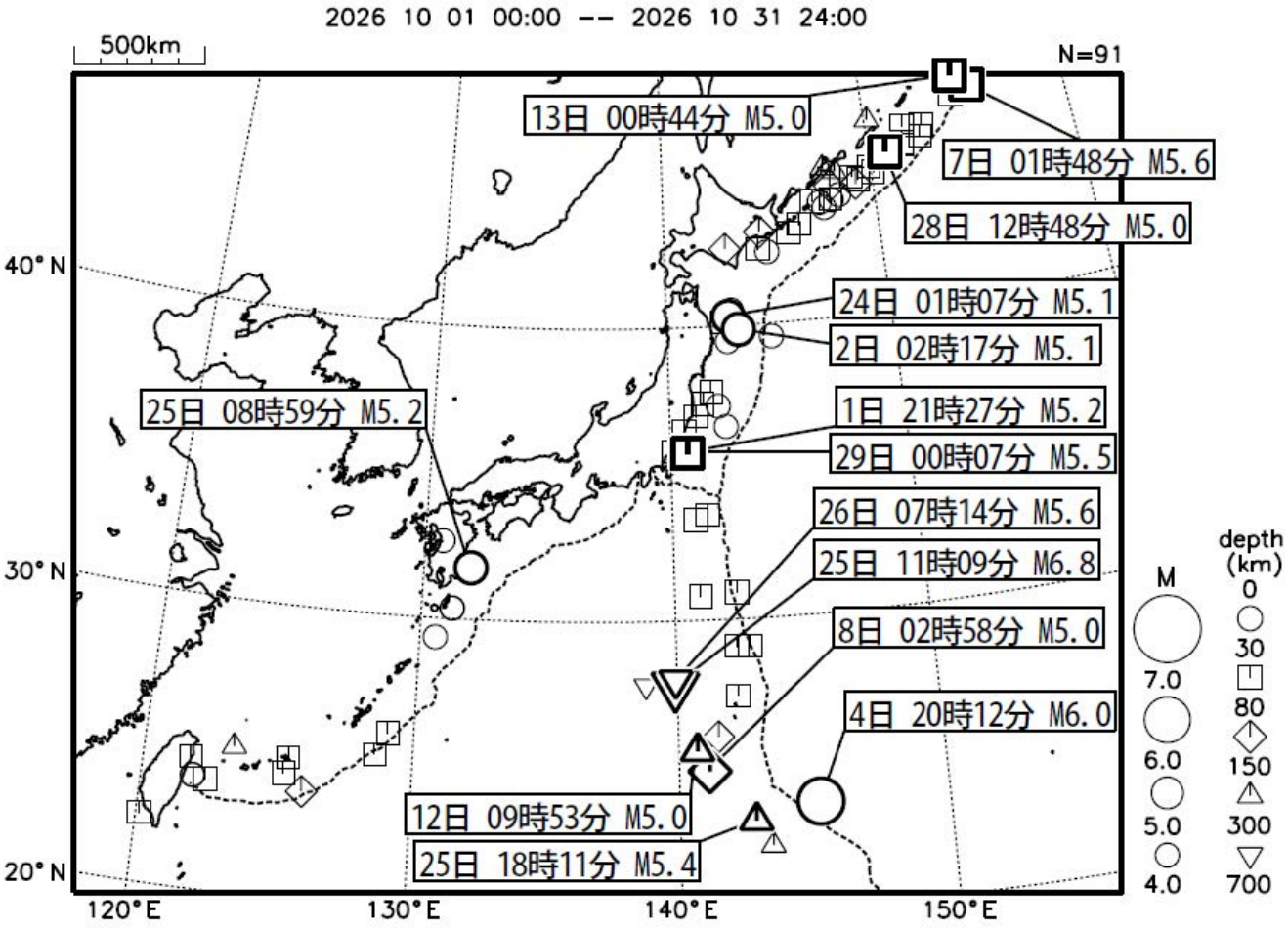


図１　令和８年 10 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震は M5.0 以上の地震、または M4.0 以上で最大震度５弱以上を観測した地震である。）

29 日 00 時 07 分に千葉県北東部の深さ 52km で M5.5 の地震が発生し、千葉県で震度５弱を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度４～１を観測した。千葉県北東部から千葉県東方沖にかけての地震活動域では、10 月中に震度１以上を観測する地震が 11 回（震度５弱：１回、震度４：１回、震度３：１回、震度２：４回、震度１：４回）発生した。

令和８年（2026 年）10 月に日本国内で震度４以上を観測した地震は２回（９月は３回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 91 回（９月は 91 回）であった（図１）。

10 月中に発生した主な地震を表１、震度１以上を観測した地震の震央を図２、M4.0 以上の地震の震央を図３、震度４以上を観測した地震の震度分布図を図４に示す。10 月中に震度５弱以上を観測した地震は１回、津波を観測した地震はなかった（９月は震度５弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった）。

表１　令和８年 10 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注１）（注２）（注３）

No.	震源時 月	日	時	分	震央地名	M	Mw（注４）	M	H	S	T（注５）	最大震度・被害状況等（注６、注７）	掲載ページ
1	10	1	21	27	千葉県北東部	5.2	5.3	・	・	・	・	３：千葉県 横芝光町宮川＊ 旭市南堀之内＊ 香取市役所＊ など2県34地点	４、12、13
	10	8	4	13	千葉県東方沖（注８）	4.7	5.0	・	・	S	・	４：千葉県 旭市南堀之内＊	
	10	29	0	7	千葉県北東部	5.5	5.5	・	・	S	・	５弱：千葉県 横芝光町宮川＊ 横芝光町栗山＊ 長周期地震動階級１を観測	
2	10	4	20	12	硫黄島近海	6.0	－	M	・	・	・		22
3	10	24	1	7	岩手県沖	5.1	4.9	・	・	・	・	３：岩手県 盛岡市薮川＊	７～９
4	10	25	8	59	日向灘	5.2	5.2	・	・	・	・	３：宮崎県 宮崎市高岡町内山＊ 都城市高崎町大牟田＊ 都城市山之口町花木＊ など3県28地点	19
5	10	25	11	9	小笠原諸島西方沖	6.8	6.5	M	・	・	・	３：東京都 小笠原村母島 小笠原村父島三日月山	23
6					「令和８年熊本地震」の地震活動			・	・	・	・	震度１以上を観測する地震が66回（震度３：３回、震度２：19回、震度１：44回）発生し、このうち最大規模の地震は、10月31日01時45分に発生したM4.0の地震（最大震度３）	16～18

（注１）主な地震とは、図１の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度４以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度３、④海域 M5.0 以上かつ震度３、⑤その他注目した地震を指す。
（注２）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
（注３）空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
（注４）Mw欄の「―」はMwが求められていないことを示す。
（注５）MHSTの各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度４以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
（注６）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。
（注７）一連の地震活動で被害が発生した場合、その被害は代表的な地震（一連の地震活動の中で最大の震度を観測した地震や最大の津波を観測した地震など）にまとめて記載している。
（注８）情報発表に用いた震央地名は「千葉県北東部」である。

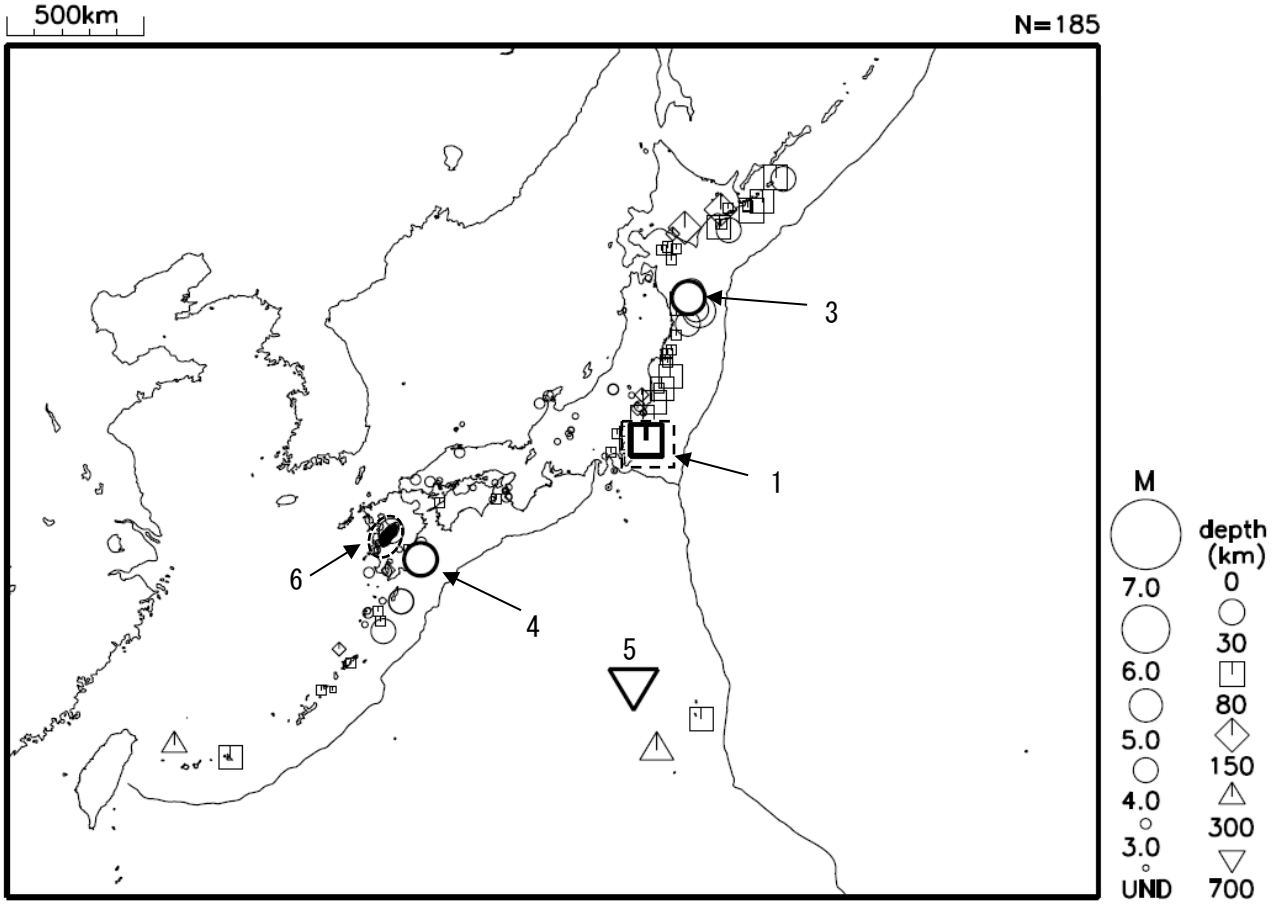


図２　令和８年 10 月に震度１以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

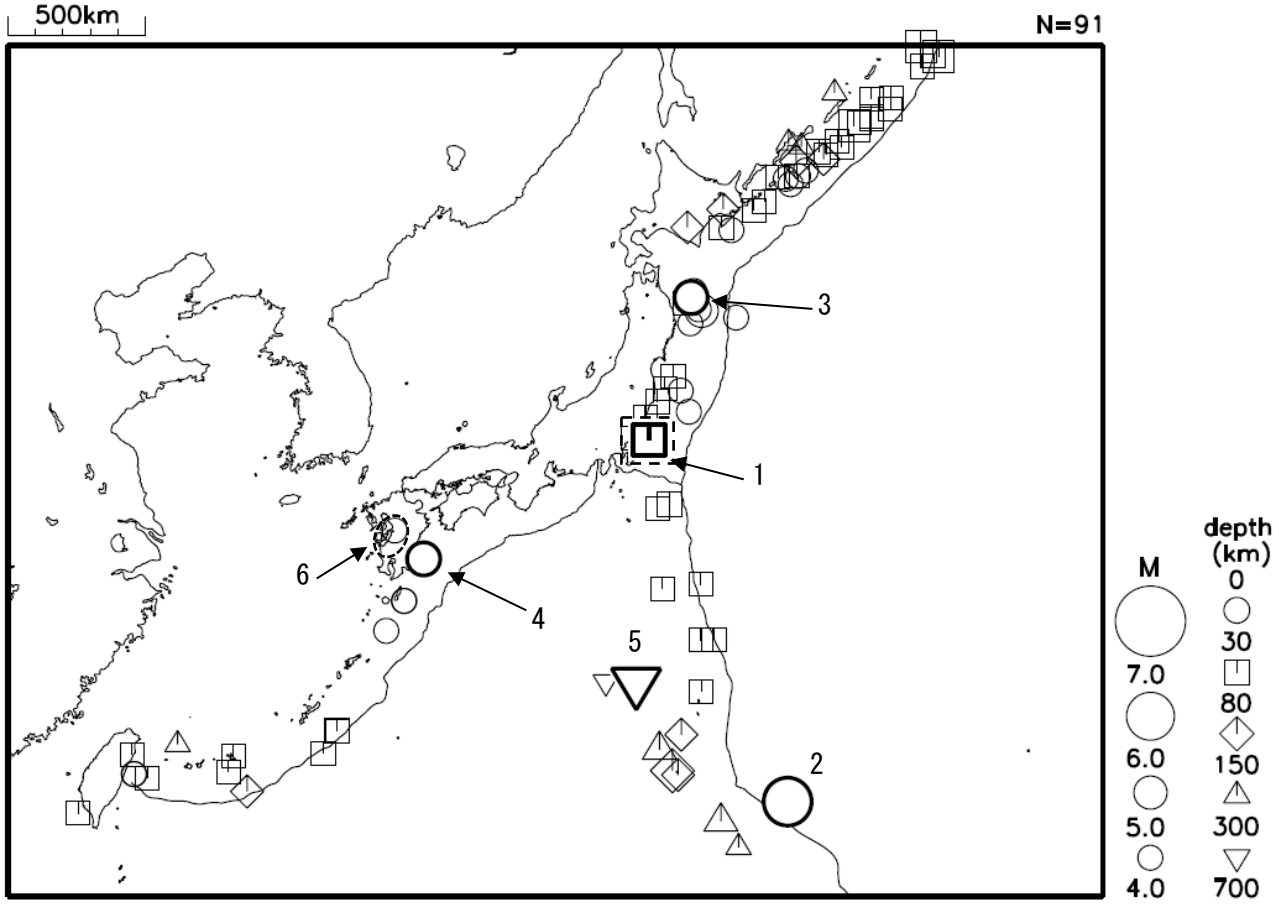
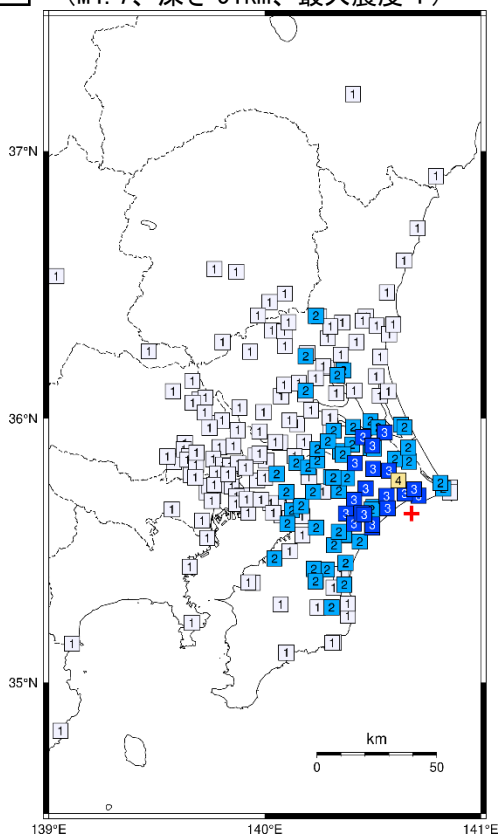


図３　令和８年 10 月に発生した M4.0 以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

1　10 月８日 04 時 13 分　千葉県東方沖
（M4.7、深さ 51km、最大震度４）

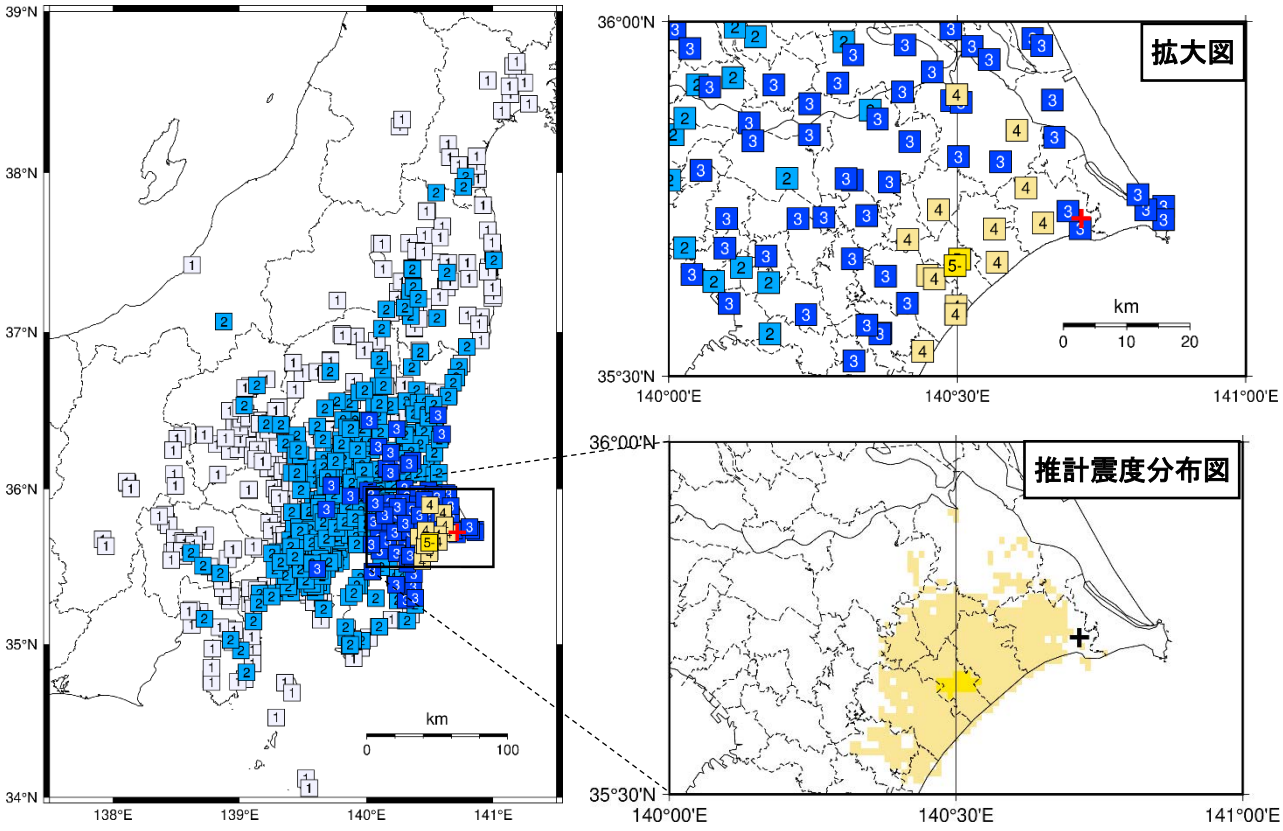


震度分布図
凡例
5- 震度５弱
4 震度４
3 震度３
2 震度２
1 震度１

推計震度分布図
凡例
震度５弱
震度４

＜推計震度分布図について＞
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより１階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が１階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

1　10 月 29 日 00 時 07 分　千葉県北東部
（M5.5、深さ 52km、最大震度５弱）



※本推計震度分布図は、地震発生当日に作成されたものである。

図４　震度分布図
（各図の左上の数字は表１、図２、図３の番号に対応する。赤の＋印又は黒の＋印は震央を示す）

※その他の地震の震度分布図については、気象庁 HP の震度データベース（https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php）をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

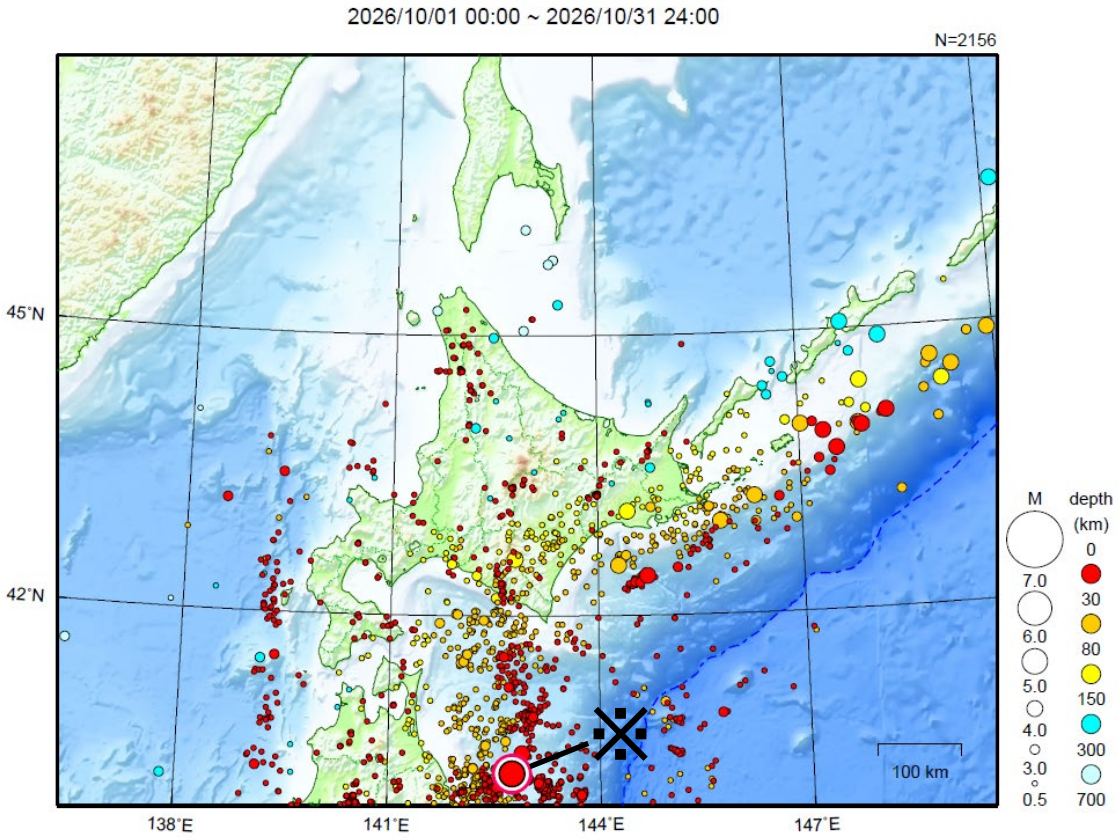


図５　北海道地方の震央分布図（2026 年 10 月１日～10 月 31 日、M≧0.5）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

［概況］

10 月に北海道地方で震度１以上を観測した地震は 20 回（９月は９回）であった。

10 月中、特に目立った活動はなかった。

※　東北地方の地震活動を参照（ｐ．６～９参照）。

○東北地方の地震活動

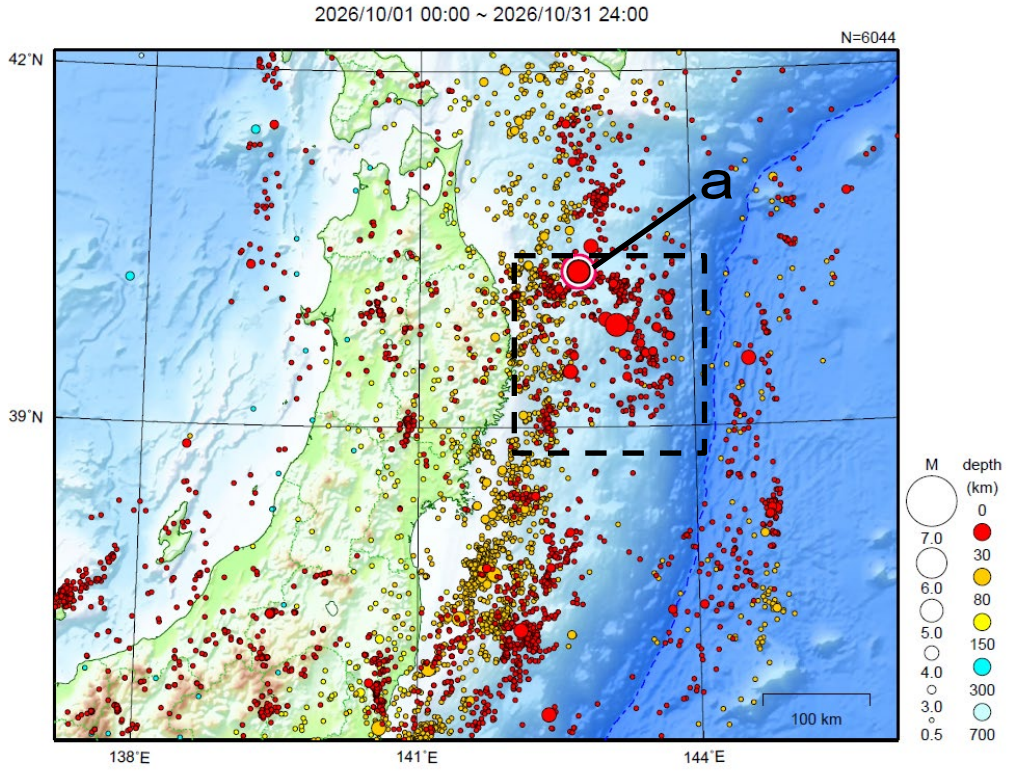


図６　東北地方の震央分布図（2026年10月１日～10月31日、M≧0.5）

地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

［概況］

10月に東北地方で震度１以上を観測した地震は35回（９月は39回）であった。

10月中の主な活動は次のとおりである。

a　24日01時07分に岩手県沖の深さ17kmでM5.1の地震が発生し、岩手県盛岡市で震度３を観測したほか、北海道と東北地方（福島県を除く）で震度２～１を観測した。2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動域（領域ａ）では、10月中に震度１以上を観測する地震が10回（震度３：１回、震度２：２回、震度１：７回）発生した（ｐ．７～９参照）。

10月24日 岩手県沖の地震

（2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動）

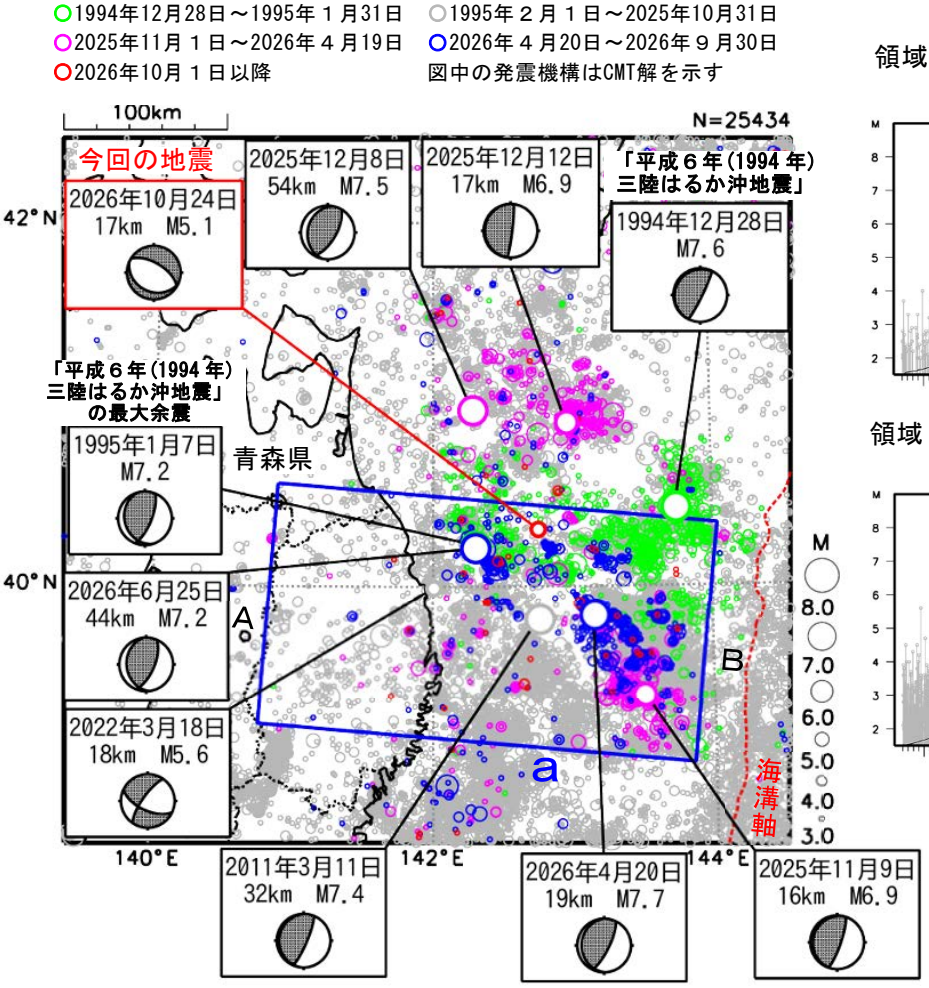
2026年10月24日01時07分に岩手県沖の深さ17kmでM5.1の地震（最大震度３）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北北東－南南西方向に張力軸を持つ正断層型で、陸のプレートの地殻内で発生した。

2020年９月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、2022年３月18日に深さ18kmでM5.6の地震（最大震度５強）が発生し、住家一部破損１棟の被害が発生している（被害は総務省消防庁による）。また、この領域ｂでは2026年4月20日のM7.7の地震（最大震度５強）の発生以降、地震活動が活発となっている。

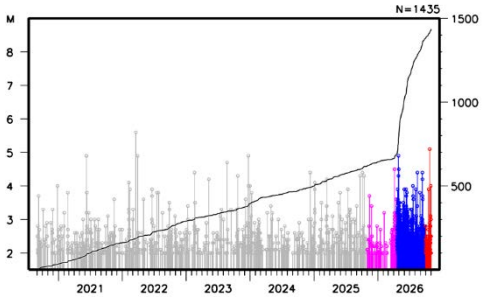
なお、今回の地震の震源周辺（領域ｃ）では、2025年11月９日にM6.9の地震（最大震度４）、2026年４月20日にM7.7の地震（最大震度５強）、同年６月25日にM7.2の地震（最大震度６強）など規模の大きな地震が相次いで発生しており、活発な地震活動が継続している。

1994年12月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、1995年１月７日にM7.2の地震（最大震度５、「平成６年（1994年）三陸はるか沖地震」の最大余震）が発生している。

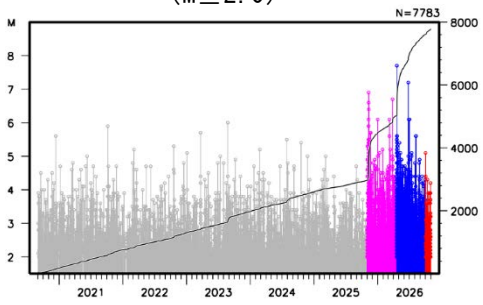
震央分布図
（1994年12月28日～2026年10月31日、深さ０～140km、M≧3.0）



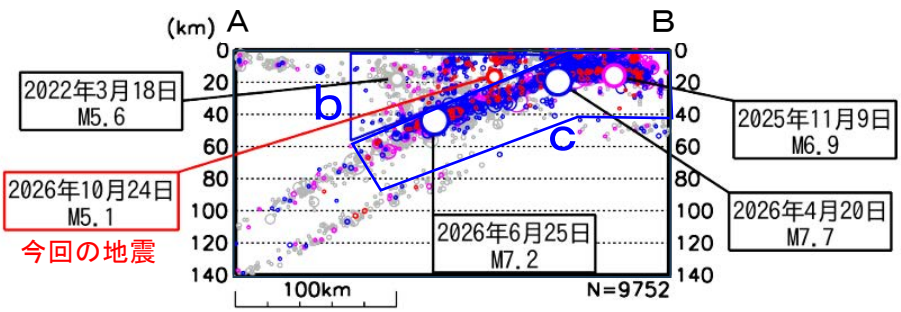
領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図
（M≧2.0）



領域ｃ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図
（M≧2.0）



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）
（2020 年９月１日～2026 年 10 月 31 日、M≧2.0）

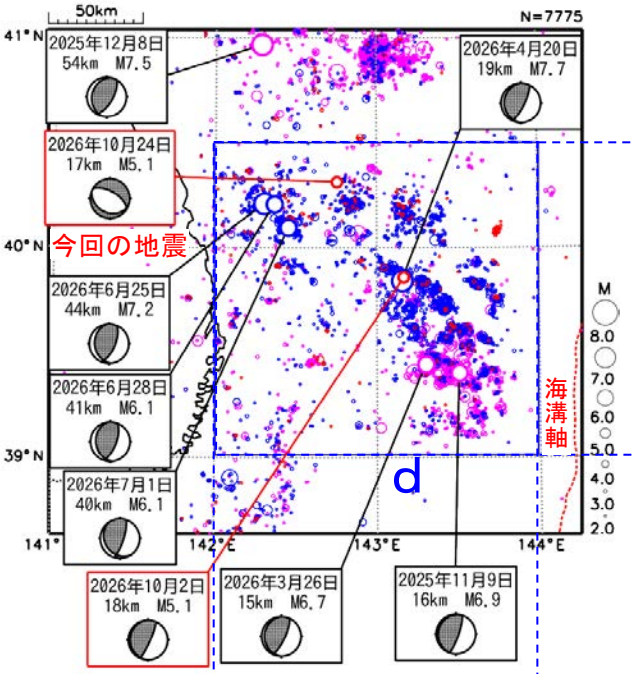


2025年11月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域ｄ）では、2026年４月20日に発生したM7.7の地震以降、地震活動域が北西側に広がり、６月25日のM7.2の地震、今回のM5.1の地震が発生するなど、地震活動は活発な状態が続いている。

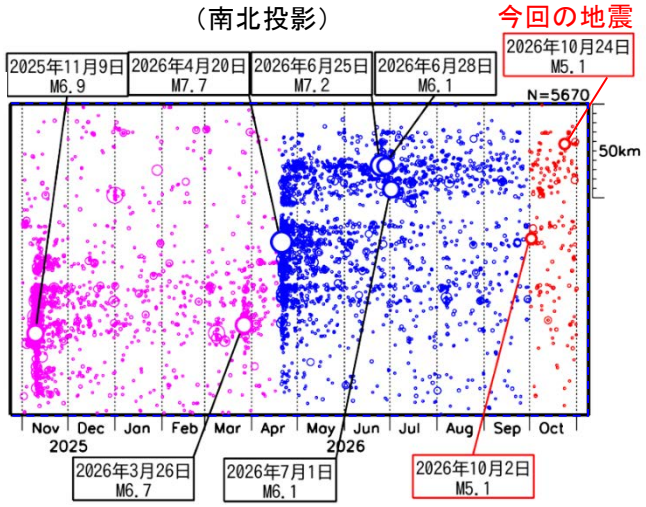
領域ｄでは、2026年10月１日から31日までに震度１以上を観測する地震が10回（震度３：１回、震度２：２回、震度１：７回）発生した。

震央分布図及び領域ｄ内の時空間分布図
（2025年11月１日～2026年10月31日、
深さ０～80km、M≧2.0）

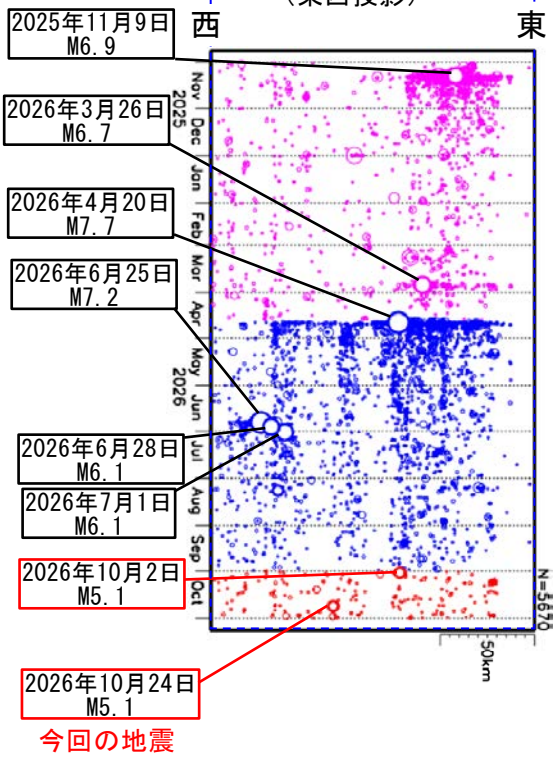
○2025年11月１日～2026年４月19日　○2026年４月20日～2026年９月30日
○2026年10月１日以降　図中の発震機構はCMT解を示す



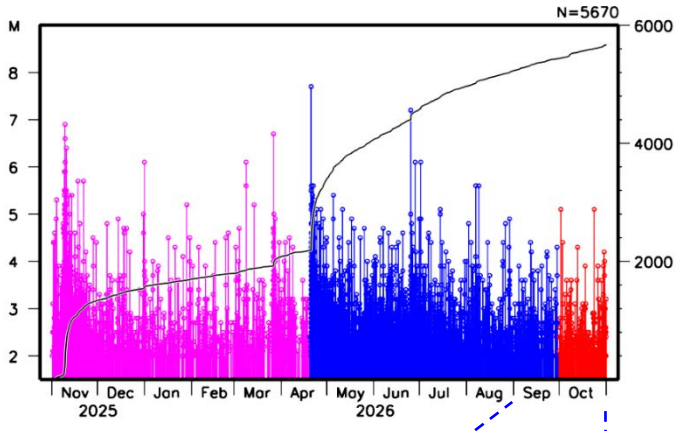
（南北投影）

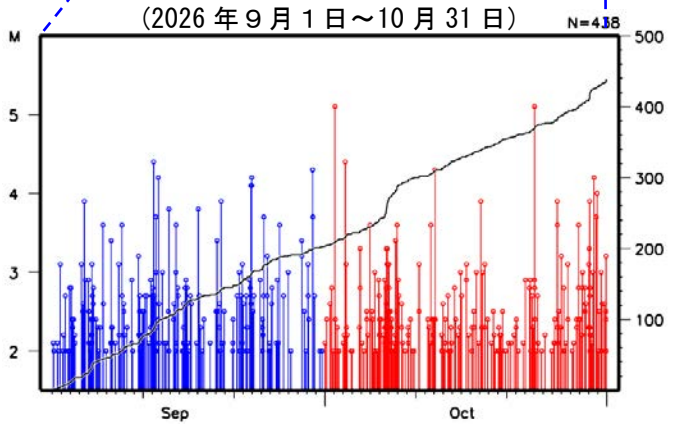


（東西投影）



領域ｄ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図

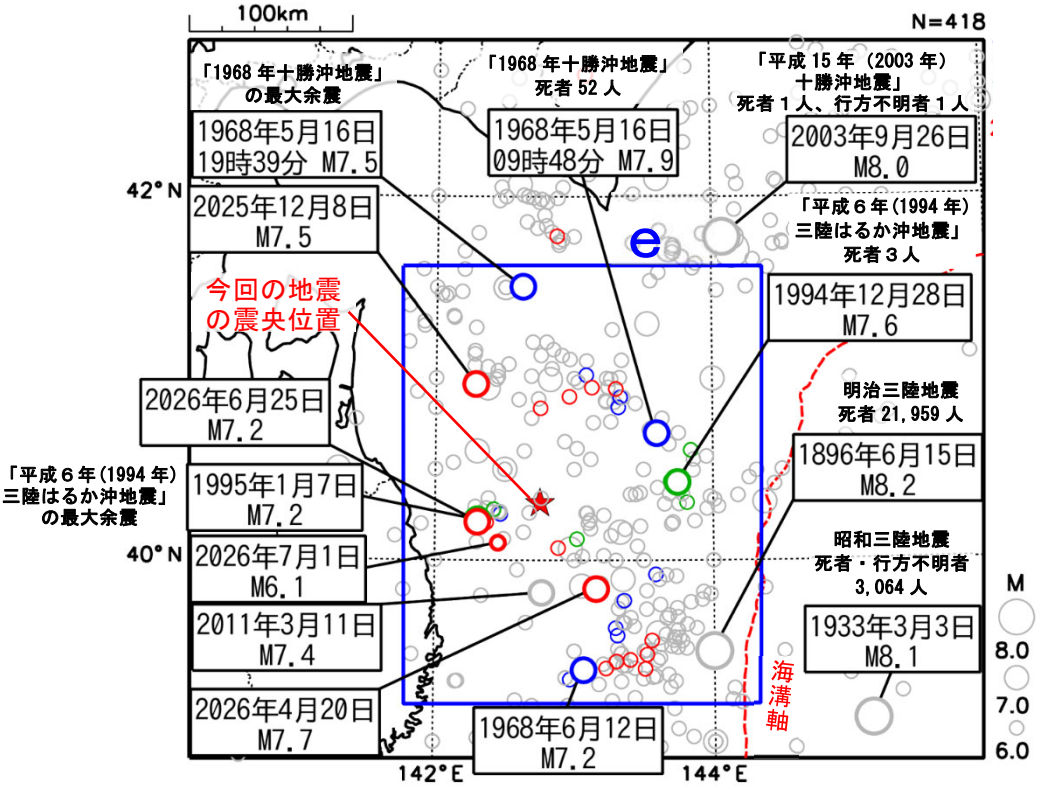




1885年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｅ）は、Ｍ７を超える大規模な地震や、それに伴う津波が度々発生しており、地震活動が活発な領域である。1896年６月15日には、M8.2の地震（明治三陸地震）に伴う大規模な津波が発生し、死者21,959人に上るなど、甚大な被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

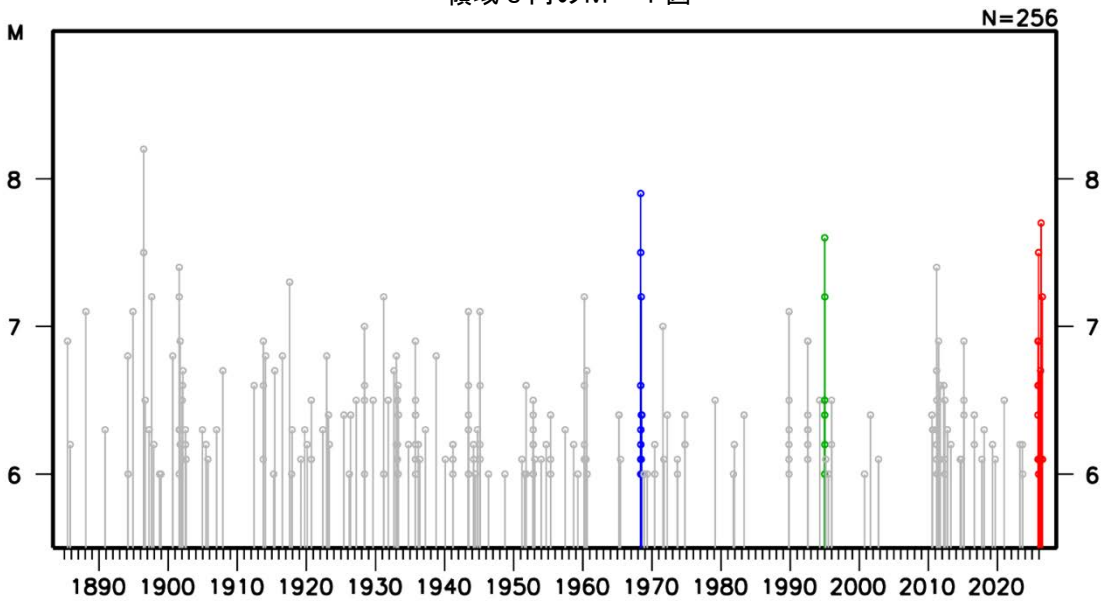
震央分布図
（1885年１月１日～2026年10月31日、
深さ０～100km、M≧6.0）

○1968年５月16日～1968年７月31日　○1994年12月28日～1995年１月31日　○2025年11月１日以降
○上記以外の期間



震源要素は、1885～1918年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982、1985）による※１。
被害は、「日本被害地震総覧」による。

領域ｅ内のＭ－Ｔ図

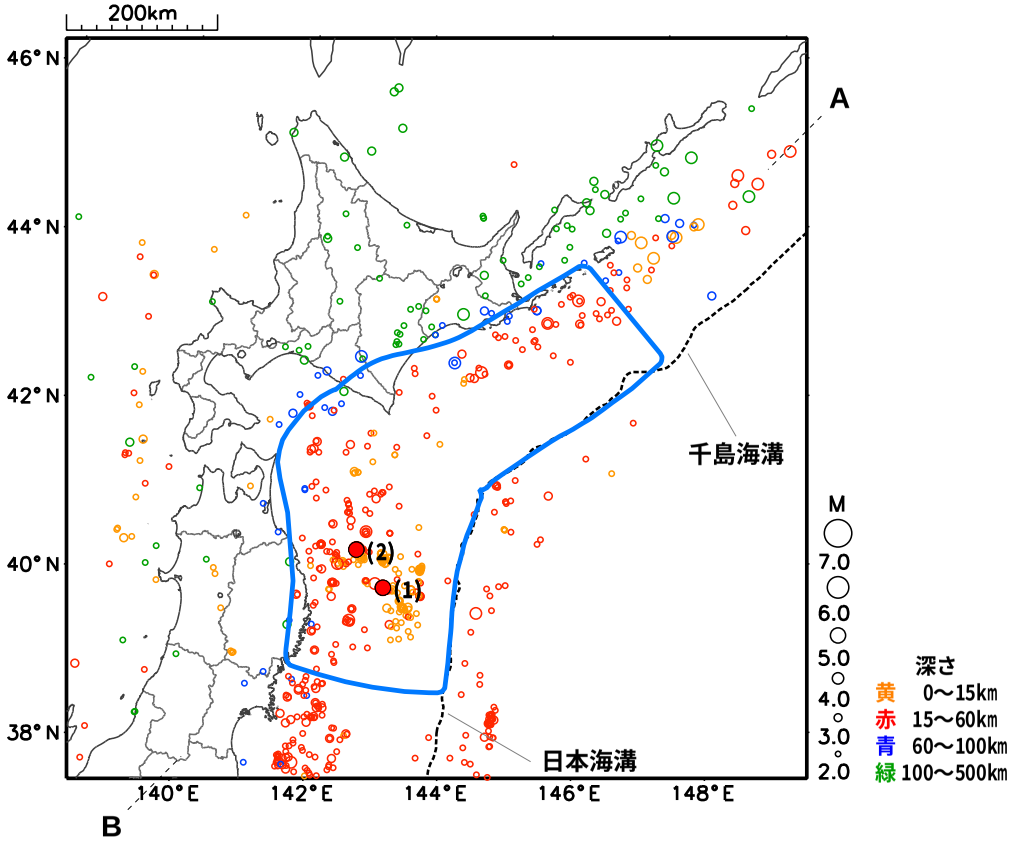


※１宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年，震研彙報，57，401-463，1982.
宇津徳治，日本付近のM6.0以上の地震及び被害地震の表：1885年～1980年（訂正と追加），震研彙報，60，639-642，1985.
茅野一郎・宇津徳治，日本の主な地震の表，「地震の事典」第２版，朝倉書店，2001，657pp.

最近の千島海溝・日本海溝周辺の地震活動

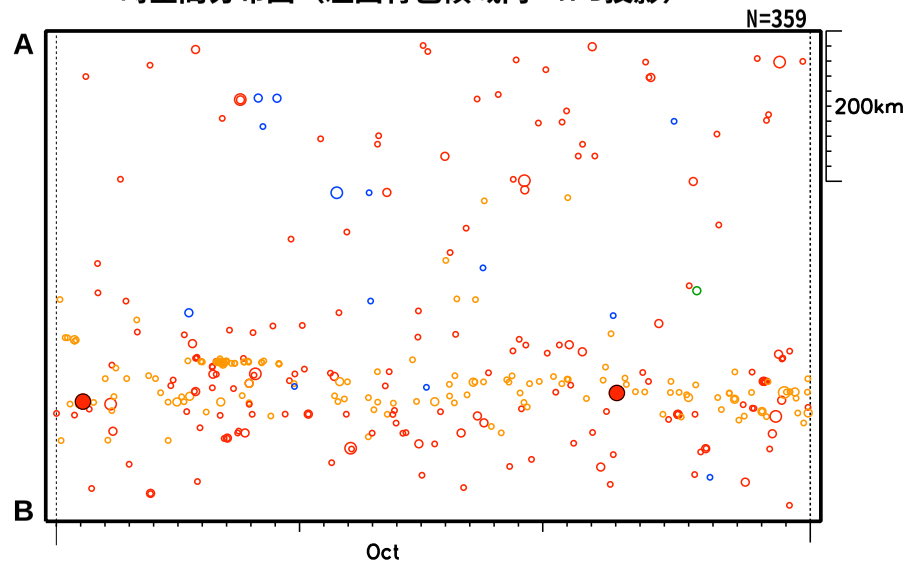
2026年10月1日～10月31日

震央分布図（2026年10月1日～10月31日、M≧2.0、深さ0～500km）

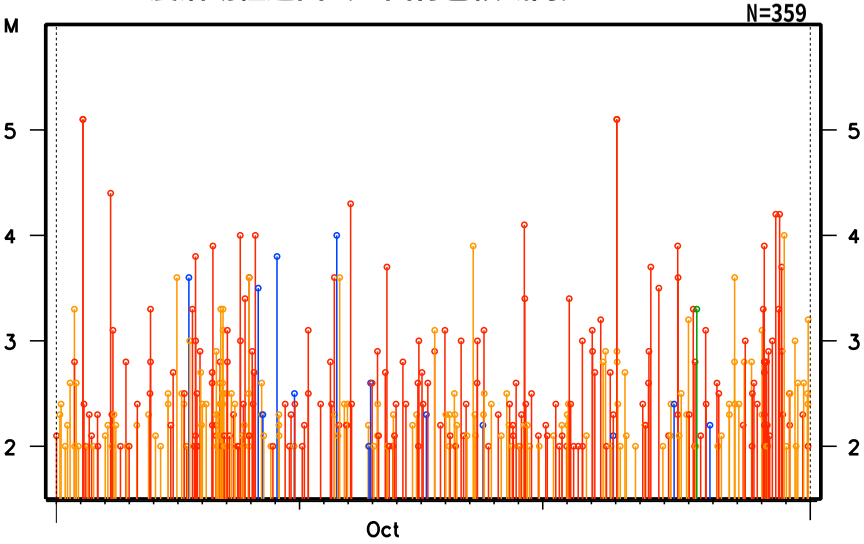


青の実線は千島海溝・日本海溝沿いの巨大地震の想定震源域のうちの「十勝・根室沖」及び「日高・三陸沖」の領域です。
震源時、震央地名、マグニチュード等は、再調査により修正することがあります。

時空間分布図（左図青色領域内：A-B投影）



地震活動経過図（左図青色領域内）



[主な地震活動]

・上図青色領域内で発生したM5.0以上の地震（最大５つ）
・近接して発生した地震については、最大規模の地震のみ記載

●(1) 10月02日 02時17分 M5.1 最大震度２ 三陸沖
●(2) 10月24日 01時07分 M5.1 最大震度３ 岩手県沖

○関東・中部地方の地震活動

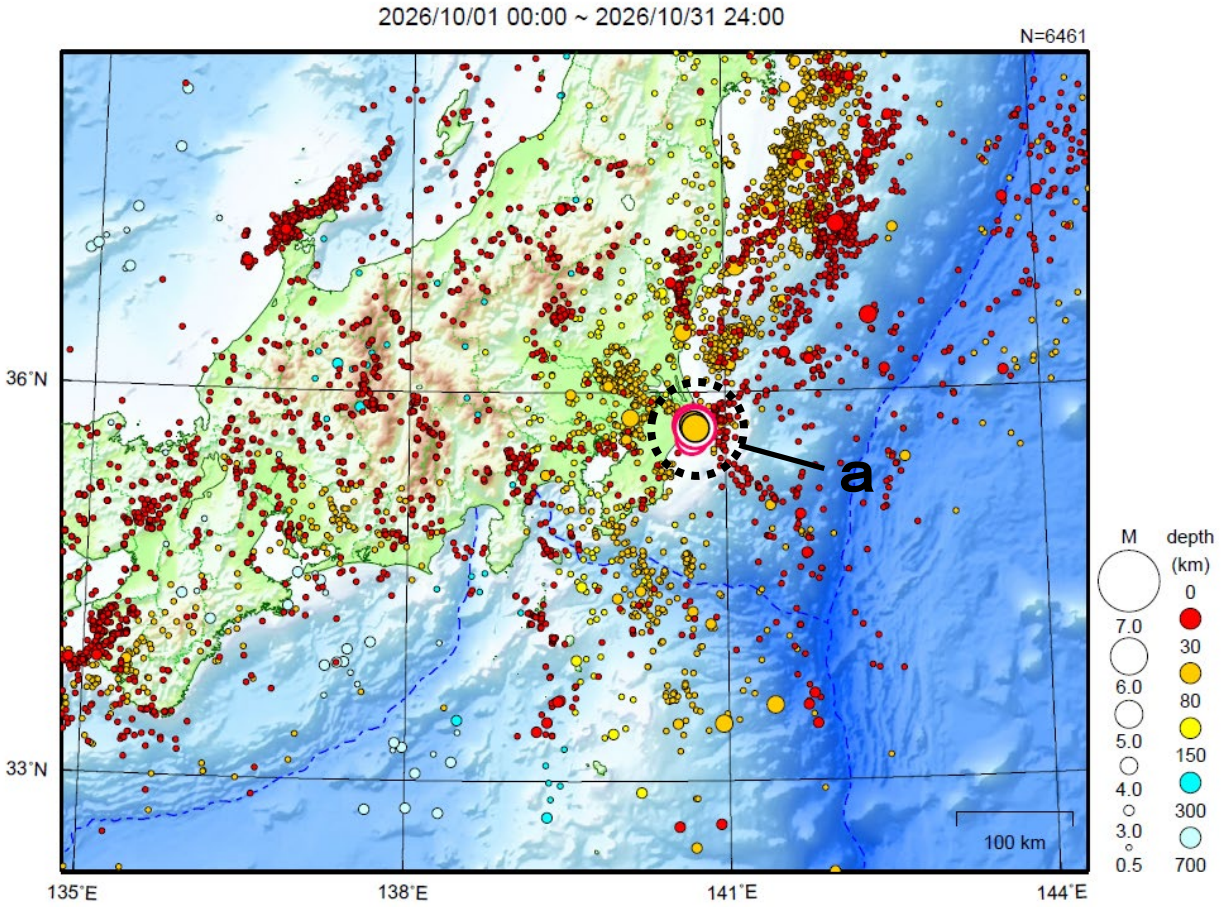


図７　関東・中部地方の震央分布図（2026 年 10 月１日～10 月 31 日、M≧0.5）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

［概況］

10 月に関東・中部地方で震度１以上を観測した地震は 43 回（９月は 33 回）であった。

10 月中の主な活動は次のとおりである。

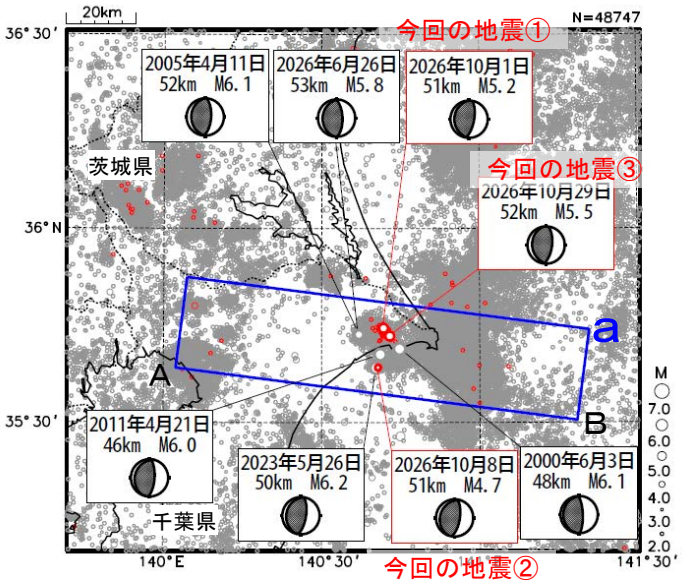
a　１日 21 時 27 分に千葉県北東部の深さ 51km で M5.2 の地震が発生し、千葉県及び茨城県で震度３を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度２～１を観測した。また、８日 04 時 13 分に近傍の千葉県東方沖の深さ 51km で M4.7 の地震が発生し、千葉県で震度４を観測したほか、関東地方、福島県及び静岡県で震度３～１を観測した。その後、29 日 00 時 07 分に千葉県北東部の深さ 52km で M5.5 の地震が発生し、千葉県で震度５弱を観測したほか、東北地方から中部地方にかけて震度４～１を観測した。これらの地震の震央付近では、10 月中に震度１以上を観測する地震が 11 回（震度５弱：１回、震度４：１回、震度３：１回、震度２：４回、震度１：４回）発生した（ｐ．４、12、13 参照）。

８日 04 時 13 分に発生した M4.7 の地震の情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北東部〕である。

千葉県北東部から千葉県東方沖にかけての地震活動

10 月８日に発生した M4.7 の地震の情報発表に用いた震央地名は〔千葉県北東部〕である。

震央分布図
（1997 年 10 月１日～2026 年 10 月 31 日、
深さ０～120km、M≧2.0）
2026 年 10 月の地震を赤色で表示

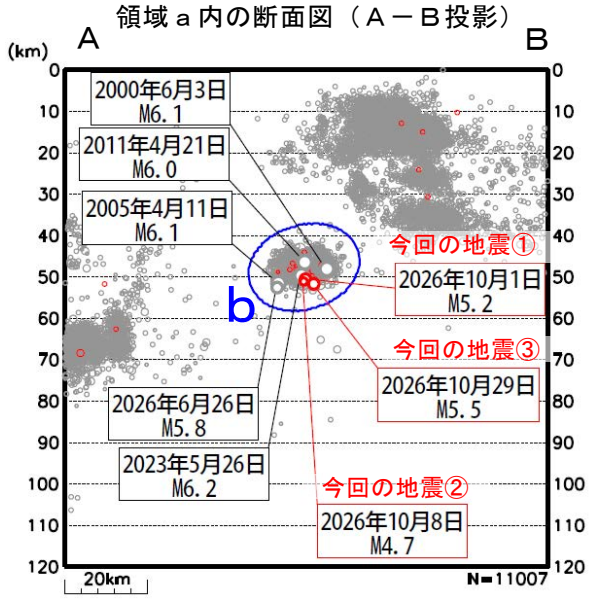


2026 年 10 月１日 21 時 27 分に千葉県北東部の深さ 51km で M5.2 の地震（①、最大震度３）が、10 月８日 04 時 13 分に千葉県東方沖の深さ 51km で M4.7 の地震（②、最大震度４）が、また、10 月 29 日 00 時 07 分に千葉県北東部の深さ 52km で M5.5 の地震（③、最大震度５弱）が発生した。これらの地震は、発震機構が東西または西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した。

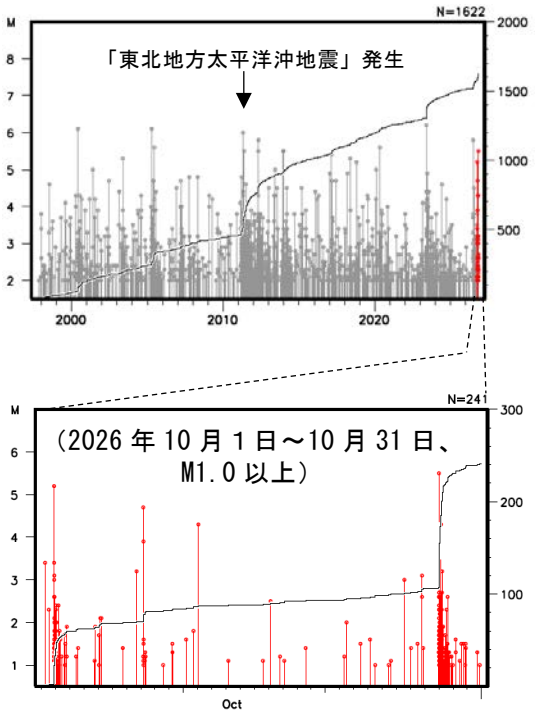
これらの地震の震源付近では、10 月中に震度１以上を観測する地震が 11 回（震度５弱：１回、震度４：１回、震度３：１回、震度２：４回、震度１：４回）発生した。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）はＭ５以上の地震が時々発生しており、「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」（以下、「東北地方太平洋沖地震」）発生以降、より活発になっている。2005 年４月 11 日には M6.1 の地震（最大震度５強）が発生し、負傷者１人などの被害が生じた（被害は総務庁消防庁による）。

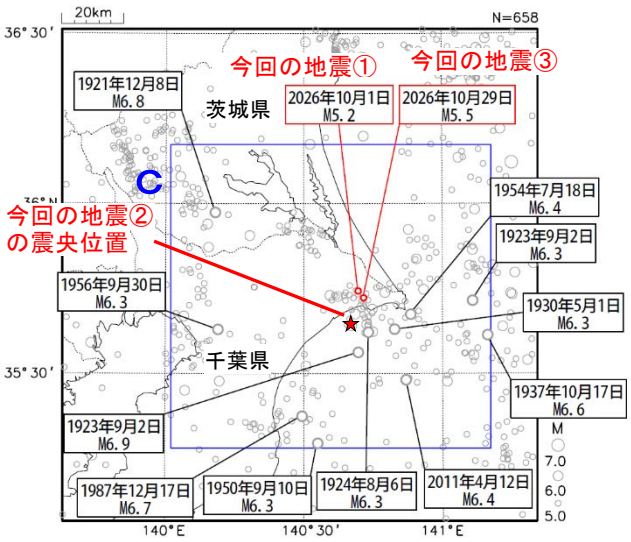
領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図

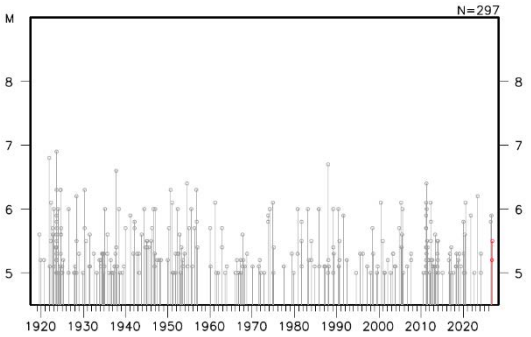


震央分布図
（1919 年１月１日～2026 年 10 月 31 日、
深さ０～120km、M≧5.0）
2026 年 10 月の地震を赤色で表示



1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。

領域ｃ内のＭ－Ｔ図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

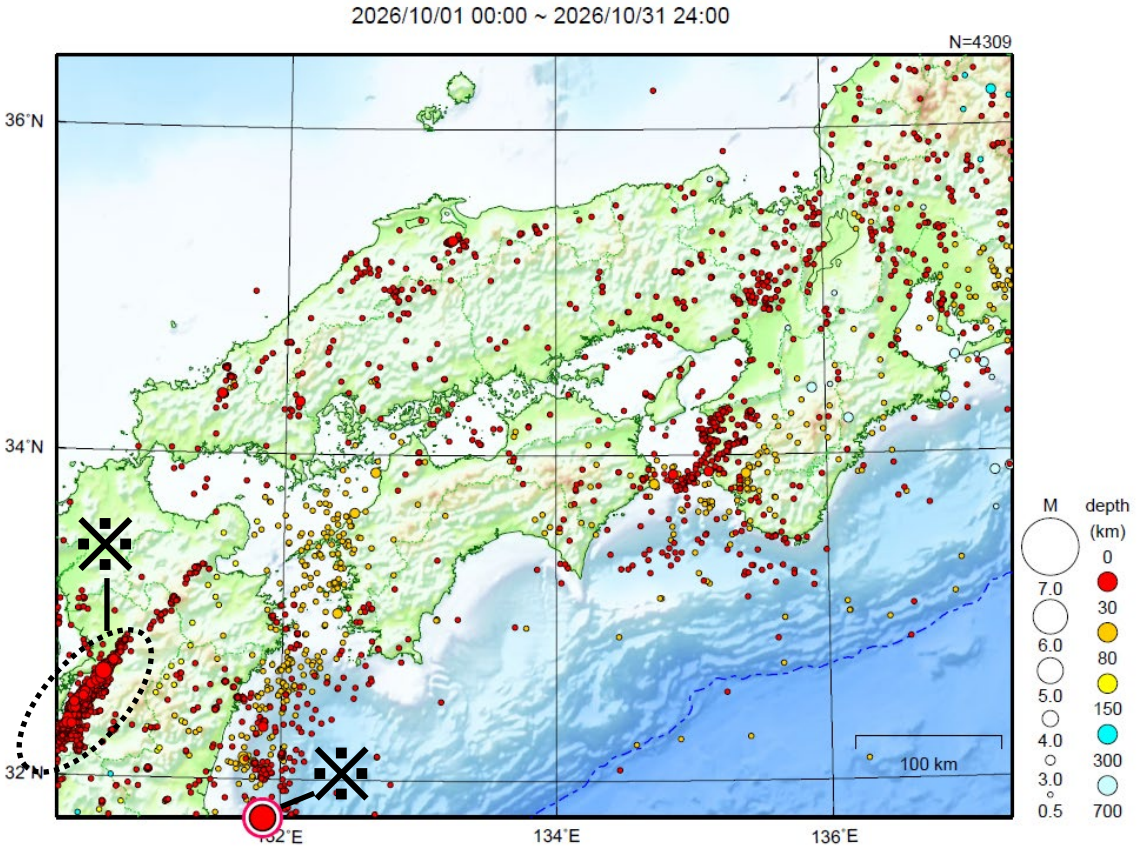


図８　近畿・中国・四国地方の震央分布図（2026 年 10 月１日～10 月 31 日、M≧0.5）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

［概況］

10 月に近畿・中国・四国地方で震度１以上を観測した地震は 16 回（９月は７回）であった。

10 月中、特に目立った活動はなかった。

※　九州地方の地震活動を参照（ｐ．　15～19　参照）。

○九州地方の地震活動

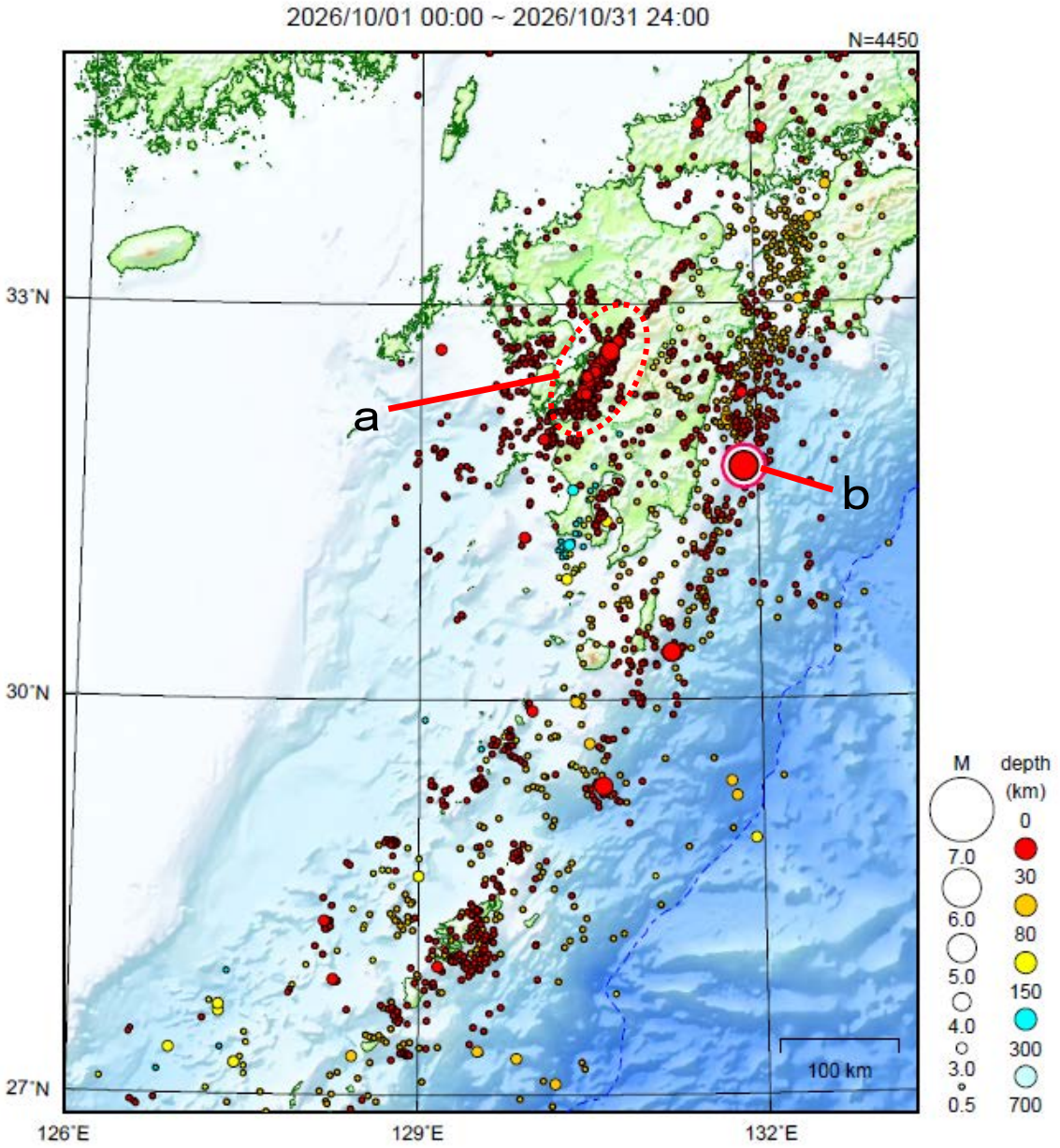


図９　九州地方の震央分布図（2026 年 10 月 1 日～10 月 31 日、M≧0.5）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

［概況］

10 月に九州地方で震度１以上を観測した地震は 89 回（９月は 97 回）であった。

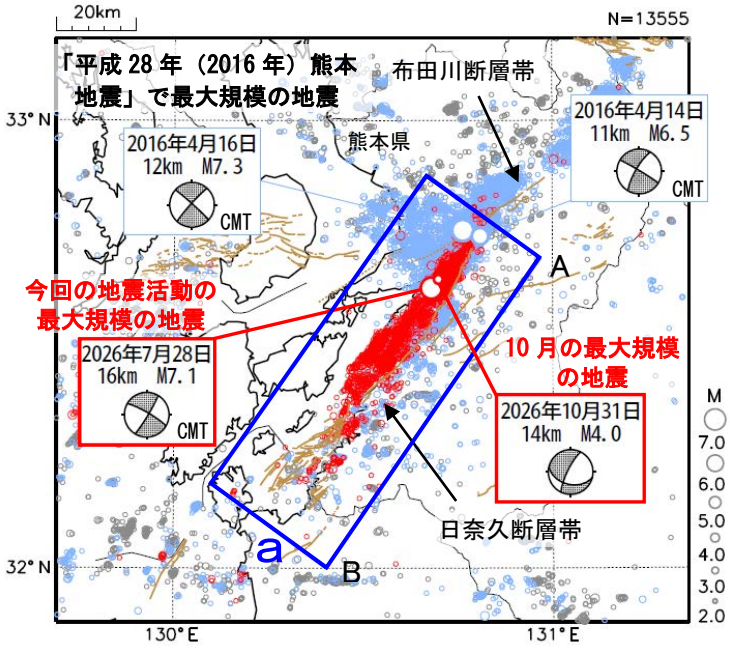
10 月中の主な活動は次のとおりである。

a　「令和８年熊本地震」の地震活動は、地震の発生数は平常時と比べて多い状態が継続しているが、大局的には緩やかに減少している。10 月中に震度１以上を観測した地震が 66 回（震度３：３回、震度２：19 回、震度１：44 回）発生した。このうち最大規模の地震は、31 日 01 時 45 分に発生した M4.0 の地震（深さ 14km）で、熊本県で震度３を観測したほか、九州地方で震度２～１を観測した（ｐ．16～18 参照）。

b　25 日 08 時 59 分に日向灘の深さ７km で M5.2 の地震が発生し、宮崎県、鹿児島県、熊本県で震度３を観測したほか、九州地方、中国地方、四国地方で震度２～１を観測した（ｐ．19 参照）。

「令和８年熊本地震」の地震活動

震央分布図
（2000 年 10 月 1 日～2026 年 10 月 31 日
深さ０～20km、M≧2.0）
2016 年４月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○
2016 年４月 14 日 21 時以降の地震を水色○、
2026 年７月 28 日 16 時以降の地震を赤色○で表示
茶色の実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による
活断層を示す



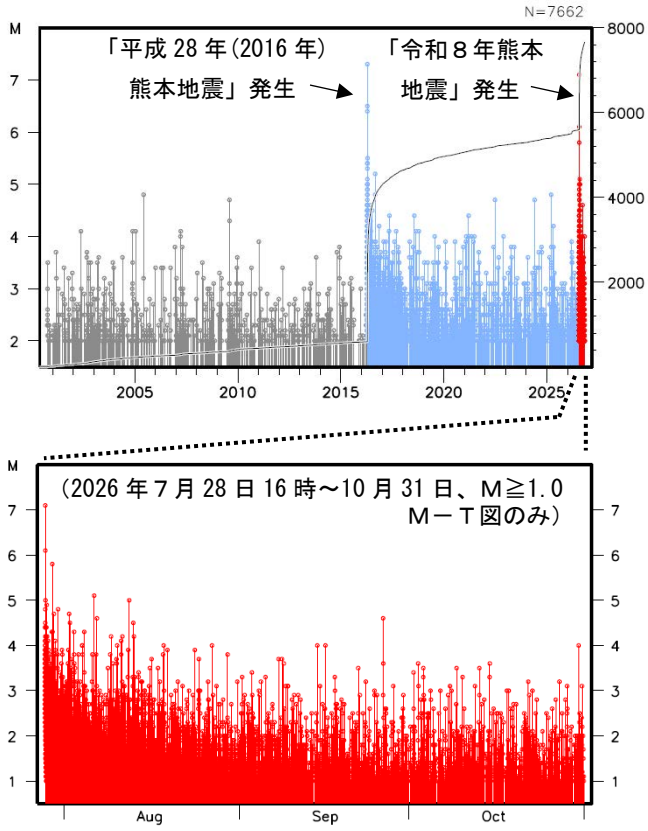
「令和８年熊本地震」の地震活動は、地震の発生数は平常時と比べて多い状態が継続しているが、大局的には緩やかに減少している。

10月中に震度１以上を観測した地震は、66回（震度３：３回、震度２：19回、震度１：44回）発生した。このうち最大規模の地震は、31日01時45分に発生したM4.0の地震（深さ14km、最大震度３）である。この地震は地殻内で発生した。発震機構は北北西－南南東方向に張力軸を持つ型である。

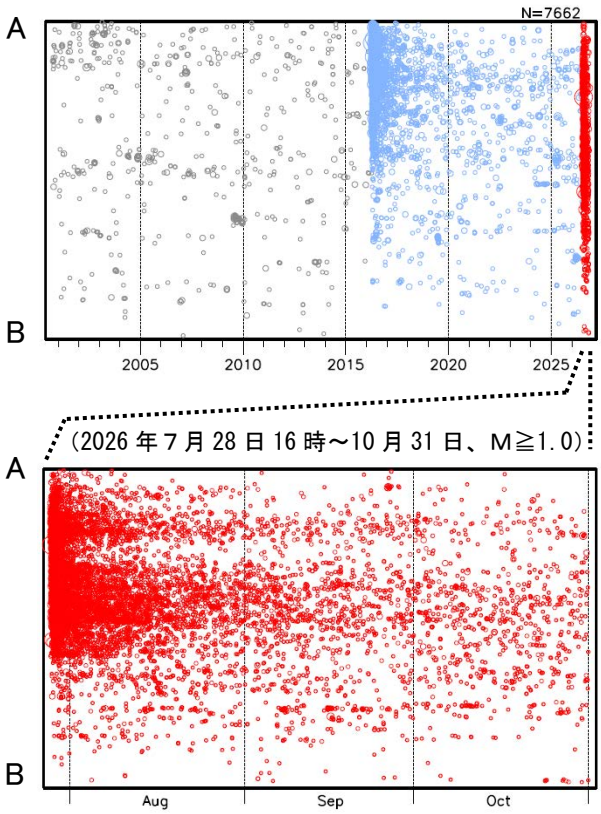
今回の地震活動により、死者38人（災害関連死の可能性がある死者を含む）、負傷者376人、住家全壊2,408棟、半壊7,802棟などの被害が生じた（被害は2026年10月５日12時00分現在、総務省消防庁による）。

2000年10月以降の活動を見ると、今回の地震活動域の周辺（領域ａ）では「平成28年（2016年）熊本地震」が発生している。「平成28年（2016年）熊本地震」では、熊本県で死者275人、大分県で死者３人などの被害が生じた（熊本県は2025年４月11日現在、熊本県による、その他は2019年４月12日現在、総務省消防庁による）。

領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ａ内の時空間分布図（Ａ－Ｂ投影）

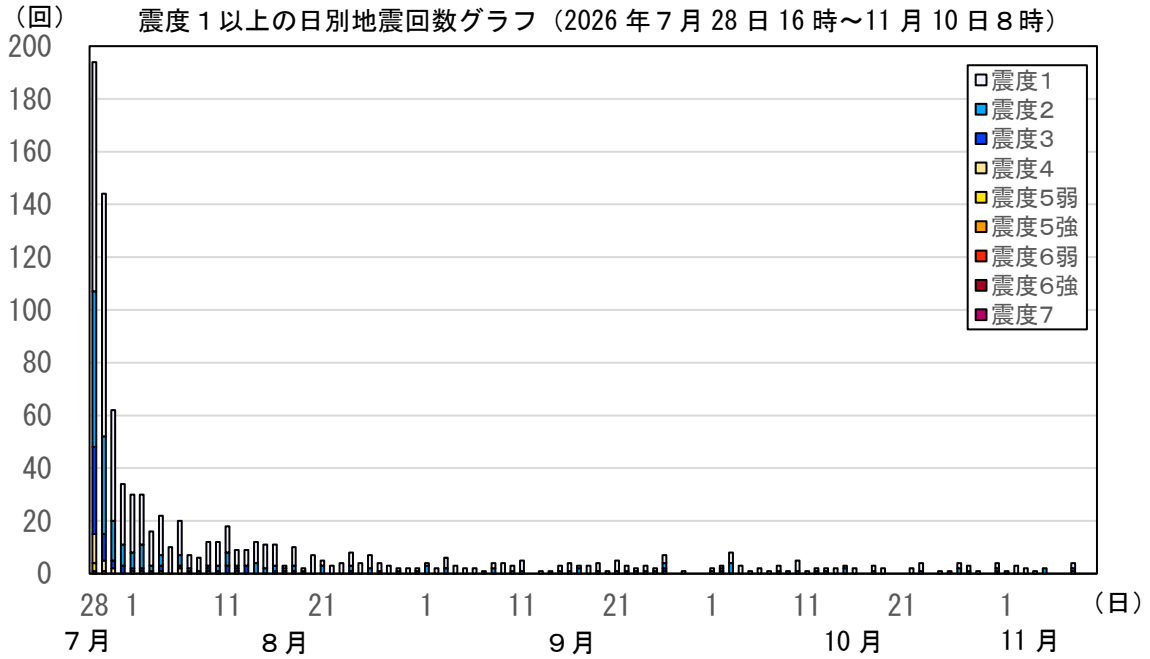


「令和８年熊本地震」の最大震度別地震回数表（11 月 10 日 08 時時点）

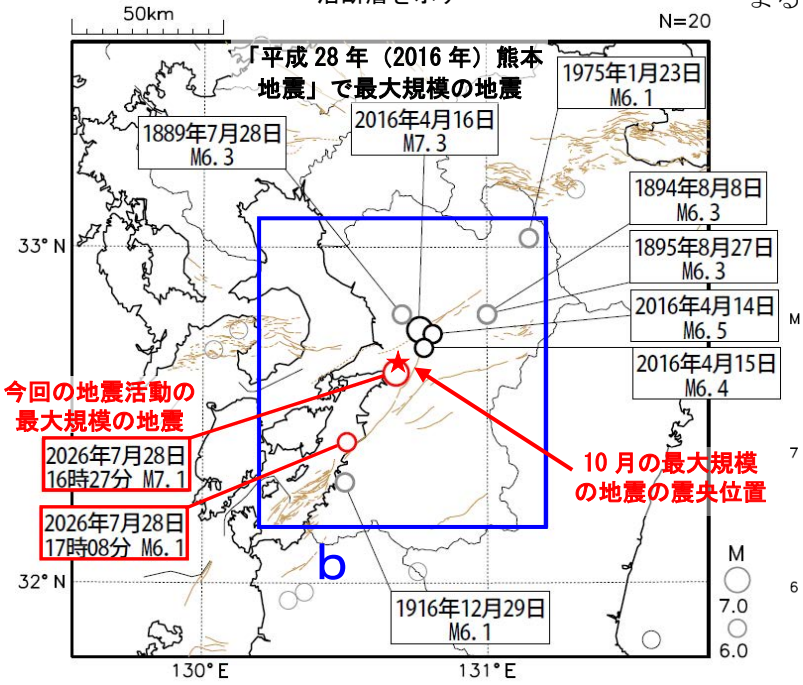
期間	最大震度別回数									合計	累計
	震度1	震度2	震度3	震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7		
7月28日-31日	244	119	49	17	4	0	0	0	1	434	434
8月1日-31日	216	56	22	6	1	0	0	0	0	301	735
9月1日-30日	54	19	4	2	0	0	0	0	0	79	814
10月1日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	816
10月2日	1	1	1	0	0	0	0	0	0	3	819
10月3日	4	4	0	0	0	0	0	0	0	8	827
10月4日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	830
10月5日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	831
10月6日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	833
10月7日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	834
10月8日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	837
10月9日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	838
10月10日	4	1	0	0	0	0	0	0	0	5	843
10月11日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	844
10月12日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	846
10月13日	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	848
10月14日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	850
10月15日	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3	853
10月16日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	855
10月17日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	855
10月18日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	858
10月19日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	860
10月20日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	860
10月21日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	860
10月22日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	862
10月23日	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	866
10月24日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	866
10月25日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	867
10月26日	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	868
10月27日	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4	872
10月28日	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	875
10月29日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	876
10月30日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	876
10月31日	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	880
11月1日	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	881
11月2日	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	884
11月3日	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	886
11月4日	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	887
11月5日	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	889
11月6日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	889
11月7日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	889
11月8日	2	1	0	1	0	0	0	0	0	4	893
11月9日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	893
11月10日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	893
合計	566	217	78	26	5	0	0	0	1		893

※この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがある。

震度１以上の日別地震回数グラフ（2026 年７月 28 日 16 時～11 月 10 日８時）



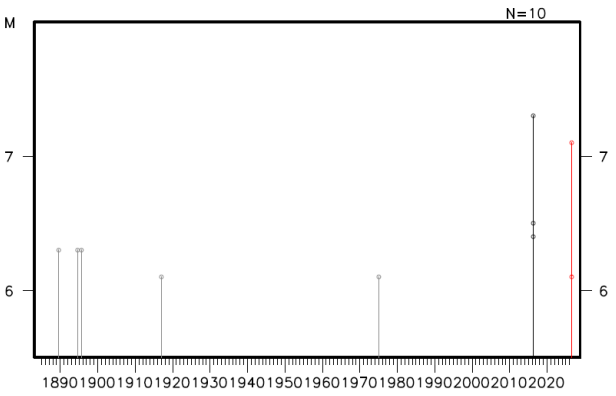
震央分布図
（1885 年１月１日～2026 年 10 月 31 日、
深さ０～50km、M≧6.0）
2016 年４月 14 日 21 時より前に発生した地震を灰色○
2016 年４月 14 日 21 時以降に発生した地震を黒色○、
2026 年７月 28 日 16 時以降に発生した地震を赤色○で表示
茶色の実線は、地震調査研究推進本部の長期評価による
活断層を示す



（震源要素は、1885 年～1918 年は茅野・宇津（2001）、宇津（1982, 1985）による※）

1885 年以降の活動をみると、今回の地震活動域の周辺（領域ｂ）では M6.0 以上の地震が今回の地震活動を含めて 10 回発生している。1889 年７月 28 日に発生した M6.3 の地震により、死者 19 人、負傷者 53 人、家屋全倒 234 棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

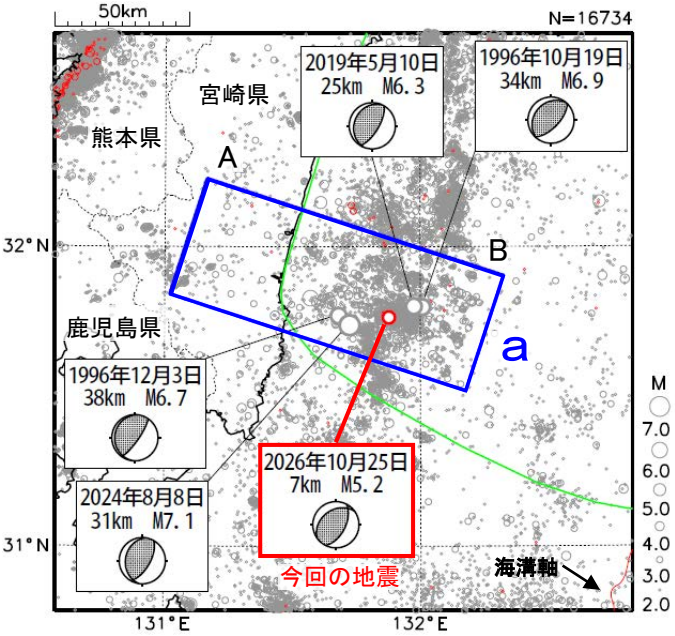
領域ｂ内のＭ－Ｔ図



※宇津徳治（1982）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年, 震研彙報, 57, 401-463.
宇津徳治（1985）：日本付近の M6.0 以上の地震および被害地震の表：1885 年～1980 年（訂正と追加）, 震研彙報, 60, 639-642.
茅野一郎・宇津徳治（2001）：日本の主な地震の表,「地震の事典」第２版, 朝倉書店, 657pp.

10 月 25 日　日向灘の地震

震央分布図
（1994 年 10 月 1 日～2026 年 10 月 31 日
深さ 0～80km、M≧2.0）
2026 年 10 月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構は CMT 解
緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す

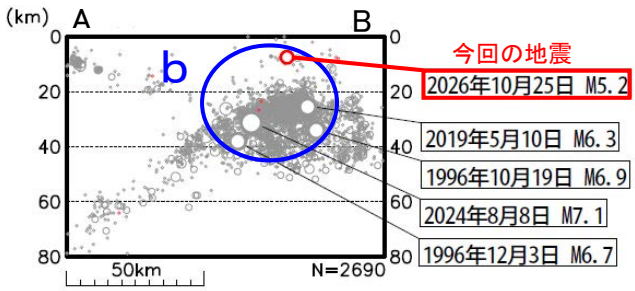


2026年10月25日08時59分に日向灘の深さ７kmでM5.2の地震（最大震度３）が発生した。この地震は発震機構（CMT解）が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

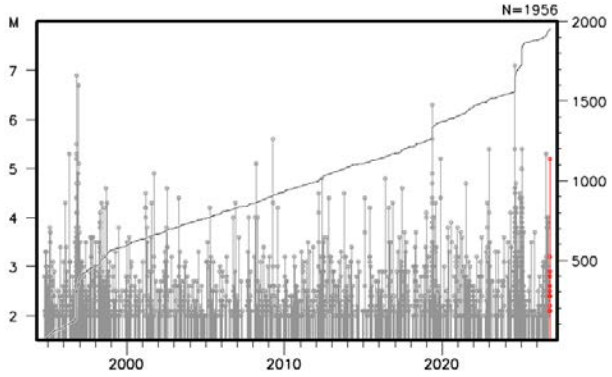
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）ではM6.0以上の地震が４回発生している。2019年５月10日にM6.3の地震（最大震度５弱）が発生し、負傷者３人の被害が生じた（被害は2020年９月30日現在、総務省消防庁による）。また、2024年８月８日にM7.1の地震（最大震度６弱）が発生し、宮崎県の宮崎港（国土交通省港湾局）で最大51cmの津波を観測したほか、千葉県から鹿児島県にかけて津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）ではM7.0以上の地震が４回発生している。1961年２月27日に発生したM7.0の地震により、高知県の土佐清水で95cm、宮崎県の油津で90cm（いずれも全振幅）などの津波を観測した（「日本被害津波総覧」による）。

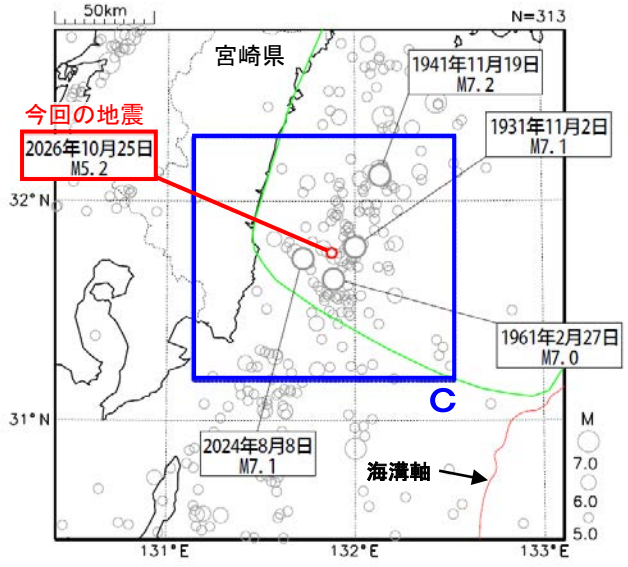
領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



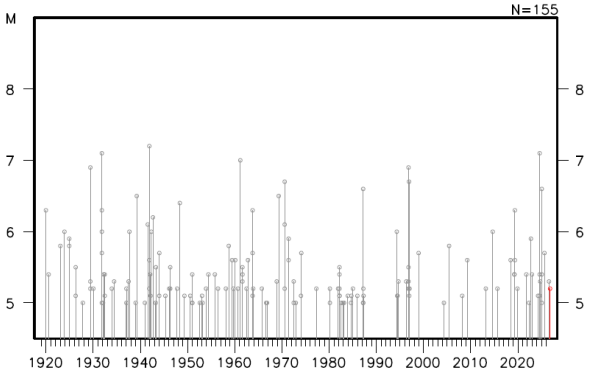
領域ｂ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日、
深さ 0～100km、M≧5.0）
2026 年 10 月の地震を赤色○で表示
緑色の実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す



領域ｃ内のＭ－Ｔ図



○沖縄地方の地震活動

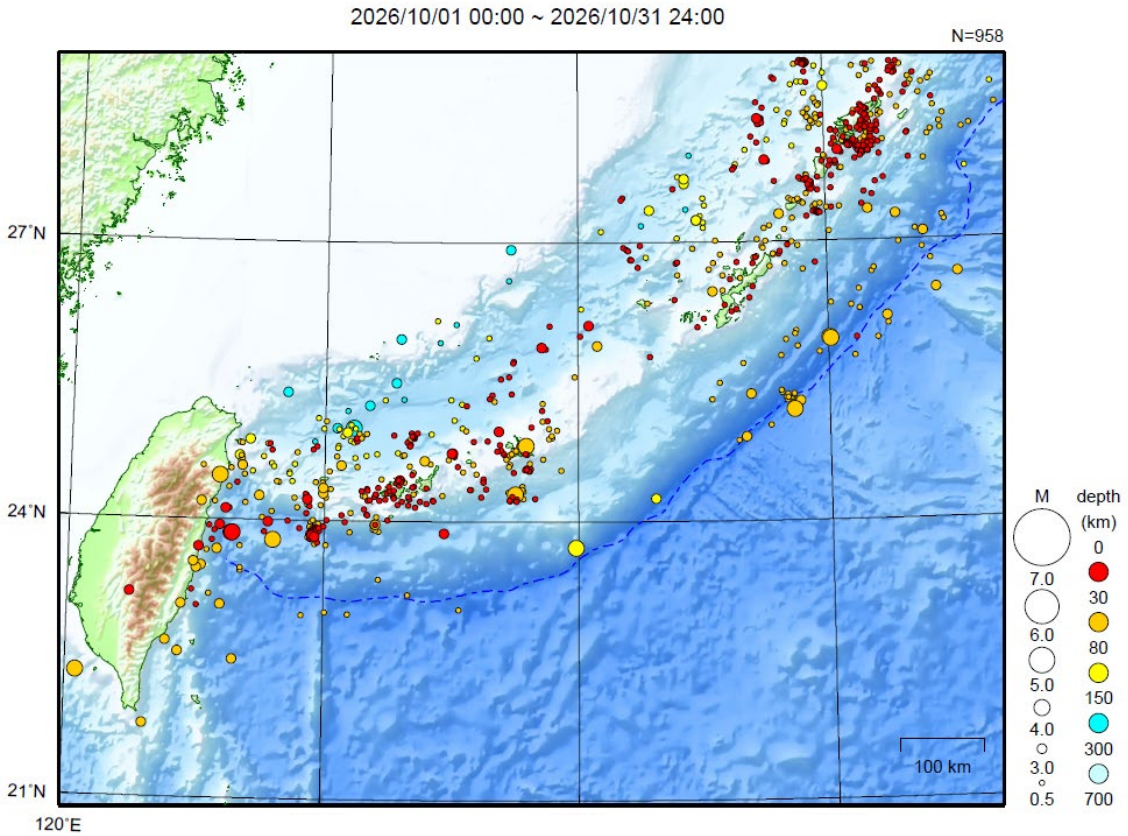


図 10　沖縄地方の震央分布図（2026 年 10 月 1 日～10 月 31 日、M≧0.5）

地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

［概況］

10 月に沖縄地方で震度１以上を観測した地震は２回（９月は６回）であった。

10 月中、特に目立った地震活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

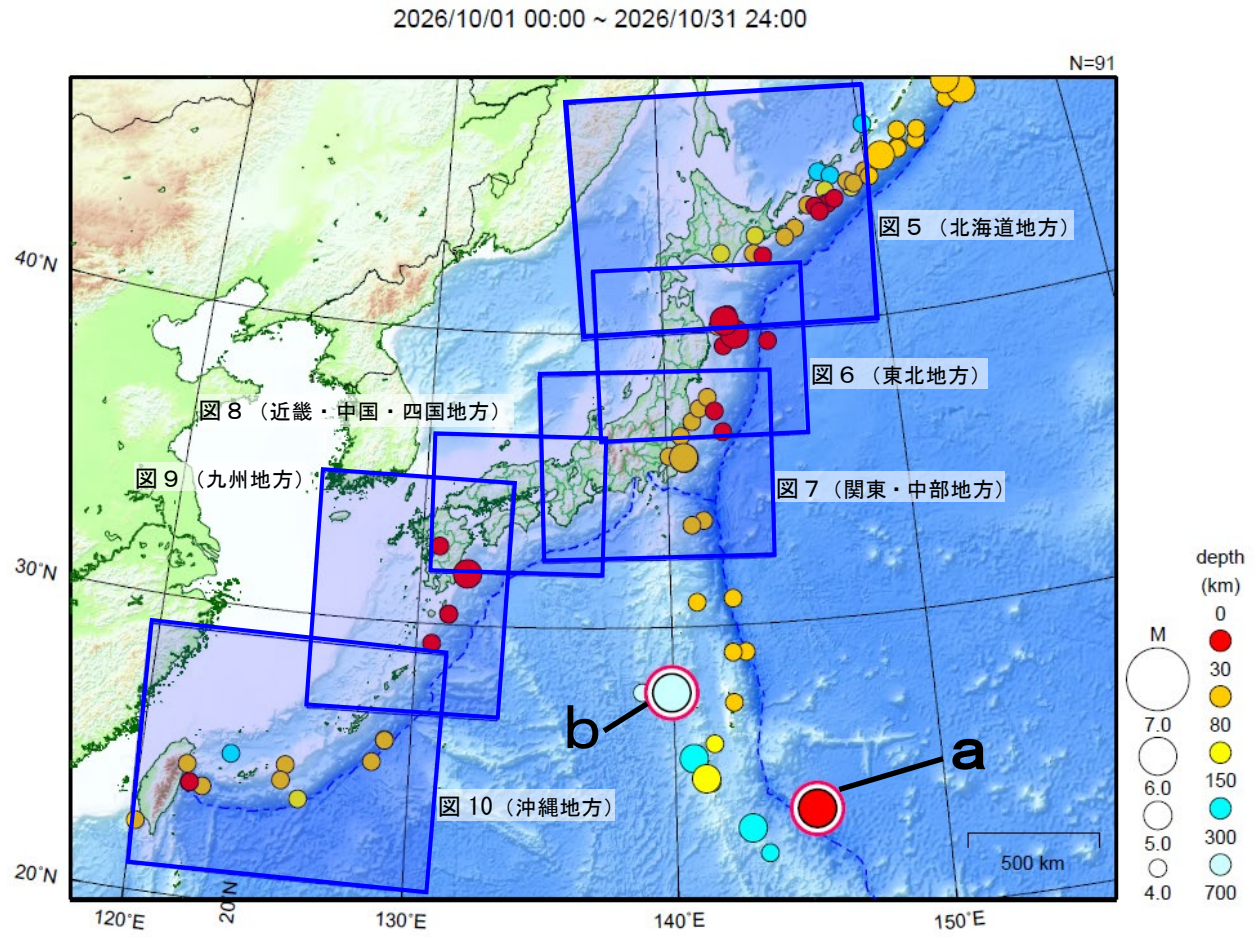


図 11　日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2026 年 10 月１日～10 月 31 日、M≧4.0）
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

［概況］

10 月に日本周辺で発生した M6.0 以上の地震は２回（９月は１回）。

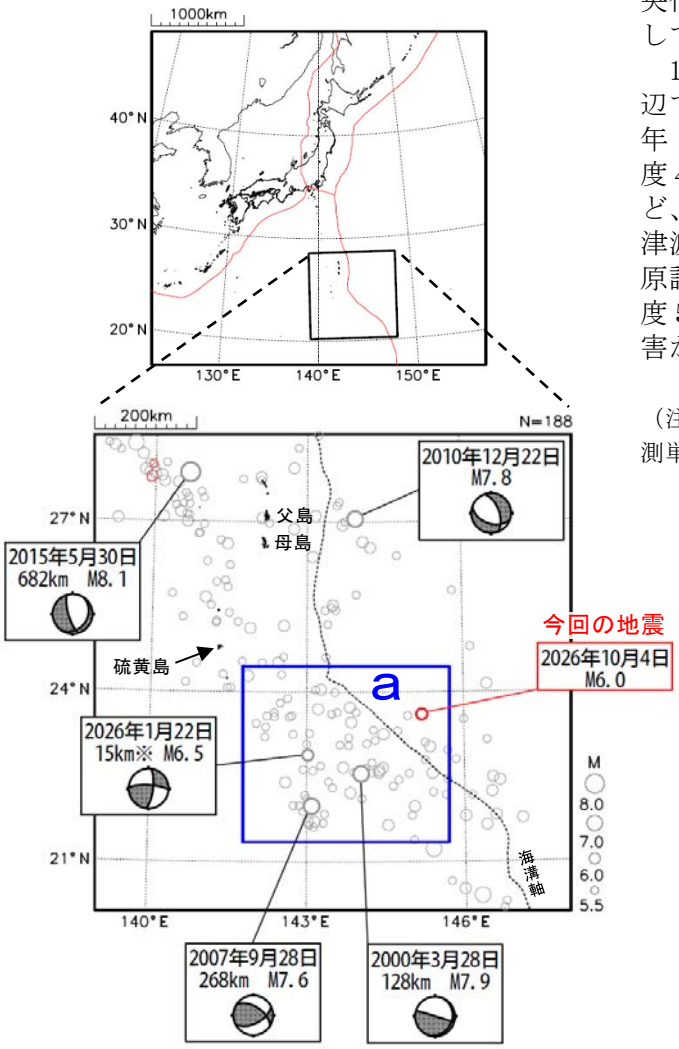
10 月中の主な活動は次のとおりである。

a　４日 20 時 12 分に硫黄島近海で M6.0 の浅い地震（震度１以上を観測した地点はなし）が発生した（ｐ．22 参照）。

b　25 日 11 時 09 分に小笠原諸島西方沖の深さ 507km で M6.8 の地震が発生し、東京都小笠原村（父島、母島）で震度３を観測したほか、東北地方、関東甲信地方、新潟県及び静岡県で震度２～１を観測した（ｐ．23 参照）。

10 月４日　硫黄島近海の地震

震央分布図
（2000 年１月１日～2026 年 10 月 31 日、
深さ０～700km、M≧5.5）
2026 年 10 月の地震を赤色で表示
図中の発震機構は CMT 解
深さに「※」を付したものは、CMT 解による



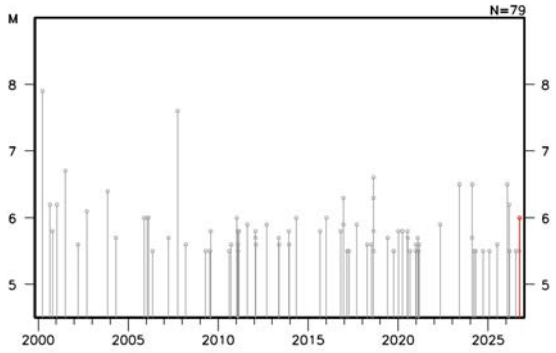
2026 年 10 月４日 20 時 12 分に硫黄島近海で M6.0 の浅い地震（震度１以上を観測した地点はなし）が発生した。

2000 年１月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域ａ）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。

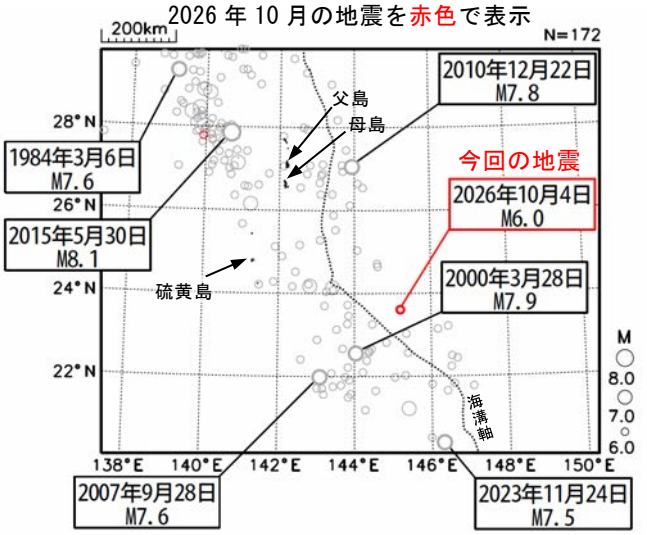
1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、M7.0 以上の地震が時々発生している。2010 年 12 月 22 日には父島近海で M7.8 の地震（最大震度４）が発生し、八丈島八重根で 0.5m（注）の津波など、岩手県及び関東地方南部から沖縄地方にかけて津波を観測した。また、2015 年５月 30 日には小笠原諸島西方沖の深さ 682km で M8.1 の地震（最大震度５強）が発生し、関東地方で軽傷者８人などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

（注）巨大津波計の観測点により観測されたことを示す（観測単位は 0.1m）。

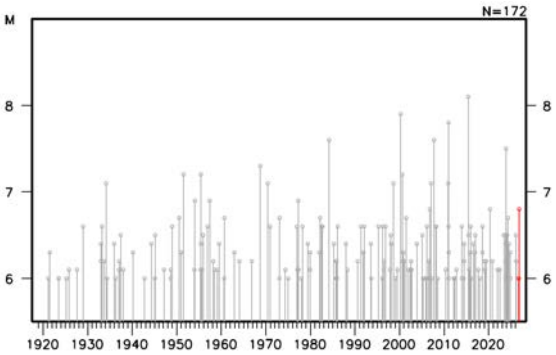
領域ａ内のＭ－Ｔ図



震央分布図
（1919 年１月１日～2026 年 10 月 31 日、
深さ０～700km、M≧6.0）
2026 年 10 月の地震を赤色で表示

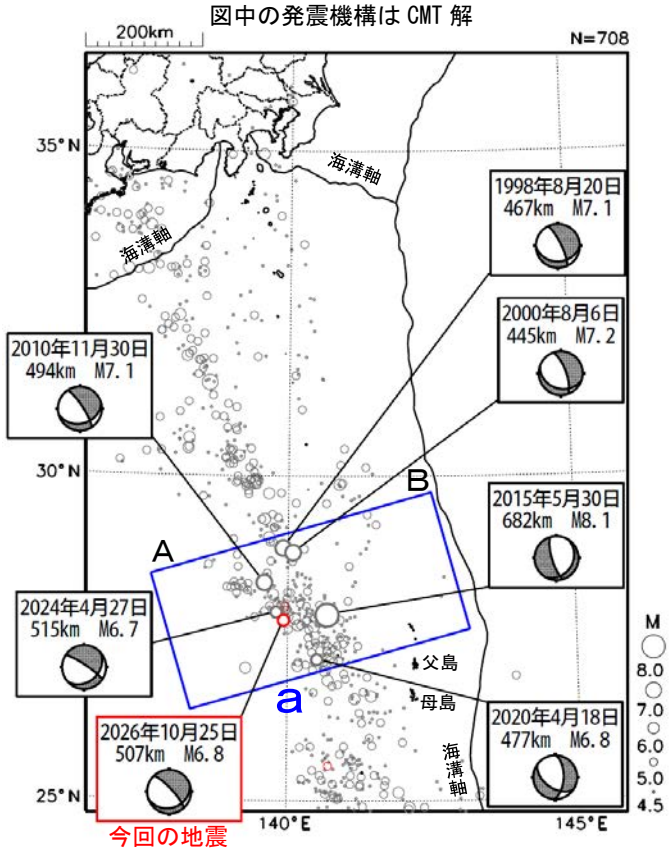


左図の領域内のＭ－Ｔ図

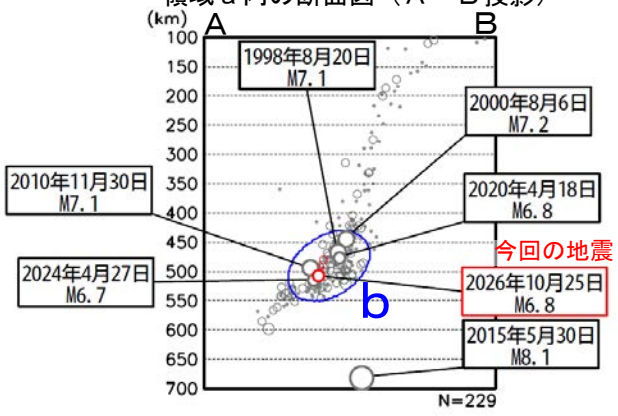


10 月 25 日　小笠原諸島西方沖の地震

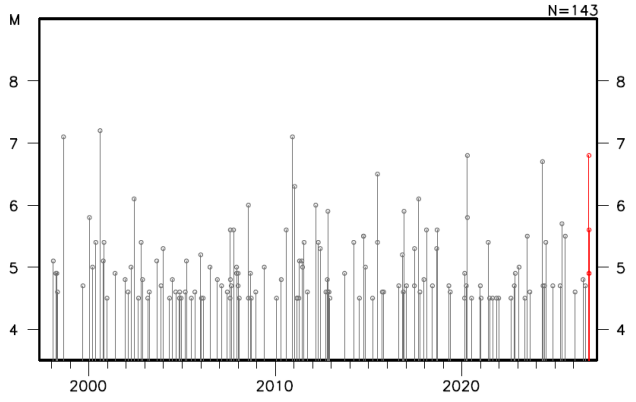
震央分布図
（1997 年 10 月 1 日～2026 年 10 月 31 日、
深さ 100～700km、M≧4.5）
2026 年 10 月の地震を赤色で表示
図中の発震機構は CMT 解



領域ａ内の断面図（Ａ－Ｂ投影）



領域ｂ内のＭ－Ｔ図

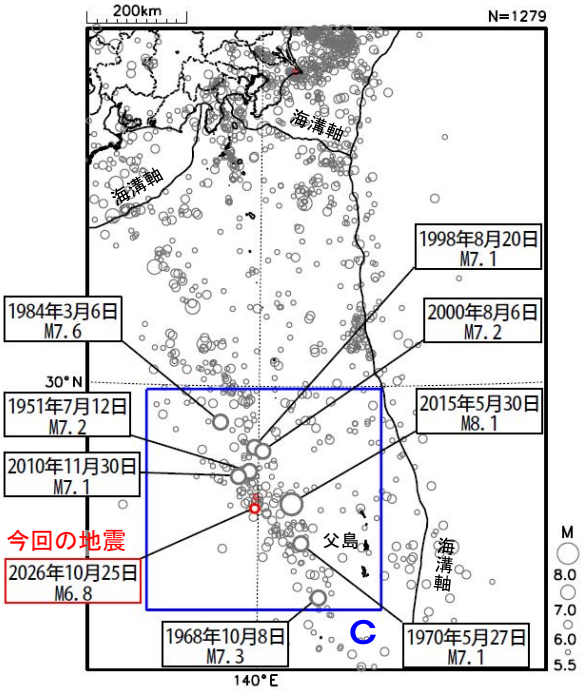


2026 年 10 月 25 日 11 時 09 分に小笠原諸島西方沖の深さ 507km で M6.8 の地震（最大震度３）が発生した。この地震は太平洋プレート内部で発生した。発震機構（CMT 解）は太平洋プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

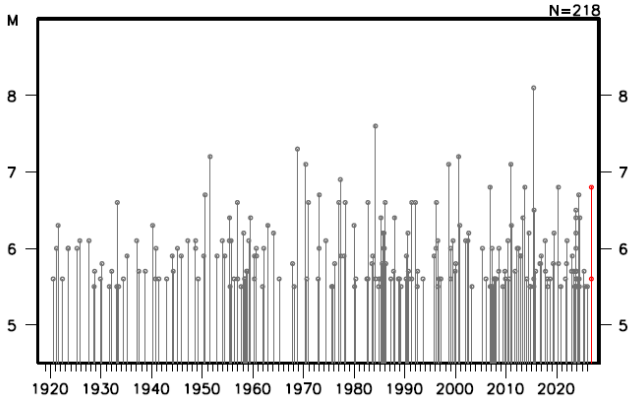
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域ｂ）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。また、今回の地震の震源よりさらに約 170km 深いところでは、2015 年５月 30 日に M8.1 の地震（最大震度５強）が発生し、軽傷８人などの被害が生じた（総務省消防庁による）。

1919 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｃ）では、M7.0 以上の地震が時々発生している。1984 年３月６日には M7.6 の地震が発生し、死者１人、負傷者１人などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図
（1919 年 1 月 1 日～2026 年 10 月 31 日、
深さ０～700km、M≧5.5）
2026 年 10 月の地震を赤色で表示



領域ｃ内のＭ－Ｔ図



●　南海トラフ周辺の地殻活動

気象庁は、第 111 回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を開催し、令和８年 11 月９日に「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した(注)。これに関連する概要資料をｐ.26 に掲載する。

（注）https://www.jma.go.jp/jma/press/hantei.html

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（Ｍ８からＭ９クラス）は、「平常時」においても今後３０年以内に発生する確率は高い（詳細は「南海トラフの地震活動の長期評価（第二版一部改訂）」参照）と評価されており、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約８０年が経過していることから切迫性の高い状態です。

１．地震の観測状況

（顕著な地震活動に関係する現象）

１０月２５日０８時５９分に日向灘を震源とする Ｍ５．２の地震が発生しました。この地震は、発震機構が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生しました。

１１月８日０１時０４分に愛知県東部の深さ４１ｋｍを震源とする Ｍ５．７の地震が発生しました。この地震は、発震機構が東北東－西南西方向に張力軸を持つ型で、フィリピン海プレート内部で発生しました。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

（１）四国西部：９月２７日から１０月１４日
（２）東海から紀伊半島北部：１０月２日から１０月１８日
（３）四国西部：１０月１９日から１１月１日

２．地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（１）から（３）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られました。

ＧＮＳＳ観測によると、２０２２年初頭から、静岡県西部から愛知県東部にかけて、それまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。また、２０２６年夏頃から、四国西部でそれまでの傾向とは異なる地殻変動が観測されています。

（長期的な地殻変動）

ＧＮＳＳ観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

３．地殻活動の評価

（顕著な地震活動に関係する現象）

１０月２５日に発生した日向灘の地震及び１１月８日に発生した愛知県東部の地震は、その規模から南海トラフ沿いのプレート間の固着状況の特段の変化を示すものではないと考えられます。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（１）から（３）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

２０２２年初頭からの静岡県西部から愛知県東部にかけての地殻変動及び２０２６年夏頃からの四国西部の地殻変動は、それぞれ渥美半島周辺から浜名湖周辺にかけて及び四国西部周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。このうち、渥美半島周辺から浜名湖周辺にかけての長期的ゆっくりすべりは、すべりの中心が渥美半島周辺から、浜名湖の東側に移動しています。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、及び長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

［「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語］

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊されると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ：cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が３km 以内で、相互の発生時間差が７日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が１つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は 2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生し、前回は 2013 年はじめ頃から 2017 年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P 波や S 波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

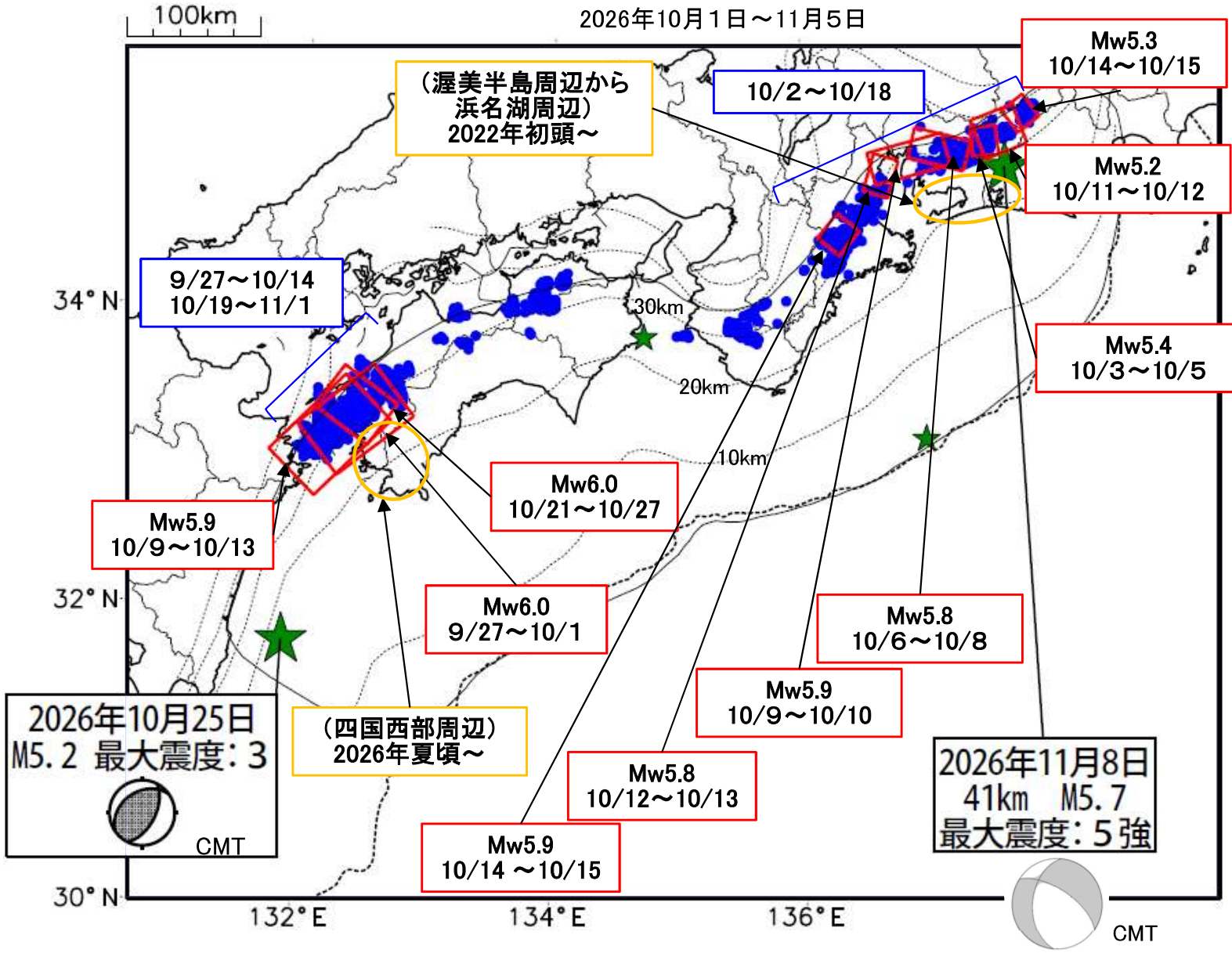
「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から１年程度の間隔で繰り返し発生している。

注）地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

最近の南海トラフ周辺の地殻活動

2026年10月１日～11月５日



緑（★）
通常の地震（最大震度３以上もしくはM3.5以上の地震、大きさはMの大きさを示す）

青（●）
深部低周波地震（微動）

赤（□）
短期的ゆっくりすべり

黄（○）
長期的ゆっくりすべり

※地図中の点線は、Baba et al.(2002)、Hirose et al.(2008)、Nakajima and Hasegawa(2007)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※深部低周波地震（微動）及び短期的ゆっくりすべりは、９月26日以降のものを示す。

※通常の地震は、11月８日までのものを示す。

通常の地震（最大震度３以上もしくはM3.5以上）・・・・・・・・・気象庁の解析結果による。
深部低周波地震（微動）・・・・・・・・・（震源データ）気象庁の解析結果による。　（活動期間）気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。
短期的ゆっくりすべり・・・・・・・・・・・【四国西部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。
【東海から紀伊半島北部】気象庁の解析結果を示す。
長期的ゆっくりすべり・・・・・・・・・・・国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和８年 10 月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下のとおりです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和８年 11 月 10 日 14 時現在）。

十勝岳では、16 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを３（入山規制）から２（火口周辺規制）に引き下げました。

北海道駒ヶ岳では、２日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを１（活火山であることに留意）から２（火口周辺規制）に引き上げました。

雌阿寒岳では、11 月４日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引き下げました。

ベヨネース列岩では、８日に噴火予報を発表して噴火警報（周辺海域警戒）を解除し、火山現象に関する海上警報を解除しました。

表１　令和８年11月10日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル３（入山規制）	桜島
	レベル２ （火口周辺規制）	十勝岳、北海道駒ヶ岳、阿蘇山、霧島山(新燃岳)、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	西之島※、硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	須美寿島※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル１（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、樽前山、倶多楽、有珠山、恵山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、日光白根山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、草津白根山(本白根山)、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山(えびの高原(硫黄山)周辺)、霧島山(大幡池)、霧島山(御鉢)、口永良部島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表中。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html

本資料は、気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、同東北、北陸、関東、中部、九州各地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、(国研)防災科学技術研究所、(国研)産業技術総合研究所、(国研)宇宙航空研究開発機構、北海道、(地独)北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所、青森県、東京都、神奈川県温泉地学研究所、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村、(公財)阿蘇火山博物館、(公財)地震予知総合研究振興会及び機動的な調査観測・解析グループ（北海道大学、東京大学、防災科学技術研究所）のデータも利用して作成しています。（(国研)は国立研究開発法人、(地独)は地方独立行政法人、(公財)は公益財団法人。）



図１　火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（10 月１日～31 日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、警報・予報事項に変更はありません。

雌阿寒岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］←11 月４日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引下げ

ポンマチネシリ火口付近では、2025 年９月中旬に火山性地震の増加や火山性微動の発生、同火口方向上がりの傾斜変動、ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙活動の活発化等が認められ、以降も火山活動が活発に推移する中で 2025 年９月、10 月、2026 年３月に 96-1 火口からごく小規模な噴火が発生しましたが、以降、噴火は観測されていません。2026 年５月以降、傾斜変動は火口方向下がりに転じ、また噴煙量にも減少がみられるなど、火山活動が低下傾向に転じました。６月以降は地震活動にも低下傾向がみられるようになり、10 月以降は低調に経過しています。

これらのことから、ポンマチネシリ火口から約 500ｍの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、11 月４日 10 時 00 分（期間外）に噴火予報を発表して噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引き下げました。

活火山であることから、火口内に影響する程度の噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、火口内や近傍では火山ガスや火山灰噴出に注意してください。

十勝岳［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］←10 月 16 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを３（入山規制）から２（火口周辺規制）に引下げ

３月以降、山体付近のやや深部の膨張を示す地殻変動、火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加、62-2 火口付近及びその周辺における地震活動の活発化、熱活動の高まりが認められ、７月下旬から８月上旬にかけては 62-2 火口付近でごく小規模な噴火が複数回発生しました。

その後、８月中旬から９月中旬にかけては、山体付近（主に 62-2 火口周辺）で振幅の大きな火山性地

震が増加しましたが、その後は減少し、地震活動は低調に推移しました。
　このことから、62-2 火口から概ね３km の範囲に影響を及ぼす規模の噴火が発生する可能性は低下したと判断し、16 日 10 時 00 分に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを３（入山規制）から２（火口周辺規制）に引き下げました。
　一方、８月頃以降も山体付近やや深部のわずかな膨張を示す地殻変動、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が多い状態及び 62-2 火口付近の活発な熱活動が継続しており、火山活動は引き続き活発な状態にあります。このため、62-2 火口付近では、今後もごく小規模な噴火が発生する可能性があります。
　62-2 火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。
　風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

北海道駒ヶ岳［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］←２日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを１（活火山であることに留意）から２（火口周辺規制）に引上げ

　９月23日以降、山頂火口原浅部を震源とする地震がやや増加し、26日から山頂火口原浅部の膨張を示すと考えられる火口原方向が上がる傾斜変動が認められました。10月２日には地震回数が明瞭に増加し、傾斜変動量も増大しました。
　このことから、山頂火口原内で小噴火が発生する可能性があると判断し、２日07時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを１（活火山であることに留意）から２（火口周辺規制）に引き上げました。
　３日以降、地震回数が減少し、傾斜変動も鈍化しましたが、25日には継続時間の短い火山性微動が発生し、傾斜変動の一時増大を伴いました。一方、山頂火口原内の各火口における噴気活動は低調に推移しています。
　火山活動の高まった状況が継続しており、山頂火口原内で小噴火が発生する可能性があります。
　火口から概ね４ｋｍの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。
　風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

ベヨネース列岩［噴火予報（活火山であることに留意）］←８日に噴火警報（周辺海域）を解除、火山現象に関する海上警報を解除

　ベヨネース列岩（明神礁）付近では、2023 年１月に海上保安庁が実施した上空からの観測で変色水が確認されたことから、噴火警報（周辺海域）を発表しました。その後の観測では、2023 年２月を最後に、変色水、浮遊物等の特異事象は確認されていません。
　このことから、ベヨネース列岩の周辺海域に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、８日 11 時 00 分に噴火警報（周辺海域）を解除し、噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げました。併せて、火山現象に関する海上警報を解除しました。
　噴火の兆候はありませんが、引き続き活火山であることに留意してください。

須美寿島［噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報］

　今期間、噴火は認められませんでしたが、2024 年７月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。
　須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島［火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報］

　2023 年 10 月５日以降、噴火は確認されていません。また、西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域は認められません。
　山頂火口内で噴気が確認されていることから、今後も、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね１km の範囲では引き続き警戒が必要です。

硫黄島［火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報］

　翁浜沖で 27 日以降、噴火が確認されています。
　長期的には島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、小規模な噴火の発生に警戒してください。

福徳岡ノ場［噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報］

2021 年８月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

阿蘇山［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］

火山性微動の振幅は概ね小さな状態で推移しましたが、時々やや大きな状態となりました。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は増減が認められ、時々多い状態となりました。GNSS 連続観測では、2026 年５月頃から草千里を挟む基線及び広域の基線において、草千里付近の深部にあると考えられるマグマだまりへのマグマの蓄積を示唆する伸びが認められていましたが、８月頃から停滞しています。

火山性微動の振幅に変動が認められ、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は多い状態になるなど、火山活動は引き続き高まった状態であることから、中岳第一火口から概ね１km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

中岳第一火口から概ね１km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（新燃岳）［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］

新燃岳では、2025 年９月８日以降噴火は観測されていません。

火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

GNSS 連続観測では、霧島山を挟む一部の基線で、霧島山深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められていましたが、2025 年 12 月中旬頃からは停滞しています。

一方、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が１日あたり数百トンの状態が継続していることから、火山活動は高まった状態で経過しています。弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね２km まで、火砕流が概ね１km まで達する噴火が発生する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね２km の範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島［火口周辺警報（噴火警戒レベル３、入山規制）］

南岳山頂火口では、噴火[1)]が 94 回発生し、このうち爆発は 11 回でした。噴煙は最高で火口縁上 3,000ｍまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で南岳山頂火口から約 900m（７合目）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域の GNSS 連続観測によると、姶良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね２km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］

硫黄岳火口では、28 日 13 時 07 分と 14 時 15 分に噴火が発生し、噴煙は最高で火口縁上 900ｍまで上がりました。大きな噴石の飛散や空振は観測されませんでした。噴火が発生したのは、2026 年５月 17 日以来です。なお、噴火の前後で地震活動や地殻変動等に特段の変化はみられていません。

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は１日あたり 1,000 トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね 0.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］

御岳(おたけ)火口では、噴火が時々発生しました。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上 700ｍまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、観測されませんでした。

GNSS 連続観測では、2024 年 10 月以降、島の西側におけるマグマの蓄積量の増加を示唆する変動が認められていましたが、2025 年 11 月頃から停滞しています。火山性地震は、少ない状態で経過しています。

諏訪之瀬島では長期にわたり噴火を繰り返しています。御岳火口では夜間に火映を観測し、火口内の熱活動は引き続き高まった状態であると考えられ、火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火が発生する可能性があります。

御岳火口中心から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

（火山の順は日本活火山総覧（第４版）による）

1）桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上1,000m以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。

資料１　全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

（１）主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2016年３月23日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2008年９月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年４月10日噴火予報（レベル１、平常） 2015年７月28日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2025年９月15日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2026年11月４日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2019年３月18日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	十勝岳	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル１、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2015年２月24日噴火予報（レベル１、平常） 2026年６月18日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2026年９月12日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2026年10月16日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	樽前山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2015年10月１日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2008年６月９日噴火予報（レベル１、平常）
	北海道駒ヶ岳	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2026年10月２日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	恵山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2016年３月23日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2016年７月26日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	八甲田山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2019年７月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2022年３月24日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2013年７月25日噴火予報（レベル１、平常）
	岩手山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2024年10月２日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2026年８月27日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル１、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2018年３月27日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2019年５月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2015年４月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年６月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年７月26日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2018年１月30日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年３月６日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	吾妻山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2018年９月15日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年４月22日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2019年５月９日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年６月17日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	安達太良山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2009年３月31日噴火予報（レベル１、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2009年３月31日噴火予報（レベル１、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2009年３月31日噴火予報（レベル１、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2016年12月６日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2009年４月10日噴火予報（レベル１、平常）切替 2014年６月３日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年６月７日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2018年４月22日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年９月21日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2018年９月28日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年３月23日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2025年８月４日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2026年５月15日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2018年１月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年１月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年３月16日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年４月５日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	浅間山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2008年８月８日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年２月１日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年２月３日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年４月７日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年４月15日噴火予報（レベル１、平常） 2015年６月11日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年８月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2019年８月７日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2019年８月19日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年11月６日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2020年６月25日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年２月５日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2021年３月23日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年８月６日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2023年３月23日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2026年５月22日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	新潟焼山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2011年３月31日噴火予報（レベル１、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2019年５月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2011年３月31日噴火予報（レベル１、平常） 2022年５月24日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年７月12日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2025年３月４日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2025年４月18日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2026年１月25日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2026年３月４日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2019年３月18日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2008年３月31日噴火予報（レベル１、平常） 2014年９月27日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2014年９月28日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2015年１月19日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2015年３月31日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2015年６月26日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年８月21日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2022年２月23日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年４月18日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）切替 2022年６月23日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	御嶽山（つづき）		2025年１月16日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2025年５月20日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2015年９月２日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）
	箱根山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2009年３月31日噴火予報（レベル１、平常） 2015年５月６日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2015年６月30日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2015年９月11日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2019年５月19日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年10月７日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2011年３月31日噴火予報（レベル１、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）
	新島	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2019年７月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2019年７月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年３月31日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2015年６月５日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2025年６月17日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2025年７月18日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2018年５月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2018年５月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2017年３月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意） 2023年１月26日噴火警報（周辺海域警戒） 2026年10月８日噴火予報（活火山であることに留意）
	須美寿島	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2024年９月19日噴火警報（周辺海域警戒）
	西之島	火口周辺警報（入山危険）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年６月３日火口周辺警報（入山危険） 2014年６月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年２月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年２月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年８月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年２月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年４月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年６月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年７月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険） 2019年12月５日火口周辺警報（入山危険） 2019年12月16日火口周辺警報（入山危険）切替 2020年12月18日火口周辺警報（入山危険）切替 2026年９月８日火口周辺警報（火口周辺危険）
	海徳海山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2022年８月23日噴火警報（周辺海域警戒） 2025年２月14日噴火予報（活火山であることに留意）
	噴火浅根	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2022年３月27日噴火警報（周辺海域警戒） 2023年９月21日噴火予報（活火山であることに留意）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月１日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月１日噴火警報（周辺海域警戒） 2021年８月16日噴火警報（周辺海域警戒）切替

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2016年７月26日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2022年７月８日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年７月27日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2011年５月16日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年６月20日噴火予報（レベル１、平常） 2013年９月25日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル１、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2014年３月12日噴火予報（レベル１、平常） 2014年８月30日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2015年９月14日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2016年10月８日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年２月７日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2019年３月12日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年３月29日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2019年４月14日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2020年８月18日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2021年５月２日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年６月９日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2021年10月13日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年10月20日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2021年11月18日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年２月24日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2022年３月14日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年４月15日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2023年１月30日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2023年３月23日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2024年１月23日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2024年４月26日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2024年５月15日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2024年７月19日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2025年７月４日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2025年７月25日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2026年６月21日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2026年８月14日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2026年９月１日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	雲仙岳	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2016年12月６日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年５月１日噴火予報（平常） 2016年２月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年３月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月６日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年１月13日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2017年５月９日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2018年２月20日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年４月19日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2018年５月１日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年４月18日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2023年７月７日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2023年12月６日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	霧島山（大幡池）	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2021年３月30日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2008年８月22日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル１、平常） 2010年３月30日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年４月16日噴火予報（レベル１、平常）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	霧島山（新燃岳）（つづき）		2010年５月６日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2011年１月26日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2011年１月31日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年２月１日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2011年３月22日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2012年６月26日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年５月26日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2017年10月５日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2018年３月１日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2018年３月10日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2018年３月15日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2018年６月28日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年１月18日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2019年２月25日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年４月５日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2019年11月18日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年12月20日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2020年１月２日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2020年12月11日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2020年12月25日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年３月１日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2022年３月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年８月19日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2024年12月12日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2025年３月30日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2025年４月２日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2025年５月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2025年６月23日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2025年10月17日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日噴火予報（レベル１、平常） 2018年２月９日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年３月15日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	桜島	火口周辺警報 （レベル３、入山規制）	2007年12月１日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年２月３日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年２月20日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年４月８日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年７月14日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年７月28日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2008年８月28日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年２月２日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年２月19日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年３月２日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年３月10日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2009年４月24日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年７月19日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2010年９月30日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2012年３月12日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2012年３月21日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2015年８月15日噴火警報（レベル４、避難準備） 2015年９月１日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2016年２月５日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2021年４月25日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2021年４月25日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2022年７月24日噴火警報（レベル５、避難） 2022年７月27日火口周辺警報（レベル３、入山規制）
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル１、平常） 2013年６月４日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2013年７月10日噴火予報（レベル１、平常） 2017年１月５日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2017年２月24日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2018年３月19日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年４月27日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	薩摩硫黄島（つづき）		2019年11月２日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年３月８日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）切替
	口永良部島	噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）	2007年12月１日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年１月25日噴火予報（レベル１、平常） 2008年９月４日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2009年３月18日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年８月４日噴火予報（レベル１、平常） 2009年９月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル１、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2012年１月20日噴火予報（レベル１、平常） 2014年８月３日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2014年８月７日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2015年５月29日噴火警報（レベル５、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル５、避難）切替 2016年６月14日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2018年４月18日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2018年８月15日噴火警報（レベル４、避難準備） 2018年８月29日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2019年６月12日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2019年10月28日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2021年１月19日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年２月28日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2021年７月５日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年５月25日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2022年７月31日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年９月１日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2023年６月26日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2023年６月27日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2023年７月10日火口周辺警報（レベル３、入山規制）切替 2024年３月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2024年４月13日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2024年10月18日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2024年11月20日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2024年12月６日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2025年２月14日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2025年４月16日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2025年６月11日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2025年９月５日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2025年９月19日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2026年７月９日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2026年７月17日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意） 2026年７月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2026年９月28日噴火予報（レベル１、活火山であることに留意）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）	2007年12月１日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2020年12月28日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2021年１月14日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年３月31日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2021年４月５日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年６月23日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2021年７月29日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2021年９月17日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2022年７月11日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2022年９月28日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2023年１月24日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2023年３月５日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2023年６月９日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2024年１月14日火口周辺警報（レベル３、入山規制） 2024年１月19日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制） 2024年３月27日火口周辺警報（レベル２、火口周辺規制）切替

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007年12月１日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（２）その他の活火山

以下の活火山（＊印及び＊＊印を除く）では 2007 年 12 月１日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された 2011 年６月７日に噴火予報（平常）を発表し、＊＊印の活火山では､活火山として選定された後の 2017 年 12 月５日に噴火予報(活火山であることに留意)を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山**、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、北福徳堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方 及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄鳥島、西表島北北東海底火山

注）2015 年５月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

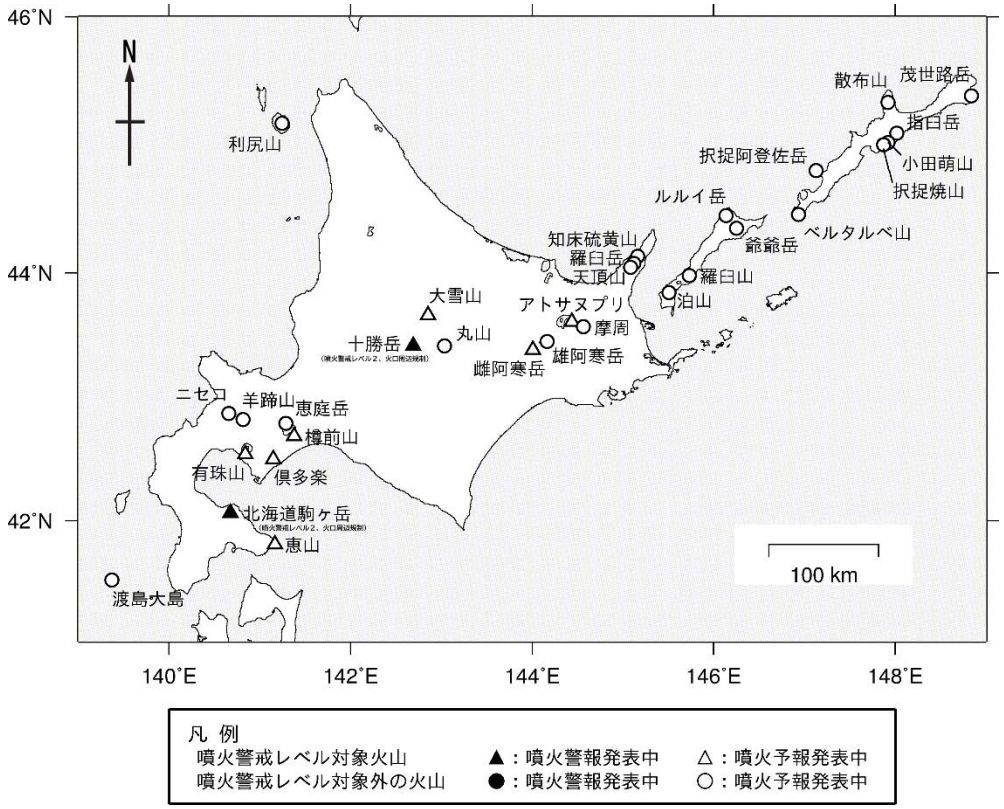
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和８年10月）

札　幌　管　区　気　象　台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和８年11月４日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル２（火口周辺規制）	十勝岳、北海道駒ヶ岳
噴火予報	レベル１（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、樽前山、倶多楽、有珠山、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所及び機動的な調査観測・解析グループ（北海道大学、東京大学、防災科学技術研究所）のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（10 月１日～31 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。北海道駒ヶ岳では、２日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを１（活火山であることに留意）から２（火口周辺規制）に引き上げました。十勝岳では、16日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを３（入山規制）から２（火口周辺規制）に引き下げました。雌阿寒岳では、11月４日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引き下げました。また、その他の火山の予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］←11月４日（期間外）に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引下げ

ポンマチネシリ火口付近では、2025 年９月中旬に火山性地震の増加や火山性微動の発生、同火口方向上がりの傾斜変動、ポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙活動の活発化等が認められました。

火山活動が活発に推移する中、2025 年９月、10 月、2026 年３月にごく小規模な噴火が発生しましたが、以降、噴火は観測されていません。2026 年５月以降、傾斜変動は火口方向下がりに転じ、また噴煙量にも減少がみられるなど、火山活動が低下傾向に転じました。６月以降は地震活動にも低下傾向がみられるようになり、10 月以降は低調に経過しています。

これらのことから、ポンマチネシリ火口から約 500ｍの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、11 月４日 10 時 00 分（期間外）に噴火予報を発表して噴火警戒レベルを２（火口周辺規制）から１（活火山であることに留意）に引き下げました。

活火山であることから、火口内に影響する程度の噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、火口内や近傍では火山ガスや火山灰噴出に注意してください。

大雪山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］←10月16日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを３（入山規制）から２（火口周辺規制）に引下げ

３月以降、山体付近のやや深部の膨張を示す地殻変動、火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加、62-2 火口付近及びその周辺における地震活動の活発化、熱活動の高まりが認められ、７月下旬から８月上旬にかけては 62-2 火口付近でごく小規模な噴火が複数回発生しました。

その後、８月中旬から９月中旬にかけては、山体付近（主に 62-2 火口周辺）で振幅の大きな火山性地震が増加しましたが、その後は減少し、地震活動は低調に推移しました。

このことから、62-2 火口から概ね３㎞の範囲に影響を及ぼす規模の噴火が発生する可能性は低下したと判断し、16 日 10 時 00 分に火口周辺警報を発表して、噴火警戒レベルを３（入山規制）から２（火口周辺規制）に引き下げました。

一方、８月頃以降も山体付近やや深部のわずかな膨張を示す地殻変動、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が多い状態及び 62-2 火口付近の活発な熱活動が継続しており、火山活動は引き続き活発な状態にあります。このため、62-2 火口付近では、今後もごく小規模な噴火が発生する可能性があります。

62-2 火口から概ね 1.5km の範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

樽前山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］←２日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを１（活火山であることに留意）から２（火口周辺規制）に引上げ

９月23日以降、山頂火口原浅部を震源とする地震がやや増加し、26日から山頂火口原浅部の膨張を示すと考えられる火口原方向が上がる傾斜変動が認められました。10月２日には地震回数が明瞭に増加し、傾斜変動量も増大しました。

このことから、山頂火口原内で小噴火が発生する可能性があると判断し、２日07時30分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを１（活火山であることに留意）から２（火口周辺規制）に引き上げました。

３日以降、地震回数が減少し、傾斜変動も鈍化しましたが、25日には継続時間の短い火山性微動が発生し、傾斜変動の一時増大を伴いました。一方、山頂火口原内の各火口における噴気活動は低調に推移しています。

火山活動の高まった状況が継続しており、山頂火口原内で小噴火が発生する可能性があります。

火口から概ね４ｋｍの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

恵山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和８年 10 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（10 月 31 日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル１（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（10 月１日～31 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

岩木山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十和田［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

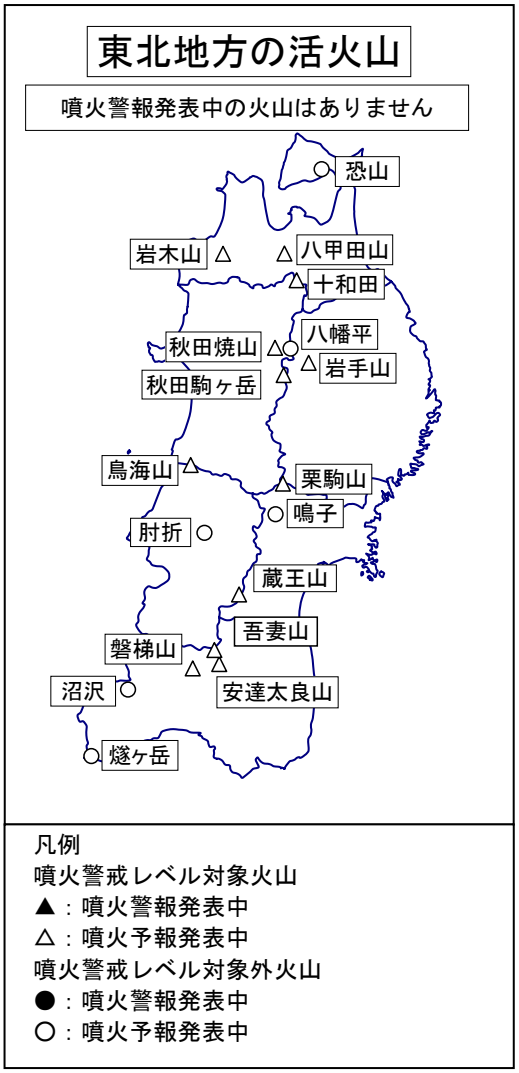
2023 年以降、中湖（なかのうみ）付近の深さ５km 前後が震源と推定される火山性地震の発生頻度がやや高い状態であり、GNSS 連続観測では、2023 年前半から主に十和田湖を挟む東西の基線でわずかな変化が認められています。深部の地震活動がやや高い状態であるものの、火山活動は概ね静穏に経過しています。

秋田焼山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山性地震の発生頻度は７月中旬以降少ない状態が続いており、山体膨張を示す地殻変動も７月下旬以降観測されていません。火山活動は概ね静穏に経過しています。



想定火口内では、火山灰、火山ガス、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。特に大地獄谷付近では、火山ガスの噴出や地熱の高まりがみられていますので注意が必要です。

火山活動に十分注意し、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

秋田駒ヶ岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

女岳（めだけ）付近では 2015 年頃まで地熱域の拡大が認められ、その後も熱活動のやや高い状態が続いています。一方、2017 年９月以降、山頂付近を震源とする火山性地震の発生頻度がやや高い状態を維持していますが、短期的には 2026 年２月以降、低下しています。火山活動による地殻変動も観測されず、噴火の兆候は認められません。

鳥海山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

吾妻山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

山体浅部における熱水活動の高まりがわずかに認められますが、火山活動は概ね静穏に経過しています。火山ガスや噴気・地熱の活動は継続していますので、入山する際には注意してください。

安達太良山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

2022 年末に活発な地震活動が認められて以降、火山性地震の一時的な増加や振幅の小さな火山性微動が時折みられますが、火山活動は概ね静穏に経過しています。

燧ヶ岳（ひうちがたけ）［噴火予報（活火山であることに留意）］

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページで閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、北海道大学、弘前大学、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

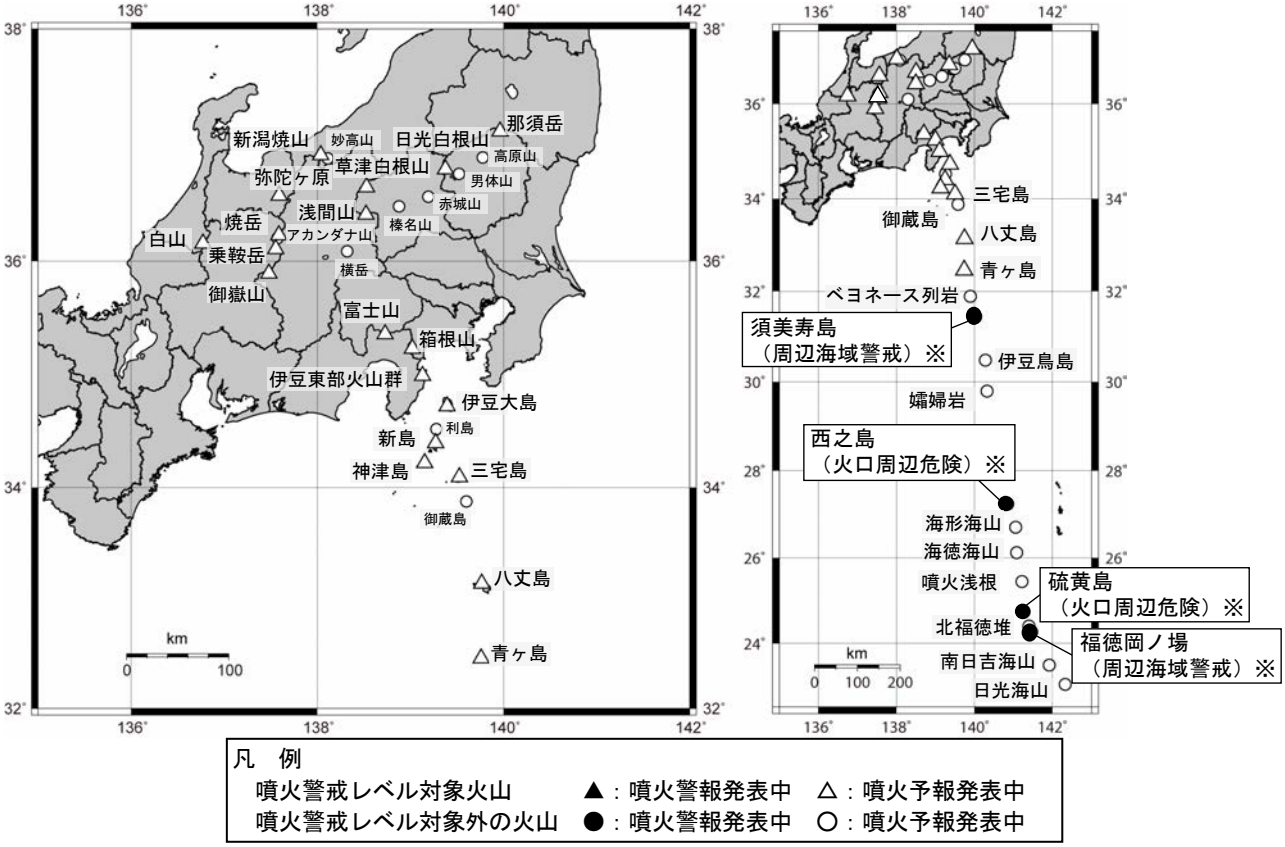
管内月間火山概況（令和８年 10 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（10 月 31 日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	火口周辺危険	西之島※、硫黄島※
噴火警報(周辺海域)	周辺海域警戒	須美寿島※、福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル１（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（白根山（湯釜付近））、草津白根山（本白根山）、浅間山、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



＊噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京科学大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、神奈川県温泉地学研究所、新潟県、山梨県、長野県、岐阜県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（10 月１日～31 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

那須岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

湯釜付近を震源とする火山性地震の活動は低調で、浅部の膨張を示す明瞭な地殻変動もみられず、火山活動は静穏に経過しました。一方、近年、湯釜火口への熱水や火山ガスの一時的な供給量の増加に伴うと考えられる地震の増加や傾斜変動などを繰り返していることから、火山活動が急変する可能性もあると考えられます。

湯釜火口から概ね 500ｍの範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出の可能性があります。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。また、湯釜火口周辺では火山ガスの噴出がみられ、その周辺のくぼ地や谷地形などでは高濃度の火山ガスが滞留することがありますので注意してください。

草津白根山（本白根山）［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ただし、2018 年１月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

山体浅部を震源とする火山性地震は、９月下旬からやや増加しています。その他の観測データでは、火山活動の高まりを示す変化はみられていません。

山頂火口から 500ｍの範囲に影響を及ぼす程度のごく小規模な噴火の可能性がありますので、地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。突発的な火山灰噴出や火山ガス等に注意してください。

新潟焼山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

弥陀ヶ原［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

地獄谷周辺の地震活動は低調で、火山活動によるとみられる膨張を示唆する地殻変動も認められませんが、地獄谷では熱活動が引き続き活発な状態で推移しています。

地獄谷付近では火山ガスに注意が必要です。

焼岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

山頂付近の微小な地震活動が継続しています。GNSS 連続観測では、山頂付近の緩やかな膨張を示すと考えられる長期的な変化が続いています。山頂付近の噴気の状況に変化は認められません。

山頂付近の地震活動や地殻変動に加え、焼岳周辺では数年おきに震度１以上を観測する地震を含む活発な地震活動がみられるなど、中長期的には火山活動の高まりがみられますので、引き続き今後の火山活動の推移に注意が必要です。

山頂付近を含む想定火口域内では、突発的に火山ガス等が噴出する可能性があります。登山する際は、火山活動の異変に注意するとともに、ヘルメットを着用するなどの安全対策をしてください。また、噴気地帯にはとどまらないでください。

乗鞍岳［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

地獄谷火口の一部の噴気孔では引き続き勢いよく噴気が出ており、地熱域の温度は高い状態が継続していますが、長期的には温度の低下傾向がみられます。

地震活動は低調に経過しており、火山活動によるとみられる特段の地殻変動は認められません。
地獄谷火口内では、突発的な火山灰等の噴出に注意が必要です。
地元自治体等が行う立入規制に従い、また、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
GNSS 連続観測では、一部の基線でわずかな伸びの変化がみられていましたが、８月頃から停滞しています。
地震活動は低調に経過しており、火山活動は概ね静穏に推移しています。
大涌谷周辺の想定火口域では、活発な噴気活動が続いていますので、火山灰等の突発的な噴出現象に注意が必要です。

伊豆東部火山群［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
熱活動、地震活動は低調に経過し、火山性微動も発生しておらず、ただちに噴火が発生する兆候は認められません。地下深部へのマグマ供給によると考えられる 1986 年の噴火以降の長期的な島全体の膨張は、2018 年頃からほぼ停滞しています。これまでに供給されたマグマは地下深部に蓄積されており、火山活動が活発化した場合は噴火に至る可能性がありますので、火山活動の推移に注意してください。

新島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

神津島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

三宅島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
地震活動や噴煙活動は低調で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量も極めて少ない状態が続いていますが、山頂火口内の地熱域では温度や放熱率がわずかに高い状態が認められています。中長期的には、山体深部の膨張を示す地殻変動が続いており、引き続き地下のマグマの蓄積が進んでいると考えられます。
火口内での噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、山頂火口内及び主火孔から 500m以内では火山灰等の噴出に警戒が必要です。地元自治体等の指示に従って、危険な地域には立ち入らないでください。

八丈島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

ベヨネース列岩［噴火予報（活火山であることに留意）］←８日に噴火警報（周辺海域）を解除、火山現象に関する海上警報を解除
ベヨネース列岩（明神礁）付近では、2023 年１月に海上保安庁が実施した上空からの観測で変色水が確認されたことから、噴火警報（周辺海域）を発表しました。その後の観測では、2023 年２月を最後に、変色水、浮遊物等の特異事象は確認されていません。
このことから、ベヨネース列岩の周辺海域に影響を及ぼす噴火が発生する可能性は低くなったと判断し、８日 11 時 00 分に噴火警報（周辺海域）を解除し、噴火予報（活火山であることに留意）に引き下げました。併せて、火山現象に関する海上警報を解除しました。

噴火の兆候はありませんが、引き続き活火山であることに留意してください。

須美寿島（すみすじま）［噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報］

今期間、噴火は認められませんでしたが、2024 年７月以降、須美寿島周辺で変色水がほぼ継続して認められており、今後、海底噴火が発生する可能性があります。

須美寿島の周辺海域では、海底噴火に警戒してください。また、海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

西之島［火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報］

2023 年 10 月５日以降、噴火は確認されていません。また、西之島付近で周囲に比べて温度の高い領域は認められません。

山頂火口内で噴気が確認されていることから、今後も、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。山頂火口から概ね１㎞の範囲では引き続き警戒が必要です。

硫黄島［火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報］

翁浜沖で 27 日以降、噴火が確認されています。

長期的には島全体の隆起を示す地殻変動が認められ、多くの噴気地帯や噴気孔があり、各所で小規模な噴火が時々発生していることから、従来から小規模な噴火がみられていた領域や沿岸では、小規模な噴火の発生に警戒してください。

福徳岡ノ場［噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報］

2021 年８月下旬以降、噴火は認められないものの、引き続き、変色水域が確認されています。活発な火山活動は継続しており、今後も噴火の可能性があります。

福徳岡ノ場の周辺海域では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石やベースサージ（横なぐりの噴煙）に警戒してください。噴火による浮遊物（軽石）にも注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

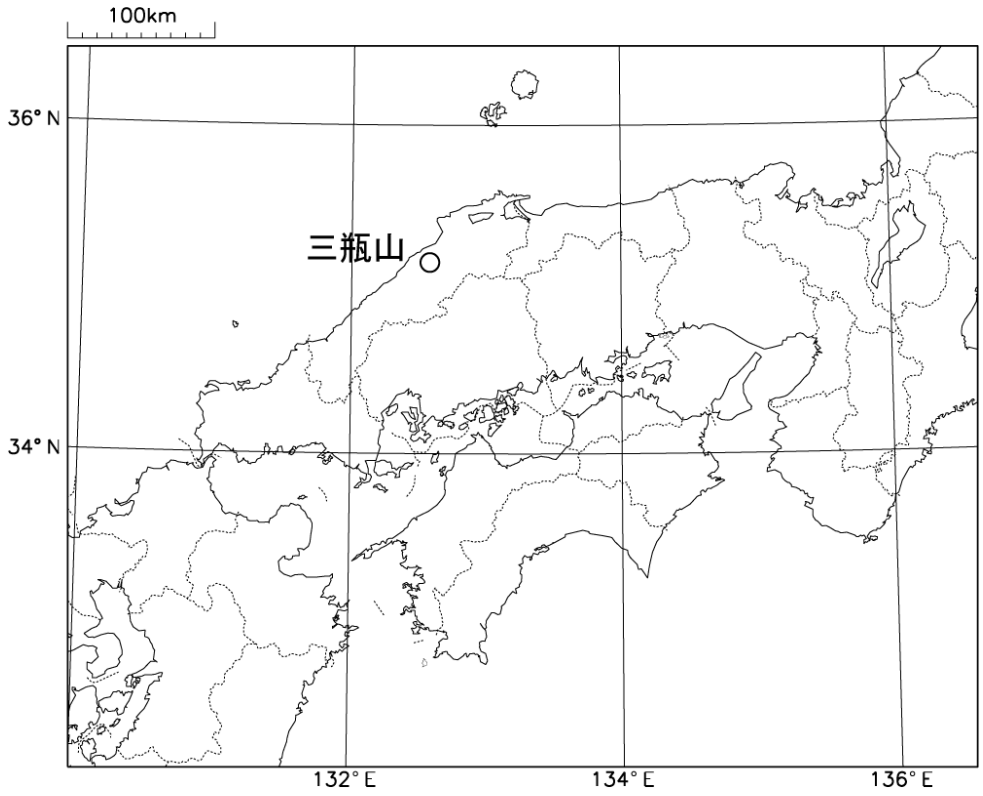
管内月間火山概況（令和８年 10 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
大阪管区気象台地震火山課

各火山の活動状況及び予報警報事項（10 月 1 日～31 日）

三瓶山［噴火予報（活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。
資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

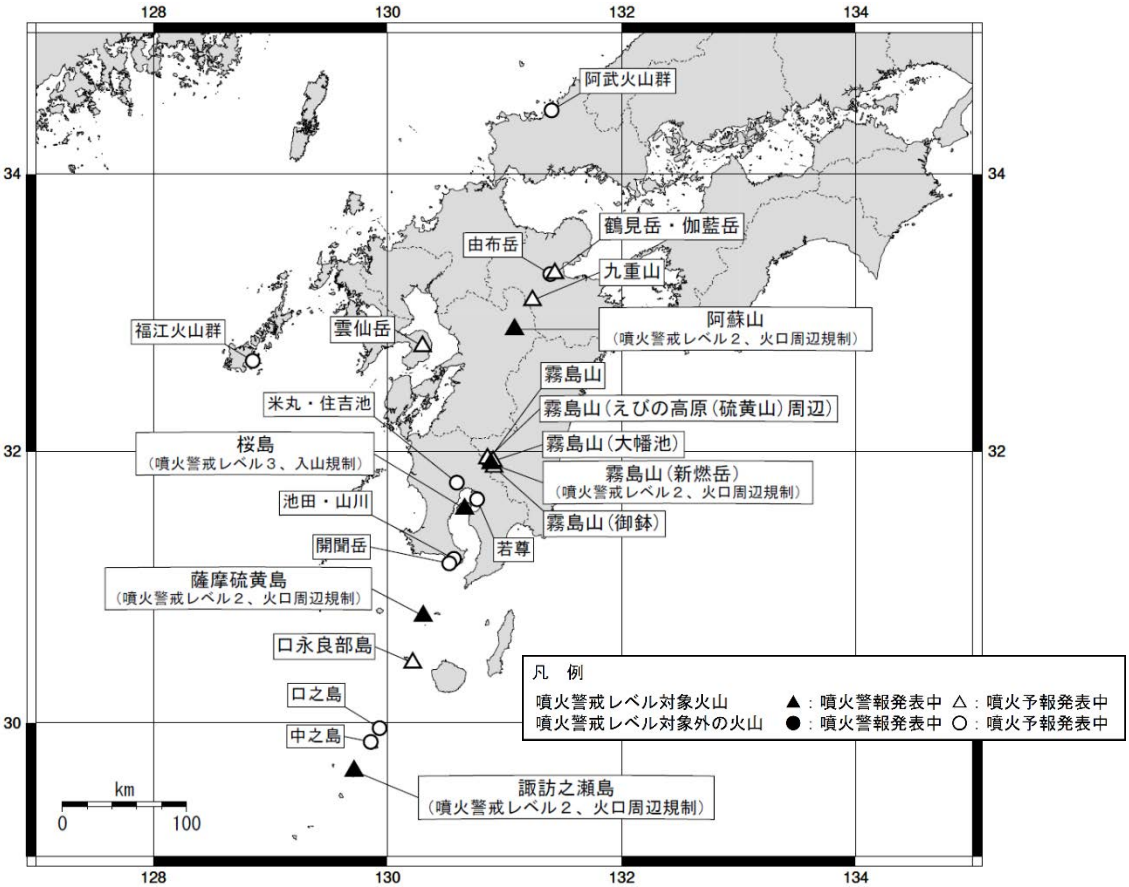
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和８年 10 月）

福　岡　管　区　気　象　台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（令和８年 10 月 31 日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル３（入山規制）	桜島
	レベル２（火口周辺規制）	阿蘇山、霧島山（新燃岳）、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル１（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（大幡池）、霧島山（御鉢）、口永良部島
	活火山であることに留意	阿武（あぶ）火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸（よねまる）・住吉池、若尊（わかみこ）、池田・山川、開聞（かいもん）岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村、阿蘇火山博物館及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。
資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項（10 月１日～31 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

鶴見岳（つるみだけ）・伽藍岳（がらんだけ） [噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しましたが、長期的にはＢ型地震[1)]が時々発生しています。その他の火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

鶴見岳・伽藍岳の想定火口域内では、噴気、火山ガス等の噴出がみられますので、注意してください。

九重山（くじゅうさん） [噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態ですが、中長期的には硫黄山付近が震源と推定されるＢ型地震[1)]が時々発生しています。噴気地帯の状況には特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。地熱域では、長期的には温度の低下や縮小傾向がみられていますが、硫黄山付近の噴気地帯地下の温度上昇を示す全磁力の変化は継続しています。今後の火山活動に留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

阿蘇山（あそさん） [火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）]

火山性微動の振幅は概ね小さな状態で推移しましたが、時々やや大きな状態となりました。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は増減が認められ、時々多い状態となりました。GNSS 連続観測では、2026 年５月頃から草千里を挟む基線及び広域の基線において、草千里付近の深部にあると考えられるマグマだまりへのマグマの蓄積を示唆する伸びが認められていましたが、８月頃から停滞しています。

火山性微動の振幅に変動が認められ、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は多い状態になるなど、火山活動は引き続き高まった状態であることから、中岳第一火口から概ね１km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

中岳第一火口から概ね１km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

雲仙岳（うんぜんだけ） [噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（きりしまやま）（えびの高原（こうげん）（硫黄山（いおうやま））周辺（しゅうへん）） [噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）]

硫黄山では、活発な噴気活動が続いています。硫黄山付近の浅いところを震源とする火山性地震は少ない状態で経過しました。

硫黄山では、現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山火口内、及び硫黄山の西側 500ｍの噴気地帯から概ね 100ｍの範囲では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。

地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くにはとどまらないでください。

霧島山（きりしまやま）（大幡池（おおはたいけ）） [噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、規模の小さな噴出現象が突発的に発生する可能性がありますので、留意してください。

霧島山（新燃岳）［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］

新燃岳では、2025 年９月８日以降噴火は観測されていません。

火口直下を震源とする火山性地震は少ない状態で経過しています。

GNSS 連続観測では、霧島山を挟む一部の基線で、霧島山深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められていましたが、2025 年 12 月中旬頃からは停滞しています。

一方、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量が１日あたり数百トンの状態が継続していることから、火山活動は高まった状態で経過しています。弾道を描いて飛散する大きな噴石が新燃岳火口から概ね２km まで、火砕流が概ね１km まで達する噴火が発生する可能性があります。そのため、新燃岳火口から概ね２km の範囲では警戒してください。風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

霧島山（御鉢）［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

活火山であることから、火口内でごく少量の火山灰等を噴出する規模の小さな現象が突発的に発生する可能性がありますので注意してください。

地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

桜島［火口周辺警報（噴火警戒レベル３、入山規制）］

南岳山頂火口では、噴火[2)]が 94 回発生し、このうち爆発[3)]は 11 回でした。噴煙は最高で火口縁上 3,000ｍまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で南岳山頂火口から約 900ｍ（７合目）まで達しました。

昭和火口では、ごく小規模なものも含め噴火は発生しませんでした。

広域の GNSS 連続観測によると、姶良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部にマグマが長期にわたり蓄積した状態と考えられます。また、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は概ね多い状態であることから、今後も噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね２km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

薩摩硫黄島［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］

硫黄岳火口では、28 日 13 時 07 分と 14 時 15 分に噴火が発生し、噴煙は最高で火口縁上 900ｍまで上がりました。大きな噴石の飛散や空振は観測されませんでした。噴火が発生したのは、2026 年５月 17 日以来です。なお、噴火の前後で地震活動や地殻変動等に特段の変化はみられていません。

火山性地震や火山性微動の発生状況に特段の変化はありません。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は１日あたり 1,000 トン前後の状態が長期的に継続しており、時折噴煙が高くなるほか、夜間に火映を観測しています。長期的には噴煙活動や熱活動が高まった状態が続いていることから、硫黄岳火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。

硫黄岳火口の中心から概ね 0.5km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスにも注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

口永良部島（くちのえらぶじま）［噴火予報（噴火警戒レベル１、活火山であることに留意）］

山体の浅いところを震源とする火山性地震がやや多い状態で経過しています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態で、GNSS 連続観測では、2023 年 11 月以降、火山活動に伴う特段の変化は認められません。

現時点では噴火の兆候は認められませんが、活火山であることから、新岳及び古岳の火口内では、火山灰等が噴出する可能性があります。また、新岳西側割れ目等の地熱域では、高温の噴気や火山ガス等に注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

中之島（なかのしま）［噴火予報（活火山であることに留意）］

火山活動に特段の変化はなく静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

諏訪之瀬島（すわのせじま）［火口周辺警報（噴火警戒レベル２、火口周辺規制）］

御岳(おたけ)火口では、噴火が時々発生しました。

噴火に伴う噴煙は、最高で火口縁上 700ｍまで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は、観測されませんでした。

GNSS 連続観測では、2024 年 10 月以降、島の西側におけるマグマの蓄積量の増加を示唆する変動が認められていましたが、2025 年 11 月頃から停滞しています。火山性地震は、少ない状態で経過しています。

諏訪之瀬島では長期にわたり噴火を繰り返しています。御岳火口では夜間に火映を観測し、火口内の熱活動は引き続き高まった状態であると考えられ、火口周辺に大きな噴石が飛散する噴火が発生する可能性があります。

御岳火口中心から概ね 1.5㎞の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

1）一般的に、火山性地震のうち、相が不明瞭で、比較的周期が長いものをＢ型地震と呼んでいます。火道内のガスの移動やマグマの発泡などにより発生すると考えられています。
2）桜島では噴火活動が活発なため、噴火のうち、爆発もしくは噴煙量が中量以上（概ね噴煙の高さが火口縁上 1,000ｍ以上）の噴火の回数を計数しています。資料の噴火回数はこの回数を示します。また、基準に達しない噴火は、ごく小規模な噴火として噴火回数に含めていません。
3）桜島では、火道内の爆発による地震を伴い、爆発音、体に感じる空気の振動、噴石の火口外への飛散、または、気象台や島内の観測点で一定基準以上の空気の振動のいずれかを観測した場合に爆発としています。

○ 沖縄地方の火山活動

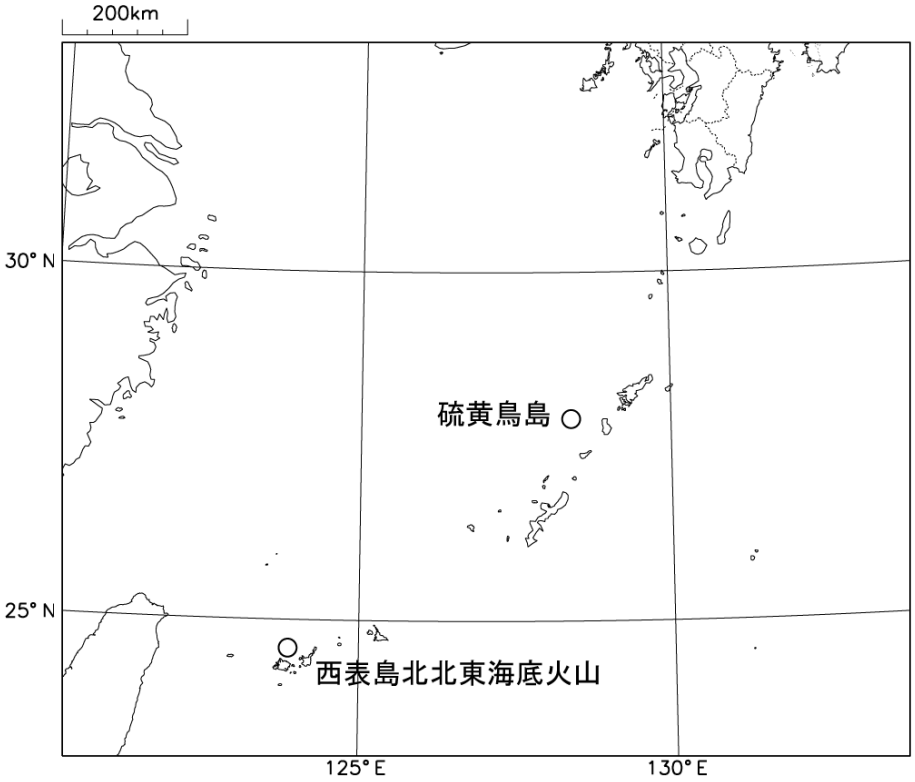
管内月間火山概況（令和８年 10 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
沖 縄 気 象 台 地 震 火 山 課

各火山の活動状況及び予報警報事項（10 月１日～31 日）

硫黄鳥島［噴火予報（活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山［噴火予報（活火山であることに留意）］
火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページでも閲覧することができます。
https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php
本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/kazan/kazanyougo/mokuji.html
資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています。

表　令和８年 10 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
十勝岳	火口周辺警報 （噴火警戒レベル３、 入山規制）	解説情報 第 28～31 号	２日、５日、９日 12 日 16 時 00 分	９月 13 日以降、振幅の大きな火山性地震はなし。７日に継続時間 20 分程度の火山性微動が発生し、これに伴い火山性地震が一時的に増加したが、その後は減少。8 日の現地観測で火山ガス（二酸化硫黄）放出量は 800[t/日]。 熱活動が高まった中で、時折振幅の大きな火山性地震が発生するなど、火山活動が活発化。３月以降、山体付近のやや深部の膨張を示す地殻変動が継続し、４月以降は火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加が認められており、火口から概ね３ｋｍの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性がある。
	火口周辺警報 （噴火警戒レベル２、 火口周辺規制）	火口周辺警報	16 日　10 時 00 分	９月 13 日以降、振幅の大きな火山性地震はなく、小規模なものを含め地震は少ない状態で経過、地震活動に低下傾向が認められる。62-2 火口から概ね３km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなった。 一方、62-2 火口及び振子沢噴気孔群付近の高温化、火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加、山体付近やや深部の膨張を示す地殻変動など活発な火山活動は維持しており、引き続き 62-2 火口から概ね 1.5km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性がある。
		解説情報 第 32～34 号	16 日　10 時 10 分 23 日、30 日 16 時 00 分	活発な熱活動がみられる中で、山体付近を震源とする振幅の大きな火山性地震が８月 17 日以降増加したが、９月 13 日以降発生はなく、小規模なものを含めて地震は少ない状態で経過、地震活動に低下傾向が認められる。このため、62-2 火口から概ね３km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと判断し、16 日 10 時 00 分に噴火警戒レベルを３から２に引き下げた。 一方、62-2 火口及び振子沢噴気孔群付近では、噴煙・噴気の高さの増大、発光現象の多発、振子沢噴気孔群の高温化など熱活動が高まった状態が継続。３月以降、山体付近やや深部の膨張を示す地殻変動が継続し、４月以降は火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加や 62-2 火口付近及びその周辺の地震活動も時折活発化。 引き続き 62-2 火口から概ね 1.5km の範囲に影響を及ぼす噴火の可能性がある。
桜島 （次頁へ続く）	火口周辺警報 （噴火警戒レベル３、 入山規制）	解説情報 第 89～97 号	２日、５日、９日、 12 日、16 日、19 日、 23 日、26 日、30 日 16 時 00 分	南岳山頂火口で噴火活動継続。５日、21 日、22 日、24 日、25 日、28 日に爆発。噴煙は最高で火口縁上 2200m。大きな噴石は最大で火口から 900m まで達する。夜間に高感度の監視カメラで火映を観測。昭和火口では噴火及び火映はない次頁に続き。 火山性地震は少ない状態で経過。火山性微動が時々発生。また、噴火に伴う火山性微動が時々発生。 9 月 28 日、10 月 14 日、27 日の現地調査で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、1300[t/日]、2000[t/日]、2100[t/日]とやや多い状態から多い状態。 GNSS 観測で、桜島島内の一部の基線で 2026 年５月頃から山体膨張に伴うとみられるわずかな伸びが認められる。姶良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線では、地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。 姶良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられ、今後の火山情報に注意。

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
（前頁の続き） 桜島	火口周辺警報 （噴火警戒レベル３、 入山規制）	降灰予報（速報）	28 日　12 時 11 分 30 日　19 時 59 分 30 日　20 時 11 分	噴火発生から１時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報（詳細）	28 日　12 時 21 分 30 日　20 時 24 分	噴火発生から６時間先まで（１時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
雌阿寒岳	火口周辺警報 （噴火警戒レベル２、 火口周辺規制）	解説情報 第 47～51 号	２日、９日、16 日、 23 日、30 日 16 時 00 分	2025 年 9 月に活発化したポンマチネシリ 96-1 火口の噴煙活動は、５月頃から低下。 阿寒富士北２観測点の傾斜計の 2026 年５月頃からのポンマチネシリ火口方向下がりの変化は、９月 16 日頃から一次鈍化したものの継続。 ポンマチネシリ火口付近の火山性地震は、2026 年６月頃以降、増減はありつつも概ね少ない状態で経過。 火山活動の活発な状態が継続しており、今後も噴火の可能性がある。
北海道 駒ヶ岳	噴火予報 （噴火警戒レベル１、 活火山であることに留意）	解説情報（臨時） 第５号	１日　16 時 00 分	９月 29 日の国交省北海道開発局の協力による上空からの観測では、昭和４年火口や明治火口の地熱域や噴気の状況に前回（8 月 21 日）から特段の変化なし。 山頂火口原浅部を震源とする火山性地震が増加。９月 28 日には、M1.4（暫定値）の地震が発生するなど、地震活動が高まった状態が継続。 ９月 29 日以降はM1.0 以上の地震や火山性微動はなし。 ９月 26 日以降火口近傍の傾斜計で山頂火口原方向が上がる傾斜変動が継続。 今後の火山活動の推移に注意。
	火口周辺警報 （噴火警戒レベル２、 火口周辺規制）	火口周辺警報	２日　07 時 30 分	２日０時頃から山頂火口原方向が上がる傾斜変動が見られる中、山頂火口原浅部の火山性地震が増加。 火山活動が高まっており、山頂火口原内で小噴火が発生する可能性がある。
		解説情報 第６～16 号	２日　08 時 00 分 ２日、３日、４日、 ５日、７日、９日、 12 日、16 日、23 日、 30 日 16 時 00 分	２日０時以降、山頂火口原方向が上がる傾斜変動がやや加速する中、主に山頂火口原浅部を震源とする振幅の小さな火山性地震が増加。２日８時までの前 24 時間の地震回数は山麓観測点基準で５回、山頂観測点基準で 105 回。 火山性地震は、２日 19 時以降は少ない状態で、その後低調に推移。 10 月１日から 24 日まで、M1.0 以上の地震や火山性微動の観測はなし。 25 日に、山頂火口原方向が上がる傾斜変動を伴う継続時間約２分の火山性微動が発生し、火山性微動の発生後、火山性地震が一時的に増加したが、その後はなし。 ９月 26 日頃からの山頂火口原方向が上がる傾斜変動は、鈍化しつつも継続し、山頂火口原浅部の膨張した状態が継続。 山頂の監視カメラで、昭和４年火口からの噴気に特段の変化なし。 火山活動が高まっており、山頂火口原内で小噴火が発生する可能性がある。

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
阿蘇山	火口周辺警報 （噴火警戒レベル２、 火口周辺規制）	解説情報 第 26～30 号	２日、９日、16 日、 23 日、30 日 16 時 00 分	中岳第一火口では、白色の噴煙が最高で火口縁上 1000ｍまで上がる。 火山性微動の振幅は、一時的な増大が時折見られる。９月 29 日 22 時頃から 30 日 04 時頃にかけて、一時的にやや大きな状態になったが、その後小さな状態で推移。16 日 10 時頃から 12 時頃にかけては、中岳西山腹観測点南北動成分の１分間平均振幅が 2.0[μm/秒]程度と、やや大きな状態となったが、17 日 09 時頃から小さな状態で推移。 ９月 30 日の現地調査で、火山ガス（二酸化硫黄）放出量は 1000[t/日]とやや多い状態。16 日の現地調査では、3200[t/日]と急増し非常に多い状態となったが、19 日には、1200[t/日]と減少。27 日は、1500[t/日]、28 日は、2700[t/日]と多い状態。 １日、20 日、29 日の現地調査で、中岳第一火口底に灰色の湯だまりを確認。湯だまり量は、約６割（29 日は不明）。20 日、29 日には、高さ数ｍ程度の小規模な土砂噴出及び噴湯を確認。 GNSS 連続観測で、2026 年５月頃から、草千里を挟む基線や広域の基線で、草千里付近の深部に推定されるマグマだまりへのマグマの蓄積を示唆する伸びが認められていたが、８月頃から停滞。 火山ガス（二酸化硫黄）放出量が多い状態となるなど、火山活動は高まった状態であり、中岳第一火口から概ね１km の範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。
霧島山 （新燃岳）	火口周辺警報 （噴火警戒レベル２、 火口周辺規制）	解説情報 第 40～44 号	２日、９日、16 日、 23 日、30 日 16 時 00 分	2025 年９月８日以降噴火はない。 監視カメラにより、火口縁上数百ｍの白色噴煙を観測。西側斜面割れ目の噴気はなし。 火口直下の火山性地震は、少ない状態で経過。火山性微動は９月 14 日以降なし。 ８日に韓国岳山頂から実施した現地調査では、新燃岳火口内及び西側斜面の割れ目付近では、前回（2025 年 11 月 21 日）に引き続き地熱域を確認。 GNSS 観測で霧島山を挟む一部の基線で、深部の膨張を示すと考えられるわずかな伸びが認められたが、2025 年 12 月中旬頃から停滞。新燃岳付近の膨張を示すと考えられる基線の伸びは 2025 年７月以降認められない。 火山活動が高まった状態が継続。引き続き噴火の可能性がある。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 （噴火警戒レベル２、 火口周辺規制）	解説情報 第 41～46 号	２日、９日、16 日、 23 日 16 時 00 分 28 日　14 時 15 分 30 日　16 時 00 分	硫黄岳火口では、白色の噴煙と夜間に高感度カメラで火映を観測。 28 日 13 時 07 分と 14 時 15 分に噴火発生。噴煙は火口縁上 900m。大きな噴石はなし。島内の集落で噴火に伴う少量の降灰を確認。噴火は５月 17 日以来。 火山性地震は少ない状態で経過。火山性微動はなし。長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態が継続。火口周辺に影響する噴火の可能性がある。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 （噴火警戒レベル２、 火口周辺規制）	解説情報 第 40～44 号	２日、９日、16 日、 23 日、30 日 16 時 00 分	御岳火口では、時々噴火発生。噴煙は火口縁上 700m、大きな噴石なし。17 日には御岳火口から南南西約 3.5km の集落で鳴動が確認。爆発なし。夜間に高感度カメラで火映を観測。火山性地震は少ない状態で経過。火山性微動は断続的に発生。GNSS 連続観測で、2024 年 10 月以降、島の西側のマグマの蓄積量の増加を示唆する地殻変動が認められていたが、2025 年 11 月頃から停滞。 長期にわたり噴火活動が継続し、御岳火口周辺では、大きな噴石飛散の可能性がある

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
ベヨネース 列岩	噴火予報 （活火山であることに留意）	噴火予報	８日　11時00分	令和５年１月の海上保安庁の上空からの観測で変色水が確認されたことから、噴火警報（周辺海域）を発表。 その後の観測では、令和５年２月を最後に、変色水、浮遊物等の特異事象は確認されていない。 周辺海域に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなったと考えられる。
		火山現象に関する海上警報解除	８日　11時00分	噴火警報解除
浅間山	噴火予報 （噴火警戒レベル１、 活火山であることに留意）	解説情報 第45～46号	23日､30日 16時00分	９月下旬から火山性地震がやや増加、前１ヶ月間平均の日地震回数は概ね35～38回。噴煙量に変化はなく、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態で推移。地殻変動観測でも、山体の膨張を示す変化はなし。 噴火警戒レベルを引き上げるような状況ではないが、火山性地震が増加しており、登山の際は、最新の火山情報を確認してください。
弥陀ヶ原	噴火予報 （噴火警戒レベル１、 活火山であることに留意）	解説情報 第２号	29日　17時00分	10月28日22時以降、想定火口域（地獄谷周辺）から南に３～４km付近を震源とする地震が増加。日回数は28日32回、29日60回発生したが、30日以降は発生なし。 今回の地震による火山活動（地殻変動や表面現象等）の変化は観測されていない。

注１）表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注２）雌阿寒岳、十勝岳、阿蘇山、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間（十勝岳においては、噴火警戒レベル３（入山規制）である間)、毎日02時から３時間毎に８回降灰予報（定時）を発表している。十勝岳は16日８時で終了した。

●　世界の主な地震

令和８年（2026 年）10 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図１に示す。また、その震源要素等を表１に示す。

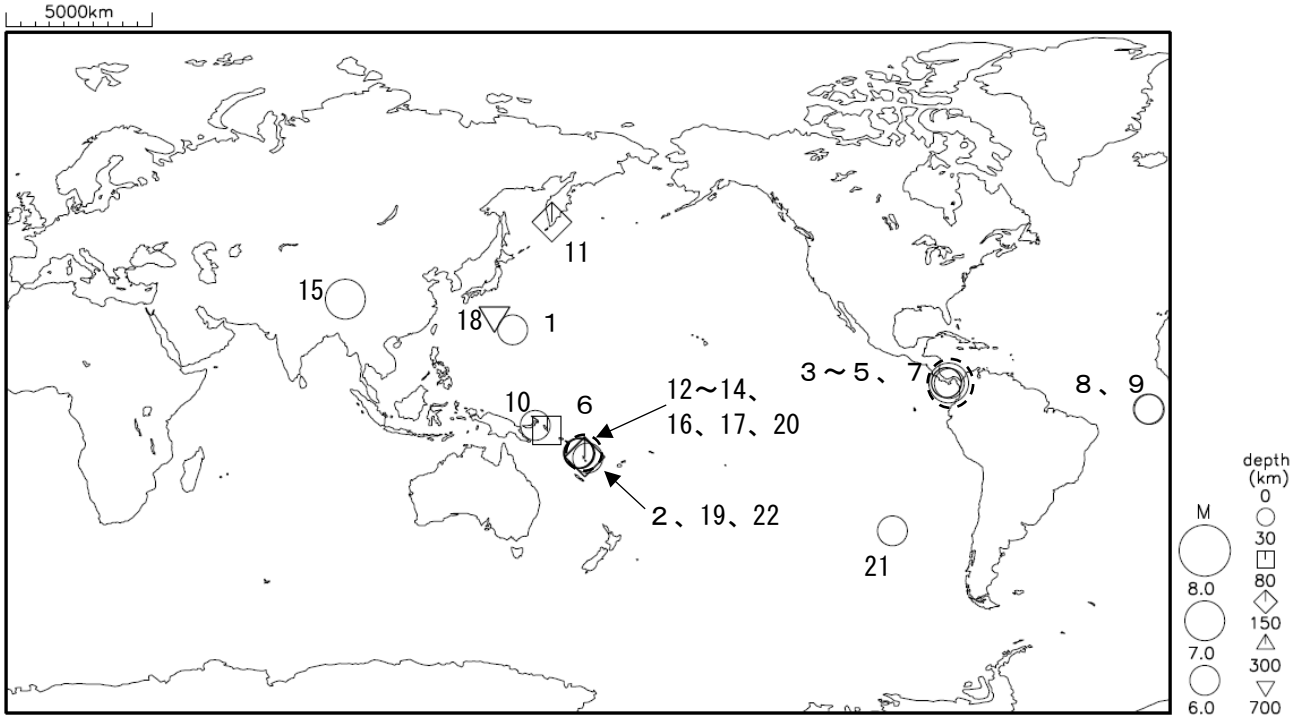


図１　令和８年（2026 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表１　令和８年（2026 年）10 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ(km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考（被害状況など）	北西	遠地
1	10月04日20時12分	N23° 36.5′	E145° 11.9′	ごく浅い		6.0		硫黄島近海			
2	10月08日18時00分	S15° 32.4′	E168° 11.3′	10			6.3	バヌアツ諸島			
3	10月10日02時56分	N 7° 35.2′	W 80° 46.1′	13			7.6$_G$	パナマ	死者２人など		○
4	10月10日05時25分	N 7° 42.0′	W 81° 26.6′	24			6.6	パナマ			
5	10月10日13時14分	N 7° 30.4′	W 80° 35.9′	10			6.0	パナマ			
6	10月11日23時07分	S 7° 2.8′	E155° 44.9′	31			6.2	ブーゲンビルーソロモン諸島			
7	10月13日08時20分	N 7° 42.5′	W 81° 28.2′	11			6.1	パナマ			
8	10月13日14時44分	N 0° 10.1′	W 19° 51.5′	10			6.7	大西洋中央海嶺中部			
9	10月13日21時23分	N 0° 24.5′	W 19° 25.8′	10			6.8	大西洋中央海嶺中部			
10	10月14日03時45分	S 5° 28.9′	E152° 8.1′	21			6.0	パプアニューギニア、ニューギニア東部、ニューブリテン			
11	10月16日12時35分	N51° 59.0′	E157° 16.2′	135			6.9	ロシア、カムチャツカ半島東岸		○	
12	10月19日16時49分	S14° 3.1′	E165° 40.5′	10			6.0	バヌアツ諸島			
13	10月20日13時20分	S13° 52.1′	E165° 42.7′	10			6.6	バヌアツ諸島			
14	10月20日13時20分	S13° 59.4′	E165° 35.3′	16			6.3	バヌアツ諸島			
15	10月22日23時33分	N32° 22.8′	E 93° 46.7′	18			7.0	チベット自治区	死者16人など		○
16	10月24日11時31分	S14° 3.3′	E165° 32.7′	10			6.9	バヌアツ諸島	津波観測0.06m（ニューカレドニア）など		○
17	10月24日11時35分	S14° 2.5′	E165° 51.9′	10			6.3	バヌアツ諸島			
18	10月25日11時09分	N27° 46.7′	E139° 55.7′	507		6.8	(6.5)	小笠原諸島西方沖		○	
19	10月25日11時24分	S14° 59.7′	E167° 18.2′	116			6.1	バヌアツ諸島			
20	10月28日11時21分	S13° 55.8′	E165° 26.7′	10			6.0	バヌアツ諸島			
21	10月29日16時49分	S36° 24.3′	W 98° 2.9′	10			6.4	イースター島南東方			
22	10月30日06時46分	S15° 11.3′	E167° 27.1′	143			6.2	バヌアツ諸島			

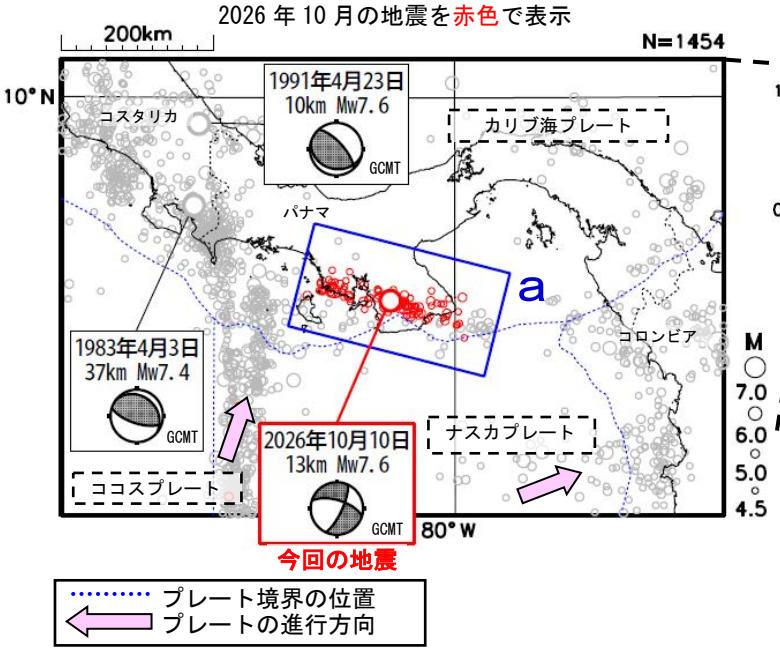
・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの”Search Earthquake Catalog”（https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/）による（2026 年 11 月４日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mw の欄に下付きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。
・地震の被害は OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2026 年 11 月４日現在)と中華人民共和国応急管理部（2026 年 10 月 23 日現在)による。
・地震発生時刻は日本時間［日本時間＝協定世界時＋９時間］である。
・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html）参照。
・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

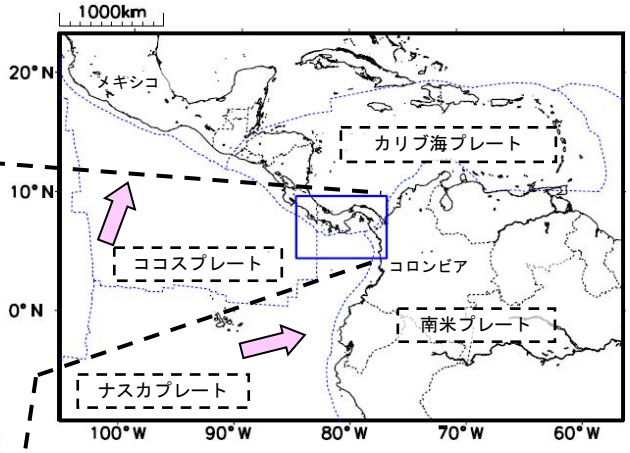
10 月 10 日　パナマの地震

2026 年 10 月 10 日 02 時 56 分（日本時間、以下同じ）にパナマの深さ 13km で Mw7.6（Mw は Global CMT による）の地震が発生した。この地震はカリブ海プレート内部で発生した。発震機構（Global CMT による）は、北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁はこの地震に対して、10 月 10 日 03 時 26 分に遠地地震に関する情報（日本の沿岸で若干の海面変動の可能性あり）を発表し、その後 03 時 50 分に遠地地震に関する情報（震源要素訂正）を発表した。この地震により、死者２人などの被害が生じた（2026 年 11 月４日現在）。

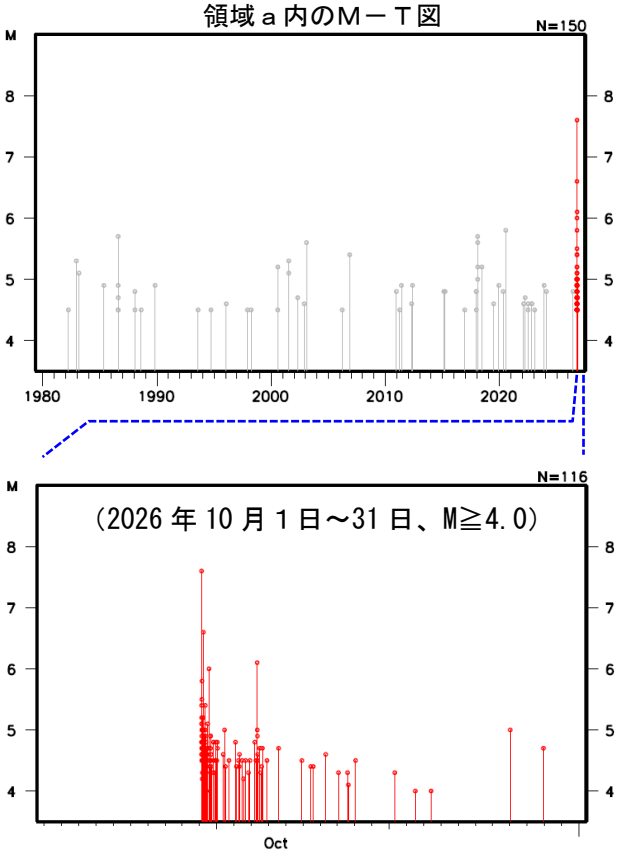
1980 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ａ）では M5.0 以上の地震が時々発生している。また、領域ａの周辺では、1983 年４月３日に Mw7.4、1991 年４月 23 日に Mw7.6（Mw はいずれも Global CMT による）の地震が発生している。

震央分布図
（1980 年１月１日～2026 年 10 月 31 日、
深さ０～200km、M≧4.5）
2026 年 10 月の地震を赤色で表示





領域ａ内のＭ－Ｔ図



※震源要素は米国地質調査所(USGS)による(2026 年 11 月４日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構については Global CMT による。今回の地震の被害は OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所)による（2026 年 11 月４日現在)。プレート境界の位置とプレートの進行方向は Bird(2003)*1 より引用。

*1 参考文献　Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

● 世界の主な火山活動

令和８年（2026 年）10 月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。



図　令和８年（2026 年）10 月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

＊ 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ“Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report”（https://volcano.si.edu/reports_weekly.cfm）による。日付は全て現地時間。

●付録１．震度１以上を観測した地震の表

令和８年 10 月中に震度１以上を観測した地震は 186 回であった。

※　震度データは、震度データベース検索［気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.php］で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）［気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html］に掲載する。

※　震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（令和７年 12 月　地震・火山月報（防災編）の付録７参照）を記す。なお、＊のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に'F'を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震源決定精度が十分ではない地震については、震源要素の記載対象外としている。震度３以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 / 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 00 58	福島県会津	37° 24.8' N	139° 25.8' E	6km	M: 3.0
		福島県 1 只見町黒谷＊=0.7				
		新潟県 1 阿賀町豊川＊=0.8				
2	1 06 16	千葉県北東部	35° 44.1' N	140° 37.2' E	49km	M: 3.4
		千葉県 2 芝山町小池＊=1.6				
		1 多古町多古=1.3 山武市松尾町富士見台=1.3 香取市仁良＊=1.2 東金市日吉台＊=1.2 旭市ニ＊=1.1 横芝光町宮川＊=1.0 横芝光町栗山＊=1.0 一宮町一宮=1.0 山武市蓮沼ニ＊=1.0 香取市役所＊=0.9 旭市高生＊=0.9 旭市南堀之内＊=0.9 山武市松尾町五反田＊=0.9 匝瑳市八日市場ハ＊=0.8 山武市埴谷＊=0.8 成田市松子＊=0.8 香取市佐原諏訪台＊=0.7 東金市東新宿=0.7 九十九里町片貝＊=0.6 成田国際空港=0.5				
		茨城県 1 神栖市溝口＊=0.8 稲敷市結佐＊=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.5				
3	1 10 32	埼玉県南部	35° 58.8' N	139° 31.9' E	48km	M: 3.1
		埼玉県 1 滑川町福田＊=0.9 東松山市松葉町＊=0.8 熊谷市江南＊=0.7 東松山市市ノ川＊=0.7 伊奈町中央＊=0.6 狭山市入間川＊=0.5 加須市大利根＊=0.5				
4	1 20 26	熊本県熊本地方	32° 39.3' N	130° 41.6' E	16km	M: 3.4
		熊本県 2 宇土市浦田町＊=2.1 熊本南区城南町＊=2.0 熊本西区春日=1.9 宇城市不知火町＊=1.9 宇城市豊野町＊=1.8				
		1 嘉島町上島＊=1.3 甲佐町豊内＊=1.1 宇城市松橋町=1.1 熊本美里町馬場＊=1.0 大津町大津＊=1.0 八代市平山新町=0.9 熊本美里町永富＊=0.9 熊本中央区大江＊=0.9 益城町宮園＊=0.8 宇城市小川町＊=0.8 山都町浜町＊=0.8 氷川町島地＊=0.8 氷川町宮原＊=0.8 八代市鏡町＊=0.8 御船町御船＊=0.7 八代市泉町=0.7 八代市東陽町＊=0.6 熊本高森町高森＊=0.6 熊本東区佐土原＊=0.6 大津町引水＊=0.5				
		宮崎県 1 延岡市北方町総合支所＊=0.6				
5	1 21 16	熊本県熊本地方	32° 39.4' N	130° 41.6' E	16km	M: 2.6
		熊本県 1 宇土市浦田町＊=0.8 宇城市不知火町＊=0.6 熊本西区春日=0.5				
6	**1 21 27**	**千葉県北東部**	**35° 44.5' N**	**140° 41.7' E**	**51km**	**M: 5.2**
		茨城県 3 潮来市辻＊=2.9 神栖市波崎＊=2.6 潮来市堀之内=2.6 神栖市溝口＊=2.5				
		2 ひたちなか市南神敷台＊=2.4 稲敷市結佐＊=2.4 稲敷市伊佐津＊=2.3 土浦市常名=2.2 稲敷市須賀津＊=2.2 茨城鹿嶋市鉢形=2.2 小美玉市上玉里＊=2.2 美浦村受領＊=2.1 行方市麻生＊=2.1 稲敷市江戸崎甲＊=2.1 東海村東海＊=2.0 茨城鹿嶋市宮中＊=2.0 土浦市藤沢＊=2.0 河内町源清田＊=2.0 かすみがうら市上土田＊=1.9 石岡市柿岡=1.9 桜川市真壁＊=1.9 龍ケ崎市役所＊=1.9 取手市寺田＊=1.9 つくば市小茎＊=1.9 笠間市石井＊=1.9 大洗町磯浜町＊=1.9 かすみがうら市大和田＊=1.9 那珂市福田＊=1.8 小美玉市小川＊=1.8 石岡市若宮＊=1.8 鉾田市汲上＊=1.8 つくばみらい市福田＊=1.8 小美玉市堅倉＊=1.8 稲敷市役所＊=1.8 取手市井野＊=1.8 取手市藤代＊=1.8 つくば市天王台＊=1.8 常陸太田市金井町＊=1.8 阿見町中央＊=1.7 鉾田市造谷＊=1.7 つくばみらい市加藤＊=1.7 土浦市田中＊=1.7 筑西市舟生=1.7 利根町布川=1.7 茨城町小堤＊=1.7 石岡市石岡＊=1.7 行方市山田＊=1.7 桜川市岩瀬＊=1.7 茨城古河市下大野＊=1.7 守谷市大柏＊=1.6 石岡市八郷＊=1.6 鉾田市鉾田=1.6 ひたちなか市山ノ上町=1.6 日立市助川小学校＊=1.6 常総市水海道諏訪町＊=1.6 つくば市研究学園＊=1.6 笠間市中央＊=1.6 坂東市岩井=1.5 水戸市内原町＊=1.5 行方市玉造＊=1.5				
		1 水戸市金町=1.4 水戸市栗崎町＊=1.4 笠間市笠間＊=1.4 ひたちなか市東石川＊=1.4 牛久市中央＊=1.4 桜川市羽田＊=1.4 常総市新石下＊=1.4 常陸大宮市北町＊=1.3 那珂市瓜連＊=1.3 下妻市本城町＊=1.3 下妻市鬼怒＊=1.3 笠間市下郷＊=1.3 筑西市門井＊=1.3 水戸市千波町＊=1.3 大子町池田＊=1.2 城里町石塚＊=1.2 茨城古河市仁連＊=1.2 結城市中央町＊=1.2 常陸太田市高柿町＊=1.2 常陸大宮市野口＊=1.1 高萩市安良川＊=1.1 北茨城市中郷町＊=1.1 筑西市海老ヶ島＊=1.1 筑西市二木成＊=1.1 日立市十王町友部＊=1.0 常陸大宮市山方＊=1.0 境町旭町＊=1.0 五霞町小福田＊=0.9 坂東市役所＊=0.9 常陸大宮市中富町=0.9 日立市役所＊=0.9 常陸太田市町屋町=0.8 高萩市本町＊=0.8				
		千葉県 3 横芝光町宮川＊=3.3 香取市役所＊=3.2 旭市南堀之内＊=3.2 横芝光町栗山＊=3.2 多古町多古=3.1 山武市松尾町五反田＊=3.0 匝瑳市今泉＊=2.9 旭市ニ＊=2.9 芝山町小池＊=2.9 山武市松尾町富士見台=2.9 匝瑳市八日市場ハ＊=2.9 山武市埴谷＊=2.8 山武市殿台＊=2.8 香取市仁良＊=2.8 山武市蓮沼ニ＊=2.7 山武市蓮沼ハ＊=2.7 東金市日吉台＊=2.7 旭市高生＊=2.6 旭市萩園＊=2.6 香取市佐原平田=2.6 成田市松子＊=2.6 八街市八街＊=2.6 九十九里町片貝＊=2.5				

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		東金市東岩崎＊=2.5 東金市東新宿=2.5 神崎町神崎本宿＊=2.5 成田国際空港=2.5 成田市役所＊=2.5 千葉佐倉市海隣寺町＊=2.5 香取市佐原諏訪台＊=2.5 2 長南町総合グラウンド=2.4 香取市羽根川＊=2.4 香取市岩部＊=2.4 大網白里市大網＊=2.4 千葉若葉区野呂町＊=2.4 成田市名古屋=2.4 成田市中台＊=2.4 富里市七栄＊=2.4 東庄町笹川＊=2.3 一宮町一宮=2.3 銚子市小畑新町=2.3 八千代市大和田新田＊=2.3 四街道市鹿渡＊=2.3 銚子市若宮町＊=2.3 市原市姉崎＊=2.2 銚子市川口町=2.1 白子町関＊=2.1 印西市笠神＊=2.1 いすみ市岬町長者＊=2.1 千葉花見川区花島町＊=2.0 千葉稲毛区園生町＊=2.0 印西市大森＊=2.0 酒々井町中央台＊=2.0 白井市復＊=2.0 栄町安食台＊=2.0 千葉若葉区小倉台＊=2.0 野田市鶴奉＊=2.0 いすみ市弥正＊=2.0 柏市柏＊=1.9 鎌ケ谷市新鎌ケ谷＊=1.9 千葉中央区中央港=1.9 印西市美瀬＊=1.9 市川市大町＊=1.9 君津市久留里市場＊=1.9 睦沢町下之郷＊=1.9 成田市猿山＊=1.8 長南町長南＊=1.8 千葉緑区おゆみ野＊=1.8 千葉美浜区ひび野=1.8 市川市本行徳＊=1.8 浦安市日の出=1.7 柏市旭町=1.7 大多喜町大多喜＊=1.7 いすみ市大原＊=1.7 市原市国分寺台中央＊=1.6 我孫子市我孫子＊=1.6 茂原市道表＊=1.6 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.6 船橋市湊町＊=1.6 松戸市西馬橋＊=1.6 長生村本郷＊=1.6 習志野市鷺沼＊=1.6 館山市北条＊=1.5 木更津市富士見＊=1.5 君津市久保＊=1.5 富津市下飯野＊=1.5 長柄町桜谷＊=1.5 鋸南町下佐久間＊=1.5 1 柏市大島田＊=1.4 浦安市猫実＊=1.4 勝浦市墨名=1.4 館山市長須賀=1.3 勝浦市新官＊=1.3 鴨川市八色=1.3 鴨川市横渚＊=1.3 南房総市谷向＊=1.2 野田市東宝珠花＊=1.2 流山市平和台＊=1.2 木更津市太田=1.2 袖ケ浦市坂戸市場＊=1.2 南房総市岩糸＊=1.2 南房総市富浦町青木＊=1.0 南房総市白浜町白浜＊=0.8 鴨川市内浦=0.7 南房総市上堀=0.6
		福島県 2 玉川村小高＊=1.8 泉崎村泉崎＊=1.5 1 田村市大越町＊=1.4 いわき市錦町＊=1.3 須賀川市八幡山＊=1.2 白河市東＊=1.2 田村市滝根町＊=1.1 古殿町松川新桑原＊=1.1 浅川町浅川＊=0.9 矢祭町東舘＊=0.9 白河市新白河＊=0.8 郡山市朝日=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.8 郡山市湖南町＊=0.8 天栄村下松本＊=0.7 矢祭町戸塚＊=0.7 いわき市小名浜=0.7 福島市花園町=0.7 白河市郭内=0.7 いわき市三和町=0.5
		栃木県 2 真岡市石島＊=1.6 市貝町市塙＊=1.6 高根沢町石末＊=1.5 1 真岡市荒町＊=1.4 下野市田中＊=1.4 下野市笹原＊=1.3 大田原市湯津上＊=1.3 小山市神鳥谷＊=1.3 益子町益子=1.2 芳賀町祖母井＊=1.2 真岡市田町＊=1.2 栃木市岩舟町静＊=1.0 佐野市葛生東＊=1.0 小山市中央町＊=1.0 宇都宮市明保野町=1.0 栃木市旭町=1.0 壬生町壬生甲＊=1.0 野木町丸林＊=1.0 那須烏山市神長=1.0 茂木町茂木＊=0.9 鹿沼市晃望台＊=0.9 日光市芹沼＊=0.7 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.6 日光市瀬川=0.5
		群馬県 2 渋川市赤城町＊=1.5 1 沼田市白沢町＊=1.4 邑楽町中野＊=1.4 沼田市西倉内町=1.1 千代田町赤岩＊=1.1 太田市西本町＊=1.0 太田市粕川町＊=1.0 前橋市粕川町＊=0.9 前橋市富士見町＊=0.8 桐生市黒保根町＊=0.8 みどり市笠懸町＊=0.8 板倉町板倉=0.7 前橋市堀越町＊=0.7 みどり市大間々町＊=0.7 桐生市新里町＊=0.7 伊勢崎市西久保町＊=0.7 館林市城町＊=0.7 渋川市吹屋＊=0.7 桐生市元宿町＊=0.6 群馬明和町新里＊=0.6 安中市安中＊=0.5 太田市浜町＊=0.5 沼田市下久屋町＊=0.5
		埼玉県 2 春日部市粕壁＊=1.6 春日部市谷原新田＊=1.6 宮代町笠原＊=1.6 さいたま緑区中尾＊=1.6 吉川市きよみ野＊=1.5 1 久喜市下早見=1.4 川口市中青木分室＊=1.4 川口市三ツ和＊=1.4 川口市安行領家＊=1.4 春日部市金崎＊=1.4 蕨市中央＊=1.3 幸手市東＊=1.3 草加市中央＊=1.2 越谷市越ヶ谷＊=1.2 八潮市中央＊=1.2 三郷市中央＊=1.2 さいたま大宮区大門＊=1.2 さいたま見沼区堀崎＊=1.2 さいたま浦和区高砂=1.2 さいたま南区別所＊=1.2 加須市大利根＊=1.2 さいたま大宮区天沼町＊=1.1 久喜市青葉＊=1.1 さいたま中央区下落合＊=1.1 白岡市千駄野＊=1.1 和光市広沢＊=1.1 加須市騎西＊=1.1 さいたま北区宮原＊=1.1 戸田市上戸田＊=1.0 新座市野火止＊=1.0 さいたま西区西大宮＊=1.0 鴻巣市吹上富士見＊=1.0 久喜市菖蒲＊=1.0 鴻巣市中央＊=0.9 桶川市泉＊=0.9 富士見市鶴馬＊=0.9 伊奈町中央＊=0.9 松伏町松伏＊=0.9 久喜市鷲宮＊=0.9 熊谷市大里＊=0.9 狭山市入間川＊=0.9 上尾市本町＊=0.9 加須市三俣＊=0.9 加須市北川辺＊=0.9 志木市中宗岡＊=0.9 川島町下八ツ林＊=0.8 鴻巣市川里＊=0.8 朝霞市本町＊=0.8 さいたま桜区道場＊=0.8 久喜市栗橋＊=0.8 行田市南河原＊=0.8 所沢市北有楽町＊=0.8 さいたま浦和区常盤＊=0.7 行田市本丸＊=0.7 埼玉三芳町藤久保＊=0.7 吉見町下細谷＊=0.6 埼玉美里町木部＊=0.6 本庄市児玉町=0.6 羽生市東＊=0.6 北本市本町＊=0.5 東松山市松葉町＊=0.5
		東京都 2 東京墨田区東向島＊=1.8 東京荒川区荒川＊=1.6 東京荒川区東尾久＊=1.6 東京足立区千住中居町＊=1.6 東京江戸川区中央=1.6 東京江戸川区船堀＊=1.6 町田市本町田＊=1.6 小平市小川町＊=1.6 東京千代田区大手町=1.5 東京江東区越中島＊=1.5 東京江東区亀戸＊=1.5 東京世田谷区三軒茶屋＊=1.5 東京板橋区相生町＊=1.5 東京足立区神明南＊=1.5 東京葛飾区立石＊=1.5 1 東京墨田区横川=1.4 東京北区西ヶ原＊=1.4 東京北区赤羽南＊=1.4 東京足立区伊興＊=1.4 東京江戸川区鹿骨＊=1.4 調布市西つつじヶ丘＊=1.4 東京文京区本郷＊=1.3 東京江東区東陽＊=1.3 東京江東区森下＊=1.3 東京渋谷区本町＊=1.3 東京板橋区高島平＊=1.3 八王子市堀之内＊=1.3 東京中央区勝どき＊=1.2 東京台東区千束＊=1.2 東京江東区枝川＊=1.2 東京大田区本羽田＊=1.2 東京大田区多摩川＊=1.2 東京世田谷区世田谷＊=1.2 東京練馬区豊玉北＊=1.1 東京葛飾区金町＊=1.1 東京港区南青山＊=1.1 東京新宿区上落合＊=1.1 東京墨田区吾妻橋＊=1.1 東京江東区青海=1.1 東京品川区平塚＊=1.1 東京世田谷区成城＊=1.1 東京中野区中野＊=1.1 東京豊島区南池袋＊=1.1 東京文京区スポーツセンタ＊=1.0 東京文京区大塚＊=1.0 西東京市中町＊=1.0 東京品川区北品川＊=1.0 東京杉並区桃井＊=1.0 東京千代田区麹町＊=1.0 東京港区海岸=1.0 東京板橋区板橋＊=1.0 東京足立区中央本町＊=1.0 東京千代田区富士見＊=0.9 東京中野区江古田＊=0.9 東京中央区日本橋兜町＊=0.9 東京杉並区高井戸＊=0.9 東京港区白金＊=0.9 東京新宿区百人町＊=0.9 東京練馬区東大泉＊=0.9 東京台東区東上野＊=0.9 町田市忠生＊=0.9 町田市森野＊=0.9 国分寺市泉町＊=0.9 日野市神明＊=0.8 東大和市中央＊=0.8 東京練馬区光が丘＊=0.8 東京国際空港=0.8 国分寺市並木町=0.7 東京目黒区中央町＊=0.7 八王子市石川町＊=0.7 東京新宿区西新宿=0.7 東京新宿区歌舞伎町＊=0.6 東京渋谷区宇田川町＊=0.6 東京品川区広町＊=0.6 東京杉並区阿佐谷=0.6 武蔵野市緑町＊=0.6 東京港区芝公園＊=0.6 東京大田区大森東＊=0.6 東京世田谷区中町＊=0.6 東京府中市朝日町＊=0.5

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		神奈川県　2 横浜中区山下町＊=1.7 横浜神奈川区神大寺＊=1.6 横浜神奈川区広台太田町＊=1.5 横浜保土ケ谷区上菅田町＊=1.5 横浜港北区日吉本町＊=1.5 横浜戸塚区鳥が丘＊=1.5 横浜都筑区池辺町＊=1.5 1 横浜鶴見区末広町＊=1.4 横浜中区山手町=1.4 横浜緑区鴨居＊=1.4 湯河原町中央=1.4 横浜磯子区洋光台＊=1.3 横浜緑区十日市場町＊=1.3 横浜瀬谷区中屋敷＊=1.3 川崎川崎区宮前町＊=1.3 川崎中原区小杉町＊=1.3 川崎宮前区野川＊=1.3 厚木市下津古久＊=1.3 横浜旭区川井宿町＊=1.2 横浜瀬谷区三ツ境＊=1.2 川崎宮前区宮前平＊=1.2 横須賀市光の丘=1.2 厚木市中町＊=1.2 愛川町角田＊=1.2 横浜鶴見区鶴見＊=1.1 川崎川崎区千鳥町＊=1.1 清川村煤ヶ谷＊=1.1 横浜金沢区釜利谷南＊=1.0 横浜港南区野庭町＊=1.0 川崎川崎区中島＊=1.0 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.0 大和市下鶴間＊=1.0 相模原南区相模大野＊=1.0 相模原緑区橋本＊=1.0 横浜旭区今宿東町＊=0.9 横浜栄区小菅ケ谷＊=0.9 川崎幸区戸手本町＊=0.9 平塚市浅間町＊=0.9 相模原緑区中野＊=0.9 相模原南区磯部＊=0.8 藤沢市朝日町＊=0.7 川崎中原区小杉陣屋町=0.7 川崎高津区下作延＊=0.7 秦野市曽屋=0.6 横須賀市坂本町＊=0.5 鎌倉市御成町＊=0.5 三浦市三崎町＊=0.5 宮城県　1 丸森町鳥屋＊=0.8 角田市角田＊=0.7 岩沼市桜＊=0.5 新潟県　1 南魚沼市六日町=0.7 山梨県　1 忍野村忍草＊=1.0 富士河口湖町長浜＊=1.0 富士川町鰍沢＊=0.9 笛吹市境川町藤垈＊=0.7 長野県　1 茅野市葛井公園＊=0.8 長野南牧村海ノ口＊=0.8 静岡県　1 東伊豆町奈良本＊=1.4 伊豆の国市長岡＊=1.1 河津町田中＊=0.8 富士市吉永＊=0.8 西伊豆町宇久須＊=0.7 富士宮市野中＊=0.7 伊豆市中伊豆グラウンド=0.6 富士宮市弓沢町=0.6 沼津市戸田＊=0.5 御殿場市萩原=0.5
7	1 21 31	千葉県北東部　35° 43.9’ N　140° 40.9’ E　47km　M: 3.4 千葉県　1 旭市南堀之内＊=1.1 多古町多古=0.9 香取市仁良＊=0.7 東金市日吉台＊=0.5
8	1 21 51	千葉県北東部　35° 44.8’ N　140° 40.7’ E　48km　M: 3.1 千葉県　1 芝山町小池＊=0.7 多古町多古=0.5
9	2 01 17	茨城県北部　36° 37.1’ N　140° 38.5’ E　7km　M: 2.4 茨城県　1 日立市助川小学校＊=0.9
10	2 01 20	茨城県北部　36° 37.1’ N　140° 38.1’ E　7km　M: 2.1 茨城県　1 日立市助川小学校＊=0.9
11	2 02 17	三陸沖　39° 51.5’ N　143° 10.0’ E　18km　M: 5.1 青森県　2 五戸町古舘=1.6 青森南部町苫米地＊=1.5 1 八戸市南郷＊=1.4 階上町道仏＊=1.4 青森南部町平＊=1.3 七戸町森ノ上＊=1.2 東北町上北南＊=1.2 おいらせ町中下田＊=1.2 六戸町犬落瀬＊=1.1 八戸市内丸＊=1.0 むつ市金曲=0.9 七戸町七戸＊=0.9 八戸市湊町=0.9 平内町小湊=0.9 おいらせ町上明堂＊=0.9 野辺地町野辺地＊=0.8 むつ市大畑町中島＊=0.8 東通村砂子又沢内＊=0.8 三戸町在府小路町＊=0.8 三沢市桜町＊=0.8 五戸町倉石中市＊=0.7 青森市花園=0.7 外ヶ浜町蟹田＊=0.7 十和田市西二番町＊=0.6 田子町田子＊=0.6 岩手県　2 盛岡市薮川＊=2.2 宮古市田老＊=1.8 矢巾町南矢幅＊=1.6 花巻市東和町＊=1.5 1 普代村銅屋＊=1.4 盛岡市渋民＊=1.4 花巻市材木町＊=1.4 釜石市中妻町＊=1.3 宮古市五月町＊=1.3 二戸市浄法寺町＊=1.3 八幡平市田頭＊=1.3 八幡平市野駄＊=1.3 一関市千厩町＊=1.3 盛岡市山王町=1.2 紫波町紫波中央駅前＊=1.2 滝沢市鵜飼＊=1.2 北上市相去町＊=1.2 岩手町五日市＊=1.2 一関市室根町＊=1.1 奥州市胆沢＊=1.1 山田町大沢＊=1.1 遠野市青笹町＊=1.1 花巻市大迫町=1.1 奥州市江刺＊=1.0 花巻市石鳥谷町＊=1.0 宮古市鍬ヶ崎=1.0 北上市柳原町=1.0 住田町世田米＊=0.9 一関市藤沢町＊=0.9 平泉町平泉＊=0.9 雫石町千刈田=0.9 八幡平市大更=0.9 大船渡市大船渡町=0.9 大槌町上町＊=0.8 奥州市水沢大鐘町=0.8 軽米町軽米＊=0.8 西和賀町川尻＊=0.7 宮古市川井＊=0.7 奥州市水沢佐倉河＊=0.6 二戸市福岡=0.6 宮古市区界＊=0.6 葛巻町葛巻元木=0.6 久慈市川崎町=0.6 山田町八幡町=0.6 釜石市只越町=0.5 久慈市枝成沢=0.5 盛岡市馬場町＊=0.5 大船渡市盛町＊=0.5 宮城県　2 涌谷町新町裏=1.5 1 登米市迫町＊=1.3 石巻市桃生町＊=1.3 栗原市若柳＊=1.2 大崎市田尻＊=1.2 栗原市築館＊=1.1 栗原市志波姫＊=1.1 登米市南方町＊=1.1 大崎市古川三日町=1.1 大崎市古川旭＊=1.1 栗原市一迫＊=1.0 登米市中田町=1.0 登米市米山町＊=1.0 宮城美里町木間塚＊=1.0 気仙沼市赤岩=1.0 大崎市松山＊=1.0 登米市登米町＊=0.9 石巻市相野谷＊=0.9 石巻市前谷地＊=0.9 松島町高城=0.9 栗原市高清水＊=0.8 気仙沼市笹が陣＊=0.8 気仙沼市唐桑町＊=0.7 石巻市大街道南＊=0.7 利府町利府＊=0.6 色麻町四竈＊=0.6 栗原市栗駒=0.6 大崎市古川大崎=0.6 岩沼市桜＊=0.5 仙台宮城野区苦竹＊=0.5 北海道　1 函館市泊町＊=0.6 秋田県　1 横手市大雄＊=1.0 大仙市高梨＊=0.9 大仙市刈和野＊=0.7 由利本荘市前郷＊=0.6 横手市中央町＊=0.6 山形県　1 中山町長崎＊=0.9 酒田市飛島＊=0.7
12	**2 04 05**	**トカラ列島近海　29° 54.8’ N　129° 59.4’ E　9km　M: 3.3** 鹿児島県　3 鹿児島十島村中之島徳之尾=2.8 2 鹿児島十島村口之島出張所＊=2.2 1 鹿児島十島村中之島出張所＊=0.7
13	2 06 01	茨城県南部　36° 02.9’ N　139° 53.5’ E　47km　M: 3.8 茨城県　2 坂東市馬立＊=1.9 筑西市舟生=1.7 つくばみらい市福田＊=1.6 坂東市役所＊=1.5 1 水戸市内原町＊=1.4 笠間市石井＊=1.4 土浦市藤沢＊=1.4 茨城古河市仁連＊=1.4 下妻市鬼怒＊=1.4 取手市寺田＊=1.4 坂東市岩井=1.4 筑西市二木成＊=1.4 常総市新石下＊=1.4 つくば市小茎＊=1.3

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		土浦市常名=1.2 桜川市羽田＊=1.2 茨城古河市長谷町＊=1.2 八千代町菅谷＊=1.2 守谷市大柏＊=1.2 笠間市笠間＊=1.2 坂東市山＊=1.2 茨城古河市下大野＊=1.1 常総市水海道諏訪町＊=1.1 石岡市若宮＊=1.1 下妻市本城町＊=1.1 笠間市中央＊=1.1 石岡市石岡＊=1.0 石岡市柿岡=1.0 つくばみらい市加藤＊=1.0 境町旭町＊=1.0 桜川市真壁＊=1.0 牛久市中央＊=1.0 小美玉市小川＊=0.9 稲敷市江戸崎甲＊=0.9 筑西市門井＊=0.9 笠間市下郷＊=0.9 かすみがうら市上土田＊=0.9 桜川市岩瀬＊=0.9 つくば市天王台＊=0.8 つくば市研究学園＊=0.8 五霞町小福田＊=0.8 小美玉市堅倉＊=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 龍ケ崎市役所＊=0.7 土浦市田中＊=0.7 石岡市八郷＊=0.7 水戸市千波町＊=0.6 筑西市海老ヶ島＊=0.6 小美玉市上玉里＊=0.6 鉾田市汲上＊=0.6 かすみがうら市大和田＊=0.6 取手市藤代＊=0.6 行方市玉造＊=0.5 稲敷市伊佐津＊=0.5 美浦村受領＊=0.5 城里町石塚＊=0.5
		栃木県　2 下野市田中＊=2.0 下野市笹原＊=1.8 真岡市石島＊=1.7 宇都宮市明保野町=1.5 栃木市旭町=1.5 1 野木町丸林＊=1.4 茂木町茂木＊=1.3 足利市大正町＊=1.3 栃木市藤岡町藤岡＊=1.3 益子町益子=1.2 壬生町壬生甲＊=1.2 栃木市岩舟町静＊=1.1 真岡市田町＊=1.1 鹿沼市晃望台＊=1.0 佐野市高砂町＊=1.0 真岡市荒町＊=0.9 栃木市都賀町原宿＊=0.8 下野市大松山＊=0.7 栃木市西方町本城＊=0.7 佐野市田沼町＊=0.6 鹿沼市口粟野＊=0.6 栃木市万町＊=0.6 芳賀町祖母井＊=0.6 栃木市大平町富田＊=0.5 宇都宮市旭＊=0.5
		群馬県　2 館林市上三林町＊=1.7 邑楽町中野＊=1.5 1 板倉町板倉=1.3 千代田町赤岩＊=1.3 大泉町日の出＊=0.9 館林市城町＊=0.8 群馬明和町新里＊=0.7 渋川市赤城町＊=0.6
		埼玉県　2 加須市騎西＊=2.2 久喜市下早見=2.1 春日部市粕壁＊=2.0 川口市中青木分室＊=1.7 宮代町笠原＊=1.7 さいたま見沼区堀崎＊=1.6 春日部市金崎＊=1.6 さいたま浦和区高砂=1.5 1 久喜市鷲宮＊=1.3 さいたま大宮区大門＊=1.3 さいたま南区別所＊=1.3 加須市大利根＊=1.2 さいたま北区宮原＊=1.2 さいたま大宮区天沼町＊=1.2 さいたま緑区中尾＊=1.2 白岡市千駄野＊=1.2 さいたま中央区下落合＊=1.1 久喜市青葉＊=1.1 春日部市谷原新田＊=1.1 八潮市中央＊=1.1 幸手市東＊=1.1 桶川市泉＊=1.0 三郷市中央＊=1.0 吉川市きよみ野＊=1.0 久喜市栗橋＊=0.9 上尾市本町＊=0.9 越谷市越ヶ谷＊=0.9 蕨市中央＊=0.9 加須市三俣＊=0.9 さいたま西区西大宮＊=0.9 加須市北川辺＊=0.9 和光市広沢＊=0.8 さいたま浦和区常盤＊=0.8 川口市三ツ和＊=0.8 松伏町松伏＊=0.8 羽生市東＊=0.8 鴻巣市中央＊=0.8 久喜市菖蒲＊=0.7 川越市新宿町＊=0.7 熊谷市妻沼＊=0.7 東松山市松葉町＊=0.7 戸田市上戸田＊=0.7 朝霞市本町＊=0.6 志木市中宗岡＊=0.6 鴻巣市川里＊=0.6 伊奈町中央＊=0.6 行田市本丸＊=0.6 行田市南河原＊=0.6 川島町下八ツ林＊=0.5 熊谷市桜町=0.5 熊谷市宮町＊=0.5 川口市安行領家＊=0.5 北本市本町＊=0.5
		千葉県　2 野田市鶴奉＊=1.9 鎌ケ谷市新鎌ケ谷＊=1.8 1 野田市東宝珠花＊=1.4 柏市旭町=1.4 市川市大町＊=1.3 柏市大島田＊=1.2 芝山町小池＊=1.1 柏市柏＊=1.0 松戸市西馬橋＊=0.9 成田市中台＊=0.9 白井市復＊=0.9 流山市平和台＊=0.8 栄町安食台＊=0.8 習志野市鷺沼＊=0.8 成田市名古屋=0.7 八千代市大和田新田＊=0.7 富里市七栄＊=0.6 香取市役所＊=0.6 成田国際空港=0.6 香取市佐原諏訪台＊=0.5 香取市岩部＊=0.5
		東京都　2 東京中野区江古田＊=1.6 1 東京練馬区豊玉北＊=1.3 東京千代田区大手町=1.0 東京中野区中野＊=1.0 東京板橋区相生町＊=1.0 東京足立区伊興＊=1.0 東京新宿区上落合＊=0.9 東京練馬区光が丘＊=0.9 東京新宿区百人町＊=0.8 東京文京区大塚＊=0.8 東京渋谷区本町＊=0.8 東京杉並区高井戸＊=0.8 東京板橋区高島平＊=0.8 東京足立区神明南＊=0.8 東京杉並区桃井＊=0.7 東京江戸川区中央=0.7 調布市西つつじヶ丘＊=0.7 東京文京区スポーツセンタ＊=0.6 東京北区西ヶ原＊=0.6 西東京市中町＊=0.6 東京豊島区南池袋＊=0.5 東京千代田区富士見＊=0.5 東京葛飾区立石＊=0.5 東京文京区本郷＊=0.5
		神奈川県　1 川崎宮前区宮前平＊=0.9 横浜神奈川区神大寺＊=0.8 川崎中原区小杉町＊=0.6
14	2 14 54	熊本県熊本地方　32° 43.8’ N　130° 47.0’ E　8km　M: 1.9 熊本県　1 嘉島町上島＊=0.9
15	2 15 41	熊本県天草・芦北地方　32° 24.6’ N　130° 28.9’ E　10km　M: 3.6 長崎県　2 南島原市加津佐町＊=1.5 1 南島原市口之津町＊=0.9 雲仙市小浜町雲仙=0.7 熊本県　2 芦北町芦北=1.9 芦北町田浦町＊=1.9 上天草市姫戸町＊=1.8 上天草市龍ヶ岳町＊=1.7 上天草市松島町＊=1.5 1 八代市平山新町=1.3 球磨村渡＊=1.2 水俣市牧ノ内＊=1.2 水俣市陣内＊=1.2 天草市倉岳町＊=1.2 天草市有明町＊=1.2 天草市五和町＊=1.2 津奈木町小津奈木＊=1.1 人吉市蟹作町＊=1.1 上天草市大矢野町=0.9 人吉市西間下町=0.8 天草市新和町＊=0.7 天草市御所浦町＊=0.7 天草市栖本町＊=0.7 八代市坂本町＊=0.5 鹿児島県　1 薩摩川内市神田町＊=0.7 長島町獅子島＊=0.5 薩摩川内市中郷=0.5 さつま町神子＊=0.5
16	**2 17 39**	**熊本県熊本地方　32° 36.8’ N　130° 43.5’ E　7km　M: 3.1** 熊本県　3 宇城市豊野町＊=2.8 2 宇城市小川町＊=2.4 宇城市松橋町=1.9 宇城市不知火町＊=1.6 氷川町島地＊=1.6 熊本美里町馬場＊=1.5 1 甲佐町豊内＊=1.4 熊本南区城南町＊=1.4 宇土市浦田町＊=1.3 八代市東陽町＊=1.0 熊本美里町永富＊=1.0 八代市鏡町＊=1.0 八代市泉支所＊=0.9 氷川町宮原＊=0.8 八代市泉町=0.7 御船町御船＊=0.5 山都町浜町＊=0.5 上天草市大矢野町=0.5
17	3 03 17	熊本県天草・芦北地方　32° 27.9’ N　130° 34.7’ E　2km　M: 2.8 熊本県　2 八代市平山新町=2.3 1 八代市千丁町＊=1.0 八代市新地町＊=0.9
18	3 04 11	熊本県熊本地方　32° 36.1’ N　130° 42.1’ E　9km　M: 2.5 熊本県　1 宇城市豊野町＊=1.4 宇城市不知火町＊=1.3 宇城市松橋町=0.7 宇土市浦田町＊=0.6

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		宇城市小川町＊=0.6
19	3 05 34	三陸沖 39° 54.5’ N 143° 02.6’ E 17km M: 4.4
		岩手県 2 宮古市田老＊=1.5
		1 宮古市五月町＊=1.4 山田町大沢＊=1.3 一関市千厩町＊=1.1 一関市室根町＊=1.1 宮古市鍬ヶ崎=1.0
		大船渡市大船渡町=0.9 釜石市中妻町＊=0.9 山田町八幡町=0.9 住田町世田米＊=0.8 大槌町上町＊=0.8
		一関市藤沢町＊=0.8 八幡平市田頭＊=0.8 盛岡市薮川＊=0.7 平泉町平泉＊=0.7 奥州市胆沢＊=0.6
		盛岡市渋民＊=0.6 遠野市青笹町＊=0.6
		青森県 1 五戸町古舘=0.9 青森南部町苫米地＊=0.7 八戸市南郷＊=0.5
		宮城県 1 気仙沼市赤岩=0.9 栗原市若柳＊=0.8 石巻市桃生町＊=0.8 気仙沼市笹が陣＊=0.7
		気仙沼市唐桑町＊=0.7 登米市中田町=0.5 涌谷町新町裏=0.5
20	3 06 41	熊本県天草・芦北地方 32° 14.3’ N 130° 26.3’ E 7km M: 2.4
		熊本県 1 水俣市牧ノ内＊=0.7 水俣市陣内＊=0.6
21	3 09 11	鹿児島湾 31° 21.1’ N 130° 39.2’ E 122km M: 3.7
		鹿児島県 1 大崎町仮宿＊=1.3 中種子町野間＊=0.6 鹿児島市喜入町＊=0.5
22	3 13 24	熊本県天草・芦北地方 32° 28.4’ N 130° 31.5’ E 13km M: 3.3
		熊本県 2 上天草市姫戸町＊=1.6
		1 上天草市松島町＊=1.3 八代市平山新町=1.2 芦北町田浦町＊=0.9 八代市鏡町＊=0.6
		上天草市大矢野町=0.6 球磨村渡＊=0.6 宇土市浦田町＊=0.5 八代市千丁町＊=0.5 芦北町芦北=0.5
23	3 13 26	熊本県天草・芦北地方 32° 28.4’ N 130° 31.5’ E 13km M: 3.5
		熊本県 2 上天草市姫戸町＊=1.9 上天草市松島町＊=1.6
		1 八代市平山新町=1.3 球磨村渡＊=1.3 上天草市大矢野町=1.2 芦北町田浦町＊=1.0 芦北町芦北=1.0
		上天草市龍ヶ岳町＊=1.0 天草市倉岳町＊=0.8 五木村甲＊=0.8 熊本美里町永富＊=0.8
		宇土市浦田町＊=0.7 天草市有明町＊=0.7 天草市栖本町＊=0.6 宇城市松橋町=0.6 水俣市陣内＊=0.6
		宇城市三角町＊=0.5 八代市鏡町＊=0.5
		鹿児島県 1 長島町伊唐島＊=1.0 長島町獅子島＊=0.9 長島町鷹巣＊=0.6 伊佐市大口山野=0.5
		伊佐市大口鳥巣＊=0.5
24	3 15 05	奄美大島北東沖 29° 20.6’ N 130° 36.5’ E 24km M: 4.5
		鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.6
25	3 15 08	熊本県天草・芦北地方 32° 24.3’ N 130° 27.5’ E 12km M: 2.9
		熊本県 1 上天草市龍ヶ岳町＊=1.1 上天草市姫戸町＊=0.8 天草市倉岳町＊=0.6
26	3 15 21	熊本県熊本地方 32° 32.0’ N 130° 36.4’ E 5km M: 2.8
		熊本県 1 八代市新地町＊=1.3 八代市千丁町＊=1.2 八代市鏡町＊=0.9 宇城市小川町＊=0.7 氷川町島地＊=0.7
		氷川町宮原＊=0.6 上天草市松島町＊=0.6 八代市平山新町=0.5
27	3 17 17	熊本県熊本地方 32° 36.4’ N 130° 40.2’ E 10km M: 2.8
		熊本県 2 宇城市不知火町＊=2.0 宇城市豊野町＊=1.5
		1 宇城市小川町＊=1.3 八代市鏡町＊=1.2 宇城市松橋町=0.9 氷川町島地＊=0.9 八代市東陽町＊=0.8
		宇土市浦田町＊=0.8 熊本美里町永富＊=0.8 熊本美里町馬場＊=0.6 氷川町宮原＊=0.6
28	4 03 40	宮崎県北部平野部 32° 08.1’ N 131° 20.3’ E 64km M: 2.8
		宮崎県 1 西都市上の宮＊=0.5
29	4 08 45	宮古島近海 24° 49.1’ N 125° 22.7’ E 49km M: 4.0
		沖縄県 2 宮古島市下地＊=1.7
		1 宮古島市平良狩俣＊=1.3 宮古島市城辺福北=1.2 宮古島市平良西里＊=1.2 宮古島市平良下里=1.1
		宮古島市平良池間=1.1 宮古島市伊良部前里添=0.9 宮古島市城辺福西＊=0.8 宮古島市下地島空港＊=0.5
30	4 08 58	熊本県熊本地方 32° 38.9’ N 130° 41.3’ E 15km M: 2.5
		熊本県 1 宇土市浦田町＊=0.7
31	4 09 52	石川県能登地方 37° 14.0’ N 136° 46.4’ E 10km M: 3.1
		石川県 1 輪島市門前町走出＊=1.1 穴水町大町＊=1.1
32	4 11 36	熊本県天草・芦北地方 32° 24.9’ N 130° 27.7’ E 12km M: 2.4
		熊本県 1 上天草市姫戸町＊=0.5
33	4 13 19	伊豆大島近海 34° 45.1’ N 139° 23.7’ E 3km M: 1.9
		東京都 1 伊豆大島町元町=0.8
34	4 20 03	熊本県天草・芦北地方 32° 22.3’ N 130° 28.8’ E 11km M: 3.0
		熊本県 1 球磨村渡＊=0.6 芦北町芦北=0.6 芦北町田浦町＊=0.6 上天草市龍ヶ岳町＊=0.6
35	4 20 56	岩手県沖 39° 06.3’ N 142° 08.0’ E 45km M: 3.3
		岩手県 1 大船渡市猪川町=0.9 住田町世田米＊=0.9 釜石市中妻町＊=0.7 大船渡市大船渡町=0.7
		釜石市只越町=0.6 大槌町上町＊=0.5

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
36	5 05 02	播磨灘　34° 22.3’ N　134° 40.0’ E　14km　M: 2.4
		兵庫県　1 洲本市五色町都志＊=0.5
37	5 07 28	香川県西部　34° 10.8’ N　133° 47.7’ E　14km　M: 2.9
		香川県　1 三豊市詫間町＊=1.1 綾川町山田下＊=1.0 丸亀市綾歌町＊=0.9 三豊市高瀬町＊=0.9 琴平町榎井＊=0.8
		観音寺市坂本町=0.8 丸亀市飯山町＊=0.7 三豊市三野町＊=0.7 丸亀市新田町＊=0.6
		まんのう町吉野下＊=0.6 三豊市豊中町＊=0.6 まんのう町生間＊=0.5 宇多津町役場＊=0.5
38	5 08 39	トカラ列島近海　28° 39.6’ N　129° 00.1’ E　86km　M: 3.9
		鹿児島県　1 奄美市名瀬矢之脇町=0.7 瀬戸内町加計呂麻島＊=0.6 伊仙町伊仙＊=0.5
39	5 09 18	熊本県熊本地方　32° 44.6’ N　130° 48.0’ E　8km　M: 2.6
		熊本県　1 熊本西区春日=1.2 益城町宮園＊=1.0 嘉島町上島＊=0.9 熊本南区城南町＊=0.9 熊本東区佐土原＊=0.5
40	5 12 38	天草灘　31° 59.5’ N　130° 11.0’ E　3km　M: 1.7
		鹿児島県　1 阿久根市赤瀬川=0.7
41	5 16 42	鹿児島県薩摩地方　31° 19.5’ N　130° 33.4’ E　6km　M: 2.2
		鹿児島県　1 鹿児島市喜入町＊=0.6
42	5 19 27	伊予灘　33° 38.5’ N　132° 30.9’ E　47km　M: 3.1
		愛媛県　1 久万高原町久万＊=0.7 松山市富久町＊=0.6 松山市中島大浦＊=0.5
43	5 20 45	長野県中部　36° 06.4’ N　137° 41.4’ E　4km　M: 1.7
		長野県　1 松本市奈川＊=0.5
44	5 21 09	長野県中部　36° 06.4’ N　137° 41.4’ E　4km　M: 2.0
		長野県　1 松本市奈川＊=0.9
45	5 22 30	与那国島近海　24° 59.7’ N　123° 20.0’ E　151km　M: 4.6
		沖縄県　1 石垣市平久保=0.7 竹富町大原=0.5
46	6 10 48	浦河沖　41° 57.0’ N　142° 20.3’ E　69km　M: 3.6
		北海道　1 新ひだか町静内山手町=0.7 むかわ町松風＊=0.5
47	6 13 47	熊本県熊本地方　32° 35.0’ N　130° 38.9’ E　12km　M: 3.0
		熊本県　1 宇城市豊野町＊=1.3 熊本南区城南町＊=1.1 宇城市不知火町＊=1.0 嘉島町上島＊=1.0
		宇城市松橋町=1.0 宇土市浦田町＊=0.8 熊本西区春日=0.6
48	6 19 53	神奈川県東部　35° 21.6’ N　139° 17.6’ E　35km　M: 3.5
		神奈川県　2 湯河原町中央=1.8 中井町比奈窪＊=1.6 清川村煤ヶ谷＊=1.6
		1 箱根町湯本＊=1.3 厚木市中町＊=1.3 秦野市曽屋=1.1 平塚市浅間町＊=1.1 南足柄市関本＊=1.1
		秦野市平沢＊=1.0 神奈川大井町金子＊=1.0 松田町松田惣領＊=0.9 山北町山北＊=0.9
		大磯町月京＊=0.9 真鶴町岩＊=0.9 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.9 小田原市荻窪＊=0.8 伊勢原市伊勢原＊=0.8
		鎌倉市御成町＊=0.7 相模原緑区中野＊=0.7 相模原緑区小渕＊=0.6 開成町延沢＊=0.6
		小田原市久野=0.5
		山梨県　2 大月市御太刀＊=1.8 上野原市秋山＊=1.5
		1 上野原市役所＊=1.4 大月市大月=1.1 富士河口湖町船津=1.1 道志村釜之前＊=0.9 山中湖村山中＊=0.8
		丹波山村丹波＊=0.6 甲府市相生＊=0.6
		静岡県　2 熱海市泉＊=1.7
		1 小山町須走＊=1.2 富士宮市野中＊=1.1 富士市大淵＊=1.0 熱海市中央町＊=0.8 東伊豆町奈良本＊=0.7
		御殿場市茱萸沢＊=0.6
		東京都　1 日野市神明＊=0.8 国分寺市並木町=0.5
49	6 23 47	熊本県天草・芦北地方　32° 19.0’ N　130° 28.6’ E　7km　M: 2.1
		熊本県　1 芦北町芦北=0.7
50	7 02 01	沖縄本島近海　27° 18.8’ N　128° 52.7’ E　31km　M: 2.8
		鹿児島県　1 伊仙町伊仙＊=0.5
51	7 02 47	北海道東方沖　43° 55.1’ N　147° 22.0’ E　0km　M: 4.7
		北海道　2 根室市落石東＊=1.7
		1 標津町北２条＊=1.1 別海町常盤=0.8 根室市琵瑶瑁＊=0.7 別海町本別海＊=0.5 標茶町塘路＊=0.5
52	7 09 22	福島県沖　36° 57.8’ N　141° 06.7’ E　59km　M: 4.1
		福島県　2 白河市新白河＊=2.4 楢葉町北田＊=2.4 川内村下川内=2.4 川内村上川内早渡＊=2.4
		田村市大越町＊=2.3 田村市都路町＊=2.2 富岡町本岡＊=2.2 須賀川市岩瀬支所＊=2.1
		小野町中通＊=2.1 小野町小野新町＊=2.1 浅川町浅川＊=2.0 天栄村下松本＊=2.0 中島村滑津＊=1.9
		田村市船引町=1.9 西郷村熊倉＊=1.8 大熊町大川原＊=1.8 玉川村小高＊=1.8
		福島広野町下北迫大谷地原＊=1.8 福島広野町下北迫苗代替＊=1.7 矢祭町東舘＊=1.7 浪江町幾世橋=1.7
		泉崎村泉崎＊=1.7 棚倉町棚倉中居野=1.7 白河市表郷＊=1.6 白河市大信＊=1.6 白河市郭内=1.6
		川俣町五百田＊=1.6 いわき市三和町=1.6 鏡石町不時沼＊=1.6 郡山市開成＊=1.6 白河市東＊=1.6

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		矢祭町戸塚＊=1.5 双葉町長塚＊=1.5 田村市常葉町＊=1.5 二本松市金色＊=1.5 田村市滝根町＊=1.5 本宮市本宮＊=1.5 古殿町松川新桑原＊=1.5
		1 石川町長久保＊=1.4 本宮市白岩＊=1.4 いわき市小名浜=1.4 川内村上川内小山平＊=1.4 大熊町野上＊=1.4 二本松市針道＊=1.3 大玉村南小屋=1.3 葛尾村落合落合＊=1.3 大玉村玉井＊=1.3 いわき市錦町＊=1.3 須賀川市八幡山＊=1.2 二本松市油井＊=1.2 平田村永田＊=1.2 福島市五老内町＊=1.2 南相馬市原町区高見町＊=1.2 郡山市朝日=1.2 古殿町松川横川=1.1 飯舘村伊丹沢＊=1.1 いわき市平梅本＊=1.1 須賀川市八幡町＊=1.0 福島市花園町=1.0 南相馬市小高区＊=1.0 福島市桜木町＊=1.0 福島市飯野町＊=1.0 須賀川市長沼支所＊=1.0 郡山市湖南町＊=0.9 いわき市平四ツ波＊=0.9 相馬市中村＊=0.9 鮫川村赤坂中野＊=0.7 福島伊達市梁川町＊=0.7 南相馬市原町区三島町=0.7 南相馬市鹿島区栃窪=0.7 新地町谷地小屋＊=0.6 天栄村湯本支所＊=0.5 棚倉町棚倉舘ヶ丘＊=0.5
		茨城県 2 大子町池田＊=2.1 常陸太田市町田町＊=2.0 常陸大宮市山方＊=1.7 日立市助川小学校＊=1.6 常陸太田市高柿町＊=1.5 高萩市安良川＊=1.5
		1 常陸太田市町屋町=1.4 常陸大宮市北町＊=1.4 水戸市千波町＊=1.3 日立市十王町友部＊=1.3 笠間市石井＊=1.3 東海村東海＊=1.3 笠間市中央＊=1.1 ひたちなか市南神敷台＊=1.1 水戸市内原町＊=1.1 水戸市栗崎町＊=1.1 城里町石塚＊=1.1 土浦市常名=1.1 日立市役所＊=1.1 常陸太田市大中町＊=1.1 常陸太田市金井町＊=1.0 筑西市門井＊=1.0 桜川市岩瀬＊=1.0 高萩市本町＊=1.0 笠間市下郷＊=1.0 笠間市笠間＊=1.0 桜川市真壁＊=0.9 常陸大宮市高部＊=0.9 那珂市瓜連＊=0.9 常陸大宮市中富町=0.9 常陸大宮市野口＊=0.8 桜川市羽田＊=0.8 石岡市柿岡=0.8 北茨城市磯原町＊=0.8 ひたちなか市東石川＊=0.8 城里町阿波山＊=0.7 鉾田市汲上＊=0.7 筑西市舟生=0.6 水戸市金町=0.6 城里町徳蔵＊=0.6 小美玉市堅倉＊=0.6 北茨城市中郷町＊=0.6 稲敷市江戸崎甲＊=0.6 筑西市二木成＊=0.5 常陸大宮市上小瀬＊=0.5 茨城町小堤＊=0.5 石岡市若宮＊=0.5
		宮城県 1 山元町浅生原＊=0.6 岩沼市桜＊=0.5 角田市角田＊=0.5
		栃木県 1 那須町寺子＊=1.3 宇都宮市中里町＊=1.2 芳賀町祖母井＊=1.2 栃木那珂川町小川＊=1.2 市貝町市塙＊=1.1 大田原市湯津上＊=0.9 宇都宮市明保野町=0.9 栃木那珂川町馬頭＊=0.9 茂木町茂木＊=0.7 壬生町壬生甲＊=0.7 那須烏山市神長=0.5 那須烏山市役所＊=0.5
		群馬県 1 渋川市赤城町＊=0.5
53	7 16 02	奄美大島北東沖 29° 40.0’ N 130° 29.3’ E 59km M: 3.6
		鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.8
54	7 23 23	熊本県天草・芦北地方 32° 28.8’ N 130° 33.8’ E 14km M: 2.9
		熊本県 1 五木村甲＊=0.5
55	**8 04 13**	**千葉県東方沖 35° 38.5’ N 140° 40.7’ E 51km M: 4.7**
		千葉県 4 旭市南堀之内＊=3.5
		3 匝瑳市八日市場ハ＊=3.0 匝瑳市今泉＊=3.0 香取市仁良＊=2.9 旭市高生＊=2.7 山武市松尾町富士見台=2.7 山武市松尾町五反田＊=2.7 香取市役所＊=2.6 芝山町小池＊=2.6 山武市蓮沼ニ＊=2.6 山武市埴谷＊=2.6 山武市殿台＊=2.6 山武市蓮沼ハ＊=2.6 旭市ニ＊=2.6 成田市松子＊=2.6 香取市岩部＊=2.5 多古町多古=2.5 旭市萩園＊=2.5
		2 東金市日吉台＊=2.4 横芝光町栗山＊=2.4 一宮町一宮=2.3 香取市佐原平田=2.3 成田国際空港=2.3 成田市役所＊=2.3 九十九里町片貝＊=2.2 千葉若葉区野呂町＊=2.2 香取市佐原諏訪台＊=2.2 成田市名古屋=2.2 横芝光町宮川＊=2.2 長南町総合グラウンド=2.1 大網白里市大網＊=2.1 神崎町神崎本宿＊=2.1 東金市東新宿=2.1 香取市羽根川＊=2.1 東庄町笹川＊=2.0 成田市中台＊=2.0 東金市東岩崎＊=2.0 市原市姉崎＊=2.0 富里市七栄＊=1.9 千葉佐倉市海隣寺町＊=1.8 成田市猿山＊=1.7 八千代市大和田新田＊=1.7 長柄町桜谷＊=1.7 印西市笠神＊=1.6 栄町安食台＊=1.6 千葉中央区中央港=1.6 白子町関＊=1.5 千葉稲毛区園生町＊=1.5 四街道市鹿渡＊=1.5 印西市大森＊=1.5 銚子市若宮町＊=1.5 白井市復＊=1.5 茂原市道表＊=1.5 いすみ市弥正＊=1.5
		1 銚子市小畑新町=1.4 睦沢町下之郷＊=1.4 千葉花見川区花島町＊=1.4 千葉若葉区小倉台＊=1.4 千葉緑区おゆみ野＊=1.4 千葉美浜区ひび野=1.4 印西市美瀬＊=1.4 長生村本郷＊=1.3 長南町長南＊=1.3 野田市鶴奉＊=1.3 市原市国分寺台中央＊=1.3 大多喜町大多喜＊=1.3 船橋市湊町＊=1.2 鎌ケ谷市新鎌ケ谷＊=1.2 酒々井町中央台＊=1.2 君津市久留里市場＊=1.2 銚子市川口町=1.2 いすみ市大原＊=1.2 いすみ市岬町長者＊=1.2 市川市本行徳＊=1.1 松戸市西馬橋＊=1.1 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.1 市川市大町＊=1.1 柏市旭町=1.0 柏市柏＊=1.0 木更津市富士見＊=1.0 勝浦市墨名=0.9 浦安市日の出=0.9 習志野市鷺沼＊=0.9 鴨川市横渚＊=0.8 勝浦市新官＊=0.8 柏市大島田＊=0.7 鴨川市八色=0.5 木更津市太田=0.5
		茨城県 3 稲敷市結佐＊=2.6 潮来市辻＊=2.5
		2 稲敷市須賀津＊=2.3 神栖市溝口＊=2.3 茨城鹿嶋市鉢形=2.1 潮来市堀之内=1.9 稲敷市伊佐津＊=1.8 神栖市波崎＊=1.8 行方市麻生＊=1.8 茨城鹿嶋市宮中＊=1.8 河内町源清田＊=1.7 稲敷市江戸崎甲＊=1.7 笠間市石井＊=1.6 石岡市柿岡=1.5 小美玉市小川＊=1.5 小美玉市上玉里＊=1.5 土浦市常名=1.5
		1 笠間市中央＊=1.4 東海村東海＊=1.4 取手市寺田＊=1.4 美浦村受領＊=1.4 かすみがうら市上土田＊=1.4 鉾田市汲上＊=1.4 行方市山田＊=1.3 土浦市藤沢＊=1.3 龍ケ崎市役所＊=1.3 ひたちなか市南神敷台＊=1.3 取手市井野＊=1.3 利根町布川=1.3 稲敷市役所＊=1.3 小美玉市堅倉＊=1.3 かすみがうら市大和田＊=1.2 阿見町中央＊=1.2 笠間市下郷＊=1.2 桜川市真壁＊=1.2 石岡市若宮＊=1.2 土浦市田中＊=1.1 つくば市天王台＊=1.1 桜川市岩瀬＊=1.1 つくば市小茎＊=1.1 鉾田市鉾田=1.1 筑西市舟生=1.1 常総市水海道諏訪町＊=1.1 石岡市石岡＊=1.1 水戸市内原町＊=1.0 行方市玉造＊=1.0 茨城町小堤＊=1.0 大洗町磯浜町＊=1.0 笠間市笠間＊=1.0 桜川市羽田＊=1.0 牛久市中央＊=1.0 石岡市八郷＊=1.0 鉾田市造谷＊=1.0 つくば市研究学園＊=1.0 守谷市大柏＊=0.9 日立市助川小学校＊=0.8 坂東市岩井=0.8 水戸市栗崎町＊=0.8 水戸市千波町＊=0.7 筑西市門井＊=0.7 水戸市金町=0.6 高萩市安良川＊=0.5
		福島県 1 玉川村小高＊=1.3 いわき市錦町＊=0.6

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		栃木県　1　真岡市石島＊=1.0 真岡市田町＊=0.9 益子町益子=0.8 鹿沼市晃望台＊=0.6 宇都宮市明保野町=0.5 小山市神鳥谷＊=0.5
		群馬県　1　渋川市赤城町＊=0.7 邑楽町中野＊=0.5
		埼玉県　1　宮代町笠原＊=1.0 春日部市谷原新田＊=0.9 さいたま緑区中尾＊=0.9 蕨市中央＊=0.8 春日部市粕壁＊=0.8 春日部市金崎＊=0.8 三郷市中央＊=0.7 吉川市きよみ野＊=0.7 さいたま南区別所＊=0.7 草加市中央＊=0.6 加須市大利根＊=0.6 八潮市中央＊=0.6 富士見市鶴馬＊=0.6 久喜市下早見=0.6 川口市安行領家＊=0.6 さいたま中央区下落合＊=0.6 さいたま浦和区高砂=0.6 さいたま大宮区大門＊=0.5 越谷市越ヶ谷＊=0.5 久喜市青葉＊=0.5 志木市中宗岡＊=0.5 加須市騎西＊=0.5 幸手市東＊=0.5
		東京都　1　東京板橋区相生町＊=1.0 東京足立区神明南＊=1.0 東京千代田区大手町=0.9 東京品川区平塚＊=0.8 東京荒川区東尾久＊=0.8 東京江戸川区中央=0.8 東京江戸川区船堀＊=0.8 東京大田区本羽田＊=0.7 東京葛飾区立石＊=0.7 東京江戸川区鹿骨＊=0.7 東京文京区本郷＊=0.6 東京北区西ヶ原＊=0.6 東京板橋区高島平＊=0.6 東京足立区伊興＊=0.6 調布市西つつじヶ丘＊=0.6 東京足立区千住中居町＊=0.5 東京文京区大塚＊=0.5
		神奈川県　1　横浜中区山手町=0.9 横須賀市光の丘=0.5 湯河原町中央=0.5
		静岡県　1　東伊豆町奈良本＊=0.6
56	8 04 36	千葉県東方沖　35° 38.3’ N　140° 40.1’ E　48km　M: 3.9
		千葉県　2　旭市南堀之内＊=1.8 香取市仁良＊=1.6
		1　旭市ニ＊=1.3 匝瑳市八日市場ハ＊=1.2 芝山町小池＊=1.1 香取市役所＊=1.1 山武市松尾町富士見台=1.1 山武市松尾町五反田＊=1.1 旭市高生＊=1.0 山武市殿台＊=1.0 旭市萩園＊=1.0 一宮町一宮=0.9 山武市蓮沼ニ＊=0.9 山武市埴谷＊=0.9 多古町多古=0.9 山武市蓮沼ハ＊=0.9 東金市日吉台＊=0.9 横芝光町宮川＊=0.8 成田市松子＊=0.8 九十九里町片貝＊=0.7 香取市岩部＊=0.6 香取市佐原諏訪台＊=0.6 東金市東新宿=0.6 香取市佐原平田=0.5 長南町総合グラウンド=0.5 銚子市小畑新町=0.5
		茨城県　1　茨城鹿嶋市鉢形=0.5
57	8 06 36	熊本県熊本地方　32° 29.2’ N　130° 33.6’ E　7km　M: 3.1
		熊本県　2　八代市平山新町=1.9
		1　八代市新地町＊=1.2 八代市千丁町＊=0.8 宇城市不知火町＊=0.7 氷川町島地＊=0.6 上天草市松島町＊=0.6 芦北町芦北=0.5 芦北町田浦町＊=0.5 八代市鏡町＊=0.5
58	**8 07 14**	**茨城県北部　36° 27.7’ N　140° 36.1’ E　56km　M: 4.1**
		茨城県　3　常陸大宮市北町＊=2.6
		2　東海村東海＊=2.2 大子町池田＊=2.0 笠間市石井＊=1.9 日立市助川小学校＊=1.9 常陸太田市町屋町=1.9 城里町石塚＊=1.9 土浦市常名=1.8 桜川市岩瀬＊=1.7 水戸市金町=1.6 日立市十王町友部＊=1.6 常陸大宮市山方＊=1.6 常陸太田市金井町＊=1.5 笠間市笠間＊=1.5 ひたちなか市南神敷台＊=1.5
		1　水戸市千波町＊=1.4 水戸市内原町＊=1.4 日立市役所＊=1.4 常陸太田市高柿町＊=1.4 かすみがうら市大和田＊=1.4 水戸市栗崎町＊=1.3 常陸大宮市中富町=1.3 城里町阿波山＊=1.3 石岡市柿岡=1.3 常陸太田市大中町＊=1.2 常陸大宮市野口＊=1.2 那珂市瓜連＊=1.2 北茨城市磯原町＊=1.2 城里町徳蔵＊=1.2 土浦市田中＊=1.2 北茨城市中郷町＊=1.2 石岡市若宮＊=1.2 筑西市門井＊=1.2 笠間市下郷＊=1.2 桜川市真壁＊=1.2 桜川市羽田＊=1.2 ひたちなか市東石川＊=1.2 石岡市石岡＊=1.1 鉾田市汲上＊=1.1 小美玉市小川＊=1.1 小美玉市堅倉＊=1.1 かすみがうら市上土田＊=1.0 高萩市安良川＊=1.0 笠間市中央＊=0.9 小美玉市上玉里＊=0.9 筑西市海老ヶ島＊=0.9 常陸太田市町田町＊=0.9 土浦市藤沢＊=0.9 常陸大宮市高部＊=0.9 ひたちなか市山ノ上町=0.9 鉾田市造谷＊=0.8 大洗町磯浜町＊=0.8 行方市麻生＊=0.8 筑西市二木成＊=0.8 取手市寺田＊=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 茨城鹿嶋市宮中＊=0.7 守谷市大柏＊=0.7 稲敷市江戸崎甲＊=0.7 高萩市本町＊=0.7 石岡市八郷＊=0.7 茨城町小堤＊=0.7 阿見町中央＊=0.6 那珂市福田＊=0.6 鉾田市鉾田=0.6 つくば市天王台＊=0.6 つくば市研究学園＊=0.6 つくば市小茎＊=0.6 常陸大宮市上小瀬＊=0.5 美浦村受領＊=0.5
		福島県　2　矢祭町東舘＊=2.0
		1　浅川町浅川＊=1.3 棚倉町棚倉中居野=1.3 矢祭町戸塚＊=1.3 白河市新白河＊=1.1 田村市船引町=1.0 田村市都路町＊=1.0 玉川村小高＊=1.0 いわき市錦町＊=0.8 白河市東＊=0.8 小野町中通＊=0.7 鏡石町不時沼＊=0.6 西郷村熊倉＊=0.6 田村市常葉町＊=0.6 須賀川市岩瀬支所＊=0.5
		栃木県　2　茂木町茂木＊=1.5 市貝町市塙＊=1.5 栃木那珂川町馬頭＊=1.5
		1　栃木那珂川町小川＊=1.3 真岡市田町＊=1.2 真岡市荒町＊=1.2 宇都宮市中里町＊=1.1 芳賀町祖母井＊=1.1 壬生町壬生甲＊=1.1 大田原市湯津上＊=0.9 宇都宮市明保野町=0.9 益子町益子=0.9 那須烏山市役所＊=0.9 那須烏山市神長=0.8 那須烏山市大金＊=0.8 真岡市石島＊=0.7 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.6 那須町寺子＊=0.6 栃木さくら市喜連川＊=0.5
		埼玉県　1　熊谷市江南＊=0.5 東松山市松葉町＊=0.5
		千葉県　1　野田市鶴奉＊=0.6 白井市復＊=0.6 八千代市大和田新田＊=0.5
59	8 11 43	トカラ列島近海　29° 58.9’ N　130° 22.1’ E　42km　M: 3.6
		鹿児島県　1　鹿児島十島村口之島出張所＊=1.2 屋久島町尾之間＊=1.1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.0 屋久島町平内=0.7 屋久島町宮之浦＊=0.5
60	8 13 23	熊本県熊本地方　32° 32.0’ N　130° 36.1’ E　13km　M: 3.0
		熊本県　1　宇城市豊野町＊=1.3 宇城市不知火町＊=1.1 熊本南区城南町＊=1.1 宇城市松橋町=1.0 八代市新地町＊=0.9 八代市千丁町＊=0.8 八代市東陽町＊=0.7 嘉島町上島＊=0.7 宇城市小川町＊=0.7 氷川町島地＊=0.7 熊本西区春日=0.7 八代市平山新町=0.7 八代市泉支所＊=0.6 宇土市浦田町＊=0.6 上天草市大矢野町=0.6 熊本美里町永富＊=0.5

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
61	8 13 30	根室半島南東沖　42° 59.7’ N　145° 47.9’ E　35km　M: 4.0
		北海道　1 根室市琵瑶瑁＊=1.0 根室市落石東＊=0.9 根室市厚床＊=0.7 浜中町茶内＊=0.6
62	8 18 14	岩手県沖　39° 54.7’ N　142° 23.7’ E　38km　M: 3.4
		岩手県　1 宮古市田老＊=0.5
63	8 20 35	長野県南部　35° 54.0’ N　137° 38.6’ E　7km　M: 2.7
		長野県　1 木曽町新開＊=1.3 木曽町三岳＊=1.3 木曽町開田高原西野＊=0.9
64	8 21 22	熊本県熊本地方　32° 36.1’ N　130° 40.1’ E　12km　M: 2.1
		熊本県　1 宇城市豊野町＊=1.0
65	9 00 31	新島・神津島近海　34° 12.8’ N　139° 09.3’ E　9km　M: 2.0
		東京都　1 神津島村金長=0.5
66	9 04 23	青森県東方沖　40° 31.5’ N　142° 53.8’ E　25km　M: 4.0
		北海道　1 函館市泊町＊=0.5
		青森県　1 五戸町古舘=0.5 青森南部町苫米地＊=0.5
67	9 07 14	根室半島南東沖　43° 09.0’ N　145° 37.8’ E　63km　M: 3.5
		北海道　1 根室市落石東＊=1.0 根室市琵瑶瑁＊=1.0 根室市牧の内＊=0.9
68	9 11 12	熊本県天草・芦北地方　32° 24.9’ N　130° 30.2’ E　10km　M: 3.5
		熊本県　2 上天草市龍ヶ岳町＊=2.2 上天草市姫戸町＊=2.2 芦北町田浦町＊=2.1 八代市平山新町=2.0
		芦北町芦北=1.9 上天草市松島町＊=1.5
		1 天草市倉岳町＊=1.4 熊本美里町永富＊=1.3 上天草市大矢野町=1.1 球磨村渡＊=1.0
		水俣市牧ノ内＊=0.8 八代市坂本町＊=0.8 天草市有明町＊=0.7 天草市栖本町＊=0.6 八代市鏡町＊=0.5
		八代市新地町＊=0.5 天草市御所浦町＊=0.5
		長崎県　1 雲仙市小浜町雲仙=0.8
		鹿児島県　1 長島町獅子島＊=0.7 長島町伊唐島＊=0.6
69	9 14 12	福島県中通り　37° 12.5’ N　140° 10.8’ E　8km　M: 2.2
		福島県　1 白河市新白河＊=0.5
70	10 01 46	根室半島南東沖　43° 08.8’ N　145° 37.7’ E　63km　M: 3.8
		北海道　2 根室市落石東＊=1.7 根室市牧の内＊=1.6 根室市琵瑶瑁＊=1.6
		1 根室市厚床＊=1.3 標津町北２条＊=0.8 別海町本別海＊=0.6 根室市弥栄=0.6 浜中町茶内＊=0.6
		標茶町塘路＊=0.5
71	10 03 04	宮城県沖　38° 20.5’ N　141° 37.9’ E　55km　M: 3.6
		岩手県　1 一関市室根町＊=0.7 一関市東山町＊=0.5
		宮城県　1 登米市南方町＊=0.8 石巻市桃生町＊=0.8 登米市東和町＊=0.7 石巻市北上町＊=0.6 大衡村大衡＊=0.6
		涌谷町新町裏=0.5
72	10 03 26	紀伊水道　33° 53.9’ N　135° 07.5’ E　8km　M: 3.0
		和歌山県　2 御坊市湯川＊=1.8
		1 日高川町土生＊=1.4 御坊市薗=1.2 湯浅町青木＊=0.8
73	10 04 27	熊本県天草・芦北地方　32° 13.7’ N　130° 24.4’ E　2km　M: 1.7
		熊本県　1 水俣市陣内＊=0.7
74	10 07 34	熊本県天草・芦北地方　32° 13.6’ N　130° 24.4’ E　3km　M: 2.0
		熊本県　1 水俣市陣内＊=1.1 水俣市牧ノ内＊=0.8
75	10 07 43	熊本県天草・芦北地方　32° 13.6’ N　130° 24.3’ E　3km　M: 2.2
		熊本県　2 水俣市陣内＊=1.6 水俣市牧ノ内＊=1.5
76	10 10 20	石川県西方沖　36° 59.1’ N　136° 24.8’ E　10km　M: 3.6
		石川県　1 志賀町香能＊=0.5
77	10 12 15	熊本県熊本地方　32° 33.7’ N　130° 38.3’ E　14km　M: 3.3
		長崎県　1 雲仙市小浜町雲仙=0.6
		熊本県　1 宇城市不知火町＊=1.4 宇城市豊野町＊=1.4 熊本南区城南町＊=1.4 宇城市小川町＊=1.1
		氷川町島地＊=1.1 嘉島町上島＊=1.1 宇城市松橋町=1.0 宇土市浦田町＊=1.0 八代市東陽町＊=0.9
		五木村甲＊=0.9 甲佐町豊内＊=0.7 八代市泉支所＊=0.7 熊本美里町馬場＊=0.6 八代市泉町=0.5
		八代市千丁町＊=0.5 熊本西区春日=0.5 八代市鏡町＊=0.5 八代市平山新町=0.5 上天草市大矢野町=0.5
		上天草市松島町＊=0.5
78	10 19 00	熊本県天草・芦北地方　32° 27.5’ N　130° 30.6’ E　11km　M: 2.6
		熊本県　1 上天草市姫戸町＊=0.8 上天草市松島町＊=0.5 芦北町芦北=0.5
79	11 06 19	熊本県天草・芦北地方　32° 26.6’ N　130° 31.8’ E　7km　M: 2.2
		熊本県　1 八代市平山新町=0.6

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
80	11 10 12	岐阜県飛騨地方 36° 00.1’ N 137° 35.2’ E 8km M: 2.7
		長野県 1 木曽町開田高原西野＊=0.6 木曽町新開＊=0.5
81	11 15 49	宮崎県南部平野部 31° 58.9’ N 131° 25.0’ E 14km M: 2.0
		宮崎県 1 宮崎市松橋＊=0.7 国富町本庄＊=0.6
82	11 16 29	苫小牧沖 42° 00.5’ N 141° 57.8’ E 49km M: 3.0
		北海道 1 函館市泊町＊=0.5
83	12 01 24	千葉県東方沖 35° 38.1’ N 140° 40.4’ E 51km M: 4.3
		千葉県 2 旭市南堀之内＊=2.2 香取市仁良＊=1.9 匝瑳市八日市場ハ＊=1.8 山武市殿台＊=1.8
		山武市松尾町富士見台=1.7 山武市蓮沼ニ＊=1.7 山武市埴谷＊=1.7 横芝光町宮川＊=1.7
		山武市蓮沼ハ＊=1.7 横芝光町栗山＊=1.6 旭市ニ＊=1.6 匝瑳市今泉＊=1.6 香取市役所＊=1.5
		山武市松尾町五反田＊=1.5 成田市松子＊=1.5
		1 九十九里町片貝＊=1.4 香取市佐原諏訪台＊=1.4 旭市高生＊=1.3 多古町多古=1.3 芝山町小池＊=1.3
		東金市日吉台＊=1.3 香取市羽根川＊=1.3 香取市岩部＊=1.3 一宮町一宮=1.2 香取市佐原平田=1.2
		東金市東新宿=1.2 旭市萩園＊=1.2 成田市名古屋=1.2 長南町総合グラウンド=1.1
		大網白里市大網＊=1.1 成田市中台＊=1.1 成田市役所＊=1.1 神崎町神崎本宿＊=1.0
		東金市東岩崎＊=1.0 成田国際空港=0.9 東庄町笹川＊=0.9 市原市姉崎＊=0.9 千葉稲毛区園生町＊=0.7
		成田市猿山＊=0.7 四街道市鹿渡＊=0.7 千葉中央区中央港=0.6 千葉花見川区花島町＊=0.6
		栄町安食台＊=0.6 富里市七栄＊=0.6 銚子市小畑新町=0.5 印西市美瀬＊=0.5
		茨城県 1 稲敷市結佐＊=1.4 潮来市辻＊=1.3 稲敷市須賀津＊=1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.1 神栖市溝口＊=1.1
		稲敷市江戸崎甲＊=1.0 潮来市堀之内=1.0 行方市麻生＊=1.0 稲敷市伊佐津＊=0.8
		茨城鹿嶋市宮中＊=0.7 神栖市波崎＊=0.7 土浦市常名=0.5 笠間市石井＊=0.5
84	12 05 05	熊本県天草・芦北地方 32° 14.8’ N 130° 26.9’ E 8km M: 2.0
		熊本県 1 水俣市陣内＊=0.5
85	12 09 53	硫黄島近海 25° 32.1’ N 140° 42.0’ E 181km M: 5.0
		東京都 1 小笠原村父島三日月山=0.6
86	12 12 44	釧路沖 42° 32.2’ N 144° 17.5’ E 69km M: 4.0
		北海道 2 別海町西春別＊=1.7 標茶町塘路＊=1.6 中標津町丸山＊=1.6 十勝大樹町生花＊=1.6 浜中町茶内＊=1.5
		釧路町別保＊=1.5
		1 足寄町南１条＊=1.4 弟子屈町弟子屈＊=1.3 標茶町川上＊=1.3 釧路市黒金町＊=1.2
		十勝池田町西１条＊=1.2 中標津町養老牛=1.0 標津町北２条＊=0.9 浦幌町桜町＊=0.8
		幕別町忠類錦町＊=0.8 幕別町本町＊=0.8 えりも町目黒＊=0.8 鶴居村鶴居東＊=0.8
		豊頃町茂岩本町＊=0.8 本別町向陽町＊=0.8 新得町２条＊=0.7 釧路市音別町中園＊=0.7
		釧路市幸町=0.7 別海町本別海＊=0.7 根室市厚床＊=0.7 釧路市阿寒町中央＊=0.6 別海町常盤=0.6
		広尾町白樺通=0.6 厚岸町真栄＊=0.6 十勝大樹町東本通＊=0.5
87	12 16 51	熊本県天草・芦北地方 32° 19.0’ N 130° 28.7’ E 8km M: 3.1
		熊本県 2 芦北町芦北=2.3
		1 水俣市牧ノ内＊=1.4 津奈木町小津奈木＊=1.2 水俣市陣内＊=1.1 上天草市姫戸町＊=1.1
		芦北町田浦町＊=1.0 球磨村渡＊=0.9 上天草市松島町＊=0.8 上天草市龍ヶ岳町＊=0.5
		八代市平山新町=0.5
		鹿児島県 1 長島町獅子島＊=0.6
88	12 20 32	釧路地方中南部 43° 09.2’ N 144° 46.5’ E 79km M: 3.4
		北海道 1 浜中町茶内＊=0.7 標茶町塘路＊=0.7
89	13 02 25	岩手県沖 39° 28.1’ N 142° 39.0’ E 26km M: 4.3
		岩手県 1 住田町世田米＊=1.1 釜石市中妻町＊=1.0 盛岡市薮川＊=1.0 山田町大沢＊=0.9 盛岡市渋民＊=0.8
		矢巾町南矢幅＊=0.8 一関市室根町＊=0.8 八幡平市田頭＊=0.6 宮古市田老＊=0.6 遠野市青笹町＊=0.6
		一関市千厩町＊=0.6 釜石市只越町=0.6
90	13 11 27	熊本県天草・芦北地方 32° 21.1’ N 130° 27.0’ E 9km M: 3.5
（注）	13 11 27	熊本県天草・芦北地方 32° 20.9’ N 130° 27.0’ E 10km M: 2.9
		熊本県 2 芦北町芦北=1.9 八代市平山新町=1.6 上天草市龍ヶ岳町＊=1.6
		1 上天草市姫戸町＊=1.4 水俣市牧ノ内＊=1.3 球磨村渡＊=1.2 芦北町田浦町＊=1.2 水俣市陣内＊=1.0
		天草市倉岳町＊=0.9 熊本美里町永富＊=0.5 上天草市松島町＊=0.5
		長崎県 1 南島原市口之津町＊=0.6 南島原市加津佐町＊=0.6
		鹿児島県 1 長島町伊唐島＊=1.4 長島町鷹巣＊=0.9 長島町獅子島＊=0.5 伊佐市大口鳥巣＊=0.5
91	13 20 44	徳島県南部 33° 49.3’ N 134° 43.5’ E 38km M: 3.9
		和歌山県 2 湯浅町青木＊=1.8
		1 御坊市湯川＊=1.3 由良町里＊=1.0 有田市初島町＊=0.9 御坊市薗=0.9 有田市箕島=0.9
		有田川町下津野＊=0.8 和歌山広川町広＊=0.8 日高川町土生＊=0.8 海南市下津＊=0.6
		和歌山市男野芝丁=0.5
		徳島県 2 小松島市横須町＊=1.8 石井町高川原＊=1.8
		1 美馬市木屋平＊=1.4 美波町西の地＊=1.4 那賀町和食＊=1.3 徳島市大和町=1.2 阿南市富岡町=1.2
		阿南市那賀川町＊=1.2 牟岐町中村＊=1.2 阿南市山口町＊=1.1 藍住町奥野＊=1.1 那賀町上那賀＊=1.0

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名　緯度　経度　深さ　規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		板野町大寺＊=1.0 吉野川市鴨島町=1.0 吉野川市川島町＊=1.0 阿南市羽ノ浦町＊=0.9 勝浦町久国＊=0.9 徳島市新蔵町＊=0.9 神山町神領＊=0.9 海陽町大里＊=0.8 佐那河内村下＊=0.8 阿波市土成町＊=0.8 徳島市津田町＊=0.8 那賀町木頭和無田＊=0.7 つるぎ町貞光＊=0.7 上勝町旭＊=0.7 美波町奥河内＊=0.7 鳴門市鳴門町＊=0.7 那賀町延野＊=0.6 那賀町木沢＊=0.5 阿波市吉野町＊=0.5
		兵庫県　1 洲本市物部=1.0 南あわじ市福良=0.7
		香川県　1 東かがわ市湊＊=1.4 東かがわ市南野＊=1.3 東かがわ市西村=1.2 東かがわ市引田＊=1.0 さぬき市長尾総合公園＊=1.0 さぬき市寒川町＊=1.0 さぬき市志度＊=0.7 さぬき市大川町＊=0.6 小豆島町馬木＊=0.5
		高知県　1 東洋町生見＊=0.5
92	13 20 53	熊本県天草・芦北地方　32° 29.0’ N　130° 31.0’ E　12km　M: 2.7
		熊本県　1 上天草市松島町＊=0.5
93	13 22 05	宮城県沖　38° 32.3’ N　141° 44.1’ E　53km　M: 3.6
		岩手県　1 一関市室根町＊=0.7 大船渡市大船渡町=0.5 一関市藤沢町＊=0.5
		宮城県　1 涌谷町新町裏=0.7 気仙沼市笹が陣＊=0.6 南三陸町歌津＊=0.6 気仙沼市赤岩=0.5 石巻市桃生町＊=0.5
94	14 04 33	天草灘　31° 58.2’ N　130° 06.1’ E　11km　M: 2.8
		鹿児島県　1 阿久根市赤瀬川=0.6
95	14 07 56	熊本県天草・芦北地方　32° 20.9’ N　130° 26.8’ E　11km　M: 2.8
		熊本県　1 球磨村渡＊=0.5 芦北町芦北=0.5 上天草市龍ヶ岳町＊=0.5
96	14 16 07	熊本県天草・芦北地方　32° 13.5’ N　130° 24.1’ E　1km　M: 1.6
		熊本県　1 水俣市陣内＊=0.7 水俣市牧ノ内＊=0.5
97	14 22 19	宮城県沖　38° 37.4’ N　141° 54.0’ E　47km　M: 3.9
		岩手県　2 一関市千厩町＊=1.5
		1 陸前高田市高田町＊=1.4 大船渡市大船渡町=1.3 住田町世田米＊=1.3 大船渡市猪川町=1.3 一関市室根町＊=1.2 釜石市中妻町＊=1.1 一関市大東町=1.0 釜石市只越町=0.9 一関市東山町＊=0.7 大船渡市盛町＊=0.6 大槌町上町＊=0.5 一関市藤沢町＊=0.5
		宮城県　2 気仙沼市唐桑町＊=1.9 気仙沼市笹が陣＊=1.7 気仙沼市赤岩=1.7
		1 石巻市桃生町＊=1.4 石巻市北上町＊=1.2 登米市豊里町＊=0.9 南三陸町歌津＊=0.8 栗原市若柳＊=0.7 登米市東和町＊=0.5 石巻市雄勝町＊=0.5
98	15 01 51	トカラ列島近海　29° 31.6’ N　129° 54.1’ E　6km　M: 2.8
		鹿児島県　1 鹿児島十島村悪石島＊=1.0
99	15 02 02	宮崎県南部山沿い　32° 03.5’ N　131° 02.3’ E　11km　M: 2.6
		宮崎県　1 小林市真方=0.9
100	15 06 58	熊本県天草・芦北地方　32° 14.1’ N　130° 25.5’ E　1km　M: 1.6
		熊本県　1 水俣市陣内＊=0.6
101	15 07 01	熊本県天草・芦北地方　32° 27.0’ N　130° 29.6’ E　0km　M: 3.3
		熊本県　2 上天草市姫戸町＊=1.7 芦北町芦北=1.6 八代市平山新町=1.6
		1 水俣市牧ノ内＊=1.3 芦北町田浦町＊=1.2 上天草市松島町＊=1.2 上天草市龍ヶ岳町＊=1.1 八代市新地町＊=1.0 八代市千丁町＊=0.9 津奈木町小津奈木＊=0.9 球磨村渡＊=0.8 水俣市陣内＊=0.6 八代市坂本町＊=0.5
		鹿児島県　1 長島町伊唐島＊=0.6
102	15 07 41	熊本県天草・芦北地方　32° 27.0’ N　130° 29.7’ E　5km　M: 3.6
		熊本県　2 八代市平山新町=2.3 上天草市姫戸町＊=2.2 八代市千丁町＊=1.9 上天草市松島町＊=1.9 八代市新地町＊=1.9 芦北町芦北=1.8 宇城市豊野町＊=1.7
		1 水俣市牧ノ内＊=1.4 八代市鏡町＊=1.2 氷川町島地＊=1.1 上天草市龍ヶ岳町＊=1.1 宇城市小川町＊=1.0 芦北町田浦町＊=1.0 津奈木町小津奈木＊=1.0 上天草市大矢野町=1.0 八代市坂本町＊=1.0 天草市有明町＊=1.0 天草市倉岳町＊=0.8 球磨村渡＊=0.7 熊本美里町永富＊=0.6 宇城市不知火町＊=0.6 熊本西区春日=0.5 熊本南区城南町＊=0.5 宇城市三角町＊=0.5
		長崎県　1 雲仙市小浜町雲仙=0.9
		鹿児島県　1 長島町伊唐島＊=1.0 長島町獅子島＊=0.8
103	15 14 10	千葉県北西部　35° 38.1’ N　140° 03.5’ E　70km　M: 3.2
		千葉県　1 市川市大町＊=0.9 千葉花見川区花島町＊=0.7 千葉稲毛区園生町＊=0.7 千葉中央区中央港=0.5
		東京都　1 調布市西つつじヶ丘＊=1.1 東京千代田区大手町=0.5 東京渋谷区本町＊=0.5
104	16 00 13	熊本県熊本地方　32° 43.3’ N　130° 44.5’ E　13km　M: 2.6
		熊本県　1 熊本西区春日=0.9 嘉島町上島＊=0.8 熊本南区城南町＊=0.5
105	16 12 35	カムチャツカ半島付近
		北海道　1 函館市新浜町＊=0.5
106	16 18 17	熊本県天草・芦北地方　32° 18.2’ N　130° 26.5’ E　9km　M: 2.5

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		熊本県　1　水俣市牧ノ内＊=0.8 水俣市陣内＊=0.7
107	17 11 54	和歌山県北部　34° 05.3’ N　135° 06.7’ E　8km　M: 2.4
		和歌山県　1　海南市下津＊=0.9 湯浅町青木＊=0.9 有田市初島町＊=0.7
108	17 17 42	和歌山県北部　33° 54.4’ N　135° 13.2’ E　8km　M: 2.7
		和歌山県　1　御坊市薗=1.2 御坊市湯川＊=1.0
109	17 23 47	長野県北部　36° 33.5’ N　137° 52.3’ E　8km　M: 2.4
		長野県　2　大町市美麻＊=1.6
		1　小川村高府＊=1.0 大町市役所=0.5
110	18 08 16	熊本県天草・芦北地方　32° 19.1’ N　130° 26.6’ E　8km　M: 3.0
		熊本県　2　芦北町芦北=1.5
		1　球磨村渡＊=1.0 芦北町田浦町＊=0.9 水俣市牧ノ内＊=0.6
111	18 16 37	熊本県天草・芦北地方　32° 36.1’ N　130° 38.6’ E　15km　M: 3.0
		長崎県　1　雲仙市小浜町雲仙=0.6
		熊本県　1　宇土市浦田町＊=1.4 宇城市豊野町＊=1.2 宇城市不知火町＊=1.0 熊本西区春日=0.7 嘉島町上島＊=0.6
		宇城市松橋町=0.6
112	18 20 53	日向灘　32° 19.2’ N　131° 52.3’ E　29km　M: 3.2
		宮崎県　1　日向市大王谷運動公園=0.8 宮崎都農町役場＊=0.5
113	18 21 18	トカラ列島近海　29° 58.4’ N　129° 57.8’ E　5km　M: 2.1
		鹿児島県　1　鹿児島十島村口之島出張所＊=0.9
114	18 21 57	福島県中通り　37° 12.9’ N　140° 35.9’ E　83km　M: 3.3
		福島県　1　大熊町大川原＊=1.1 いわき市三和町=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 川内村上川内早渡＊=0.8
		浅川町浅川＊=0.8 田村市船引町=0.7 田村市都路町＊=0.7 浪江町幾世橋=0.6
		茨城県　1　大子町池田＊=0.8
115	18 22 46	熊本県天草・芦北地方　32° 25.9’ N　130° 30.8’ E　9km　M: 2.6
		熊本県　1　八代市平山新町=1.0
116	19 04 15	和歌山県北部　34° 13.0’ N　135° 13.3’ E　5km　M: 2.0
		和歌山県　1　和歌山市一番丁＊=0.7
117	19 07 14	熊本県天草・芦北地方　32° 19.9’ N　130° 28.2’ E　11km　M: 2.4
		熊本県　1　芦北町田浦町＊=0.7
118	19 08 20	能登半島沖　37° 09.2’ N　136° 39.8’ E　9km　M: 2.4
		石川県　1　志賀町香能＊=0.5
119	19 12 37	熊本県天草・芦北地方　32° 21.4’ N　130° 27.2’ E　11km　M: 2.7
		熊本県　1　球磨村渡＊=0.6 上天草市龍ヶ岳町＊=0.5
120	19 15 54	山口県北部　34° 22.1’ N　131° 31.3’ E　18km　M: 3.2
		山口県　1　萩市土原=1.2 山口市阿東生雲＊=0.9 長門市三隅＊=0.6 萩市川上＊=0.6 萩市江向＊=0.5
121	19 22 41	沖縄本島近海　27° 17.5’ N　128° 26.0’ E　48km　M: 3.3
		鹿児島県　1　知名町瀬利覚=1.0 伊仙町伊仙＊=0.7
122	20 05 50	釧路沖　42° 25.3’ N　144° 43.1’ E　24km　M: 4.1
		北海道　2　釧路市黒金町＊=1.5
		1　釧路町別保＊=1.3 浜中町茶内＊=1.2 標茶町塘路＊=1.1 釧路市幸町=0.9 白糠町西１条＊=0.8
123	20 20 48	徳島県南部　33° 48.7’ N　134° 34.1’ E　18km　M: 2.7
		徳島県　1　那賀町和食＊=0.5
124	21 02 40	神奈川県西部　35° 14.3’ N　139° 01.7’ E　0km　M: 2.1
		神奈川県　1　小田原市久野=0.5
125	21 10 04	千葉県北西部　35° 48.0’ N　140° 05.9’ E　68km　M: 4.0
		茨城県　2　つくば市小茎＊=1.7 坂東市岩井=1.7
		1　取手市寺田＊=1.4 桜川市真壁＊=1.3 土浦市常名=1.3 龍ケ崎市役所＊=1.2 笠間市石井＊=1.2
		土浦市藤沢＊=1.2 石岡市柿岡=1.1 茨城古河市下大野＊=1.1 つくばみらい市福田＊=1.1
		筑西市門井＊=1.0 取手市井野＊=1.0 守谷市大柏＊=1.0 坂東市馬立＊=1.0 桜川市岩瀬＊=0.9
		稲敷市江戸崎甲＊=0.9 常総市新石下＊=0.9 つくばみらい市加藤＊=0.9 筑西市舟生=0.9
		笠間市中央＊=0.9 桜川市羽田＊=0.8 つくば市天王台＊=0.8 常総市水海道諏訪町＊=0.8
		笠間市笠間＊=0.8 小美玉市小川＊=0.8 石岡市若宮＊=0.8 石岡市石岡＊=0.8 小美玉市堅倉＊=0.8
		水戸市内原町＊=0.8 笠間市下郷＊=0.8 筑西市二木成＊=0.7 かすみがうら市大和田＊=0.7
		かすみがうら市上土田＊=0.7 つくば市研究学園＊=0.7 石岡市八郷＊=0.7 利根町布川=0.6

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		茨城鹿嶋市鉢形=0.6 下妻市本城町＊=0.6 美浦村受領＊=0.5 稲敷市伊佐津＊=0.5 城里町石塚＊=0.5
		埼玉県　2 宮代町笠原＊=1.7 さいたま緑区中尾＊=1.6 志木市中宗岡＊=1.5 さいたま南区別所＊=1.5
		1 熊谷市大里＊=1.4 春日部市金崎＊=1.4 八潮市中央＊=1.4 さいたま大宮区大門＊=1.4
		春日部市粕壁＊=1.3 久喜市下早見=1.3 さいたま浦和区高砂=1.3 白岡市千駄野＊=1.3
		所沢市北有楽町＊=1.3 新座市野火止＊=1.2 埼玉三芳町藤久保＊=1.2 さいたま大宮区天沼町＊=1.2
		さいたま見沼区堀崎＊=1.2 春日部市谷原新田＊=1.2 蕨市中央＊=1.1 和光市広沢＊=1.1
		久喜市青葉＊=1.1 三郷市中央＊=1.1 吉川市きよみ野＊=1.1 川口市三ツ和＊=1.1
		川口市安行領家＊=1.1 さいたま中央区下落合＊=1.1 越谷市越ヶ谷＊=1.1 加須市大利根＊=1.0
		富士見市鶴馬＊=1.0 伊奈町中央＊=1.0 狭山市入間川＊=1.0 さいたま北区宮原＊=1.0
		草加市中央＊=1.0 川口市中青木分室＊=1.0 朝霞市本町＊=1.0 幸手市東＊=0.9 加須市騎西＊=0.8
		鴻巣市中央＊=0.8 桶川市泉＊=0.8 熊谷市妻沼＊=0.7 蓮田市黒浜＊=0.7 上尾市本町＊=0.7
		さいたま西区西大宮＊=0.7 久喜市菖蒲＊=0.7 久喜市鷲宮＊=0.7 東松山市松葉町＊=0.6
		鴻巣市吹上富士見＊=0.6 戸田市上戸田＊=0.6 さいたま桜区道場＊=0.6 本庄市児玉町=0.6
		川島町下八ツ林＊=0.6 川越市新宿町＊=0.6 北本市本町＊=0.5 吉見町下細谷＊=0.5
		さいたま浦和区常盤＊=0.5 松伏町松伏＊=0.5
		千葉県　2 市川市本行徳＊=2.1 市川市大町＊=1.8 船橋市湊町＊=1.8 野田市鶴奉＊=1.7 鎌ケ谷市新鎌ケ谷＊=1.7
		白井市復＊=1.6 千葉中央区中央港=1.6 柏市旭町=1.6 柏市柏＊=1.5 千葉花見川区花島町＊=1.5
		1 千葉緑区おゆみ野＊=1.4 千葉美浜区ひび野=1.4 八千代市大和田新田＊=1.4 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.3
		習志野市鷺沼＊=1.3 千葉稲毛区園生町＊=1.3 成田市中台＊=1.2 浦安市日の出=1.2 市川市八幡＊=1.1
		松戸市西馬橋＊=1.1 市原市姉崎＊=1.1 我孫子市我孫子＊=1.1 浦安市猫実＊=1.1
		千葉若葉区小倉台＊=1.1 長南町総合グラウンド=1.0 流山市平和台＊=1.0 栄町安食台＊=0.9
		木更津市富士見＊=0.9 君津市久留里市場＊=0.9 野田市東宝珠花＊=0.9 柏市大島田＊=0.9
		東金市日吉台＊=0.8 印西市大森＊=0.8 山武市埴谷＊=0.7 印西市美瀬＊=0.7 富津市下飯野＊=0.7
		木更津市太田=0.6 成田市名古屋=0.6 君津市久保＊=0.6 芝山町小池＊=0.6 成田国際空港=0.5
		東京都　2 東京墨田区東向島＊=1.9 東京渋谷区本町＊=1.9 東京中央区勝どき＊=1.9 東京台東区千束＊=1.9
		東京葛飾区立石＊=1.8 東京品川区平塚＊=1.7 東京江戸川区鹿骨＊=1.7 東京墨田区吾妻橋＊=1.7
		東京江戸川区中央=1.6 小平市小川町＊=1.6 東京千代田区大手町=1.6 東京世田谷区三軒茶屋＊=1.6
		東京北区西ヶ原＊=1.6 東京世田谷区中町＊=1.5 東京墨田区横川=1.5 東京練馬区豊玉北＊=1.5
		東京足立区千住中居町＊=1.5 東京江東区枝川＊=1.5 東京江戸川区船堀＊=1.5
		1 東京千代田区富士見＊=1.4 東京港区海岸=1.4 東京港区南青山＊=1.4 東京港区白金＊=1.4
		東京江東区青海=1.4 東京江東区越中島＊=1.4 東京品川区北品川＊=1.4 東京荒川区荒川＊=1.4
		東京荒川区東尾久＊=1.4 東京足立区神明南＊=1.4 東京葛飾区金町＊=1.4 調布市西つつじヶ丘＊=1.4
		小金井市本町＊=1.4 東京江東区亀戸＊=1.3 東京目黒区中央町＊=1.3 東京大田区本羽田＊=1.3
		東京板橋区相生町＊=1.3 町田市森野＊=1.3 東京大田区多摩川＊=1.2 東京世田谷区成城＊=1.2
		東京練馬区光が丘＊=1.2 東京文京区スポーツセンタ＊=1.2 東京文京区本郷＊=1.2
		東京江東区東陽＊=1.2 東京江東区森下＊=1.2 東京世田谷区世田谷＊=1.1 東京中野区中野＊=1.1
		東京杉並区高井戸＊=1.1 東京足立区伊興＊=1.1 東京千代田区麹町＊=1.1 東京中央区築地＊=1.1
		西東京市中町＊=1.1 東大和市中央＊=1.1 東京新宿区上落合＊=1.1 東京新宿区百人町＊=1.1
		東京台東区東上野＊=1.1 八王子市堀之内＊=1.0 東京港区芝公園＊=1.0 東京渋谷区宇田川町＊=1.0
		東京杉並区桃井＊=1.0 東京文京区大塚＊=1.0 東京練馬区東大泉＊=1.0 東京板橋区板橋＊=0.9
		東京中央区日本橋兜町＊=0.9 東京品川区広町＊=0.9 東京国際空港=0.9 東京大田区大森東＊=0.9
		狛江市和泉本町＊=0.9 青梅市日向和田＊=0.8 東京中野区江古田＊=0.8 東京豊島区南池袋＊=0.8
		東京北区赤羽南＊=0.8 八王子市石川町＊=0.8 武蔵野市吉祥寺東町＊=0.8 日野市神明＊=0.8
		東京新宿区西新宿=0.8 武蔵村山市本町＊=0.8 調布市小島町＊=0.7 町田市忠生＊=0.7
		国分寺市泉町＊=0.7 東久留米市本町＊=0.7 東京板橋区高島平＊=0.7 東京大田区蒲田＊=0.7
		東京杉並区阿佐谷=0.6 東京府中市朝日町＊=0.6 国分寺市並木町=0.6 東京新宿区歌舞伎町＊=0.5
		神奈川県　2 横浜神奈川区神大寺＊=2.1 横浜神奈川区広台太田町＊=2.0 横浜中区山手町=1.9
		横浜鶴見区末広町＊=1.7 川崎中原区小杉町＊=1.7 川崎宮前区宮前平＊=1.7 横浜中区山下町＊=1.6
		横浜保土ケ谷区上菅田町＊=1.6 横浜港北区日吉本町＊=1.6 川崎川崎区千鳥町＊=1.6
		横浜中区山吹町＊=1.5 横浜戸塚区鳥が丘＊=1.5 横浜緑区十日市場町＊=1.5 横浜瀬谷区中屋敷＊=1.5
		横浜瀬谷区三ツ境＊=1.5
		1 横浜戸塚区平戸町＊=1.4 横浜港南区野庭町＊=1.4 川崎川崎区宮前町＊=1.4 横浜緑区鴨居＊=1.3
		横浜旭区今宿東町＊=1.2 横浜旭区川井宿町＊=1.2 横浜青葉区鴨志田町＊=1.2
		川崎中原区小杉陣屋町=1.2 横浜西区浜松町＊=1.1 横浜磯子区洋光台＊=1.1 横浜都筑区池辺町＊=1.1
		茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.1 大和市下鶴間＊=1.1 厚木市中町＊=1.1 相模原南区相模大野＊=1.1
		横浜鶴見区鶴見＊=1.0 横浜中区日本大通＊=1.0 横浜保土ケ谷区神戸町＊=1.0 横浜金沢区白帆＊=1.0
		川崎宮前区野川＊=1.0 横浜戸塚区戸塚町＊=0.9 平塚市浅間町＊=0.9 愛川町角田＊=0.9
		清川村煤ヶ谷＊=0.9 相模原南区磯部＊=0.9 相模原緑区中野＊=0.9 横浜旭区大池町＊=0.8
		川崎川崎区中島＊=0.8 川崎高津区下作延＊=0.8 横浜港南区丸山台北部＊=0.7 横浜都筑区茅ケ崎＊=0.7
		川崎幸区戸手本町＊=0.7 川崎多摩区登戸＊=0.7 山北町山北＊=0.7 相模原緑区橋本＊=0.7
		秦野市曽屋=0.6 横須賀市光の丘=0.5 藤沢市朝日町＊=0.5 湯河原町中央=0.5
		栃木県　1 真岡市石島＊=1.2 下野市田中＊=1.2 宇都宮市明保野町=1.1 下野市笹原＊=1.1 壬生町壬生甲＊=1.0
		鹿沼市晃望台＊=0.9 栃木市岩舟町静＊=0.8 益子町益子=0.8 栃木市旭町=0.7 宇都宮市中里町＊=0.6
		芳賀町祖母井＊=0.5 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.5 真岡市田町＊=0.5
		群馬県　1 前橋市粕川町＊=0.9 沼田市白沢町＊=0.8 渋川市赤城町＊=0.8 邑楽町中野＊=0.7 板倉町板倉=0.7
		千代田町赤岩＊=0.7 桐生市新里町＊=0.5 渋川市吹屋＊=0.5 沼田市西倉内町=0.5
		山梨県　1 富士河口湖町長浜＊=0.9
		静岡県　1 熱海市網代=0.6 東伊豆町奈良本＊=0.5 伊豆市中伊豆グラウンド=0.5
126	21 23 40	日高地方中部 42° 36.6’ N 142° 47.2’ E 97km M: 4.3
		北海道　2 浦幌町桜町＊=2.1 本別町北２丁目=1.7 平取町振内＊=1.7 新冠町北星町＊=1.6 本別町向陽町＊=1.6
		新ひだか町静内山手町=1.6 足寄町南１条＊=1.5 千歳市若草＊=1.5 厚真町鹿沼=1.5
		むかわ町松風＊=1.5

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		1 浦河町築地＊=1.4 安平町早来北進＊=1.3 日高地方日高町門別＊=1.3 新ひだか町静内御幸町＊=1.3 新ひだか町三石旭町＊=1.3 浦河町野深=1.3 千歳市支笏湖温泉＊=1.3 むかわ町穂別＊=1.2 浦河町潮見=1.2 安平町追分柏が丘＊=1.2 十勝池田町西１条＊=1.1 帯広市東６条＊=1.0 千歳市北栄=0.9 新千歳空港=0.9 江別市緑町＊=0.9 函館市泊町＊=0.9 幕別町忠類錦町＊=0.9 幕別町本町＊=0.9 函館市新浜町＊=0.9 豊頃町茂岩本町＊=0.9 十勝大樹町生花＊=0.9 白老町竹浦=0.9 新得町２条＊=0.8 帯広市東４条=0.8 新ひだか町静内御園=0.8 北広島市中の沢＊=0.8 札幌東区元町＊=0.8 札幌北区太平＊=0.7 芽室町東２条＊=0.7 様似町栄町＊=0.6 平取町本町＊=0.5 美唄市西３条＊=0.5 札幌手稲区前田＊=0.5 札幌厚別区もみじ台＊=0.5
		青森県　1 階上町道仏＊=1.2 むつ市大畑町中島＊=0.9 東通村砂子又沢内＊=0.8 八戸市南郷＊=0.5
127	22 02 10	青森県東方沖　41° 35.2’ N　142° 06.4’ E　54km　M: 3.4
		青森県　1 東通村砂子又沢内＊=0.7
128	22 02 53	熊本県熊本地方　32° 43.0’ N　130° 46.3’ E　12km　M: 3.2
		熊本県　1 宇城市豊野町＊=1.3 山都町浜町＊=1.3 熊本南区城南町＊=1.1 益城町宮園＊=1.0 宇城市松橋町=0.9 熊本西区春日=0.9 熊本美里町永富＊=0.9 宇城市小川町＊=0.8 宇土市浦田町＊=0.8 宇城市不知火町＊=0.8 御船町御船＊=0.8 甲佐町豊内＊=0.7 熊本東区佐土原＊=0.7 嘉島町上島＊=0.7 西原村小森＊=0.7 熊本美里町馬場＊=0.6 熊本中央区大江＊=0.5
129	22 07 45	熊本県熊本地方　32° 23.0’ N　130° 34.6’ E　11km　M: 2.9
		熊本県　1 五木村甲＊=0.5
130	23 02 21	北海道東方沖　43° 59.8’ N　147° 02.0’ E　79km　M: 4.9
		北海道　2 根室市落石東＊=1.9 別海町常盤=1.8 根室市厚床＊=1.6 標茶町塘路＊=1.5 1 標津町北２条＊=1.4 根室市牧の内＊=1.4 根室市珸瑤瑁＊=1.4 別海町本別海＊=1.2 中標津町丸山＊=1.2 浜中町茶内＊=1.2 白糠町西１条＊=0.8 浦幌町桜町＊=0.8 函館市新浜町＊=0.7 釧路市幸町=0.6 十勝大樹町生花＊=0.6 鶴居村鶴居東＊=0.5
131	23 04 37	熊本県天草・芦北地方　32° 13.1’ N　130° 24.8’ E　1km　M: 2.0
		熊本県　2 水俣市陣内＊=1.8 1 水俣市牧ノ内＊=1.4
132	23 04 38	熊本県天草・芦北地方　32° 13.0’ N　130° 24.9’ E　0km　M: 1.3
		熊本県　1 水俣市陣内＊=1.3 水俣市牧ノ内＊=0.7
133	23 10 31	熊本県天草・芦北地方　32° 22.1’ N　130° 29.0’ E　10km　M: 2.5
		熊本県　1 八代市平山新町=0.9
134	23 11 17	父島近海
		東京都　2 小笠原村母島=2.3
135	23 16 03	熊本県天草・芦北地方　32° 19.3’ N　130° 26.6’ E　9km　M: 2.8
		熊本県　1 芦北町芦北=1.3 水俣市牧ノ内＊=0.6
136	**24 01 07**	**岩手県沖　40° 18.8’ N　142° 45.2’ E　17km　M: 5.1**
		岩手県　3 盛岡市薮川＊=2.7 2 宮古市田老＊=2.2 普代村銅屋＊=2.2 盛岡市渋民＊=2.2 八幡平市田頭＊=1.9 紫波町紫波中央駅前＊=1.9 矢巾町南矢幅＊=1.8 軽米町軽米＊=1.7 二戸市浄法寺町＊=1.7 野田村野田＊=1.7 北上市相去町＊=1.7 盛岡市山王町=1.6 滝沢市鵜飼＊=1.6 釜石市中妻町＊=1.5 奥州市江刺＊=1.5 1 宮古市五月町＊=1.4 久慈市川崎町=1.4 八幡平市野駄＊=1.4 花巻市東和町＊=1.4 北上市柳原町=1.4 奥州市胆沢＊=1.4 大槌町上町＊=1.3 八幡平市叺田＊=1.3 花巻市石鳥谷町＊=1.3 宮古市鍬ヶ崎=1.3 遠野市青笹町＊=1.3 岩手町五日市＊=1.2 一戸町高善寺＊=1.2 八幡平市大更=1.2 花巻市大迫町=1.2 山田町大沢＊=1.2 大船渡市大船渡町=1.2 住田町世田米＊=1.2 一関市千厩町＊=1.2 金ケ崎町西根＊=1.2 平泉町平泉＊=1.2 奥州市前沢＊=1.2 雫石町千刈田=1.2 奥州市水沢大鐘町=1.1 山田町八幡町=1.1 盛岡市馬場町＊=1.1 一関市室根町＊=1.1 花巻市材木町＊=1.1 釜石市只越町=1.0 宮古市川井＊=1.0 宮古市区界＊=1.0 奥州市水沢佐倉河＊=1.0 奥州市衣川＊=1.0 一関市花泉町＊=1.0 花巻市大迫総合支所＊=0.9 葛巻町葛巻元木=0.9 久慈市枝成沢=0.9 九戸村伊保内＊=0.9 西和賀町沢内川舟＊=0.9 雫石町西根上駒木野=0.8 田野畑村役場＊=0.8 岩手洋野町大野＊=0.8 久慈市長内町＊=0.8 岩泉町岩泉＊=0.8 一関市藤沢町＊=0.8 二戸市福岡=0.8 田野畑村田野畑=0.8 一関市東山町＊=0.7 宮古市茂市＊=0.7 二戸市石切所＊=0.7 岩手洋野町種市=0.6 大船渡市猪川町=0.5 大船渡市盛町＊=0.5 一関市大東町=0.5 一関市竹山町＊=0.5
		青森県　2 八戸市南郷＊=2.1 五戸町古舘=1.9 青森南部町苫米地＊=1.8 野辺地町田狭沢＊=1.8 七戸町森ノ上＊=1.6 東北町上北南＊=1.6 八戸市内丸＊=1.6 野辺地町野辺地＊=1.6 青森南部町平＊=1.6 おいらせ町中下田＊=1.5 階上町道仏＊=1.5 1 八戸市湊町=1.4 十和田市西十二番町＊=1.4 六戸町犬落瀬＊=1.4 三戸町在府小路町＊=1.4 五戸町倉石中市＊=1.4 むつ市大畑町中島＊=1.4 東通村砂子又沢内＊=1.4 むつ市金谷＊=1.3 十和田市西二番町＊=1.3 平内町小湊=1.3 三沢市桜町＊=1.3 外ヶ浜町蟹田＊=1.2 おいらせ町上明堂＊=1.2 七戸町七戸＊=1.2 青森市花園=1.1 むつ市川内町＊=1.1 青森南部町沖田面＊=1.1 十和田市奥瀬＊=1.0 青森市中央＊=1.0 東通村白糠＊=1.0 むつ市金曲=1.0 田子町田子＊=0.9 横浜町林ノ脇＊=0.9 佐井村長後＊=0.8 六ヶ所村尾駮=0.8 東通村砂子又蒲谷地=0.8 横浜町寺下＊=0.7 平内町東田沢＊=0.7 むつ市脇野沢＊=0.6 六ヶ所村出戸=0.6 八戸市島守=0.6 蓬田村阿弥陀川＊=0.5 新郷村戸来＊=0.5 つがる市稲垣町＊=0.5

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各地の震度 （計測震度）
		宮城県　2　涌谷町新町裏=1.7 石巻市桃生町＊=1.6 登米市迫町＊=1.5 丸森町鳥屋＊=1.5
		1　栗原市若柳＊=1.2 登米市登米町＊=1.2 登米市南方町＊=1.2 登米市米山町＊=1.2
		石巻市大街道南＊=1.2 気仙沼市赤岩=1.1 気仙沼市唐桑町＊=1.1 登米市中田町=1.1
		宮城美里町木間塚＊=1.1 大崎市古川旭＊=1.1 大崎市田尻＊=1.1 角田市角田＊=1.1 松島町高城=1.1
		大崎市古川三日町=1.0 大崎市松山＊=1.0 石巻市前谷地＊=1.0 栗原市築館＊=1.0 栗原市志波姫＊=1.0
		大崎市鹿島台＊=0.9 栗原市一迫＊=0.9 石巻市相野谷＊=0.9 東松島市矢本＊=0.9
		気仙沼市笹が陣＊=0.9 栗原市栗駒=0.9 栗原市高清水＊=0.8 岩沼市桜＊=0.8 大河原町新南＊=0.8
		北海道　1　函館市泊町＊=1.4 函館市新浜町＊=1.0
		秋田県　1　横手市大雄＊=1.1 大仙市高梨＊=1.1 大館市桜町＊=1.0 にかほ市平沢＊=0.8 大館市早口＊=0.8
		鹿角市花輪＊=0.8 北秋田市新田目＊=0.8 大仙市刈和野＊=0.8 大館市比内町扇田＊=0.7
		北秋田市花園町=0.7 井川町北川尻＊=0.7 三種町森岳＊=0.7 由利本荘市前郷＊=0.7 藤里町藤琴＊=0.6
		小坂町小坂砂森＊=0.6
		山形県　1　中山町長崎＊=0.9
137	24 02 31	日高地方中部　42° 25.7’ N　142° 14.3’ E　95km　M: 3.7
		北海道　1　千歳市若草＊=1.3 厚真町鹿沼=1.0 むかわ町松風＊=1.0 函館市新浜町＊=0.9 白老町竹浦=0.8
		函館市泊町＊=0.8 安平町追分柏が丘＊=0.7 室蘭市寿町＊=0.7 安平町早来北進＊=0.7
		函館市川汲町＊=0.6 日高地方日高町門別＊=0.5
		青森県　1　むつ市大畑町中島＊=0.9
138	24 12 44	陸奥湾　41° 02.2’ N　141° 04.3’ E　11km　M: 2.8
		青森県　1　平内町小湊=0.5
139	24 21 08	薩摩半島西方沖　31° 13.8’ N　129° 55.6’ E　9km　M: 3.5
		鹿児島県　1　南九州市頴娃町牧之内＊=0.8 南さつま市大浦町＊=0.7 枕崎市高見町=0.7 鹿児島市喜入町＊=0.5
140	25 07 53	熊本県熊本地方　32° 49.9’ N　130° 51.0’ E　10km　M: 2.1
		熊本県　1　大津町大津＊=1.1 大津町引水＊=0.7 菊陽町久保田＊=0.6 益城町宮園＊=0.6
141	**25 08 59**	**日向灘　31° 45.8’ N　131° 52.6’ E　7km　M: 5.2**
		熊本県　3　氷川町島地＊=2.5 天草市五和町＊=2.5
		2　熊本北区植木町＊=2.3 宇城市豊野町＊=2.3 宇城市小川町＊=2.3 宇土市浦田町＊=2.2
		熊本美里町馬場＊=2.2 合志市竹迫＊=2.2 宇城市松橋町=2.2 多良木町多良木=2.2
		津奈木町小津奈木＊=2.2 多良木町上球磨消防署＊=2.1 宇城市不知火町＊=2.1 八代市千丁町＊=2.1
		八代市平山新町=2.1 熊本美里町永富＊=2.0 西原村小森＊=2.0 芦北町芦北=2.0 人吉市西間下町=2.0
		あさぎり町須恵＊=2.0 八代市鏡町＊=1.9 八代市新地町＊=1.9 あさぎり町岡原＊=1.9
		山江村山田＊=1.9 あさぎり町上＊=1.8 産山村山鹿＊=1.8 阿蘇市波野＊=1.8 山都町今＊=1.8
		宇城市三角町＊=1.8 人吉市蟹作町＊=1.8 あさぎり町免田東＊=1.8 長洲町長洲＊=1.7
		熊本高森町高森＊=1.7 山都町大平＊=1.7 玉名市横島町＊=1.7 氷川町宮原＊=1.6 湯前町役場＊=1.6
		阿蘇市内牧＊=1.6 和水町江田＊=1.6 熊本南区城南町＊=1.6 上天草市大矢野町=1.6
		上天草市松島町＊=1.6 玉名市天水町＊=1.6 菊池市七城町＊=1.6 南阿蘇村河陽＊=1.5
		水俣市牧ノ内＊=1.5 山鹿市山鹿＊=1.5 南阿蘇村河陰＊=1.5 合志市御代志＊=1.5 錦町一武＊=1.5
		益城町宮園＊=1.5
		1　山鹿市鹿央町＊=1.4 菊池市旭志＊=1.4 菊陽町久保田＊=1.4 熊本東区佐土原＊=1.4 熊本西区春日=1.4
		あさぎり町深田＊=1.4 芦北町田浦町＊=1.4 山都町浜町＊=1.3 山鹿市鹿本町＊=1.3 玉東町木葉＊=1.3
		大津町大津＊=1.3 相良村深水＊=1.3 五木村甲＊=1.3 嘉島町上島＊=1.3
		山鹿市老人福祉センター＊=1.2 阿蘇市一の宮町＊=1.2 天草市天草町＊=1.2 南阿蘇村吉田＊=1.2
		大津町引水＊=1.1 熊本中央区大江＊=1.0 玉名市中尾＊=0.9 八代市泉町=0.9 南阿蘇村中松=0.8
		宮崎県　3　宮崎市高岡町内山＊=3.1 都城市高崎町大牟田＊=3.1 都城市山之口町花木＊=3.1
		日南市南郷町南町＊=3.0 高原町西麓＊=3.0 宮崎市田野町体育館＊=2.9 綾町南俣健康センター＊=2.8
		小林市真方=2.8 小林市野尻町東麓＊=2.8 国富町本庄＊=2.8 都城市姫城町＊=2.7 宮崎市松橋＊=2.7
		宮崎市霧島=2.7 綾町役場＊=2.6 串間市役所＊=2.6 都城市菖蒲原=2.5 日南市油津=2.5
		日南市吾田東＊=2.5 日南市北郷町郷之原＊=2.5 都城市山田町山田＊=2.5 西都市聖陵町＊=2.5
		高鍋町上江＊=2.5 宮崎市清武町西新町＊=2.5
		2　宮崎美郷町田代＊=2.4 宮崎市田野支所＊=2.4 三股町五本松＊=2.4 日南市中央通＊=2.3
		高千穂町三田井=2.3 都城市高城町穂満坊＊=2.2 西都市上の宮＊=2.2 川南町川南＊=2.2
		宮崎市佐土原町下田島＊=2.1 新富町上富田=2.1 串間市都井＊=2.1 都城市高崎町江平=2.1
		延岡市北方町総合支所＊=2.0 門川町平城東＊=2.0 小林市役所＊=2.0 えびの市加久藤＊=2.0
		椎葉村総合運動公園＊=2.0 木城町高城＊=1.9 日南市北郷町大藤=1.8 串間市奈留=1.8
		宮崎都農町役場＊=1.8 小林市中原＊=1.8 延岡市天神小路=1.7 椎葉村下福良＊=1.6
		延岡市北川町川内名白石＊=1.6 延岡市東本小路＊=1.6 延岡市北浦町古江＊=1.5
		1　延岡市北方総合運動公園=1.4 日向市大王谷運動公園=1.4 五ヶ瀬町三ヶ所＊=1.4 高千穂町寺迫＊=1.3
		宮崎美郷町神門＊=1.3 宮崎美郷町宇納間＊=1.2 日向市亀崎=1.1 日向市富高＊=1.1
		日向市東郷町山陰＊=1.1 諸塚村家代＊=1.0 日之影町七折＊=1.0 延岡市北川町総合支所＊=1.0
		宮崎都農町川北=0.7 西米良村村所＊=0.7 西米良村板谷＊=0.6
		鹿児島県　3　霧島市福山町牧之原＊=2.7 姶良市加治木町本町＊=2.6 鹿屋市新栄町=2.5
		2　鹿児島空港=2.4 姶良市蒲生町北＊=2.4 大崎町仮宿＊=2.4 鹿屋市札元＊=2.3 鹿児島市喜入町＊=2.2
		南さつま市金峰町尾下＊=2.2 霧島市国分中央＊=2.2 鹿屋市輝北町上百引＊=2.2 垂水市田神＊=2.2
		曽於市末吉町二之方＊=2.2 東串良町川西＊=2.1 錦江町田代支所＊=2.1 肝付町新富＊=2.1
		伊佐市菱刈前目＊=2.0 姶良市宮島町＊=2.0 鹿屋市串良町岡崎＊=2.0 志布志市志布志町志布志=2.0
		鹿児島市桜島赤水新島＊=1.9 曽於市財部町南俣＊=1.9 薩摩川内市祁答院町＊=1.9 さつま町神子＊=1.9
		湧水町吉松＊=1.8 霧島市隼人町内山田=1.8 鹿屋市吾平町麓＊=1.8 鹿児島市本城＊=1.8
		指宿市十町＊=1.8 阿久根市鶴見町＊=1.7 錦江町田代麓=1.7 南大隅町佐多伊座敷＊=1.7

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名　緯度　経度　深さ　規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		曽於市大隅町中之内＊=1.7 薩摩川内市神田町＊=1.6 霧島市横川町中ノ＊=1.6 いちき串木野市緑町＊=1.5 鹿児島市東郡元=1.5 錦江町城元＊=1.5 南大隅町根占＊=1.5 霧島市霧島田口＊=1.5 霧島市牧園町宿窪田＊=1.5 南九州市頴娃町牧之内＊=1.5 指宿市山川新生町=1.5 1 いちき串木野市湊町＊=1.4 肝付町北方＊=1.4 志布志市松山町新橋＊=1.4 志布志市有明町野井倉＊=1.4 長島町伊唐島＊=1.3 薩摩川内市入来町＊=1.3 さつま町宮之城保健センタ＊=1.3 南さつま市大浦町＊=1.3 霧島市溝辺町有川＊=1.3 伊佐市大口鳥巣＊=1.3 鹿児島市上谷口＊=1.2 さつま町宮之城屋地=1.1 南九州市川辺町平山＊=1.1 伊佐市大口山野=1.1 鹿児島出水市緑町＊=1.1 南さつま市坊津町久志＊=1.0 日置市吹上町中原＊=1.0 南さつま市加世田川畑＊=0.9 薩摩川内市中郷=0.8 枕崎市高見町=0.8 鹿児島市下福元=0.6 薩摩川内市上甑町＊=0.5 福岡県　2 柳川市三橋町＊=1.8 大川市酒見＊=1.8 柳川市本町＊=1.7 久留米市津福本町=1.7 1 大木町八町牟田＊=1.3 みやま市高田町＊=1.2 久留米市小森野町＊=1.1 八女市吉田＊=0.8 長崎県　2 南島原市口之津町＊=1.7 1 南島原市加津佐町＊=1.4 雲仙市小浜町雲仙=1.0 雲仙市国見町=0.7 大分県　2 竹田市直入町＊=2.2 竹田市荻町＊=2.0 大分市舞鶴町＊=1.8 臼杵市臼杵＊=1.8 佐伯市蒲江蒲江浦=1.6 佐伯市春日町＊=1.6 竹田市久住町＊=1.6 佐伯市米水津＊=1.5 豊後大野市清川町＊=1.5 1 大分市新春日町＊=1.4 津久見市宮本町＊=1.4 佐伯市上浦＊=1.3 竹田市竹田小学校＊=1.3 竹田市会々＊=1.3 佐伯市鶴見＊=1.2 豊後大野市朝地町＊=1.1 豊後大野市緒方町＊=1.0 姫島村役場＊=1.0 佐伯市弥生＊=1.0 大分市明野北=0.9 佐伯市役所＊=0.9 別府市鶴見=0.9 由布市挾間町＊=0.9 佐伯市直川＊=0.9 佐伯市宇目＊=0.9 国東市鶴川=0.9 別府市天間=0.8 豊後大野市三重町=0.7 豊後大野市千歳町＊=0.6 佐伯市蒲江猪串浦=0.6 大分市野津原＊=0.6 由布市庄内町＊=0.6 津久見市立花町＊=0.6 大分市佐賀関＊=0.6 広島県　1 呉市安浦町＊=0.5 愛媛県　1 宇和島市住吉町=0.6 高知県　1 宿毛市桜町＊=0.6 山口県　1 柳井市南町＊=1.1 柳井市大畠＊=0.8 佐賀県　1 佐賀市駅前中央=0.6
142	**25 11 09**	**小笠原諸島西方沖　27° 46.7′ N　139° 55.7′ E　507km　M: 6.8** 東京都　3 小笠原村母島=3.2 小笠原村父島三日月山=2.5 2 小笠原村父島西町=2.2 東京千代田区大手町=1.6 青ヶ島村=1.6 1 東京荒川区東尾久＊=1.3 東京港区海岸=1.2 東京港区白金＊=1.2 東京江東区越中島＊=1.2 東京江東区枝川＊=1.2 東京板橋区高島平＊=1.2 東京江戸川区中央=1.2 八丈町富士グランド＊=1.2 東京中央区勝どき＊=1.1 東京墨田区東向島＊=1.1 東京江東区森下＊=1.1 東京品川区平塚＊=1.1 東京大田区本羽田＊=1.1 東京渋谷区本町＊=1.1 東京荒川区荒川＊=1.1 東京練馬区東大泉＊=1.1 東京足立区神明南＊=1.1 東京足立区伊興＊=1.1 東京江戸川区船堀＊=1.1 東京江東区青海=1.0 東京江東区亀戸＊=1.0 東京品川区北品川＊=1.0 東京大田区多摩川＊=1.0 東京世田谷区世田谷＊=1.0 東京中野区中野＊=1.0 東京北区西ヶ原＊=1.0 東京北区赤羽南＊=1.0 東京板橋区相生町＊=1.0 東京葛飾区立石＊=1.0 東京葛飾区金町＊=1.0 八丈町三根=1.0 東京中央区日本橋兜町＊=0.9 東京足立区千住中居町＊=0.9 東京港区南青山＊=0.9 東京新宿区上落合＊=0.9 東京江戸川区鹿骨＊=0.9 東京文京区大塚＊=0.9 東京国際空港=0.9 東京豊島区南池袋＊=0.8 東京板橋区板橋＊=0.8 東京千代田区富士見＊=0.8 東京千代田区麹町＊=0.8 東京文京区スポーツセンタ＊=0.8 八王子市堀之内＊=0.8 町田市忠生＊=0.8 国分寺市並木町=0.8 東京台東区千束＊=0.8 東京世田谷区三軒茶屋＊=0.8 東京杉並区桃井＊=0.8 東京杉並区高井戸＊=0.8 東京目黒区中央町＊=0.7 調布市西つつじヶ丘＊=0.7 西東京市中町＊=0.7 新島村大原=0.7 三宅村坪田=0.7 東京世田谷区中町＊=0.7 東京世田谷区成城＊=0.7 東京渋谷区宇田川町＊=0.7 東京新宿区西新宿=0.7 東京新宿区歌舞伎町＊=0.7 東京文京区本郷＊=0.7 東京練馬区光が丘＊=0.7 東京足立区中央本町＊=0.6 三宅村神着=0.6 日野市神明＊=0.5 東京杉並区阿佐谷=0.5 宮城県　2 丸森町鳥屋＊=2.2 角田市角田＊=1.8 岩沼市桜＊=1.5 1 大崎市田尻＊=1.4 大河原町新南＊=1.4 宮城美里町木間塚＊=1.2 大崎市古川三日町=1.2 亘理町悠里＊=1.2 石巻市大街道南＊=1.2 大崎市古川旭＊=1.1 山元町浅生原＊=1.1 涌谷町新町裏=1.1 松島町高城=1.1 蔵王町円田＊=1.1 登米市迫町＊=1.1 登米市中田町=1.0 登米市南方町＊=1.0 大崎市松山＊=1.0 宮城加美町中新田＊=0.9 宮城川崎町前川＊=0.9 石巻市桃生町＊=0.9 東松島市矢本＊=0.9 登米市米山町＊=0.9 白石市亘理町＊=0.8 登米市登米町＊=0.8 栗原市若柳＊=0.8 宮城美里町北浦＊=0.7 石巻市前谷地＊=0.7 色麻町四竈＊=0.7 大崎市三本木＊=0.7 利府町利府＊=0.7 大崎市古川大崎=0.7 仙台宮城野区苦竹＊=0.6 山形県　2 中山町長崎＊=1.5 1 村山市中央＊=1.1 白鷹町荒砥＊=1.0 上山市河崎＊=0.9 天童市老野森＊=0.8 福島県　2 双葉町長塚＊=2.2 西郷村熊倉＊=1.9 南相馬市小高区＊=1.8 郡山市湖南町＊=1.7 浪江町幾世橋=1.6 玉川村小高＊=1.6 国見町藤田＊=1.6 田村市大越町＊=1.5 田村市滝根町＊=1.5 泉崎村泉崎＊=1.5 南相馬市鹿島区西町＊=1.5 1 福島市花園町=1.4 福島市五老内町＊=1.4 古殿町松川新桑原＊=1.4 いわき市小名浜=1.4 いわき市錦町＊=1.4 相馬市中村＊=1.4 鏡石町不時沼＊=1.3 猪苗代町城南=1.3 猪苗代町下園＊=1.3 白河市東＊=1.3 いわき市平梅本＊=1.3 須賀川市八幡山＊=1.2 須賀川市八幡町＊=1.2 新地町谷地小屋＊=1.2 南相馬市原町区三島町=1.1 福島市桜木町＊=1.1 須賀川市岩瀬支所＊=1.0 大熊町大川原＊=1.0 南相馬市原町区高見町＊=1.0 浅川町浅川＊=1.0 郡山市朝日=1.0 白河市郭内=1.0 白河市新白河＊=0.9 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.9 福島広野町下北迫苗代替＊=0.9 大熊町野上＊=0.9 いわき市三和町=0.8 大玉村南小屋=0.8 天栄村下松本＊=0.8 川内村上川内小山平＊=0.7 いわき市平四ツ波＊=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.6 茨城県　2 つくばみらい市福田＊=2.0 つくばみらい市加藤＊=1.9 北茨城市中郷町＊=1.7 常陸太田市金井町＊=1.6 笠間市石井＊=1.6 茨城古河市下大野＊=1.6 常総市新石下＊=1.6 笠間市中央＊=1.5 茨城町小堤＊=1.5 取手市井野＊=1.5 取手市藤代＊=1.5 筑西市舟生=1.5 1 小美玉市上玉里＊=1.4 石岡市柿岡=1.4 石岡市八郷＊=1.4 河内町源清田＊=1.4 坂東市岩井=1.4 常総市水海道諏訪町＊=1.4 石岡市石岡＊=1.3 下妻市鬼怒＊=1.3 取手市寺田＊=1.3 笠間市下郷＊=1.3

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		土浦市藤沢＊=1.3 石岡市若宮＊=1.3 東海村東海＊=1.2 小美玉市小川＊=1.2 桜川市真壁＊=1.2 日立市十王町友部＊=1.1 高萩市安良川＊=1.1 つくば市天王台＊=1.1 守谷市大柏＊=1.1 桜川市岩瀬＊=1.0 土浦市常名=1.0 桜川市羽田＊=1.0 水戸市千波町＊=1.0 潮来市堀之内=1.0 日立市助川小学校＊=0.9 ひたちなか市南神敷台＊=0.9 稲敷市江戸崎甲＊=0.8 常陸大宮市中富町=0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 茨城鹿嶋市宮中＊=0.8 水戸市金町=0.8 利根町布川=0.8 常陸大宮市北町＊=0.7 鉾田市鉾田=0.7
		栃木県　2 栃木市岩舟町静＊=1.8 高根沢町石末＊=1.8 大田原市湯津上＊=1.5 佐野市田沼町＊=1.5 鹿沼市晃望台＊=1.5
		1 那須町寺子＊=1.4 真岡市石島＊=1.4 下野市田中＊=1.4 宇都宮市中岡本町＊=1.3 栃木市大平町富田＊=1.3 佐野市高砂町＊=1.3 佐野市葛生東＊=1.2 小山市神鳥谷＊=1.2 真岡市田町＊=1.2 益子町益子=1.2 市貝町市塙＊=1.2 宇都宮市明保野町=1.2 足利市大正町＊=1.2 下野市笹原＊=1.1 野木町丸林＊=1.1 日光市芹沼＊=1.0 栃木市旭町=0.8 日光市湯元＊=0.7 佐野市中町＊=0.6 日光市鬼怒川温泉大原＊=0.5 日光市瀬川=0.5 日光市足尾町中才＊=0.5 日光市中宮祠=0.5 大田原市黒羽田町=0.5
		埼玉県　2 久喜市青葉＊=1.8 宮代町笠原＊=1.8 幸手市東＊=1.7 熊谷市大里＊=1.7 加須市大利根＊=1.7 春日部市粕壁＊=1.6 春日部市谷原新田＊=1.6 さいたま大宮区天沼町＊=1.6 さいたま緑区中尾＊=1.6 鴻巣市吹上富士見＊=1.6 川口市中青木分室＊=1.6 鴻巣市中央＊=1.5
		1 久喜市菖蒲＊=1.4 さいたま大宮区大門＊=1.4 加須市三俣＊=1.3 加須市騎西＊=1.3 久喜市下早見=1.3 久喜市栗橋＊=1.3 戸田市上戸田＊=1.3 富士見市鶴馬＊=1.3 川島町下八ツ林＊=1.3 さいたま中央区下落合＊=1.3 さいたま南区別所＊=1.3 吉川市きよみ野＊=1.2 さいたま北区宮原＊=1.2 加須市北川辺＊=1.2 川口市三ツ和＊=1.2 川口市安行領家＊=1.2 春日部市金崎＊=1.2 草加市中央＊=1.2 蕨市中央＊=1.2 八潮市中央＊=1.1 三郷市中央＊=1.1 さいたま見沼区堀崎＊=1.1 白岡市千駄野＊=1.1 久喜市鷲宮＊=1.1 越谷市越ヶ谷＊=1.1 鴻巣市川里＊=1.0 吉見町下細谷＊=1.0 志木市中宗岡＊=1.0 伊奈町中央＊=1.0 行田市本丸＊=1.0 行田市南河原＊=1.0 さいたま浦和区高砂=1.0 羽生市東＊=0.9 桶川市泉＊=0.9 鶴ヶ島市三ツ木＊=0.9 松伏町松伏＊=0.9 さいたま桜区道場＊=0.9 狭山市入間川＊=0.8 熊谷市桜町=0.8 熊谷市妻沼＊=0.8 和光市広沢＊=0.8 埼玉美里町木部＊=0.8 蓮田市黒浜＊=0.7 熊谷市江南＊=0.7 毛呂山町中央＊=0.7 さいたま西区西大宮＊=0.7 上尾市本町＊=0.7 さいたま浦和区常盤＊=0.7 新座市野火止＊=0.7 東松山市松葉町＊=0.6 埼玉三芳町藤久保＊=0.6 本庄市児玉町=0.6 朝霞市本町＊=0.6
		千葉県　2 市原市姉崎＊=2.0 館山市北条＊=1.8 千葉美浜区ひび野=1.7 浦安市日の出=1.7 鴨川市横渚＊=1.7 鋸南町下佐久間＊=1.7 館山市長須賀=1.6 君津市久留里市場＊=1.6 睦沢町下之郷＊=1.5 香取市羽根川＊=1.5 千葉中央区中央港=1.5 鴨川市八色=1.5 いすみ市岬町長者＊=1.5 南房総市岩糸＊=1.5
		1 旭市南堀之内＊=1.4 長生村本郷＊=1.4 山武市蓮沼ニ＊=1.4 船橋市湊町＊=1.4 松戸市西馬橋＊=1.4 印西市大森＊=1.4 君津市久保＊=1.4 いすみ市弥正＊=1.4 南房総市上堀=1.4 南房総市谷向＊=1.4 多古町多古=1.3 九十九里町片貝＊=1.3 白子町関＊=1.3 香取市役所＊=1.3 千葉花見川区花島町＊=1.3 野田市鶴奉＊=1.3 東金市日吉台＊=1.2 東金市東岩崎＊=1.2 大網白里市大網＊=1.2 市川市本行徳＊=1.2 千葉佐倉市海隣寺町＊=1.2 木更津市富士見＊=1.2 富津市下飯野＊=1.2 南房総市富浦町青木＊=1.2 柏市柏＊=1.1 勝浦市墨名=1.1 大多喜町大多喜＊=1.1 南房総市千倉町瀬戸＊=1.1 東庄町笹川＊=1.1 一宮町一宮=1.1 長南町総合グラウンド=1.1 香取市佐原平田=1.1 横芝光町宮川＊=1.1 東金市東新宿=1.0 山武市松尾町富士見台=1.0 山武市埴谷＊=1.0 山武市殿台＊=1.0 千葉稲毛区園生町＊=1.0 千葉緑区おゆみ野＊=1.0 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.0 八千代市大和田新田＊=1.0 木更津市太田=1.0 千葉若葉区小倉台＊=0.9 神崎町神崎本宿＊=0.9 香取市仁良＊=0.9 勝浦市新官＊=0.9 南房総市白浜町白浜＊=0.8 匝瑳市八日市場ハ＊=0.8 袖ケ浦市坂戸市場＊=0.8 いすみ市大原＊=0.8 香取市岩部＊=0.7 鴨川市内浦=0.6
		神奈川県　2 横浜中区山手町=1.5 横浜港北区日吉本町＊=1.5 横浜戸塚区鳥が丘＊=1.5 川崎川崎区千鳥町＊=1.5
		1 横浜保土ケ谷区上菅田町＊=1.4 横浜神奈川区神大寺＊=1.3 川崎川崎区宮前町＊=1.3 海老名市大谷＊=1.3 横浜緑区鴨居＊=1.2 厚木市中町＊=1.2 川崎中原区小杉町＊=1.0 川崎宮前区宮前平＊=1.0 川崎宮前区野川＊=1.0 川崎川崎区中島＊=0.9 川崎中原区小杉陣屋町=0.9 横須賀市光の丘=0.9 湯河原町中央=0.9 川崎幸区戸手本町＊=0.8 藤沢市朝日町＊=0.8 相模原緑区橋本＊=0.8 平塚市浅間町＊=0.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.7 秦野市曽屋=0.7
		青森県　1 階上町道仏＊=0.7
		岩手県　1 盛岡市薮川＊=0.8
		群馬県　1 沼田市白沢町＊=1.4 邑楽町中野＊=1.4 太田市西本町＊=1.2 群馬明和町新里＊=1.2 館林市城町＊=1.1 渋川市赤城町＊=1.1 沼田市西倉内町=1.0 板倉町板倉=1.0 千代田町赤岩＊=1.0 桐生市元宿町＊=0.9 桐生市黒保根町＊=0.8 渋川市吹屋＊=0.8 太田市浜町＊=0.7 安中市安中＊=0.7 前橋市粕川町＊=0.6 太田市粕川町＊=0.6 前橋市富士見町＊=0.6 桐生市錦町=0.6 高崎市高松町＊=0.5 沼田市下久屋町＊=0.5
		新潟県　1 南魚沼市六日町=1.1
		山梨県　1 忍野村忍草＊=1.1 山中湖村山中＊=0.8
		長野県　1 佐久市中込＊=1.0 諏訪市湖岸通り=0.8 長野南牧村海ノ口＊=0.8 諏訪市高島＊=0.7
		静岡県　1 松崎町宮内＊=0.7 伊豆市中伊豆グラウンド=0.7
143	25 12 23	苫小牧沖　41° 55.0’ N　141° 42.5’ E　79km　M: 3.6
		北海道　1 函館市泊町＊=0.7 白老町竹浦=0.7 函館市新浜町＊=0.6
144	25 15 04	福島県沖　37° 45.7’ N　141° 48.9’ E　45km　M: 4.1
		福島県　2 檜葉町北田＊=1.9 富岡町本岡＊=1.5
		1 福島広野町下北迫大谷地原＊=1.2 大熊町大川原＊=1.2 飯舘村伊丹沢＊=1.1 国見町藤田＊=1.0 南相馬市原町区三島町=1.0 南相馬市鹿島区西町＊=1.0 新地町谷地小屋＊=0.9 田村市都路町＊=0.9 川内村下川内=0.9 田村市大越町＊=0.8 浪江町幾世橋=0.8 二本松市油井＊=0.8 相馬市中村＊=0.8 二本松市針道＊=0.8 南相馬市原町区高見町＊=0.8 福島伊達市霊山町＊=0.7 いわき市三和町=0.7

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各地の震度（計測震度）
		天栄村下松本＊=0.6 田村市常葉町＊=0.6 川俣町五百田＊=0.6 福島広野町下北迫苗代替＊=0.5 玉川村小高＊=0.5 田村市船引町=0.5 福島伊達市梁川町＊=0.5
		岩手県　1 一関市室根町＊=0.6 一関市千厩町＊=0.5
		宮城県　1 石巻市北上町＊=1.3 石巻市大街道南＊=1.0 石巻市桃生町＊=1.0 岩沼市桜＊=0.9 名取市増田＊=0.9 山元町浅生原＊=0.8 大崎市田尻＊=0.7 涌谷町新町裏=0.6 角田市角田＊=0.6 登米市豊里町＊=0.6 仙台空港=0.6 石巻市雄勝町＊=0.5 東松島市小野＊=0.5 松島町高城=0.5 利府町利府＊=0.5 栗原市築館＊=0.5 気仙沼市笹が陣＊=0.5
145	25 19 14	茨城県北部　36° 45.8’ N　140° 24.4’ E　88km　M: 3.8
		福島県　1 浅川町浅川＊=1.4 白河市新白河＊=1.1 矢祭町戸塚＊=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.8 西郷村熊倉＊=0.8 浪江町幾世橋=0.6 玉川村小高＊=0.5 鏡石町不時沼＊=0.5 古殿町松川横川=0.5
		茨城県　1 日立市助川小学校＊=1.4 水戸市栗崎町＊=1.1 常陸太田市高柿町＊=1.0 北茨城市中郷町＊=0.9 大洗町磯浜町＊=0.9 水戸市千波町＊=0.8 水戸市内原町＊=0.8 笠間市石井＊=0.8 ひたちなか市南神敷台＊=0.8 大子町池田＊=0.8 城里町石塚＊=0.8 日立市役所＊=0.7 笠間市笠間＊=0.7 小美玉市堅倉＊=0.7 常陸大宮市北町＊=0.6 常陸大宮市山方＊=0.6 常陸大宮市野口＊=0.6 笠間市中央＊=0.6 常陸太田市町田町＊=0.6 水戸市金町=0.5 桜川市岩瀬＊=0.5 常陸太田市町屋町=0.5
		栃木県　1 鹿沼市晃望台＊=0.7 壬生町壬生甲＊=0.6 宇都宮市中里町＊=0.5
146	26 06 46	福島県会津　37° 25.2’ N　139° 26.0’ E　7km　M: 3.1
		福島県　2 南会津町界＊=1.5
		1 檜枝岐村上河原＊=1.0 只見町黒谷＊=0.6
147	26 07 14	小笠原諸島西方沖　27° 59.1’ N　139° 57.1’ E　480km　M: 5.6
		東京都　1 小笠原村母島=1.1
148	26 13 12	岩手県沖　40° 22.1’ N　142° 11.9’ E　46km　M: 3.9
		青森県　1 八戸市内丸＊=1.3 八戸市湊町=1.2 階上町道仏＊=1.0 八戸市南郷＊=0.9 青森南部町苫米地＊=0.8 八戸市島守=0.5 青森南部町平＊=0.5 三戸町在府小路町＊=0.5 五戸町古舘=0.5
		岩手県　1 軽米町軽米＊=1.3 岩手洋野町大野＊=0.9 盛岡市薮川＊=0.8 久慈市川崎町=0.8 九戸村伊保内＊=0.7 八幡平市田頭＊=0.6 久慈市枝成沢=0.5
149	26 13 35	岩手県沖　40° 21.8’ N　142° 12.0’ E　46km　M: 3.6
		青森県　1 八戸市湊町=0.8 八戸市内丸＊=0.7
		岩手県　1 軽米町軽米＊=0.8
150	26 13 37	千葉県北東部　35° 44.9’ N　140° 42.0’ E　49km　M: 3.0
		千葉県　1 多古町多古=0.5 横芝光町宮川＊=0.5
151	26 18 47	紀伊水道　34° 06.0’ N　135° 05.3’ E　10km　M: 2.5
		和歌山県　1 有田市初島町＊=1.1 海南市下津＊=0.6
152	26 23 11	山口県東部　34° 19.3’ N　132° 05.9’ E　14km　M: 3.2
		山口県　2 岩国市本郷町本郷＊=1.5
		1 岩国市美川町高ケ原＊=1.1 岩国市美川町四馬神＊=1.0 岩国市美和町生見＊=0.5
		広島県　1 大竹市小方＊=0.9 廿日市市津田＊=0.9 廿日市市大野＊=0.8 廿日市市吉和＊=0.8 広島西区己斐＊=0.5
153	**26 23 34**	**熊本県天草・芦北地方　32° 13.9’ N　130° 25.2’ E　6km　M: 2.8**
		熊本県　3 水俣市陣内＊=2.9
		2 水俣市牧ノ内＊=2.1 津奈木町小津奈木＊=1.7
		鹿児島県　1 伊佐市大口山野=0.5
154	27 02 15	広島県南西部　34° 22.6’ N　132° 27.6’ E　18km　M: 2.9
		広島県　1 広島西区己斐＊=0.7
155	27 04 32	釧路沖　42° 38.5’ N　144° 24.4’ E　56km　M: 3.3
		北海道　1 十勝大樹町生花＊=0.6 浜中町茶内＊=0.6
156	27 04 49	熊本県熊本地方　32° 29.2’ N　130° 35.2’ E　5km　M: 1.9
		熊本県　1 八代市平山新町=0.5
157	27 08 54	熊本県天草・芦北地方　32° 14.0’ N　130° 25.2’ E　0km　M: 2.0
		熊本県　1 水俣市陣内＊=1.1
158	**27 09 25**	**福島県沖　37° 23.5’ N　141° 26.4’ E　59km　M: 4.6**
		宮城県　3 岩沼市桜＊=2.5
		2 山元町浅生原＊=2.4 亘理町悠里＊=2.3 石巻市桃生町＊=2.2 角田市角田＊=2.2 丸森町鳥屋＊=2.0 丸森町上滝=2.0 大崎市松山＊=1.9 登米市中田町=1.8 宮城川崎町前川＊=1.8 名取市増田＊=1.7 柴田町船岡=1.7 大衡村大衡＊=1.6 白石市亘理町＊=1.6 蔵王町円田＊=1.6 大河原町新南＊=1.6 仙台空港=1.6 大崎市鹿島台＊=1.6 東松島市小野＊=1.6 大崎市田尻＊=1.5 仙台若林区遠見塚＊=1.5 石巻市大街道南＊=1.5
		1 宮城美里町木間塚＊=1.4 松島町高城=1.4 登米市迫町＊=1.3 登米市米山町＊=1.3 涌谷町新町裏=1.3 大崎市古川大崎=1.3 村田町村田＊=1.3 石巻市泉町=1.3 登米市豊里町＊=1.3 登米市南方町＊=1.3

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		仙台青葉区作並＊=1.2 仙台宮城野区五輪=1.2 仙台太白区山田＊=1.2 仙台泉区将監＊=1.2 登米市東和町＊=1.2 石巻市北上町＊=1.2 石巻市雄勝町＊=1.2 東松島市矢本＊=1.2 大郷町粕川＊=1.2 大崎市古川三日町=1.2 七ヶ宿町関＊=1.2 栗原市築館＊=1.2 利府町利府＊=1.1 色麻町四竈＊=1.1 石巻市相野谷＊=1.1 塩竈市今宮町＊=1.1 大崎市古川旭＊=1.1 宮城加美町中新田＊=1.1 七ヶ浜町東宮浜＊=1.1 栗原市瀬峰＊=1.0 登米市石越町＊=1.0 栗原市若柳＊=1.0 仙台青葉区大倉=1.0 宮城美里町北浦＊=1.0 仙台青葉区雨宮＊=1.0 仙台宮城野区苦竹＊=1.0 石巻市前谷地＊=0.9 登米市津山町＊=0.9 栗原市栗駒=0.9 多賀城市中央＊=0.9 気仙沼市赤岩=0.9 栗原市一迫＊=0.9 仙台青葉区落合＊=0.9 気仙沼市笹が陣＊=0.8 栗原市高清水＊=0.8 富谷市富谷＊=0.8 石巻市大瓜=0.8 大和町吉岡＊=0.7 登米市登米町＊=0.7 栗原市志波姫＊=0.7 石巻市鮎川浜＊=0.7 南三陸町歌津＊=0.5
		福島県　3 いわき市三和町=3.0 玉川村小高＊=2.7 天栄村下松本＊=2.5 檜葉町北田＊=2.5
		2 白河市新白河＊=2.4 国見町藤田＊=2.4 川俣町五百田＊=2.4 泉崎村泉崎＊=2.4 田村市都路町＊=2.4 いわき市平四ツ波＊=2.4 福島広野町下北迫大谷地原＊=2.4 浪江町幾世橋=2.4 双葉町長塚＊=2.3 棚倉町棚倉中居野=2.3 飯舘村伊丹沢＊=2.3 須賀川市岩瀬支所＊=2.2 相馬市中村＊=2.2 古殿町松川新桑原＊=2.2 新地町谷地小屋＊=2.2 福島伊達市梁川町＊=2.2 二本松市油井＊=2.1 川内村上川内早渡＊=2.1 田村市船引町=2.1 中島村滑津＊=2.0 桑折町谷地＊=2.0 白河市東＊=2.0 大熊町大川原＊=2.0 田村市大越町＊=2.0 須賀川市八幡山＊=2.0 福島伊達市霊山町＊=2.0 浅川町浅川＊=1.9 富岡町本岡＊=1.9 福島市五老内町＊=1.9 小野町小野新町＊=1.9 本宮市本宮＊=1.9 いわき市平梅本＊=1.9 福島市桜木町＊=1.9 白河市表郷＊=1.8 須賀川市長沼支所＊=1.8 田村市常葉町＊=1.8 福島広野町下北迫苗代替＊=1.8 郡山市湖南町＊=1.8 須賀川市八幡町＊=1.8 福島伊達市月舘町＊=1.8 福島伊達市前川原＊=1.8 福島市花園町=1.8 本宮市白岩＊=1.8 福島伊達市保原町＊=1.7 石川町長久保＊=1.7 二本松市金色＊=1.7 大玉村南小屋=1.7 大玉村玉井＊=1.7 鏡石町不時沼＊=1.7 西郷村熊倉＊=1.7 南相馬市原町区三島町=1.7 白河市郭内=1.7 二本松市針道＊=1.6 矢吹町一本木＊=1.6 小野町中通＊=1.6 いわき市小名浜=1.6 矢祭町東舘＊=1.5 塙町塙＊=1.5 郡山市朝日=1.5 古殿町松川横川=1.5 南相馬市原町区高見町＊=1.5 川内村下川内=1.5 川内村上川内小山平＊=1.5
		1 福島市飯野町＊=1.4 白河市大信＊=1.4 矢祭町戸塚＊=1.4 平田村永田＊=1.4 葛尾村落合落合＊=1.4 南相馬市鹿島区栃窪=1.4 鮫川村赤坂中野＊=1.3 田村市滝根町＊=1.3 いわき市錦町＊=1.3 南相馬市原町区本町＊=1.3 郡山市開成＊=1.3 大熊町野上＊=1.2 南相馬市鹿島区西町＊=1.2 白河市八幡小路＊=1.1 棚倉町棚倉舘ヶ丘＊=1.1 南相馬市小高区＊=0.9 三春町大町＊=0.9 二本松市小浜＊=0.7 猪苗代町下園＊=0.7 猪苗代町城南=0.5
		山形県　2 米沢市林泉寺＊=1.6
		1 米沢市アルカディア=1.3 米沢市金池＊=1.2 南陽市三間通＊=1.2 白鷹町荒砥＊=1.2 山形川西町上小松＊=1.1 長井市本町＊=1.0 上山市河崎＊=1.0 米沢市駅前=1.0 高畠町高畠＊=0.9 尾花沢市若葉町＊=0.7 大石田町緑町＊=0.7 飯豊町椿＊=0.7 白鷹町黒鴨=0.6 東根市中央＊=0.5 西川町大井沢＊=0.5
		茨城県　2 大子町池田＊=1.8 日立市助川小学校＊=1.7 日立市役所＊=1.6
		1 日立市十王町友部＊=1.4 常陸太田市高柿町＊=1.4 笠間市石井＊=1.4 城里町石塚＊=1.4 水戸市内原町＊=1.3 東海村東海＊=1.3 常陸大宮市北町＊=1.3 那珂市瓜連＊=1.2 高萩市安良川＊=1.1 北茨城市中郷町＊=1.1 笠間市笠間＊=1.1 ひたちなか市東石川＊=1.1 常陸大宮市山方＊=1.1 常陸大宮市野口＊=1.0 土浦市常名=1.0 桜川市真壁＊=1.0 水戸市栗崎町＊=1.0 笠間市中央＊=0.9 ひたちなか市南神敷台＊=0.9 水戸市千波町＊=0.9 城里町阿波山＊=0.9 桜川市岩瀬＊=0.9 常陸太田市町屋町=0.9 常陸太田市大中町＊=0.9 高萩市本町＊=0.9 北茨城市磯原町＊=0.9 那珂市福田＊=0.8 小美玉市堅倉＊=0.8 常陸大宮市中富町=0.8 水戸市金町=0.8 桜川市羽田＊=0.7 常陸太田市町田町＊=0.7 笠間市下郷＊=0.7 石岡市柿岡=0.7 石岡市若宮＊=0.6 筑西市門井＊=0.6 茨城町小堤＊=0.6 常陸大宮市高部＊=0.6 鉾田市汲上＊=0.6 稲敷市江戸崎甲＊=0.5 筑西市舟生=0.5
		岩手県　1 一関市藤沢町＊=1.2 住田町世田米＊=1.2 一関市室根町＊=1.1 一関市千厩町＊=1.1 一関市花泉町＊=1.0 北上市相去町＊=1.0 一関市東山町＊=1.0 奥州市胆沢＊=0.9 奥州市衣川＊=0.9 一関市大東町=0.8 奥州市前沢＊=0.7 平泉町平泉＊=0.7 大船渡市大船渡町=0.6 釜石市中妻町＊=0.5 宮古市区界＊=0.5
		栃木県　1 那須町寺子＊=1.4 大田原市湯津上＊=1.3 宇都宮市明保野町=1.2 市貝町市塙＊=1.2 芳賀町祖母井＊=1.2 高根沢町石末＊=1.2 栃木那珂川町小川＊=1.0 栃木那珂川町馬頭＊=0.9 大田原市黒羽田町=0.8 鹿沼市晃望台＊=0.8 益子町益子=0.8 那須烏山市神長=0.8 那須塩原市鍋掛＊=0.7 宇都宮市中里町＊=0.7 真岡市田町＊=0.5
159	27 15 32	熊本県熊本地方　32° 31.0’ N　130° 34.1’ E　12km　M: 3.2
		熊本県　2 八代市千丁町＊=1.7 八代市新地町＊=1.5
		1 八代市平山新町=1.0 上天草市大矢野町=0.9 上天草市松島町＊=0.9 上天草市姫戸町＊=0.7 宇城市松橋町=0.6 熊本西区春日=0.5 球磨村渡＊=0.5 八代市坂本町＊=0.5 八代市鏡町＊=0.5 宇城市不知火町＊=0.5
160	27 20 50	千葉県南部　35° 20.4’ N　140° 21.8’ E　27km　M: 2.4
		千葉県　1 一宮町一宮=0.9 長南町総合グラウンド=0.5
161	27 22 09	熊本県天草・芦北地方　32° 14.0’ N　130° 25.2’ E　6km　M: 2.0
		熊本県　2 水俣市陣内＊=1.7
		1 津奈木町小津奈木＊=0.5
162	28 00 27	福島県沖　37° 23.8’ N　141° 19.4’ E　80km　M: 3.6
		福島県　2 小野町小野新町＊=2.2 小野町中通＊=1.9
		1 白河市新白河＊=1.4 田村市滝根町＊=1.4 檜葉町北田＊=1.4 棚倉町棚倉中居野=1.3 田村市大越町＊=1.2 本宮市白岩＊=1.1 浅川町浅川＊=1.0 玉川村小高＊=1.0 田村市常葉町＊=1.0 田村市船引町=0.9 田村市都路町＊=0.8 石川町長久保＊=0.8 泉崎村泉崎＊=0.8 須賀川市岩瀬支所＊=0.8 矢祭町戸塚＊=0.7 大熊町大川原＊=0.7 いわき市三和町=0.5

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名　緯度　経度　深さ　規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		茨城県　1　笠間市石井＊=0.6 筑西市門井＊=0.6 常陸大宮市北町＊=0.5 日立市助川小学校＊=0.5
163	28 03 32	熊本県天草・芦北地方　32° 14.0’ N　130° 25.1’ E　0km　M: 2.1
		熊本県　2　水俣市陣内＊=1.8
		1　津奈木町小津奈木＊=0.8
164	28 14 28	奄美大島近海　28° 13.9’ N　129° 28.6’ E　33km　M: 3.5
		鹿児島県　1　大和村思勝＊=0.7 奄美市名瀬矢之脇町=0.7 瀬戸内町加計呂麻島＊=0.5 奄美市住用町西仲間＊=0.5
165	28 17 17	熊本県天草・芦北地方　32° 20.4’ N　130° 26.5’ E　11km　M: 2.8
		熊本県　1　芦北町芦北=0.9 球磨村渡＊=0.7 上天草市姫戸町＊=0.5
166	28 23 54	熊本県熊本地方　32° 33.7’ N　130° 36.7’ E　13km　M: 3.1
		熊本県　1　宇城市豊野町＊=1.2 宇城市不知火町＊=1.1 宇城市小川町＊=0.8 熊本南区城南町＊=0.8
		宇土市浦田町＊=0.7 宇城市松橋町=0.7 八代市千丁町＊=0.7 氷川町宮原＊=0.6 八代市平山新町=0.6
		八代市鏡町＊=0.5
167	**29 00 07**	**千葉県北東部　35° 43.3’ N　140° 42.9’ E　52km　M: 5.5**
		千葉県　5弱　横芝光町宮川＊=4.7 横芝光町栗山＊=4.7
		4　匝瑳市今泉＊=4.2 多古町多古=4.1 山武市松尾町五反田＊=3.9 山武市蓮沼ニ＊=3.8
		旭市南堀之内＊=3.7 芝山町小池＊=3.7 匝瑳市八日市場ハ＊=3.7 山武市蓮沼ハ＊=3.6
		香取市役所＊=3.6 山武市松尾町富士見台=3.5 旭市ニ＊=3.5 九十九里町片貝＊=3.5
		香取市羽根川＊=3.5
		3　東金市日吉台＊=3.4 東金市東岩崎＊=3.3 旭市高生＊=3.3 香取市仁良＊=3.3 山武市埴谷＊=3.3
		山武市殿台＊=3.3 成田市中台＊=3.3 成田市松子＊=3.3 香取市岩部＊=3.2 東金市東新宿=3.2
		旭市萩園＊=3.2 香取市佐原平田=3.2 成田市役所＊=3.1 富里市七栄＊=3.1 成田国際空港=3.0
		東庄町笹川＊=3.0 銚子市若宮町＊=3.0 千葉佐倉市海隣寺町＊=3.0 香取市佐原諏訪台＊=3.0
		大網白里市大網＊=2.9 千葉美浜区ひび野=2.9 印西市大森＊=2.9 市原市姉崎＊=2.8
		酒々井町中央台＊=2.8 千葉若葉区野呂町＊=2.8 長南町総合グラウンド=2.7 成田市名古屋=2.7
		銚子市川口町=2.7 銚子市小畑新町=2.7 神崎町神崎本宿＊=2.7 四街道市鹿渡＊=2.7 八街市八街＊=2.7
		千葉中央区中央港=2.7 白子町関＊=2.7 いすみ市岬町長者＊=2.7 一宮町一宮=2.6
		千葉花見川区花島町＊=2.6 八千代市大和田新田＊=2.5 睦沢町下之郷＊=2.5 白井市復＊=2.5
		栄町安食台＊=2.5 野田市鶴奉＊=2.5 いすみ市弥正＊=2.5
		2　長生村本郷＊=2.4 千葉稲毛区園生町＊=2.4 千葉若葉区小倉台＊=2.4 松戸市西馬橋＊=2.4
		成田市猿山＊=2.4 市原市国分寺台中央＊=2.4 鎌ケ谷市新鎌ケ谷＊=2.4 印西市美瀬＊=2.4
		市川市本行徳＊=2.3 浦安市日の出=2.3 君津市久留里市場＊=2.3 鋸南町下佐久間＊=2.3 柏市旭町=2.2
		茂原市道表＊=2.2 長南町長南＊=2.2 千葉緑区おゆみ野＊=2.2 千葉美浜区稲毛海岸＊=2.2
		市川市大町＊=2.2 船橋市湊町＊=2.2 習志野市鷺沼＊=2.1 柏市柏＊=2.1 長柄町桜谷＊=2.1
		木更津市富士見＊=2.1 君津市久保＊=2.1 大多喜町大多喜＊=2.1 いすみ市大原＊=2.0
		市川市八幡＊=2.0 柏市大島田＊=2.0 我孫子市我孫子＊=2.0 浦安市猫実＊=2.0 館山市北条＊=2.0
		富津市下飯野＊=2.0 木更津市太田=1.9 鴨川市横渚＊=1.9 野田市東宝珠花＊=1.8 南房総市岩糸＊=1.8
		南房総市谷向＊=1.8 流山市平和台＊=1.8 館山市長須賀=1.7 勝浦市新官＊=1.7 鴨川市八色=1.7
		袖ケ浦市坂戸市場＊=1.7 勝浦市墨名=1.6 南房総市富浦町青木＊=1.5
		1　松戸市根本＊=1.4 御宿町須賀＊=1.3 南房総市白浜町白浜＊=1.3 鴨川市内浦=1.2 南房総市上堀=1.2
		南房総市和田町＊=1.0 南房総市千倉町瀬戸＊=1.0 南房総市久枝＊=0.8
		茨城県　3　神栖市波崎＊=3.4 神栖市溝口＊=3.2 稲敷市結佐＊=3.2 潮来市辻＊=3.1 小美玉市上玉里＊=3.1
		取手市井野＊=3.0 笠間市石井＊=2.9 河内町源清田＊=2.9 潮来市堀之内=2.8 稲敷市須賀津＊=2.7
		土浦市常名=2.7 稲敷市伊佐津＊=2.7 茨城鹿嶋市鉢形=2.7 稲敷市江戸崎甲＊=2.6
		茨城鹿嶋市宮中＊=2.6 石岡市柿岡=2.6 東海村東海＊=2.6 土浦市藤沢＊=2.6 利根町布川=2.6
		行方市麻生＊=2.6 つくばみらい市加藤＊=2.5 つくばみらい市福田＊=2.5 ひたちなか市南神敷台＊=2.5
		かすみがうら市上土田＊=2.5 小美玉市小川＊=2.5 美浦村受領＊=2.5 龍ケ崎市役所＊=2.5
		桜川市真壁＊=2.5
		2　常陸太田市金井町＊=2.4 笠間市中央＊=2.4 大洗町磯浜町＊=2.4 取手市藤代＊=2.4 稲敷市役所＊=2.4
		常総市新石下＊=2.3 常総市水海道諏訪町＊=2.3 石岡市八郷＊=2.3 石岡市石岡＊=2.3
		取手市寺田＊=2.3 小美玉市堅倉＊=2.3 つくば市天王台＊=2.3 石岡市若宮＊=2.3 筑西市舟生=2.3
		かすみがうら市大和田＊=2.3 行方市玉造＊=2.3 行方市山田＊=2.3 鉾田市汲上＊=2.3
		茨城町小堤＊=2.2 鉾田市造谷＊=2.2 土浦市田中＊=2.2 那珂市福田＊=2.2 阿見町中央＊=2.2
		下妻市鬼怒＊=2.1 筑西市門井＊=2.1 日立市助川小学校＊=2.1 茨城古河市下大野＊=2.1
		桜川市岩瀬＊=2.1 つくば市研究学園＊=2.1 つくば市小茎＊=2.1 水戸市千波町＊=2.1 坂東市岩井=2.1
		笠間市下郷＊=2.1 守谷市大柏＊=2.0 那珂市瓜連＊=2.0 笠間市笠間＊=2.0 牛久市中央＊=2.0
		筑西市二木成＊=2.0 ひたちなか市東石川＊=2.0 日立市十王町友部＊=2.0 水戸市内原町＊=2.0
		桜川市羽田＊=2.0 鉾田市鉾田=2.0 筑西市海老ヶ島＊=1.9 下妻市本城町＊=1.9 五霞町小福田＊=1.9
		茨城古河市仁連＊=1.9 坂東市馬立＊=1.9 水戸市栗崎町＊=1.9 城里町石塚＊=1.8
		ひたちなか市山ノ上町=1.8 水戸市金町=1.8 常陸太田市高柿町＊=1.8 境町旭町＊=1.7
		常陸大宮市北町＊=1.7 結城市中央町＊=1.7 高萩市安良川＊=1.7 常陸大宮市野口＊=1.6
		城里町阿波山＊=1.6 北茨城市中郷町＊=1.6 日立市役所＊=1.6 八千代町菅谷＊=1.5
		常陸大宮市山方＊=1.5 大子町池田＊=1.5 坂東市役所＊=1.5 常陸大宮市中富町=1.5
		1　高萩市本町＊=1.4 坂東市山＊=1.4 北茨城市磯原町＊=1.3 茨城古河市長谷町＊=1.3
		常陸太田市町屋町=1.3 常陸太田市町田町＊=1.2 城里町徳蔵＊=0.9 常陸大宮市高部＊=0.8
		栃木県　3　真岡市田町＊=2.5
		2　真岡市荒町＊=2.4 真岡市石島＊=2.3 下野市田中＊=2.3 市貝町市塙＊=2.2 高根沢町石末＊=2.2
		芳賀町祖母井＊=2.1 益子町益子=2.0 下野市笹原＊=1.9 大田原市湯津上＊=1.9 小山市神鳥谷＊=1.9
		那須烏山市神長=1.7 小山市中央町＊=1.7 壬生町壬生甲＊=1.7 日光市芹沼＊=1.6 那須町寺子＊=1.6

地震番号	震源時 日　時　分	震央地名　　緯度　　経度　　深さ　　規模 各地の震度（計測震度）
		栃木那珂川町小川＊=1.6 栃木市岩舟町静＊=1.6 鹿沼市晃望台＊=1.6 鹿沼市口粟野＊=1.6 上三川町しらさぎ＊=1.6 宇都宮市明保野町=1.5 茂木町茂木＊=1.5 宇都宮市中岡本町＊=1.5 足利市大正町＊=1.5 野木町丸林＊=1.5 佐野市葛生東＊=1.5 那須烏山市大金＊=1.5
		1 栃木市旭町=1.4 佐野市高砂町＊=1.4 下野市大松山＊=1.4 日光市瀬川=1.3 日光市鬼怒川温泉大原＊=1.3 那須塩原市あたご町＊=1.3 栃木市大平町富田＊=1.3 茂木町北高岡天矢場＊=1.3 日光市湯元＊=1.2 那須塩原市塩原庁舎＊=1.2 栃木市藤岡町藤岡＊=1.2 栃木市万町＊=1.2 宇都宮市中里町＊=1.1 日光市御幸町＊=1.1 佐野市田沼町＊=1.1 那須烏山市役所＊=1.1 日光市足尾町中才＊=1.0 那須塩原市鍋掛＊=1.0 宇都宮市塙田＊=1.0 日光市藤原庁舎＊=0.9 栃木那珂川町馬頭＊=0.9 日光市足尾町通洞＊=0.8 大田原市黒羽田町=0.8 佐野市中町＊=0.7 那須塩原市蟇沼=0.6 日光市中宮祠=0.6 那須塩原市中塩原＊=0.6
		埼玉県　3 宮代町笠原＊=2.6 さいたま緑区中尾＊=2.5
		2 春日部市谷原新田＊=2.4 春日部市粕壁＊=2.1 加須市大利根＊=2.0 久喜市青葉＊=2.0 川口市中青木分室＊=2.0 川口市安行領家＊=2.0 春日部市金崎＊=2.0 草加市中央＊=2.0 蕨市中央＊=2.0 八潮市中央＊=2.0 三郷市中央＊=2.0 吉川市きよみ野＊=2.0 杉戸町清地＊=2.0 さいたま南区別所＊=2.0 幸手市東＊=1.9 さいたま中央区下落合＊=1.9 鴻巣市吹上富士見＊=1.9 川口市三ツ和＊=1.9 久喜市下早見=1.8 富士見市鶴馬＊=1.8 久喜市栗橋＊=1.8 松伏町松伏＊=1.8 さいたま大宮区天沼町＊=1.8 さいたま浦和区高砂=1.8 白岡市千駄野＊=1.8 熊谷市大里＊=1.8 加須市三俣＊=1.8 戸田市上戸田＊=1.8 新座市野火止＊=1.7 久喜市鷲宮＊=1.7 さいたま大宮区大門＊=1.7 さいたま見沼区堀崎＊=1.7 加須市北川辺＊=1.7 越谷市越ヶ谷＊=1.7 加須市騎西＊=1.6 志木市中宗岡＊=1.6 和光市広沢＊=1.6 久喜市菖蒲＊=1.6 川島町下八ツ林＊=1.6 さいたま北区宮原＊=1.6 狭山市入間川＊=1.6 さいたま桜区道場＊=1.5 朝霞市本町＊=1.5 鴻巣市中央＊=1.5 鴻巣市川里＊=1.5 さいたま西区西大宮＊=1.5
		1 行田市南河原＊=1.4 吉見町下細谷＊=1.4 所沢市北有楽町＊=1.4 桶川市泉＊=1.4 さいたま浦和区常盤＊=1.4 本庄市児玉町=1.3 羽生市東＊=1.3 埼玉美里町木部＊=1.3 上尾市本町＊=1.3 入間市豊岡＊=1.3 蓮田市黒浜＊=1.3 伊奈町中央＊=1.3 埼玉三芳町藤久保＊=1.3 東松山市松葉町＊=1.2 行田市本丸＊=1.2 毛呂山町中央＊=1.1 川越市新宿町＊=1.1 熊谷市桜町=1.1 北本市本町＊=1.1 熊谷市妻沼＊=1.1 鶴ヶ島市三ツ木＊=1.1 上里町七本木＊=1.0 熊谷市宮町＊=1.0 熊谷市江南＊=1.0 坂戸市千代田＊=1.0 ふじみ野市福岡＊=1.0 ふじみ野市大井＊=0.9 深谷市仲町＊=0.9 川越市旭町=0.9 東松山市市ノ川＊=0.8 越生町越生＊=0.8 深谷市普済寺＊=0.8 所沢市並木＊=0.8 日高市南平沢＊=0.7 深谷市花園＊=0.7 深谷市菅沼＊=0.7 滑川町福田＊=0.7 埼玉神川町植竹＊=0.7 ときがわ町桃木＊=0.6 飯能市征矢町＊=0.5 鳩山町大豆戸=0.5 秩父市上町=0.5 秩父市近戸町＊=0.5 嵐山町杉山＊=0.5
		神奈川県　3 横浜神奈川区神大寺＊=2.6
		2 横浜神奈川区広台太田町＊=2.3 横浜保土ケ谷区上菅田町＊=2.3 横浜瀬谷区中屋敷＊=2.3 横浜都筑区池辺町＊=2.3 川崎川崎区宮前町＊=2.3 横浜鶴見区鶴見＊=2.2 横浜鶴見区末広町＊=2.2 横浜中区山手町=2.2 横浜港北区日吉本町＊=2.2 横浜緑区十日市場町＊=2.2 横浜緑区鴨居＊=2.2 横浜中区山下町＊=2.1 横浜中区山吹町＊=2.1 横浜戸塚区鳥が丘＊=2.1 横浜旭区川井宿町＊=2.1 愛川町角田＊=2.1 横浜西区浜松町＊=2.0 二宮町中里＊=2.0 湯河原町中央=2.0 横浜港南区野庭町＊=1.9 川崎川崎区中島＊=1.9 川崎中原区小杉町＊=1.9 厚木市中町＊=1.9 清川村煤ヶ谷＊=1.9 横浜西区みなとみらい＊=1.8 横浜中区日本大通＊=1.8 横浜磯子区磯子＊=1.8 横浜磯子区洋光台＊=1.8 横浜瀬谷区三ツ境＊=1.8 川崎川崎区千鳥町＊=1.8 川崎宮前区宮前平＊=1.8 川崎宮前区野川＊=1.8 綾瀬市深谷中＊=1.8 寒川町宮山＊=1.8 小田原市荻窪＊=1.8 相模原緑区中野＊=1.8 横浜金沢区白帆＊=1.7 横浜金沢区釜利谷南＊=1.7 横浜港北区大倉山＊=1.7 横浜旭区今宿東町＊=1.7 横浜栄区小菅ケ谷＊=1.7 横浜青葉区鴨志田町＊=1.7 川崎幸区戸手本町＊=1.7 横須賀市光の丘=1.7 平塚市浅間町＊=1.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.7 中井町比奈窪＊=1.7 神奈川大井町金子＊=1.7 相模原南区相模大野＊=1.7 相模原緑区橋本＊=1.7 大和市下鶴間＊=1.6 海老名市大谷＊=1.6 座間市相武台＊=1.6 厚木市下津古久＊=1.6 相模原南区磯部＊=1.6 相模原緑区大島＊=1.6 相模原緑区久保沢＊=1.6 横浜戸塚区戸塚町＊=1.6 横浜泉区岡津町＊=1.5 横浜泉区和泉中央北＊=1.5 横浜港北区綱島西＊=1.5 横浜戸塚区平戸町＊=1.5 横浜港南区丸山台北部＊=1.5 横浜旭区大池町＊=1.5
		1 横浜保土ケ谷区神戸町＊=1.4 横浜金沢区寺前＊=1.4 川崎中原区小杉陣屋町=1.4 松田町松田惣領＊=1.4 箱根町湯本＊=1.4 横浜都筑区茅ケ崎＊=1.3 川崎高津区下作延＊=1.3 川崎麻生区片平＊=1.3 藤沢市朝日町＊=1.3 逗子市桜山＊=1.3 葉山町堀内＊=1.3 秦野市曽屋=1.3 伊勢原市伊勢原＊=1.3 横浜栄区桂台南＊=1.2 川崎多摩区登戸＊=1.2 相模原中央区田名＊=1.2 鎌倉市御成町＊=1.1 三浦市三崎町＊=1.1 横浜青葉区美しが丘＊=1.1 南足柄市関本＊=1.0 山北町山北＊=1.0 横須賀市坂本町＊=1.0 川崎麻生区万福寺＊=0.9 秦野市平沢＊=0.9 相模原緑区小渕＊=0.6 小田原市久野=0.5
		宮城県　2 丸森町鳥屋＊=1.6 角田市角田＊=1.5
		1 大河原町新南＊=1.3 岩沼市桜＊=1.2 涌谷町新町裏=1.1 亘理町悠里＊=0.9 石巻市大街道南＊=0.9 松島町高城=0.9 登米市迫町＊=0.9 蔵王町円田＊=0.8 石巻市桃生町＊=0.8 宮城美里町木間塚＊=0.8 登米市南方町＊=0.8 山元町浅生原＊=0.8 大崎市古川三日町=0.7 宮城川崎町前川＊=0.7 登米市米山町＊=0.6
		福島県　2 玉川村小高＊=2.2 須賀川市八幡山＊=2.1 白河市東＊=2.0 泉崎村泉崎＊=2.0 鏡石町不時沼＊=1.9 古殿町松川新桑原＊=1.9 西郷村熊倉＊=1.9 須賀川市八幡町＊=1.9 郡山市朝日=1.7 郡山市開成＊=1.7 いわき市錦町＊=1.7 田村市大越町＊=1.6 双葉町長塚＊=1.6 矢祭町東舘＊=1.6 国見町藤田＊=1.5 矢吹町一本木＊=1.5
		1 白河市新白河＊=1.4 棚倉町棚倉中居野=1.4 浅川町浅川＊=1.4 田村市滝根町＊=1.4 須賀川市岩瀬支所＊=1.3 郡山市湖南町＊=1.3 矢祭町戸塚＊=1.3 白河市郭内=1.3 いわき市平梅本＊=1.3 南相馬市小高区＊=1.3 福島市五老内町＊=1.2 福島市花園町=1.2 福島市桜木町＊=1.2 白河市大信＊=1.2 いわき市小名浜=1.2 石川町長久保＊=1.1 平田村永田＊=1.1 浪江町幾世橋=1.1 天栄村下松本＊=1.1 相馬市中村＊=1.0 いわき市三和町=1.0 本宮市白岩＊=1.0 二本松市針道＊=0.9 大玉村南小屋=0.9 川内村上川内早渡＊=0.9 大熊町大川原＊=0.9 小野町中通＊=0.9 田村市常葉町＊=0.9 猪苗代町下園＊=0.9 本宮市本宮＊=0.9 南会津町田島=0.8

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）
		古殿町松川横川=0.8 楢葉町北田＊=0.8 小野町小野新町＊=0.8 田村市船引町=0.8 棚倉町棚倉舘ヶ丘＊=0.8 猪苗代町城南=0.7 福島広野町下北迫大谷地原＊=0.7 田村市都路町＊=0.7 いわき市平四ツ波＊=0.7 川俣町五百田＊=0.7 福島広野町下北迫苗代替＊=0.6 二本松市油井＊=0.6 大熊町野上＊=0.5 南相馬市原町区三島町=0.5 川内村上川内小山平＊=0.5
		群馬県　2 桐生市元宿町＊=1.8 渋川市赤城町＊=1.8 邑楽町中野＊=1.8 館林市上三林町＊=1.7 沼田市白沢町＊=1.6 千代田町赤岩＊=1.5 前橋市粕川町＊=1.5 太田市西本町＊=1.5 1 沼田市西倉内町=1.4 前橋市堀越町＊=1.4 桐生市黒保根町＊=1.4 群馬明和町新里＊=1.4 板倉町板倉=1.3 大泉町日の出＊=1.3 伊勢崎市西久保町＊=1.3 太田市粕川町＊=1.3 渋川市吹屋＊=1.3 沼田市下久屋町＊=1.2 前橋市富士見町＊=1.2 前橋市鼻毛石町＊=1.2 桐生市錦町=1.2 桐生市新里町＊=1.2 太田市浜町＊=1.2 館林市城町＊=1.2 みどり市大間々町＊=1.2 みどり市笠懸町＊=1.1 伊勢崎市境＊=1.0 太田市大原町＊=1.0 渋川市伊香保町＊=1.0 安中市安中＊=1.0 伊勢崎市今泉町＊=1.0 伊勢崎市東町＊=0.9 太田市新田金井町＊=0.9 渋川市北橘町＊=0.9 吉岡町下野田＊=0.8 前橋市昭和町=0.7 みどり市東町＊=0.7 前橋市大手町＊=0.7 高崎市高松町＊=0.7 高崎市箕郷町＊=0.7 渋川市有馬＊=0.7 高崎市足門町＊=0.7 高崎市新町＊=0.7 安中市松井田町＊=0.6 榛東村新井＊=0.6 神流町神ヶ原＊=0.6 渋川市石原＊=0.6 高崎市吉井町吉井川＊=0.6 沼田市利根町＊=0.5 群馬昭和村糸井＊=0.5 甘楽町小幡＊=0.5 富岡市妙義町＊=0.5
		東京都　2 町田市本町田＊=2.4 東京荒川区東尾久＊=2.3 東京足立区神明南＊=2.3 東京千代田区大手町=2.2 東京墨田区東向島＊=2.2 東京世田谷区世田谷＊=2.2 東京渋谷区本町＊=2.2 東京足立区千住中居町＊=2.2 東京江戸川区中央=2.2 東京江東区越中島＊=2.1 東京大田区本羽田＊=2.1 東京世田谷区三軒茶屋＊=2.1 東京荒川区荒川＊=2.1 東京板橋区高島平＊=2.1 調布市西つつじヶ丘＊=2.1 東京江東区東陽＊=2.0 東京江東区森下＊=2.0 東京江東区亀戸＊=2.0 東京板橋区相生町＊=2.0 東京足立区伊興＊=2.0 東京葛飾区立石＊=2.0 東京江戸川区船堀＊=2.0 八王子市堀之内＊=2.0 東京葛飾区金町＊=1.9 東京江戸川区鹿骨＊=1.9 小平市小川町＊=1.9 東京江東区枝川＊=1.9 東京品川区平塚＊=1.9 東京大田区多摩川＊=1.9 東京中野区中野＊=1.9 東京杉並区高井戸＊=1.9 東京北区西ヶ原＊=1.9 東京北区赤羽南＊=1.9 西東京市中町＊=1.8 東京世田谷区成城＊=1.8 東京杉並区桃井＊=1.8 東京文京区本郷＊=1.8 東京台東区千束＊=1.8 東京墨田区横川=1.8 東京豊島区南池袋＊=1.7 東京中央区勝どき＊=1.7 東京港区海岸=1.7 東京新宿区上落合＊=1.7 東京練馬区豊玉北＊=1.7 東京文京区大塚＊=1.7 東京墨田区吾妻橋＊=1.7 東京江東区青海=1.7 東京品川区北品川＊=1.7 町田市忠生＊=1.6 町田市森野＊=1.6 小金井市本町＊=1.6 日野市神明＊=1.6 東村山市本町＊=1.6 多摩市関戸＊=1.6 東京千代田区富士見＊=1.6 東京千代田区麹町＊=1.6 東京文京区スポーツセンタ＊=1.6 東京台東区東上野＊=1.6 東京練馬区東大泉＊=1.6 東京目黒区中央町＊=1.5 東京国際空港=1.5 国分寺市泉町＊=1.5 東大和市中央＊=1.5 東京中央区築地＊=1.5 東京中央区日本橋兜町＊=1.5 東京中野区江古田＊=1.5 東京中野区中央＊=1.5 東京港区南青山＊=1.5 東京港区白金＊=1.5 東京新宿区百人町＊=1.5 東京板橋区板橋＊=1.5 東京練馬区光が丘＊=1.5 1 東京大田区大森東＊=1.4 東京足立区中央本町＊=1.4 国分寺市並木町=1.4 東京新宿区西新宿=1.3 東京新宿区歌舞伎町＊=1.3 東京大田区蒲田＊=1.3 八王子市石川町＊=1.3 狛江市和泉本町＊=1.3 稲城市東長沼＊=1.3 東京世田谷区中町＊=1.2 東京杉並区阿佐谷=1.2 武蔵野市緑町＊=1.2 武蔵野市吉祥寺東町＊=1.2 調布市小島町＊=1.2 東京港区芝公園＊=1.2 東京品川区広町＊=1.2 八王子市大横町=1.1 東京府中市朝日町＊=1.1 昭島市田中町＊=1.1 東久留米市本町＊=1.1 三鷹市新川＊=1.0 武蔵村山市本町＊=1.0 あきる野市伊奈＊=1.0 伊豆大島町差木地=1.0 東京渋谷区宇田川町＊=1.0 立川市泉町＊=0.9 清瀬市中里＊=0.9 清瀬市中清戸＊=0.9 多摩市鶴牧＊=0.9 青梅市日向和田＊=0.8 伊豆大島町元町=0.7 羽村市緑ヶ丘＊=0.6 三宅村神着=0.5 三宅村坪田=0.5 東京利島村東山=0.5
		新潟県　2 南魚沼市六日町=1.6 1 刈羽村割町新田＊=1.2
		山梨県　2 忍野村忍草＊=1.7 笛吹市境川町藤垈＊=1.6 富士河口湖町長浜＊=1.6 1 富士川町鰍沢＊=1.4 山中湖村山中＊=1.4 大月市御太刀＊=1.3 山梨北杜市長坂町＊=1.2 甲府市飯田=1.0 甲府市相生＊=1.0 甲府市下曽根町＊=1.0 南アルプス市寺部＊=1.0 笛吹市八代町南＊=1.0 笛吹市役所＊=1.0 中央市成島＊=1.0 上野原市役所＊=1.0 富士河口湖町船津=1.0 甲斐市下今井＊=0.9 中央市大鳥居＊=0.9 都留市上谷＊=0.8 笛吹市春日居町寺本＊=0.8 山梨北杜市明野町＊=0.8 甲州市塩山上於曽＊=0.8 富士吉田市上吉田＊=0.7 昭和町押越＊=0.7 南アルプス市鮎沢＊=0.7 甲州市塩山下於曽=0.7 甲州市勝沼町勝沼＊=0.7 大月市大月=0.6 山梨北杜市高根町＊=0.6 山梨北杜市健康ランド須玉＊=0.5
		静岡県　2 東伊豆町奈良本＊=1.8 富士市吉永＊=1.6 伊豆市中伊豆グラウンド=1.5 伊豆の国市長岡＊=1.5 1 沼津市戸田＊=1.4 富士宮市弓沢町=1.3 富士宮市野中＊=1.3 河津町田中＊=1.2 熱海市網代=1.1 松崎町宮内＊=1.1 西伊豆町宇久須＊=1.1 東伊豆町稲取＊=1.0 函南町平井＊=1.0 沼津市西間門＊=1.0 富士市大淵＊=1.0 御殿場市萩原=1.0 小山町須走＊=1.0 伊東市八幡野＊=0.9 伊豆の国市田京＊=0.8 西伊豆町仁科＊=0.7 御殿場市茱萸沢＊=0.7 御殿場市竈＊=0.7 静岡清水町堂庭＊=0.7 静岡清水区蒲原新栄＊=0.6 伊東市大原=0.5
		山形県　1 中山町長崎＊=1.4 山辺町緑ケ丘＊=0.8
		長野県　1 茅野市葛井公園＊=1.3 諏訪市湖岸通り=1.2 長野南牧村海ノ口＊=1.2 諏訪市高島＊=0.9 佐久市中込＊=0.9 御代田町役場＊=0.8 軽井沢町追分=0.7 中川村大草＊=0.6 小海町豊里＊=0.5 飯島町飯島=0.5
168	29 00 50	紀伊水道 34° 07.2’ N 135° 04.8’ E 11km M: 2.3 和歌山県　1 有田市初島町＊=0.6
169	29 01 04	熊本県天草・芦北地方 32° 17.3’ N 130° 28.1’ E 7km M: 2.6 熊本県　1 芦北町芦北=1.4 津奈木町小津奈木＊=0.8
170	29 02 45	福島県中通り 36° 50.7’ N 140° 29.2’ E 11km M: 3.1

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各地の震度（計測震度）
		福島県　1　矢祭町戸塚＊=0.7 茨城県　1　大子町池田＊=1.2
171	29 03 32	千葉県北東部　35° 43.4’ N　140° 42.3’ E　52km　M: 4.3 千葉県　2　横芝光町宮川＊=2.3 多古町多古=2.1 横芝光町栗山＊=2.1 匝瑳市今泉＊=2.0 東金市日吉台＊=1.9 山武市殿台＊=1.9 山武市松尾町富士見台=1.8 旭市南堀之内＊=1.8 香取市仁良＊=1.7 東金市東岩崎＊=1.7 九十九里町片貝＊=1.7 東金市東新宿=1.7 山武市蓮沼ニ＊=1.7 山武市埴谷＊=1.7 香取市役所＊=1.7 芝山町小池＊=1.6 旭市ニ＊=1.6 山武市蓮沼ハ＊=1.6 山武市松尾町五反田＊=1.6 匝瑳市八日市場ハ＊=1.5 成田市松子＊=1.5 1　一宮町一宮=1.4 香取市佐原諏訪台＊=1.4 大網白里市大網＊=1.4 旭市高生＊=1.3 成田市中台＊=1.3 富里市七栄＊=1.3 東庄町笹川＊=1.2 長南町総合グラウンド=1.2 香取市佐原平田=1.2 銚子市小畑新町=1.2 銚子市若宮町＊=1.2 成田国際空港=1.2 成田市名古屋=1.2 成田市役所＊=1.2 千葉佐倉市海隣寺町＊=1.2 旭市萩園＊=1.2 市原市姉崎＊=1.1 四街道市鹿渡＊=1.1 神崎町神崎本宿＊=1.0 千葉若葉区小倉台＊=1.0 八千代市大和田新田＊=1.0 香取市羽根川＊=1.0 八街市八街＊=1.0 香取市岩部＊=1.0 いすみ市弥正＊=1.0 銚子市川口町=0.9 白井市復＊=0.9 栄町安食台＊=0.9 千葉中央区中央港=0.9 千葉稲毛区園生町＊=0.9 鎌ケ谷市新鎌ケ谷＊=0.8 千葉花見川区花島町＊=0.8 印西市大森＊=0.8 印西市美瀬＊=0.8 野田市鶴奉＊=0.8 いすみ市岬町長者＊=0.8 千葉美浜区ひび野=0.7 市川市大町＊=0.7 千葉緑区おゆみ野＊=0.6 君津市久留里市場＊=0.5 茨城県　1　神栖市溝口＊=1.4 神栖市波崎＊=1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 稲敷市伊佐津＊=1.1 稲敷市結佐＊=1.1 稲敷市須賀津＊=1.1 土浦市常名=1.1 茨城鹿嶋市宮中＊=1.1 潮来市辻＊=1.1 稲敷市江戸崎甲＊=1.1 潮来市堀之内=1.0 笠間市石井＊=0.9 つくば市天王台＊=0.9 かすみがうら市上土田＊=0.9 ひたちなか市南神敷台＊=0.8 行方市麻生＊=0.8 東海村東海＊=0.8 美浦村受領＊=0.8 取手市寺田＊=0.7 かすみがうら市大和田＊=0.7 鉾田市汲上＊=0.7 龍ケ崎市役所＊=0.6 土浦市田中＊=0.6 石岡市柿岡=0.6 石岡市若宮＊=0.6 筑西市舟生=0.5 石岡市石岡＊=0.5
172	29 05 22	千葉県北東部　35° 42.7’ N　140° 43.1’ E　50km　M: 3.2 千葉県　1　多古町多古=0.8 横芝光町宮川＊=0.8 芝山町小池＊=0.5 東金市日吉台＊=0.5
173	29 08 13	釧路地方中南部　43° 06.9’ N　144° 26.1’ E　122km　M: 4.6 北海道　2　厚岸町尾幌=2.3 標茶町塘路＊=2.2 浜中町茶内＊=1.8 十勝大樹町生花＊=1.8 釧路市音別町中園＊=1.7 鶴居村鶴居東＊=1.7 根室市厚床＊=1.7 別海町本別海＊=1.6 別海町常盤=1.6 弟子屈町弟子屈＊=1.5 根室市牧の内＊=1.5 釧路市黒金町＊=1.5 1　厚岸町真栄＊=1.4 別海町西春別＊=1.4 根室市落石東＊=1.4 釧路町別保＊=1.3 釧路市幸町=1.3 本別町向陽町＊=1.2 根室市琶瑶瑁＊=1.2 浦河町潮見=1.1 浦幌町桜町＊=1.1 函館市新浜町＊=1.0 十勝池田町西１条＊=1.0 標茶町川上＊=1.0 弟子屈町美里=1.0 本別町北２丁目=1.0 釧路市阿寒町中央＊=1.0 浜中町湯沸=0.9 白糠町西１条＊=0.9 標津町北２条＊=0.9 広尾町並木通=0.8 浦河町築地＊=0.7 えりも町えりも岬＊=0.6 幕別町忠類錦町＊=0.6 十勝大樹町東本通＊=0.6 函館市泊町＊=0.6 豊頃町茂岩本町＊=0.6 えりも町目黒＊=0.6 広尾町白樺通=0.5 中標津町養老牛=0.5 足寄町上螺湾=0.5 青森県　1　八戸市湊町=0.9 八戸市南郷＊=0.8 五戸町古舘=0.8 階上町道仏＊=0.8 東通村砂子又沢内＊=0.8 青森南部町苫米地＊=0.7 八戸市内丸＊=0.7 野辺地町野辺地＊=0.6 青森南部町平＊=0.6 七戸町森ノ上＊=0.5 岩手県　1　盛岡市薮川＊=0.7
174	30 01 06	岐阜県飛騨地方　35° 44.2’ N　137° 08.2’ E　7km　M: 2.2 岐阜県　1　郡上市和良町＊=0.6
175	30 13 24	宮城県沖　38° 13.8’ N　141° 43.0’ E　52km　M: 3.8 宮城県　2　石巻市桃生町＊=1.9 大崎市鹿島台＊=1.5 涌谷町新町裏=1.5 東松島市矢本＊=1.5 1　石巻市鮎川浜＊=1.2 大崎市田尻＊=1.1 登米市豊里町＊=1.1 松島町高城=1.1 石巻市北上町＊=1.0 名取市増田＊=0.9 岩沼市桜＊=0.9 石巻市泉町=0.9 気仙沼市唐桑町＊=0.9 石巻市大街道南＊=0.9 気仙沼市笹が陣＊=0.9 宮城川崎町前川＊=0.8 石巻市相野谷＊=0.8 栗原市栗駒=0.8 宮城美里町北浦＊=0.7 石巻市雄勝町＊=0.7 仙台宮城野区苦竹＊=0.7 登米市東和町＊=0.7 七ヶ浜町東宮浜＊=0.6 女川町女川＊=0.6 亘理町悠里＊=0.6 南三陸町歌津＊=0.5 柴田町船岡=0.5 大衡村大衡＊=0.5 登米市中田町=0.5 栗原市築館＊=0.5 仙台若林区遠見塚＊=0.5 岩手県　1　一関市室根町＊=1.0 一関市藤沢町＊=0.9 住田町世田米＊=0.6 一関市千厩町＊=0.6 大船渡市大船渡町=0.5 福島県　1　相馬市中村＊=0.8 大熊町大川原＊=0.6 飯舘村伊丹沢＊=0.6
176	30 13 58	岩手県沖　40° 08.4’ N　142° 27.6’ E　39km　M: 4.2 青森県　1　八戸市南郷＊=0.9 青森南部町苫米地＊=0.8 五戸町古舘=0.6 八戸市湊町=0.6 八戸市内丸＊=0.5 岩手県　1　普代村銅屋＊=1.3 盛岡市薮川＊=0.9 宮古市田老＊=0.8 盛岡市渋民＊=0.8 八幡平市田頭＊=0.8 軽米町軽米＊=0.7
177	30 17 45	根室半島南東沖　43° 15.2’ N　146° 18.5’ E　46km　M: 4.2 北海道　2　根室市琶瑶瑁＊=2.0 根室市落石東＊=1.9 1　浜中町茶内＊=1.0 中標津町丸山＊=1.0 根室市牧の内＊=0.7 根室市豊里=0.6 根室市弥栄=0.5
178	30 22 18	岩手県沖　40° 19.4’ N　142° 45.0’ E　4km　M: 4.0 岩手県　1　盛岡市渋民＊=0.6 八幡平市田頭＊=0.6 盛岡市薮川＊=0.5
179	30 23 11	島根県東部　35° 19.0’ N　133° 13.6’ E　12km　M: 3.4

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 緯度 経度 深さ 規模 各地の震度（計測震度）
		鳥取県　2 鳥取南部町天萬＊=1.8 米子市東町＊=1.5 1 米子市博労町=1.4 鳥取南部町法勝寺＊=1.4 日吉津村日吉津＊=1.0 伯耆町吉長＊=1.0 日南町生山＊=1.0 境港市東本町=0.9 鳥取日野町根雨＊=0.8 日南町霞＊=0.8 江府町上之段広場＊=0.6 島根県　2 安来市伯太町東母里＊=1.8 1 松江市東出雲町揖屋＊=1.4 安来市広瀬町広瀬祖父谷丁＊=1.3 松江市八雲町西岩坂＊=1.1 雲南市大東町大東=1.1 奥出雲町三成＊=1.0 安来市安来町＊=0.8 雲南市掛合町掛合＊=0.8 松江市学園南＊=0.6 松江市島根町加賀＊=0.6 邑南町下口羽＊=0.5 広島県　1 神石高原町油木＊=0.5
180	**31 01 45**	**熊本県熊本地方　32° 38.7’ N　130° 41.8’ E　14km　M: 4.0** 熊本県　3 宇土市浦田町＊=3.1 宇城市不知火町＊=2.7 熊本西区春日=2.7 宇城市豊野町＊=2.6 宇城市松橋町=2.5 熊本南区城南町＊=2.5 2 西原村小森＊=2.4 熊本美里町永富＊=2.4 氷川町島地＊=2.4 大津町大津＊=2.3 宇城市小川町＊=2.2 御船町御船＊=2.2 熊本北区植木町＊=2.2 八代市千丁町＊=2.2 熊本美里町馬場＊=2.1 嘉島町上島＊=2.1 益城町宮園＊=2.1 氷川町宮原＊=2.1 甲佐町豊内＊=2.1 合志市竹迫＊=2.0 熊本中央区大江＊=2.0 山鹿市鹿本町＊=1.9 山都町浜町＊=1.9 八代市平山新町=1.9 八代市鏡町＊=1.9 熊本東区佐土原＊=1.8 八代市新地町＊=1.8 山鹿市鹿央町＊=1.8 熊本高森町高森＊=1.7 山鹿市菊鹿町＊=1.7 上天草市松島町＊=1.7 菊陽町久保田＊=1.7 玉東町木葉＊=1.6 水上村岩野＊=1.6 上天草市大矢野町=1.6 合志市御代志＊=1.5 南阿蘇村吉田＊=1.5 玉名市横島町＊=1.5 1 玉名市天水町＊=1.4 菊池市隈府＊=1.4 菊池市泗水町＊=1.4 大津町引水＊=1.4 山都町今＊=1.4 和水町江田＊=1.4 球磨村渡＊=1.4 芦北町芦北=1.4 芦北町田浦町＊=1.4 上天草市姫戸町＊=1.4 八代市東陽町＊=1.3 天草市五和町＊=1.3 菊池市旭志＊=1.3 南阿蘇村河陰＊=1.2 上天草市龍ヶ岳町＊=1.2 菊池市七城町＊=1.2 山鹿市鹿北町＊=1.2 五木村甲＊=1.2 水俣市陣内＊=1.2 山都町大平＊=1.1 八代市泉町=1.1 山鹿市老人福祉センター＊=1.1 八代市泉支所＊=1.1 天草市河浦町＊=1.1 水俣市牧ノ内＊=1.1 八代市坂本町＊=1.0 玉名市岱明町＊=1.0 宇城市三角町＊=1.0 南阿蘇村河陽＊=1.0 天草市倉岳町＊=0.9 玉名市中尾＊=0.9 阿蘇市内牧＊=0.9 南阿蘇村中松=0.8 天草市有明町＊=0.8 天草市牛深町=0.7 荒尾市宮内出目＊=0.7 天草市栖本町＊=0.7 人吉市蟹作町＊=0.7 あさぎり町岡原＊=0.7 湯前町役場＊=0.7 人吉市西間下町=0.6 天草市天草町＊=0.6 多良木町上球磨消防署＊=0.6 天草市新和町＊=0.5 天草市御所浦町＊=0.5 長崎県　2 雲仙市小浜町雲仙=2.1 雲仙市雲仙出張所＊=1.7 南島原市深江町＊=1.5 南島原市北有馬町＊=1.5 南島原市布津町＊=1.5 1 諫早市多良見町＊=1.4 南島原市加津佐町＊=1.4 島原市有明町＊=1.3 雲仙市小浜町北本町＊=1.3 雲仙市南串山町＊=1.3 南島原市口之津町＊=1.3 雲仙市国見町=1.2 大村市玖島＊=1.2 南島原市西有家町＊=1.0 島原市下折橋町＊=0.8 平戸市志々伎町＊=0.8 長崎市元町＊=0.8 雲仙市瑞穂町＊=0.8 諫早市堂崎町＊=0.8 南島原市南有馬町＊=0.7 南島原市有家町＊=0.6 諫早市東小路町=0.5 東彼杵町蔵本＊=0.5 宮崎県　2 延岡市北方町総合支所＊=2.3 宮崎美郷町田代＊=1.7 川南町川南＊=1.6 門川町平城東＊=1.5 椎葉村総合運動公園＊=1.5 1 延岡市北川町川内名白石＊=1.4 椎葉村下福良＊=1.4 高千穂町三田井=1.3 西都市上の宮＊=1.2 諸塚村家代＊=1.2 高千穂町寺迫＊=1.2 日向市東郷町山陰＊=1.1 国富町本庄＊=1.0 宮崎都農町役場＊=0.9 日之影町七折＊=0.9 西都市聖陵町＊=0.8 高鍋町上江＊=0.8 五ヶ瀬町三ヶ所＊=0.8 宮崎市霧島=0.8 都城市高崎町大牟田＊=0.6 宮崎都農町川北=0.5 延岡市天神小路=0.5 福岡県　1 八女市黒木町今＊=1.3 嘉麻市大隈町＊=1.3 朝倉市杷木池田＊=1.2 みやま市高田町＊=1.2 八女市矢部村＊=1.0 大牟田市昭和町＊=1.0 朝倉市甘木＊=1.0 みやこ町犀川本庄＊=1.0 飯塚市立岩＊=0.9 久留米市小森野町＊=0.9 朝倉市堤＊=0.9 久留米市三潴町＊=0.9 久留米市北野町＊=0.9 八女市黒木町北木屋=0.9 八女市吉田＊=0.9 筑後市山ノ井＊=0.8 久留米市津福本町=0.8 八女市本町＊=0.8 八女市立花町＊=0.7 八女市上陽町＊=0.7 みやま市山川町＊=0.6 福岡広川町新代＊=0.6 筑前町下高場=0.6 行橋市今井＊=0.6 赤村内田＊=0.6 小郡市小郡＊=0.6 飯塚市川島=0.5 佐賀県　1 太良町多良=1.1 佐賀市川副＊=0.9 白石町有明＊=0.9 嬉野市塩田＊=0.8 佐賀市久保田＊=0.6 佐賀鹿島市納富分＊=0.6 大分県　1 九重町後野上＊=1.1 日田市田島＊=1.1 日田市前津江町＊=1.0 竹田市荻町＊=0.7 佐伯市蒲江蒲江浦=0.5 日田市大山町＊=0.5 中津市山国町＊=0.5 鹿児島県　1 長島町伊唐島＊=1.4 長島町獅子島＊=1.3 長島町鷹巣＊=1.1 霧島市横川町中ノ＊=1.0 伊佐市大口鳥巣＊=0.8 伊佐市大口山野=0.6 鹿児島出水市高尾野町＊=0.5 長島町指江＊=0.5 薩摩川内市神田町＊=0.5 さつま町宮之城保健センタ＊=0.5
181	31 04 53	熊本県熊本地方　32° 41.3’ N　130° 45.4’ E　12km　M: 2.3 熊本県　1 宇土市浦田町＊=0.7
182	31 05 26	種子島近海　30° 21.5’ N　131° 13.0’ E　29km　M: 4.1 鹿児島県　2 中種子町野間＊=1.5 1 南種子町西之＊=0.7
183	31 05 47	天草灘　31° 58.5’ N　130° 06.1’ E　10km　M: 3.2 鹿児島県　1 薩摩川内市入来町＊=0.8 阿久根市鶴見町＊=0.5 長島町鷹巣＊=0.5 阿久根市赤瀬川=0.5 薩摩川内市東郷町＊=0.5 さつま町宮之城保健センタ＊=0.5
184	31 06 15	種子島近海　30° 21.3’ N　131° 12.5’ E　29km　M: 4.0 鹿児島県　1 中種子町野間＊=1.4 南種子町西之＊=0.8 錦江町田代支所＊=0.7 南種子町中之上＊=0.6
185	31 13 32	熊本県天草・芦北地方　32° 18.6’ N　130° 28.1’ E　8km　M: 2.4

地震番号	震源時 日　時　分	震央地名　緯度　経度　深さ　規模 各 地 の 震 度　(計 測 震 度)
186	31　15 19	熊本県　1　球磨村渡＊=0.8 熊本県熊本地方　32° 35.9’N　130° 40.9’E　8km　M: 3.1 熊本県　2　宇城市不知火町＊=1.8 宇城市豊野町＊=1.7 1　八代市鏡町＊=1.1 熊本南区城南町＊=1.1 氷川町島地＊=1.0 宇城市松橋町=1.0 八代市千丁町＊=0.9 宇土市浦田町＊=0.9 甲佐町豊内＊=0.9 宇城市小川町＊=0.8 八代市東陽町＊=0.8 氷川町宮原＊=0.8 八代市新地町＊=0.8 八代市平山新町=0.5

付録２．過去１年間に震度１以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
〈令和７年（2025年）11月～令和８年（2026年）10月〉

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
令和７年（2025年）											
１１月	134	78	22	3		1				238	トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （11月中：震度３：１回、震度２：３回、震度１：８回） 鹿児島県薩摩地方の地震活動 （11月中：震度４：１回、震度３：５回、震度２：５回、震度１：６回） 三陸沖の地震活動 （11月中：震度４：１回、震度３：９回、震度２：20回、震度１：15回） 25日　熊本県阿蘇地方（震度５強） （11月中：震度５強：１回、震度４：１回、震度３：２回、震度２：14回、震度１：29回）
１２月	130	55	20	9				1		215	「令和６年能登半島地震」の地震活動 （12月中：震度４：１回、震度３：１回、震度２：３回、震度１：８回） トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） （12月中：震度３：１回、震度１：９回） トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近） （12月中：震度３：１回、震度2：２回、震度１：７回） 熊本県阿蘇地方の地震活動 （12月中：震度３：２回、震度２：５回、震度１：７回） ８日　青森県東方沖（震度６強） （12月中：震度６強：１回、震度４：４回、震度３：６回、震度２：14回、震度１：26回）
令和８年（2026年）											
１月	182	67	31	9	1	1				291	６日10時18分　島根県東部（震度５強） ６日10時28分　島根県東部（震度５弱） （１月中：震度５強：１回、震度５弱：１回、震度４：１回、震度３：６回、震度２：17回、震度１：34回） 宗谷地方北部・南部の地震活動 （１月中：震度３：５回、震度２：12回、震度１：24回）
２月	92	39	10							141	宮古島北西沖の地震活動 （２月中：震度２：６回、震度１：11回）
３月	132	50	19	4						205	宮古島北西沖の地震活動 （３月中：震度３：１回、震度２：７回、震度１：７回） 三陸沖の地震活動 （３月中：震度４：１回、震度３：３回、震度２：１回、震度１：７回） 熊本県天草・芦北地方 （３月中：震度４：２回、震度３：３回、震度２：10回、震度１：36回）
４月	140	46	16		2	3				207	１日　茨城県南部（震度５弱） 18日13時20分　長野県北部（震度５強） 18日14時54分　長野県北部（震度５弱） （４月中：震度５強：１回、震度５弱：１回、震度３：７回、震度２：６回、震度１：22回） 20日　三陸沖（震度５強） （４月20日から30日：震度５強：１回、震度３：３回、震度２：７回、震度１：27回） 27日　十勝地方南部（震度５強）
５月	105	41	19	2	1	1				169	15日　宮城県沖（震度５弱） 20日　沖縄本島近海（震度５強） ４月20日からの三陸沖の地震活動 （５月中：震度３：１回、震度２：３回、震度１：12回） 西表島付近の地震活動 （５月中：震度３：２回、震度２：７回、震度１：８回）
６月	109	30	11	2	2		1	1		156	2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動 （６月中：震度６強：１回、震度５弱：１回、震度４：１回、震度３：２回、震度２：３回、震度１：19回） 16日　茨城県南部（震度５弱） 26日　山梨県東部・富士五湖（震度６弱）
７月※	343	146	59	19	4				1	572	2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動 （７月中：震度４：１回、震度３：３回、震度２：３回、震度１：10回） 28日16時27分　熊本県熊本地方（震度７） 28日16時29分　熊本県熊本地方（震度５弱） 28日17時08分　熊本県天草・芦北地方（震度５弱） 28日19時03分　熊本県熊本地方（震度５弱） 29日　　熊本県天草・芦北地方（震度５弱） 「令和８年熊本地震」 （７月28日16時以降31日まで：震度７：１回、震度５弱：４回、震度４：17回、震度３：49回、震度２：119回、震度１：244回）
８月※	318	84	34	11	2					449	2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動 （８月中：震度４：１回、震度２：２回、震度１：14回） 「令和８年熊本地震」 （８月中：震度５弱：１回、震度４：６回、震度３：22回、震度２：56回、震度１：216回） 23日　茨城県南部（震度５弱）
９月	123	41	13	3						180	「令和８年熊本地震」 （９月中：震度４：２回、震度３：４回、震度２：19回、震度１：54回）
10月	124	50	10	1	1					186	2025年11月以降の三陸沖から岩手県沖にかけての地震活動 （10月中：震度３：１回、震度２：２回、震度１：７回） 千葉県北東部から千葉県東方沖にかけての地震活動 （10月中：震度５弱：１回、震度４：１回、震度３：１回、震度２：４回、震度１：４回） 「令和８年熊本地震」 （10月中：震度３：３回、震度２：19回、震度１：44回）
2026年計	1668	594	222	51	13	5	1	1	1	2556	
過去１年計	1932	727	264	63	13	6	1	2	1	3009	

※掲載している地震回数は、後日の調査で変更になることがある。

注）「記事」の欄には主に震度５弱以上を観測した地震、または震度１以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

付録３．日本及びその周辺におけるﾏｸﾞﾆﾁｭｰﾄﾞ(M)別の月別地震回数
〈令和７年（2025年）11月～令和８年（2026年）10月〉

	M3.0～M3.9	M4.0～M4.9	M5.0～M5.9	M6.0～M6.9	M7.0以上	計 M3.0以上	計 M4.0以上	記事
令和７年（2025年）								
11月	546	113	31	4		694	148	９日17時03分　三陸沖（M6.9） ９日17時14分　三陸沖（M6.1） ９日17時54分　三陸沖（M6.6） 10日16時23分　三陸沖（M6.4）
12月	658	141	22	5	2	828	170	８日23時15分　青森県東方沖（M7.5） ９日03時56分　青森県東方沖（M6.1） ９日06時52分　青森県東方沖（M6.6） 10日23時52分　青森県東方沖（M6.0） 12日11時44分　青森県東方沖（M6.9） 28日00時05分　台湾付近（M7.0） 31日23時26分　岩手県北東沖（M6.1）
令和８年（2026年）								
１月	420	111	19	3		553	133	６日　島根県東部（M6.4） 13日　択捉島南東沖（M6.3） 22日　硫黄島近海（M6.5）
２月	506	122	20	1		649	143	22日　千島列島（M6.1）
３月	607	129	22	4		762	155	２日　硫黄島近海（M6.2） ２日　宮古島近海（M6.2） ８日　三陸沖（M6.1） 26日　三陸沖（M6.7）
４月	586	107	23	1	1	718	132	20日　三陸沖（M7.7） 27日　十勝地方南部（M6.2）
５月	425	86	12	1		524	99	15日　宮城県沖（M6.4）
６月	428	84	10	2	1	525	97	１日　鳥島近海（M6.0） 25日　岩手県沖（M7.2） 28日　岩手県沖（M6.1）
７月※	584	107	12	3	1	707	123	１日　岩手県沖（M6.1） ３日13時04分　宮古島北西沖（M6.5） 28日16時27分　熊本県熊本地方（M7.1） 28日17時08分　熊本県天草・芦北地方（M6.1）
８月※	452	94	12	1		559	107	23日　浦河沖（M6.0）
９月	322	79	8	1		410	88	23日　マリアナ諸島（M6.0）
10月	353	75	10	2		440	87	４日　硫黄島近海（M6.0） 25日　小笠原諸島西方沖（M6.8）
2026年計	4683	994	148	19	3	5847	1164	
過去１年計	5887	1248	201	28	5	7369	1482	

※掲載している地震回数は、後日の調査で変更になることがある。

注）日本及びその周辺：原則、北緯 20～49 度、東経 120～154 度の範囲。「記事」の欄には主に M6.0 以上の地震を記載した。

● 付録４．長周期地震動階級１以上を観測した地震

令和８年 10 月に長周期地震動階級※１以上を観測した地震は１回であった。

平成 25 年３月～令和８年 10 月に長周期地震動階級１以上を観測した地震の月別回数

年＼月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年（2013 年）			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年（2014 年）	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年（2015 年）	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年（2016 年）	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年（2017 年）	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成 30 年（2018 年）	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成 31 年/令和元年（2019 年）	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	6
令和２年（2020 年）	1	1	1	1	0	2	0	0	2	0	1	2	11
令和３年（2021 年）	0	1	1	0	2	0	0	0	1	1	0	0	6
令和４年（2022 年）	2	0	3	0	1	1	0	0	0	1	0	0	8
令和５年（2023 年）	0	1	1	0	5	1	0	1	2	0	0	0	11
令和６年（2024 年）	15	0	1	4	0	1	0	1	0	0	1	0	23
令和７年（2025 年）	1	0	1	1	0	1	0	1	0	1	4	3	13
令和８年（2026 年）	3	0	2	2	1	5	3	3	0	1			20

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動階級１	室内にいたほとんどの人が揺れを感じる。驚く人もいる。	ブラインドなど吊り下げもの大きく揺れる。	―
	長周期地震動階級２	室内で大きな揺れを感じ、物につかまりたいと感じる。物につかまらないと歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。	キャスター付き什器がわずかに動く。棚にある食器類、書棚の本が落ちることがある。	―
	長周期地震動階級３	立っていることが困難になる。	キャスター付き什器が大きく動く。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が入ることがある。
	長周期地震動階級４	立っていることができず、はわないと動くことができない。揺れにほんろうされる。	キャスター付き什器が大きく動き、転倒するものがある。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。	間仕切壁などにひび割れ・亀裂が多くなる。

※ 長周期地震動階級に関する詳細は、「地震・火山月報（防災編）」令和７年 12 月号の付録 10「長周期地震動階級関連解説表」を参照のこと。
https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/gaikyo/monthly/202512/202512furoku_10.pdf
なお、気象庁が発表する「長周期地震動に関する観測情報」の最新情報は、気象庁ホームページ（以下 URL）をご覧ください。
https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=ltpgm

１．令和８年 10 月 29 日 00 時 07 分　千葉県北東部の地震

長周期地震動階級１以上を観測した地域・観測点

2026 年 10 月 29 日 00 時 07 分　千葉県北東部　北緯 35 度 43.3 分　東経 140 度 42.9 分　深さ 52km　M 5.5				
都道府県	長周期 地震動階級	地域名称	観測点名称	震 度
千葉県	1	千葉県北東部	山武市松尾町富士見台	4
			多古町多古	4

長周期地震動階級１以上を観測した地域の分布図



● 付録５．緊急地震速報の提供状況

令和８年 10 月に緊急地震速報（警報）を発表した回数は１回であり、この緊急地震速報（警報）について、キャンセル報を発表している。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は 72 回であった。

令和８年 10 月に発表した緊急地震速報（警報）

地震発生日時	震央地名	マグニチュード（M）	最大震度	最大長周期地震動階級	予測最大震度	予測最大長周期地震動階級	警報発表までの経過時間（秒）
令和８年 10 月 16 日 12 時 35 分	カムチャツカ半島付近（キャンセル報）	6.9	1	---	7	4	112.5

※表中の「予測最大震度」、「予測最大長周期地震動階級」は緊急地震速報（警報）で発表した予測震度の最大値および予測長周期地震動階級の最大値、「警報発表までの経過時間（秒）」は地震検知から緊急地震速報（警報）第１報発表までの経過時間（秒）を示す。

震度５弱以上または長周期地震動階級３以上を観測し、緊急地震速報（警報）を発表しなかった地震

地震発生日時	震央地名	マグニチュード（M）	最大震度	最大長周期地震動階級	予測最大震度	予測最大長周期地震動階級
令和８年 10 月 29 日 00 時 07 分	千葉県北東部	5.5	５弱	1	4	1

※表中の「予測最大震度」、「予測最大長周期地震動階級」は緊急地震速報（予報）の最終報で発表した予測震度の最大値および予測長周期地震動階級の最大値を示す。

平成 19 年 10 月～令和８年 10 月に発表した緊急地震速報の月別回数

年＼月	１月	２月	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)										0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	1 (74)	0 (88)	0 (81)	0 (92)	1 (86)	0 (75)	7 (973)
平成 28 年 (2016 年)	1 (76)	0 (71)	0 (65)	20 (228)	1 (101)	2 (89)	0 (95)	0 (71)	1 (80)	3 (92)	2 (124)	1 (86)	31 (1178)
平成 29 年 (2017 年)	0 (77)	0 (72)	0 (61)	0 (60)	0 (52)	1 (55)	1 (79)	1 (73)	2 (52)	1 (53)	0 (57)	1 (77)	7 (768)
平成 30 年 (2018 年)	2 (64)	0 (61)	1 (76)	2 (80)	1 (52)	2 (70)	1 (55)	0 (58)	2 (158)	4 (97)	1 (68)	0 (69)	16 (908)
平成 31 年 /令和元年 (2019 年)	1 (66)	1 (62)	0 (63)	0 (88)	1 (64)	2 (59)	0 (59)	1 (56)	0 (50)	0 (72)	0 (56)	2 (68)	8 (763)
令和２年 (2020 年)	1 (60)	1 (54)	1 (60)	2 (76)	4 (74)	1 (96)	2 (59)	0 (46)	1 (67)	0 (42)	1 (43)	3 (77)	17 (754)
令和３年 (2021 年)	0 (62)	1 (90)	1 (75)	0 (74)	1 (79)	0 (52)	0 (80)	0 (80)	1 (60)	3 (56)	2 (60)	2 (92)	11 (860)
令和４年 (2022 年)	2 (81)	0 (63)	6 (150)	0 (74)	2 (83)	2 (78)	0 (49)	1 (64)	0 (68)	1 (65)	1 (66)	0 (72)	15 (913)
令和５年 (2023 年)	1 (59)	1 (45)	0 (56)	0 (70)	12 (155)	1 (74)	0 (49)	0 (51)	1 (82)	1 (60)	0 (61)	0 (62)	17 (824)
令和６年 (2024 年)	20 (376)	2 (104)	2 (82)	4 (90)	0 (54)	2 (81)	0 (68)	2 (65)	0 (62)	0 (61)	1 (109)	0 (63)	33 (1215)
令和７年 (2025 年)	1 (82)	0 (54)	1 (60)	1 (71)	0 (54)	2 (93)	2 (136)	0 (69)	0 (50)	1 (42)	2 (105)	3 (107)	13 (923)
令和８年 (2026 年)	5 (109)	0 (87)	0 (109)	5 (91)	3 (81)	3 (58)	4 (141)	1 (126)	0 (65)	1 ※2 (72)			22 (939)

※1 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、( )内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

※2 緊急地震速報（警報）のキャンセル報を発表。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

１．　令和８年 10 月 16 日　12 時 35 分　カムチャツカ半島付近の地震

本地震に対して、広域にわたって緊急地震速報（警報）を発表した。これは、日本から非常に遠い地震に対して国内用のマグニチュード算出式を適用したことに加え、本来は同一であるべきマグニチュード計算と震度および長周期地震動階級予測に用いた震源が異なっていたためである。

発生した地震の概要（キャンセル報）

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度	最大長周期地震動階級
令和 8 年 10 月 16 日 12 時 35 分 31.0 秒	カムチャツカ半島付近（キャンセル報）	51° 59.1′	157° 16.2′	135km	6.9	1	---

緊急地震速報の詳細(緊急地震速報（警報）とキャンセル報は背景が灰色のときに発表)

提供時刻等		経過時間	震源要素					予測震度および長周期地震動階級
地震波検知時刻	12 時 38 分 10.1 秒		震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 1 報	12 時 38 分 27.7 秒	17.6	択捉島付近	44.6	147.6	10km	6.2	最大震度３程度以上
第 17 報	**12 時 40 分 02.6 秒**	**112.5**	**千島列島**	**48.2**	**153.4**	**140km**	**9.9**	**※2**
第 19 報	**12 時 40 分 41.6 秒**	**151.5**	**千島列島**	**48.2**	**153.4**	**140km**	**9.9**	**※3**
キャンセル報	**12 時 48 分 50.0 秒**	**639.9**	――	――	――	――	――	――

※2 震度５弱から７程度 根室地方北部

震度４から７程度　根室地方中部、根室地方南部、網走地方、北見地方、釧路地方北部、紋別地方、釧路地方中南部、宗谷地方北部、宗谷地方南部、上川地方北部、空知地方南部、胆振地方中東部、石狩地方中部

震度３から７程度　十勝地方北部、上川地方中部、留萌地方中北部、十勝地方中部、北海道利尻礼文、十勝地方南部、上川地方南部、留萌地方南部、空知地方北部、空知地方中部、日高地方西部、石狩地方北部、日高地方東部、日高地方中部、石狩地方南部、後志地方北部、渡島地方東部

震度３から６強程度 胆振地方西部、後志地方西部、後志地方東部、青森県下北、青森県三八上北

震度３から６弱程度 渡島地方北部、青森県津軽北部、岩手県内陸北部

震度２から６弱程度 檜山地方、渡島地方西部、岩手県沿岸北部、秋田県沿岸北部、宮城県中部、宮城県北部

震度２から５強程度 北海道奥尻島、青森県津軽南部、岩手県沿岸南部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、宮城県南部、福島県中通り

震度２から５弱程度 山形県庄内、山形県村山、福島県浜通り

震度１から５弱程度 山形県最上

震度１から４程度　山形県置賜、新潟県下越、福島県会津、栃木県北部、新潟県佐渡、栃木県南部、茨城県北部、新潟県中越、茨城県南部、群馬県北部、千葉県北東部、新潟県上越、群馬県南部、埼玉県北部、埼玉県南部、千葉県北西部、石川県能登、東京都２３区、長野県北部

震度０から４程度　神奈川県東部、千葉県南部、長野県中部、山梨県中・西部

震度０から３程度　埼玉県秩父、東京都多摩東部、富山県東部、神奈川県西部、富山県西部、山梨県東部・富士五湖、石川県加賀、岐阜県飛騨、静岡県東部、静岡県伊豆

震度０程度　長野県南部、伊豆大島、新島、静岡県中部、岐阜県美濃中西部、三宅島、神津島、愛知県西部、静岡県西部

長周期地震動階級４　根室地方北部、根室地方中部、根室地方南部、網走地方、北見地方、釧路地方北部、紋別地方、釧路地方中南部、宗谷地方北部、宗谷地方南部、上川地方北部、空知地方南部、胆振地方中東部、石狩地方中部、十勝地方北部、上川地方中部、留萌地方中北部、十勝地方中部、北海道利尻礼文、十勝地方南部、上川地方南部、留萌地方南部、空知地方北部、空知地方中部、日高地方西部、石狩地方北部、日高地方東部、日高地方中部、石狩地方南部、後志地方北部、渡島地方東部、胆振地方西部、後志地方西部、後志地方東部、青森県下北、青森県三八上北、渡島地方北部、青森県津軽北部、岩手県内陸北部、檜山地方、渡島地方西部、岩手県沿岸北部、秋田県沿岸北部、宮城県北部、北海道奥尻島、青森県津軽南部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、山形県庄内、山形県村山、福島県浜通り、山形県最上、新潟県下越、福島県会津、栃木県北部、茨城県北部、新潟県中越、茨城県南部、千葉県北東部、新潟県上越、群馬県南部、埼玉県北部、埼玉県南部、千葉県北西部、石川県能登、東京都２３区、長野県北部、神奈川県東部、千葉県南部、長野県中部、東京都多摩東部、富山県東部、富山県西部、石川県加賀、新島、静岡県中部、愛知県西部、静岡県西部

長周期地震動階級３　宮城県中部、岩手県沿岸南部、宮城県南部、福島県中通り、山形県置賜、新潟県佐渡、栃木県南部、群馬県北部、山梨県中・西部、埼玉県秩父、神奈川県西部、山梨県東部・富士五湖、岐阜県飛騨、静岡県東部、静岡県伊豆、長野県南部、伊豆大島、岐阜県美濃中西部、三宅島、神津島

長周期地震動階級２　東京都多摩西部、岐阜県美濃東部、福井県嶺北、愛知県東部、福井県嶺南

※3 震度５弱から７程度　根室地方北部、根室地方南部

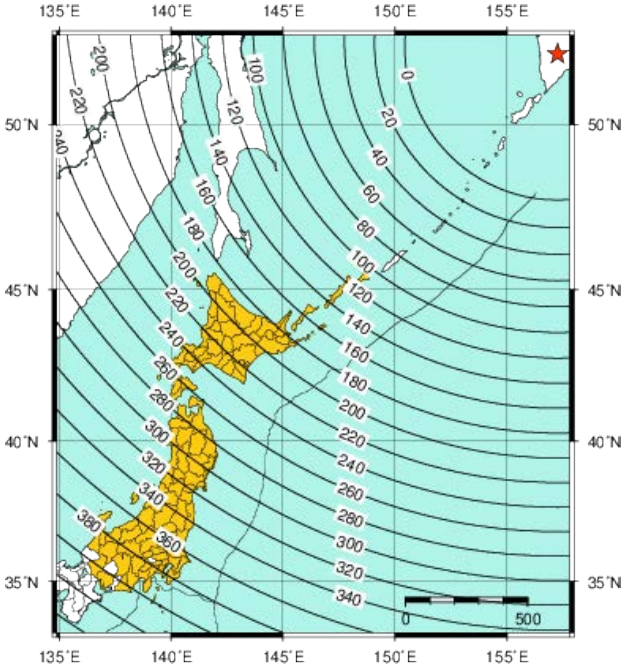
震度４から７程度　網走地方、根室地方中部、釧路地方北部、紋別地方、北見地方、宗谷地方北部、宗谷地方南部、釧路地方中南部、上川地方北部、留萌地方中北部、十勝地方北部、空知地方南部、日高地方西部、石狩地方北部、胆振地方中東部、石狩地方中部

震度３から７程度　上川地方中部、十勝地方中部、北海道利尻礼文、上川地方南部、留萌地方南部、空知地方北部、十勝地方南部、空知地方中部、日高地方東部、日高地方中部、石狩地方南部、後志地方北部、胆振地方西部、後志地方西部、後志地

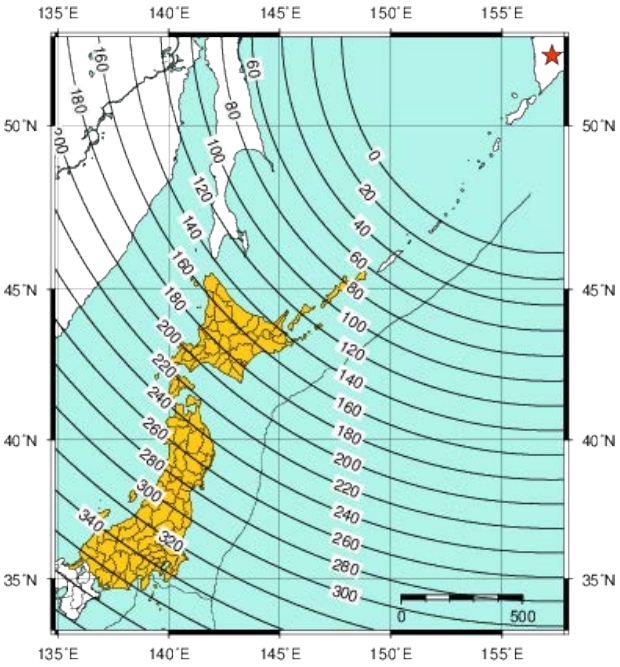
	方東部、渡島地方東部、渡島地方北部、青森県下北、檜山地方、渡島地方西部、青森県津軽北部、青森県三八上北、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部
震度２から７程度	青森県津軽南部、秋田県沿岸北部、宮城県中部、宮城県北部
震度２から６強程度	北海道奥尻島、岩手県沿岸南部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、山形県庄内、宮城県南部、山形県村山、福島県中通り
震度２から６弱程度	福島県浜通り
震度１から６弱程度	山形県最上
震度１から５強程度	山形県置賜、新潟県下越、福島県会津、栃木県北部、新潟県佐渡、栃木県南部、茨城県北部、新潟県中越、茨城県南部、新潟県上越、群馬県南部、埼玉県北部、埼玉県南部、千葉県北西部、石川県能登
震度１から５弱程度	群馬県北部、千葉県北東部、東京都２３区、長野県北部、神奈川県東部、千葉県南部、長野県中部、山梨県中・西部
震度０から４程度	埼玉県秩父、東京都多摩東部、東京都多摩西部、富山県東部、神奈川県西部、富山県西部、山梨県東部・富士五湖、石川県加賀、岐阜県飛騨、静岡県東部、静岡県伊豆、長野県南部、岐阜県美濃東部、静岡県中部、福井県嶺北、岐阜県美濃中西部
震度０程度	伊豆大島、新島、三宅島、神津島、愛知県西部、静岡県西部、愛知県東部、福井県嶺南
長周期地震動階級４	根室地方北部、根室地方南部、網走地方、根室地方中部、釧路地方北部、紋別地方、北見地方、宗谷地方北部、宗谷地方南部、釧路地方中南部、上川地方北部、留萌地方中北部、十勝地方北部、空知地方南部、日高地方西部、石狩地方北部、胆振地方中東部、石狩地方中部、上川地方中部、十勝地方中部、北海道利尻礼文、上川地方南部、留萌地方南部、空知地方北部、十勝地方南部、空知地方中部、日高地方東部、日高地方中部、石狩地方南部、後志地方北部、胆振地方西部、後志地方西部、後志地方東部、渡島地方東部、渡島地方北部、青森県下北、檜山地方、渡島地方西部、青森県津軽北部、青森県三八上北、岩手県沿岸北部、岩手県内陸北部、青森県津軽南部、秋田県沿岸北部、宮城県中部、宮城県北部、北海道奥尻島、岩手県沿岸南部、秋田県内陸北部、岩手県内陸南部、秋田県沿岸南部、秋田県内陸南部、山形県庄内、宮城県南部、山形県村山、福島県中通り、福島県浜通り、山形県最上、山形県置賜、新潟県下越、福島県会津、栃木県北部、茨城県北部、新潟県中越、茨城県南部、新潟県上越、群馬県南部、埼玉県北部、埼玉県南部、千葉県北西部、石川県能登、群馬県北部、千葉県北東部、東京都２３区、長野県北部、神奈川県東部、千葉県南部、長野県中部、東京都多摩東部、富山県東部、神奈川県西部、富山県西部、石川県加賀、静岡県東部、静岡県伊豆、静岡県中部、伊豆大島、新島、三宅島、愛知県西部、静岡県西部

長周期地震動階級３ 新潟県佐渡、栃木県南部、山梨県中・西部、埼玉県秩父、東京都多摩西部、山梨県東部・富士五湖、岐阜県飛騨、長野県南部、岐阜県美濃東部、福井県嶺北、岐阜県美濃中西部、神津島、愛知県東部、福井県嶺南

警報第１報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図



警報第２報発表から主要動到達までの時間及び警報発表対象地域の分布図



緊急地震速報（警報）を発表した地域

★：震央　　※米国地質調査所（USGS）が決定した震源の震央